

平成26年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書

—詳細版—

平成26年8月

横浜市青葉区

平成26年度 青葉区区民意識調査

目 次

調査概要.....	2
I. 回答者の属性	3
II. 調査結果	8
1. お住まいの周辺的生活環境について	9
2. 定住意識について	38
3. 区・市への愛着について	41
4. 地域と生活について	46
5. 地域の福祉保健活動について	59
6. 広報について.....	68
7. 読書活動について	82
8. 区制20周年について	94
9. 健康について.....	100
10. 郵便局での証明発行サービスについて	110
11. 駅周辺のまちづくりについて	112
12. 区政について.....	117
自由記述内容一覧	118
調 査 票.....	137

青葉区 区民意識調査

調査概要

調査の目的	青葉区にお住まいの皆さまの生活意識や区政に対する満足度、要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的とする。
調査対象	青葉区内在住の16歳以上の男女3,000人（うち外国人60人）
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式
回答率	49.0%（有効回答者数1,469人）
調査期間	平成26年6月9日～6月23日
設問分野	生活環境、定住意向、地域活動・地域社会、地域福祉、広報、読書活動、区制20周年、健康等
図表の見方	図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。 MA : 複数回答（マルチアンサー）の設問 N : その設問に対する回答者数

※集計結果の見方

- ・回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている（N=1,469）。

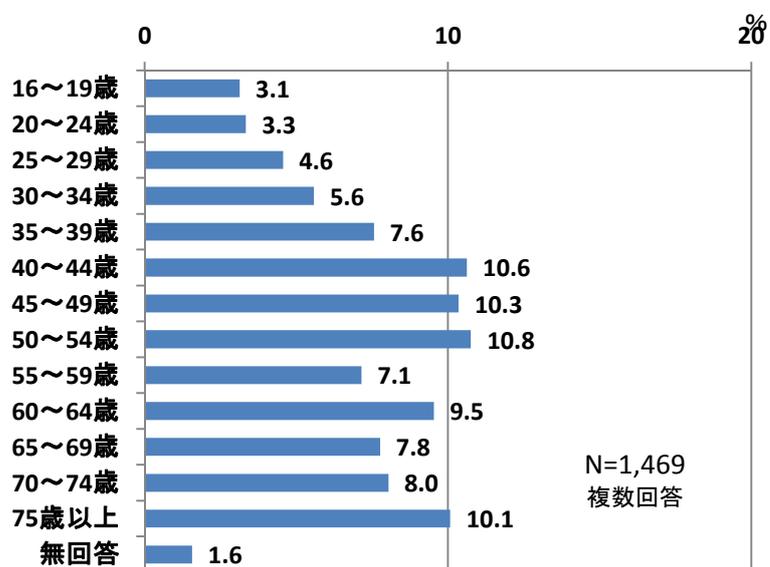
※クロス集計表の見方

- 濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を反転表示している。
- 薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（区全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

I. 回答者の属性

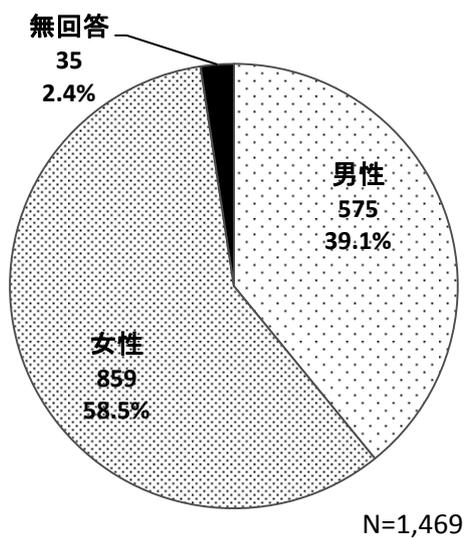
年齢（F 1）

・最も多いのは40代から50代前半で合わせて31.7%である。少ないのは10代から20代で合わせて11.0%である。



性別（F 2）

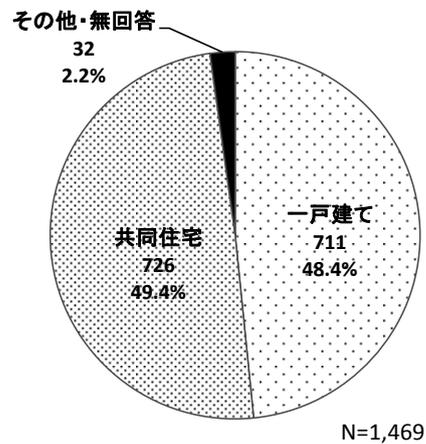
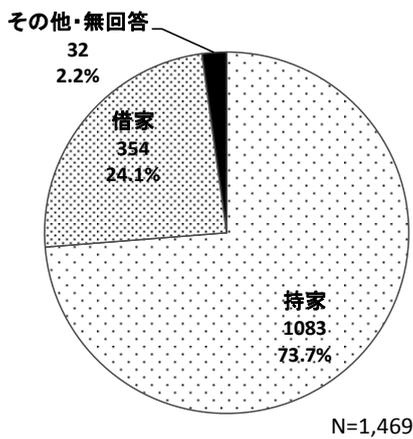
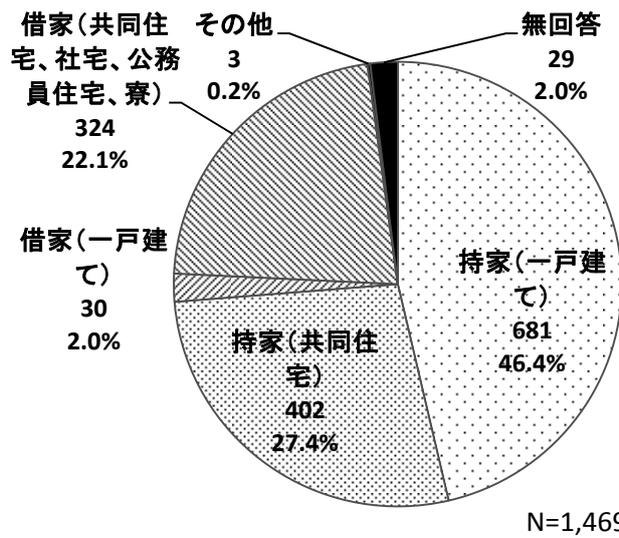
・女性が58.5%で、男性の39.1%を19.4ポイント上回っている。



居住形態（F3）

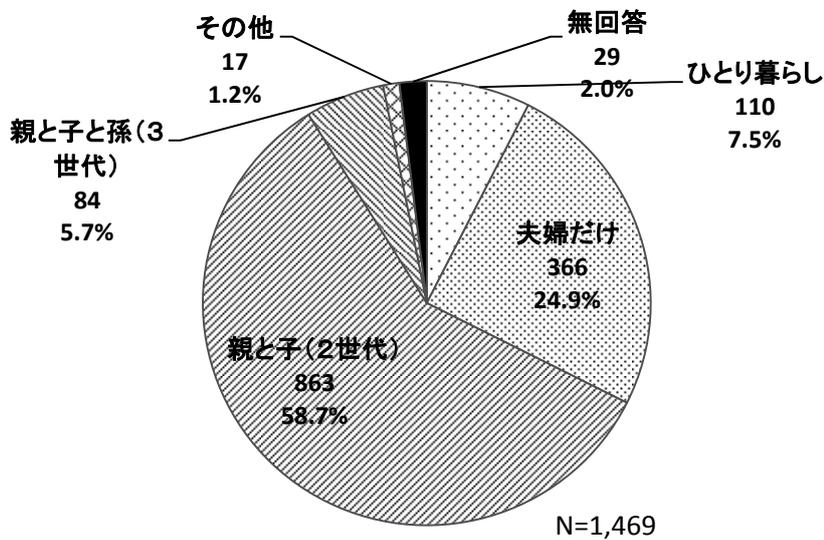
・「持家（一戸建て）」が46.4%で最も多い。次いで「持家（共同住宅）」が27.4%で、この2つを合わせると73.7%と、持家率は7割を超える。以下「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（22.1%）、「借家（一戸建て）」（2.0%）、「その他」（0.2%）となっている。

・「持家（共同住宅）」「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」を合わせると49.4%、「持家（一戸建て）」「借家（一戸建て）」を合わせると48.4%で、共同住宅と一戸建てがほぼ半々である。



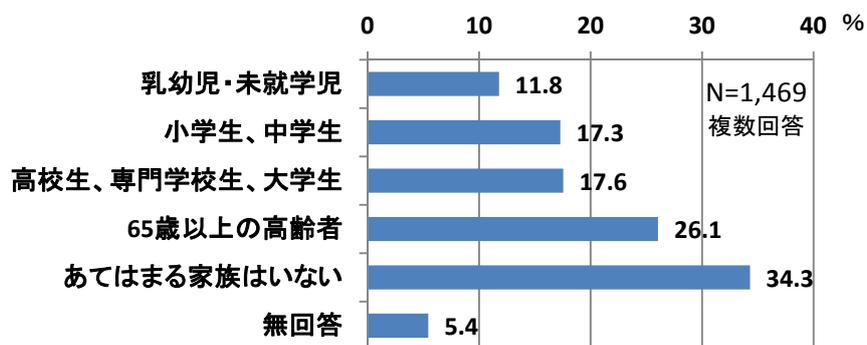
家族構成（F 4）

・「親と子（2世代）」が最も多く 58.7%で、全体の 6 割弱を占める。次いで「夫婦だけ」が 24.9%で、全体の 4 分の 1 弱である。



同居している家族（F 5）

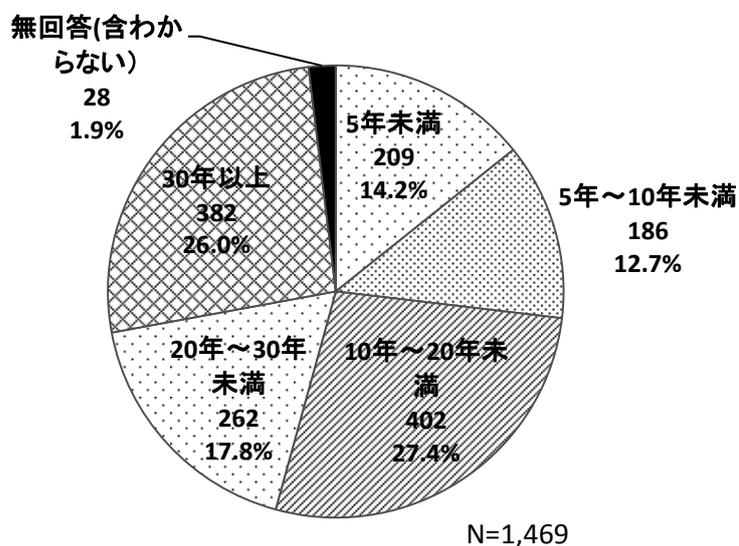
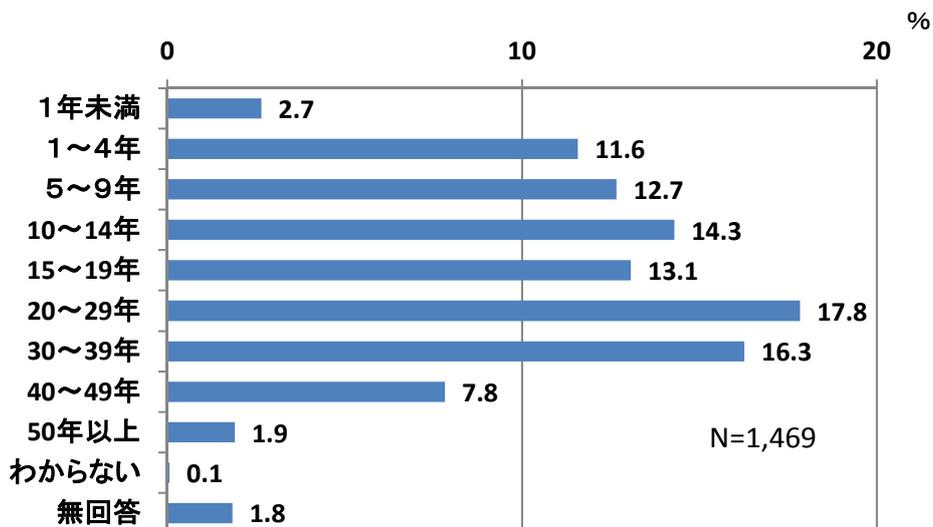
・「あてはまる家族はいない」が最多の 34.3%となっているが、これを除くと、最も多いのは「65 歳以上の高齢者」（26.1%）、次いで「小学生、中学生」（17.3%）、「高校生、専門学校生、大学生」（17.6%）がほぼ並び、「乳幼児・未就学児」が 11.8%で続く。



居住期間（F6）

・最も多いのは「20～29年」の17.8%、以下「30～39年」（16.3%）、「10～14年」（14.3%）、「15～19年」（13.1%）、「5～9年」（12.7%）、「1～4年」（11.6%）の順となっている。

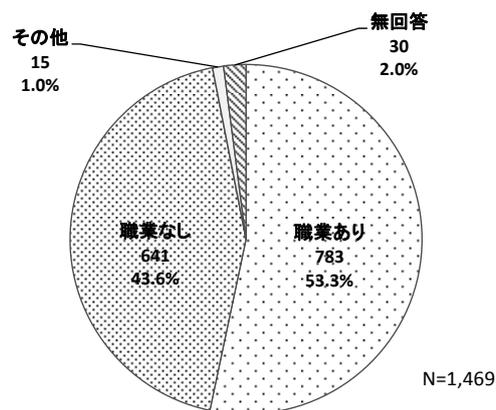
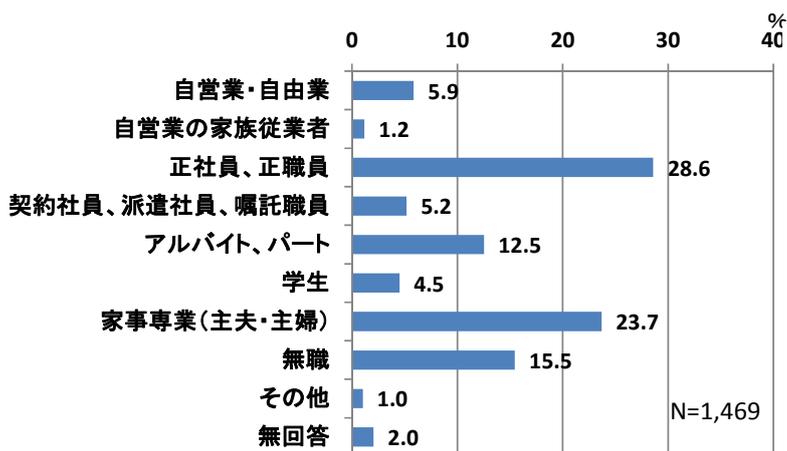
・5年から10年きざみで括ってみると、「10年～20年未満」が27.4%で最も多く、次いで「30年以上」（26.0%）である。「20年～30年未満」（17.8%）、「5年未満」（14.2%）、「5年～10年未満」（12.7%）と続く。



職業（F7）

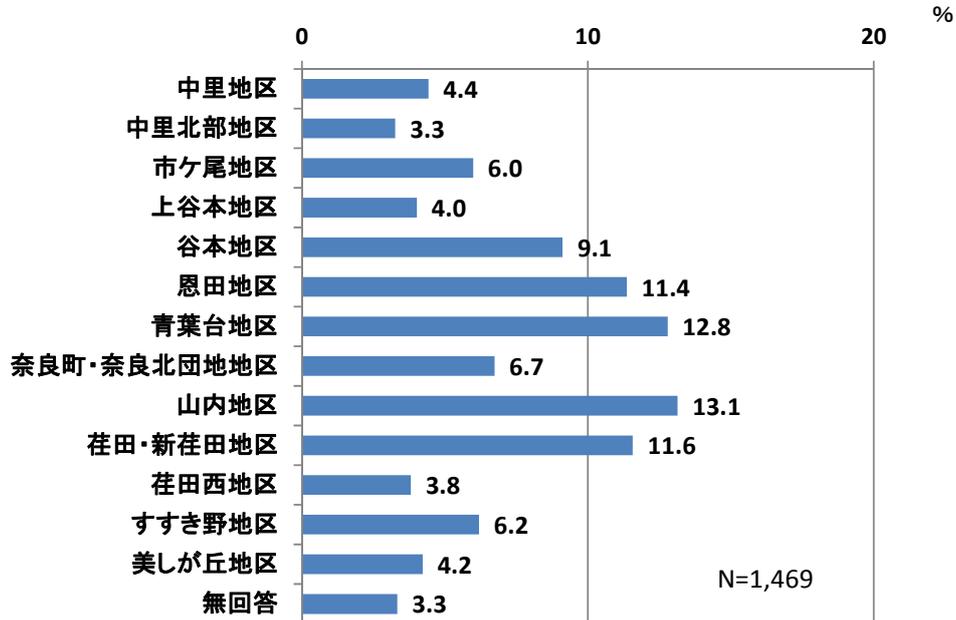
・最も多いのは「正社員、正職員」の28.6%で、全体の3割弱である。次いで「家事専業（主夫・主婦）」が23.7%で、全体のほぼ4分の1を占める。以下「無職」（15.5%）、「アルバイト、パート」（12.5%）、「自営業・自由業」（5.9%）、「契約社員、派遣社員、嘱託職員」（5.2%）、「学生」（4.5%）、「自営業の家族従業者」（1.2%）、「その他」（1.0%）と続く。

・職業ありと職業なし（学生・家事専業・無職）の比率を見ると、職業あり（53.3%）が職業なし（43.6%）を9.7ポイント上回っている。



居住地区（F8）

・最も多いのは「山内地区」（13.1%）で、これに「青葉台地区」（12.8%）「荏田・新荏田地区」（11.6%）、「恩田地区」（11.4%）が続く。



青葉区地区別エリア図

- ①中里地区 ②中里北部地区 ③市ヶ尾地区
- ④上谷本地区 ⑤谷本地区 ⑥恩田地区
- ⑦青葉台地区 ⑧奈良町地区 ⑨奈良北団地地区
- ⑩山内地区 ⑪荏田地区 ⑫荏田西部地区
- ⑬新荏田地区 ⑭すすき野地区 ⑮美しが丘地区



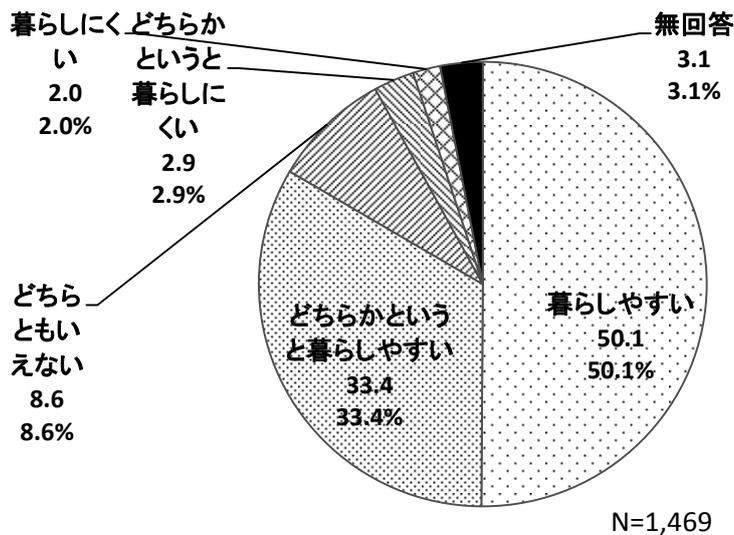
Ⅱ. 調査結果

1. お住まいの周辺的生活環境について

問1 あなたは現在のお住まいの周辺的生活環境をどのように感じていますか。

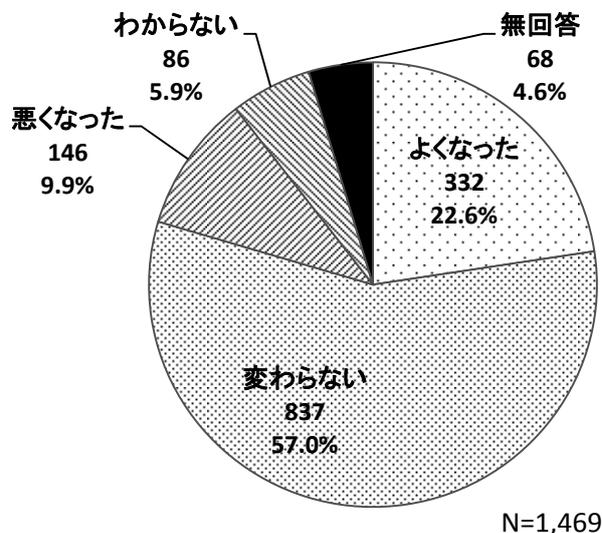
(○は1つだけ)

- ・最も多いのは「暮らしやすい」(50.1%)で半数を占める。「どちらかという暮らしやすい」を加えると83.5%で、8割以上が暮らしやすいと感じている。



問2 あなたは現在のお住まいの周辺的生活環境が以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様変わったと思いますか。(○は1つだけ)

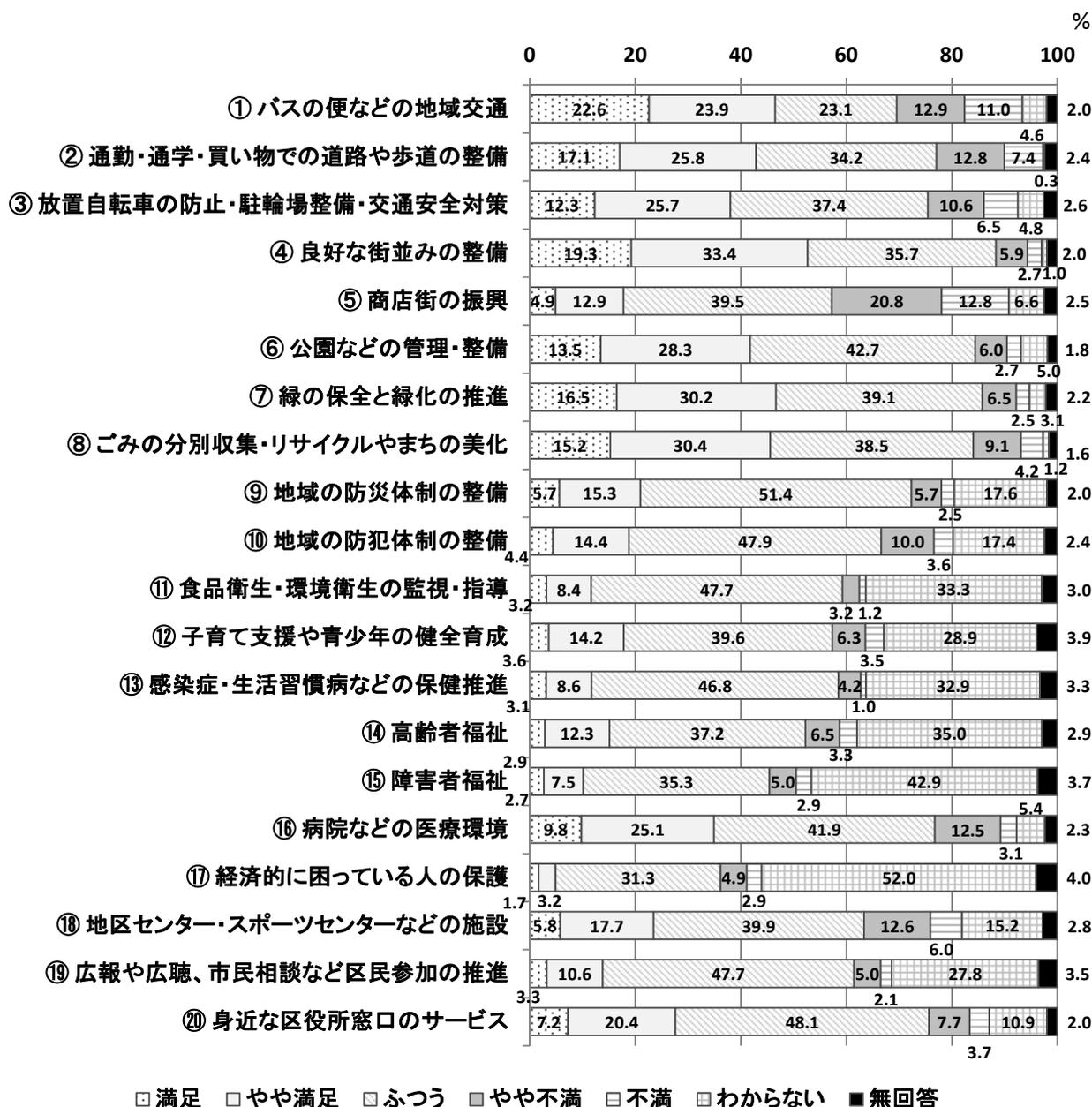
- ・最も多いのは「変わらない」(57.0%)で6割弱を占めている。次いで「よくなった」が22.6%である。



問3 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(概ね5年程度、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。(それぞれ○は1つ)

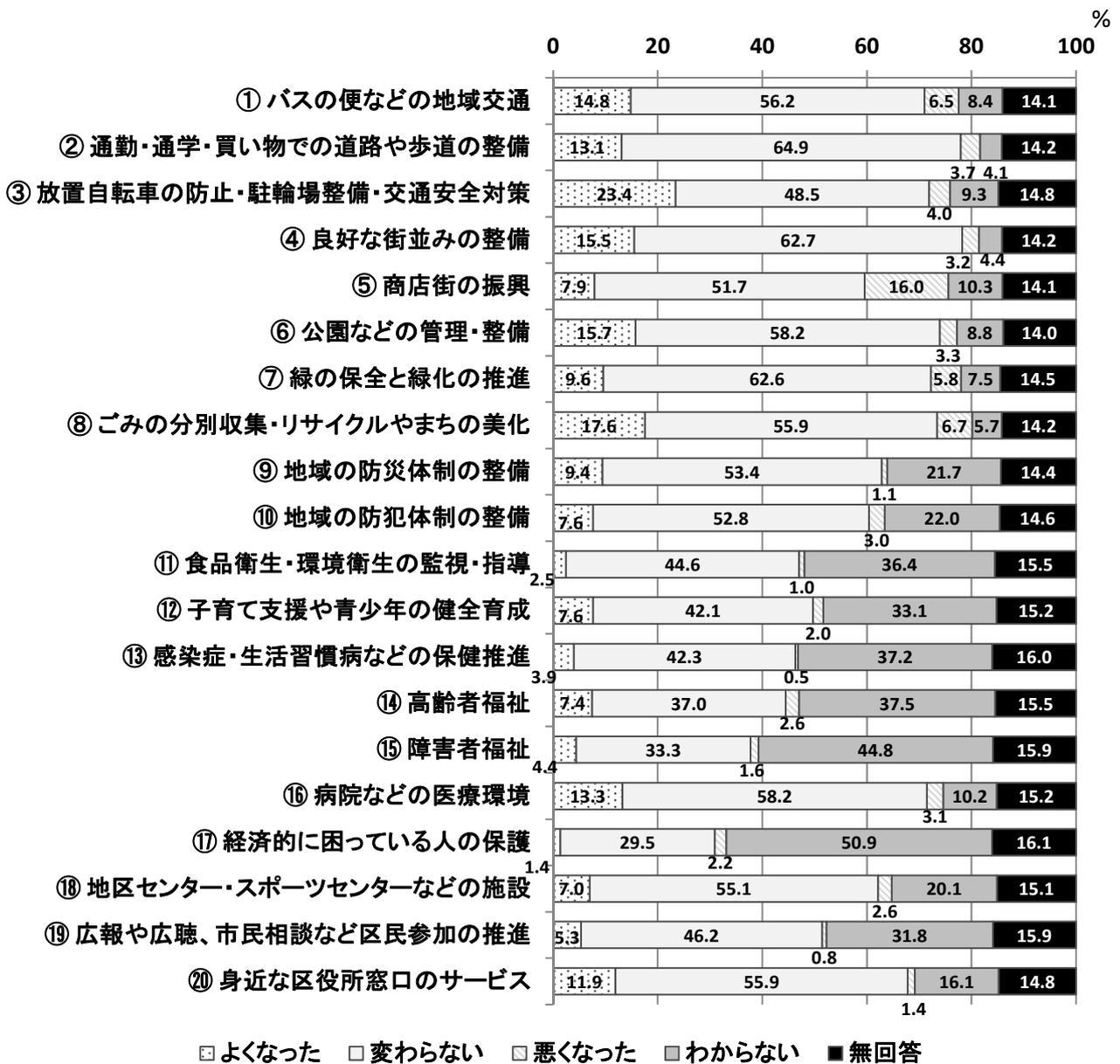
＜満足度＞

- ・「① バスの便などの地域交通」のみ「やや満足」が最も多く、それ以外の項目は「ふつう」が最多となっている。
- ・「満足」「やや満足」を合わせた数値の上位項目は、「④良好な街並みの整備」「⑦緑の保全と緑化の推進」「① バスの便などの地域交通」「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」「⑥公園などの管理・整備」で、これら6項目のみ「満足」「やや満足」を合わせた数値が4割を超えている。



< 以前との比較 >

- ・ 以前との比較については、「⑭ 高齢者福祉」「⑮ 障害者福祉」「⑰ 経済的に困っている人の保護」のみ「わからない」、それ以外は「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 「よくなった」の数値が最も高いのは「③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策」で、以下「⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「⑥ 公園などの管理・整備」「④ 良好な街並みの整備」「① バスの便などの地域交通」が上位5項目である。
- ・ 「悪くなった」の数値が最も高いのは「⑤ 商店街の振興」で、これのみ「悪くなった」が1割以上である。



■ 『満足度』と『以前と比べた変化』の関係

『満足度』『以前と比べた変化』について結果を点数化（※）し、両者の関係を見ると、『満足度』では、「商店街振興」（設問項目を省略表記＜次ページ表＞参照-以下同様）、「保護」を除いて全ての項目が「満足」側にあり、『以前と比べた変化』では「商店街振興」と「保護」を除いて「よくなった」側に位置している。全体として、青葉区的生活環境の評価は高い。

※満足度---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「満足」2点、「やや満足」1点、「ふつう」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を付与して合計して算出

※以前と比べた変化---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「よくなった」1点、「かわらない」0点、「悪くなった」-1点を付与して合計して算出

回答状況を分野（※）ごとにみると、“みどり”に関わる分野では、「街並み」「公園」いずれも、『満足度』『以前と比べた変化』ともに高かった。「緑化」については、『満足度』は高いものの、『以前と比べた変化』はやや低くなっている。

“安全”では、「交通安全」が「よくなった」割合が全項目中最も高い。「防災体制」「防犯体制」については、「交通安全」と比較すると『満足度』『以前と比べた変化』ともに低くなっている。

“利便”では、「道路整備」「地域交通」とともに“みどり”に次いで満足度が高くなっている。

“衛生”では、「ごみ」は『満足度』『以前と比べた変化』ともに高かったが、「環境衛生」は『満足度』『以前と比べた変化』ともに低い。

“産業”では「商店街振興」が『満足度』『以前と比べた変化』ともに極めて低い。

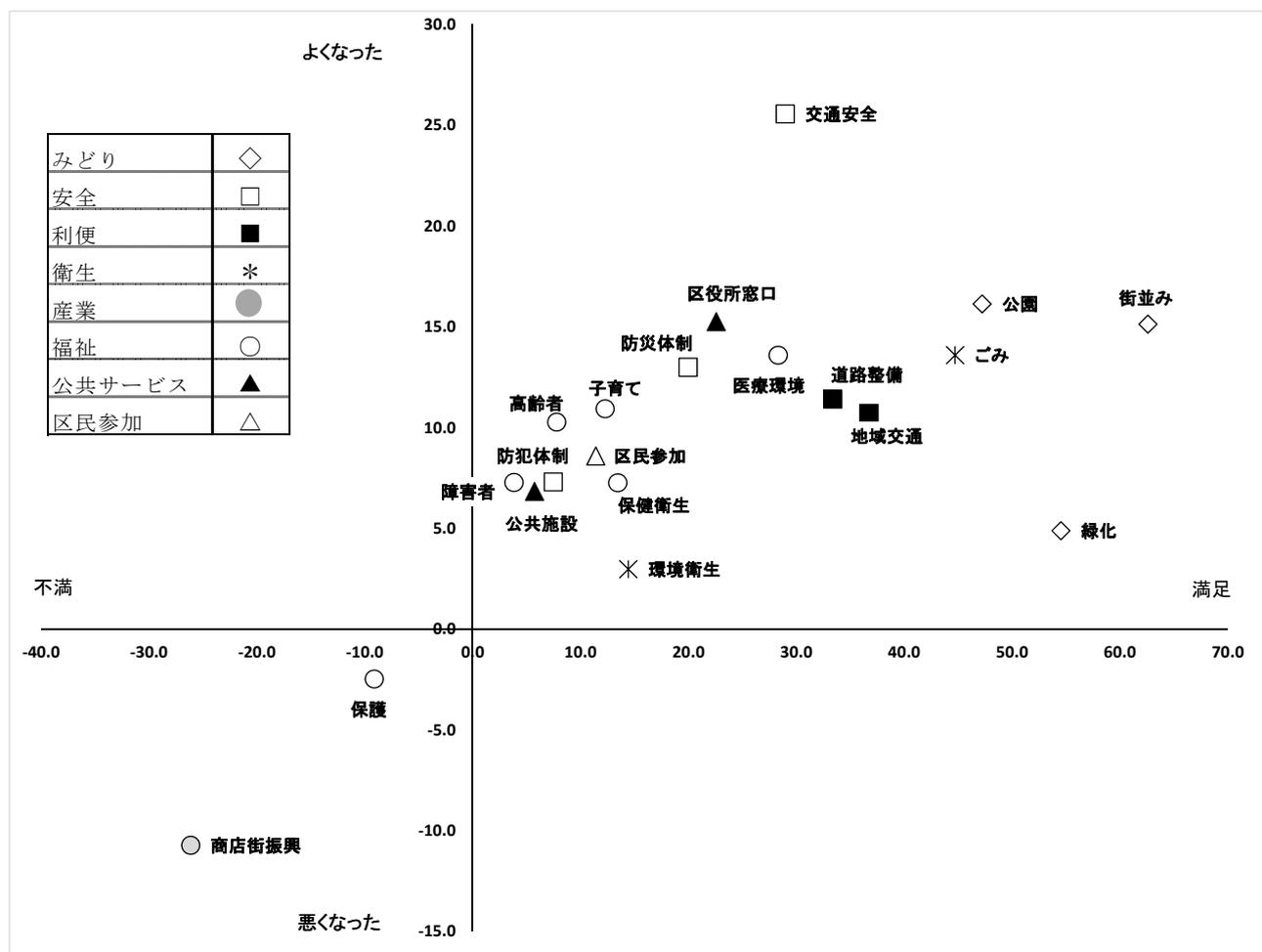
“福祉”では、『満足度』では「医療環境」「保健衛生」「子育て」「高齢者」「障害者」「保護」の順に低くなっており、『以前と比べた変化』では「医療環境」「子育て」「高齢者」「障害者」と「保健衛生」「保護」の順に低くなっている。

“公共サービス”では、「区役所窓口」では『以前と比べた変化』が比較的高くなっているが、「公共施設」では『満足度』『以前と比べた変化』ともにやや低い。

“区民参加”では、『満足度』『以前と比べた変化』ともにやや低い。

※分野---項目の共通性を考慮し、「みどり」「安全」「利便」「ごみ」「産業」「福祉」「公共サービス」「区民参加」8つの分野に分類した。

『満足度』と『以前と比べて変化』の関係



設問項目	省略表記	分野
①バスの便などの地域交通	地域交通	利便
②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	道路整備	利便
③放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	交通安全	安全
④良好な街並みの整備	街並み	みどり
⑤商店街の振興	商店街振興	産業
⑥公園などの管理・整備	公園	みどり
⑦緑の保全と緑化の推進	緑化	みどり
⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	ごみ	衛生
⑨地域の防災体制の整備	防災体制	安全
⑩地域の防犯体制の整備	防犯体制	安全
⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導	環境衛生	衛生
⑫子育て支援や青少年の健全育成	子育て	福祉
⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	保健衛生	福祉
⑭高齢者福祉	高齢者	福祉
⑮障害者福祉	障害者	福祉
⑯病院などの医療環境	医療環境	福祉
⑰経済的に困っている人の保護	保護	福祉
⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	公共施設	公共サービス
⑲広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	区民参加	区民参加
⑳身近な区役所窓口のサービス	区役所窓口	公共サービス

■ 年齢・居住地区別 満足度、以前との比較(問3×F1, 8)

① バスの便などの地域交通

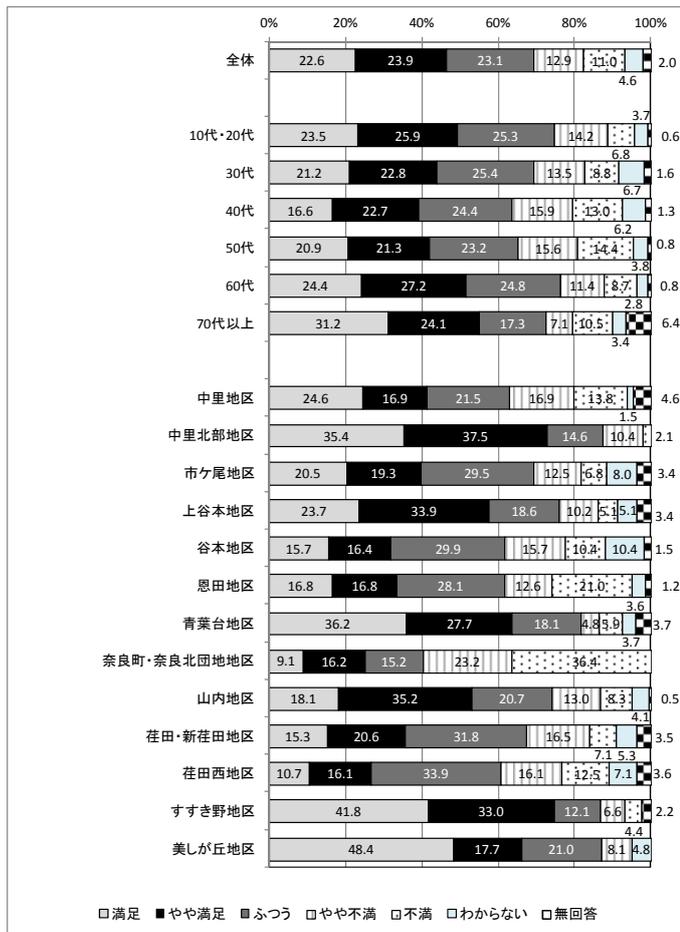
<満足度>

- ・年齢別では、70代以上で「満足」、10代・20代、60代では「やや満足」、それ以外では「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里地区、青葉台地区、すすき野地区、美しが丘地区で「満足」、中里北部地区、上谷本地区、山内地区では「やや満足」が最も多い。一方、奈良町・奈良北団地地区では「不満」が最も多い。それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を足した数値は中里北部地区、上谷本地区、青葉台地区、すすき野地区、美しが丘地区で、「やや不満」「不満」を足した数値は奈良町・奈良北団地地区で、それぞれ区全体よりも10ポイント以上高い。

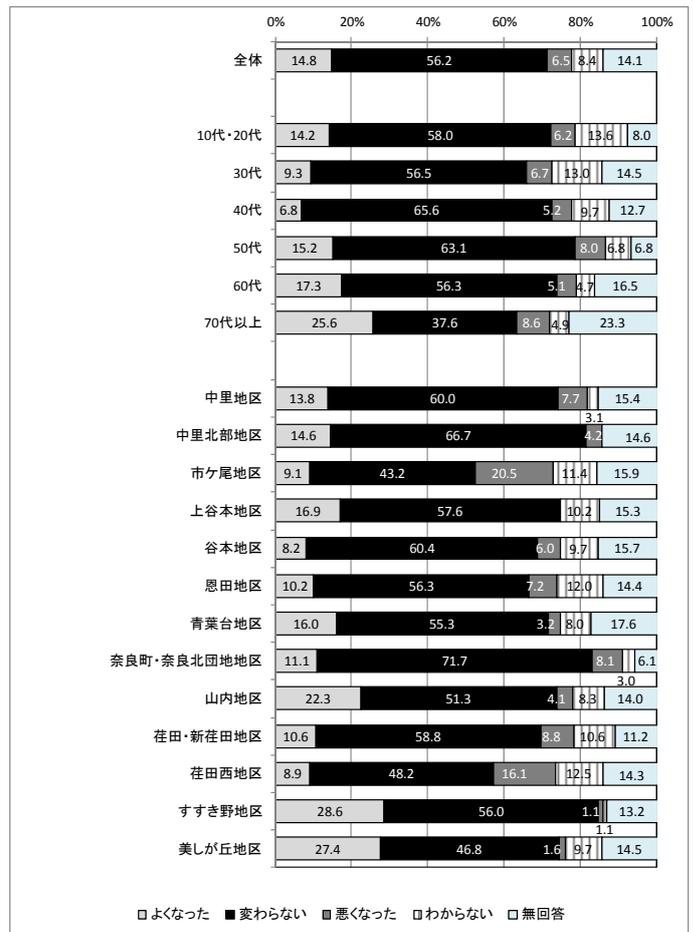
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。70代で「よくなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。すすき野地区、美しが丘地区で「よくなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。また、市ヶ尾地区で「悪くなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



② 通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備

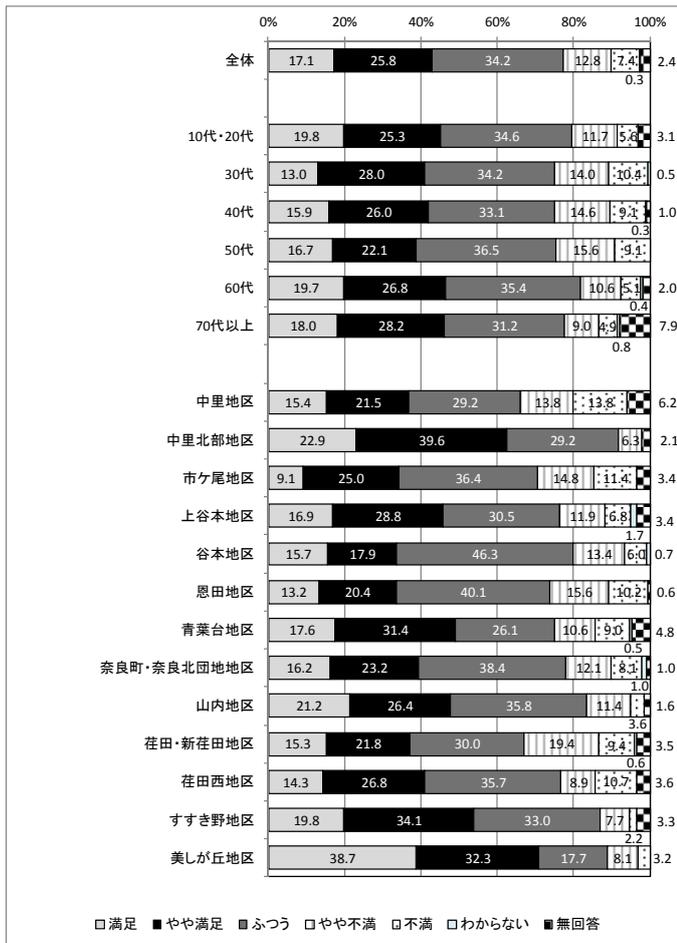
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、美しが丘地区では「満足」、中里北部地区、青葉台地区、すすき野地区では「やや満足」、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を足した数値は中里北部地区、すすき野地区、美しが丘地区でそれぞれ区全体よりも10ポイント以上高い。

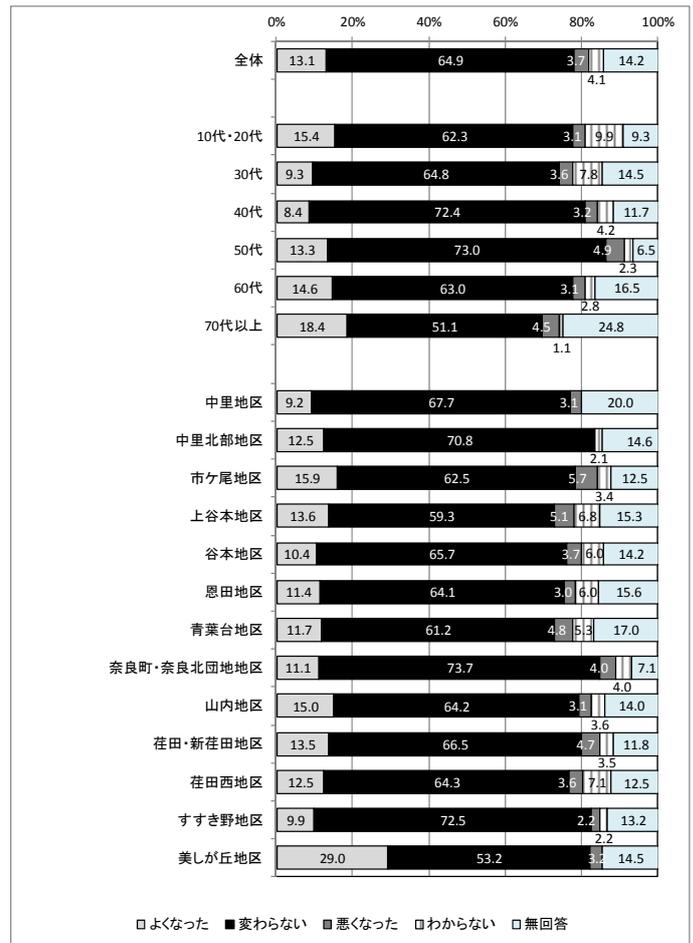
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。美しが丘地区では「よくなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策

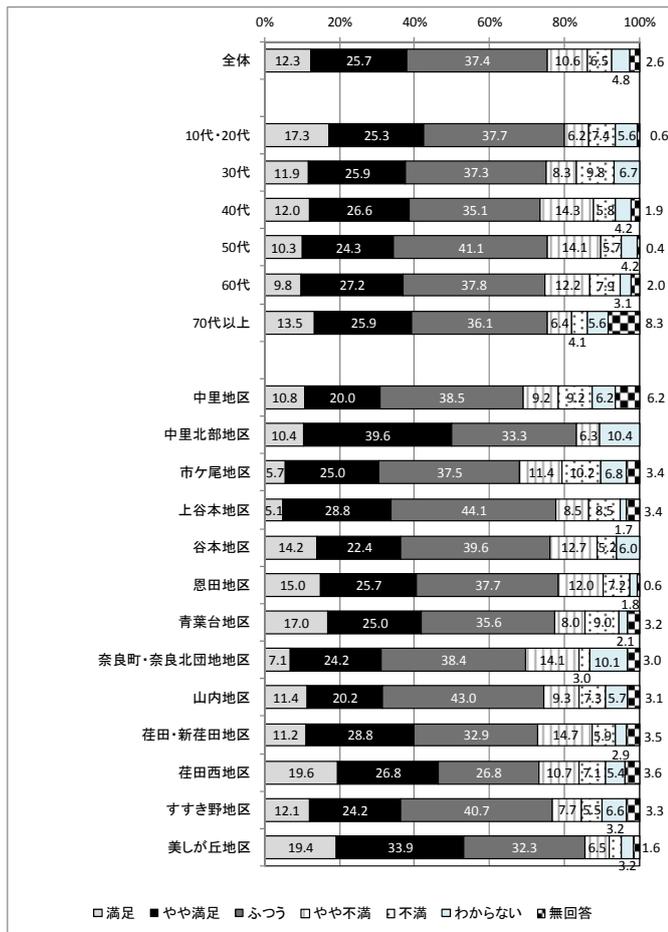
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里北部地区、美しが丘地区で「やや満足」が最も多く、荇田西地区では「やや満足」と「ふつう」が同率、それ以外は「ふつう」が最も多い。また「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里北部地区、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

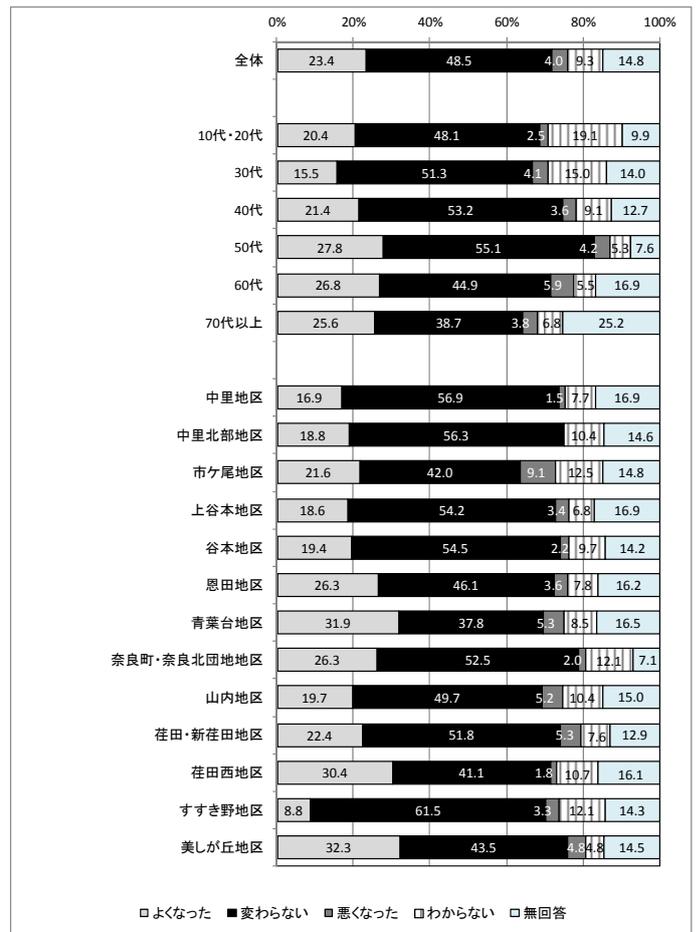
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。すすき野地区では「変わらない」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



④ 良好な街並みの整備

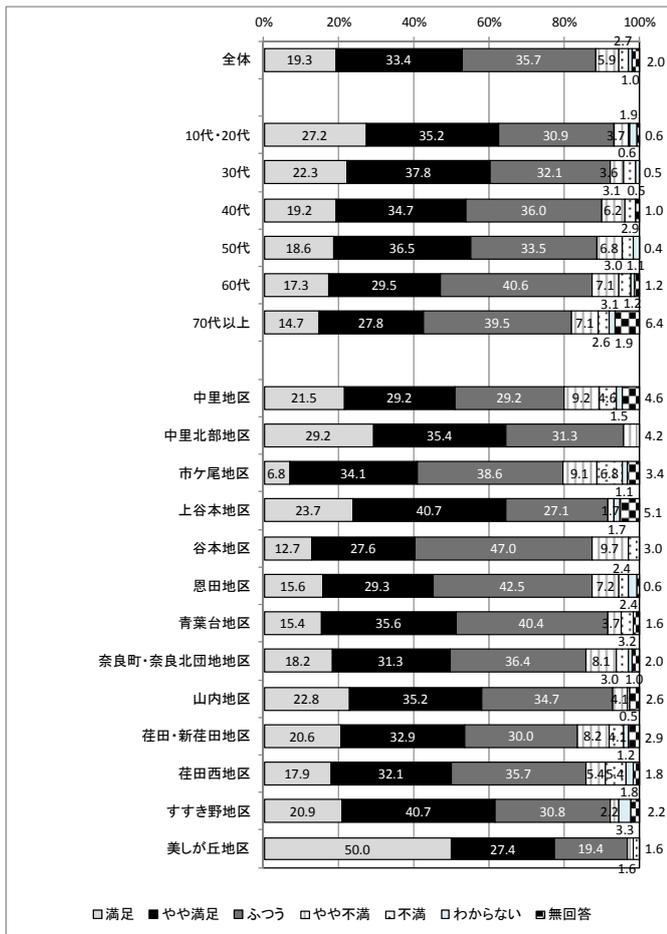
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代、30代及び50代では「やや満足」、40代及び60代より上の年代では「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、美しが丘地区では「満足」、中里北部地区、上谷本地区、山内地区、荏田・新荏田地区、すすき野地区では「やや満足」が最も多く、中里地区では「やや満足」と「ふつう」が同率、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里北部地区、上谷本地区、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

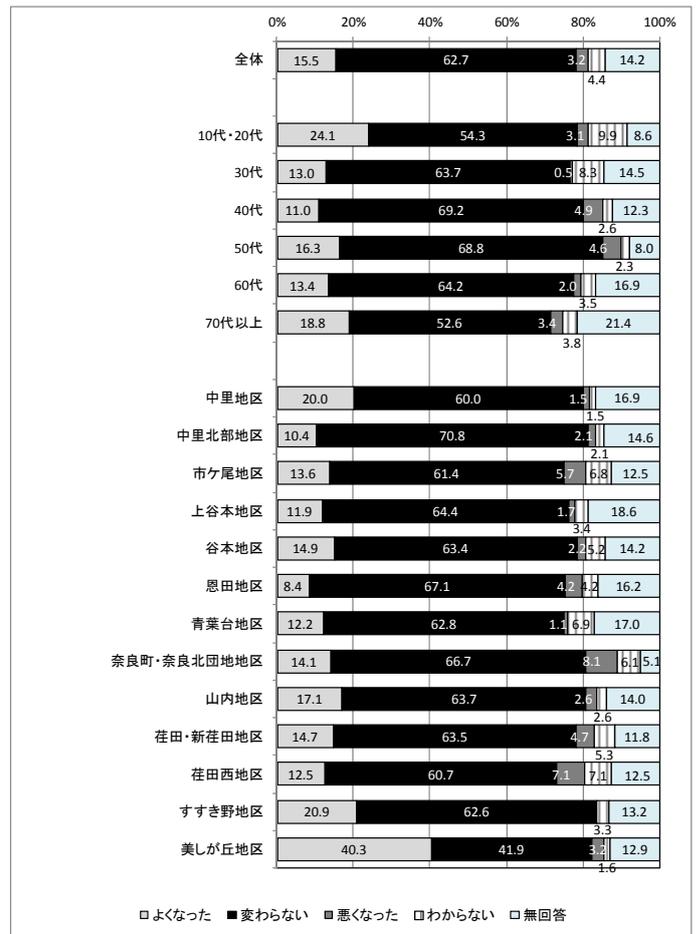
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、美しが丘地区では「よくなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑤ 商店街の振興

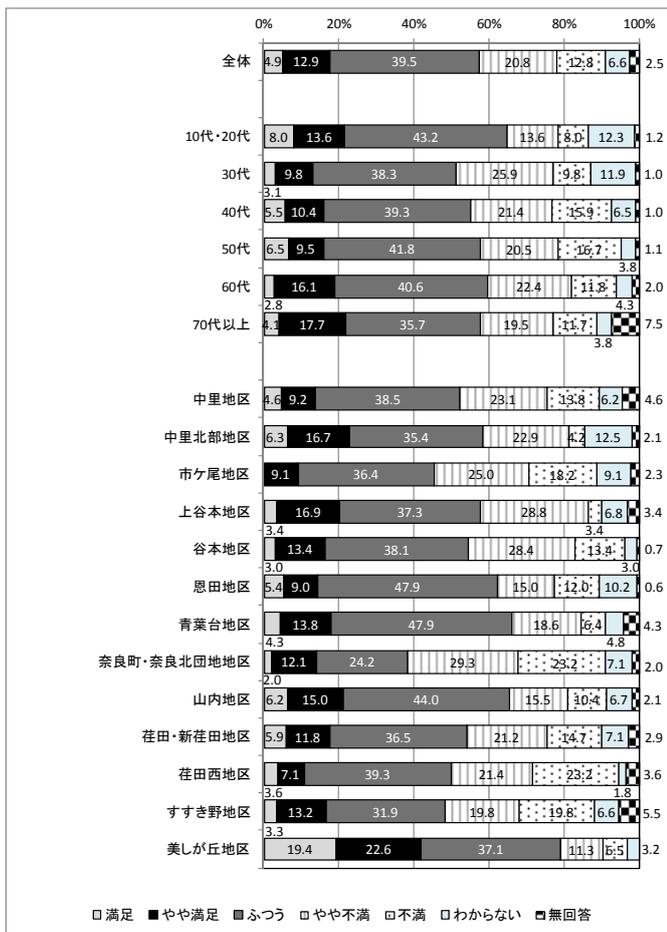
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、奈良・奈良北団地地区のみ「やや不満」が最も多く、その他の地区では「ふつう」が最も多い。また「満足」と「やや満足」を合わせた数値は美しが丘地区で、「やや不満」と「不満」を合わせた数値は奈良町・奈良北団地地区と荻田西地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

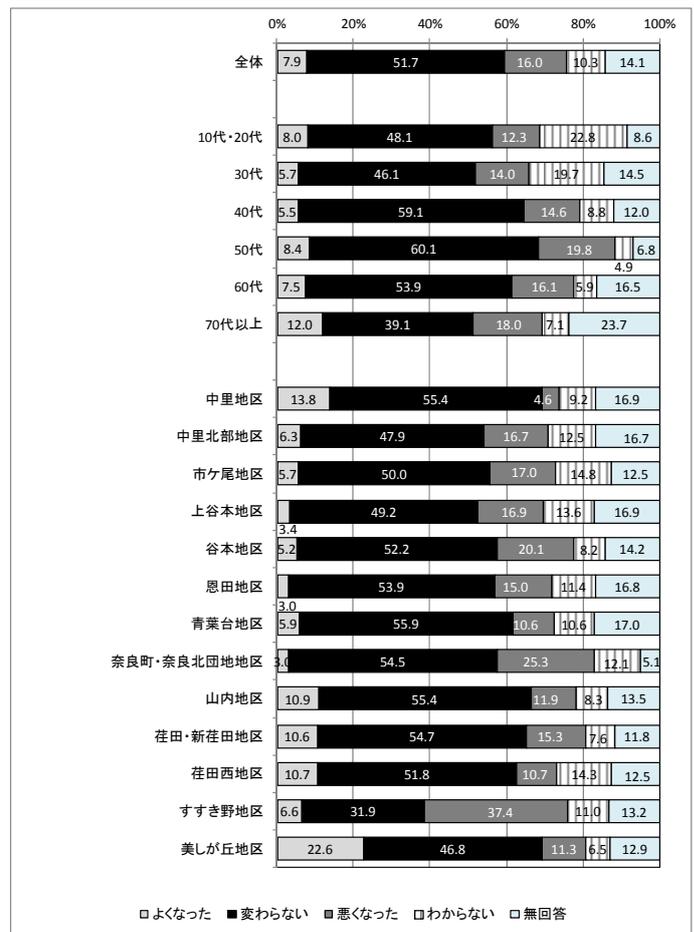
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代では「わからない」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、すすき野地区で「悪くなった」が最も多く、その他の地区では「変わらない」が最も多い。また、美しが丘地区では「よくなった」、すすき野地区では「悪くなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑥ 公園などの管理・整備

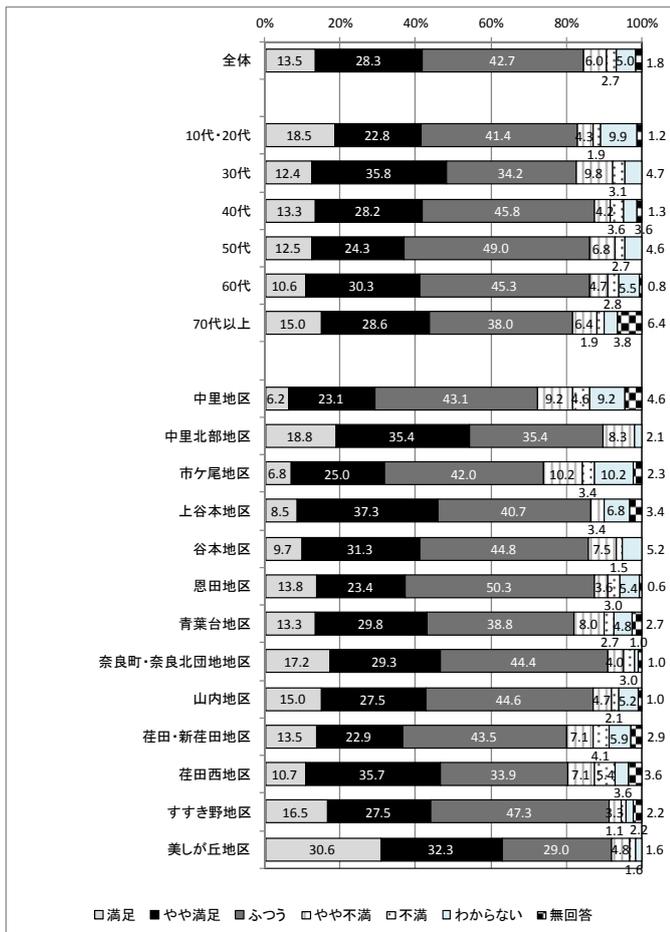
<満足度>

- ・年齢別では、30代で「やや満足」、その他の年代では「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、荇田西地区、美しが丘地区で「やや満足」が最も多く、中里北部地区では「やや満足」と「ふつう」が同率、その他の年代では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里北部地区、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

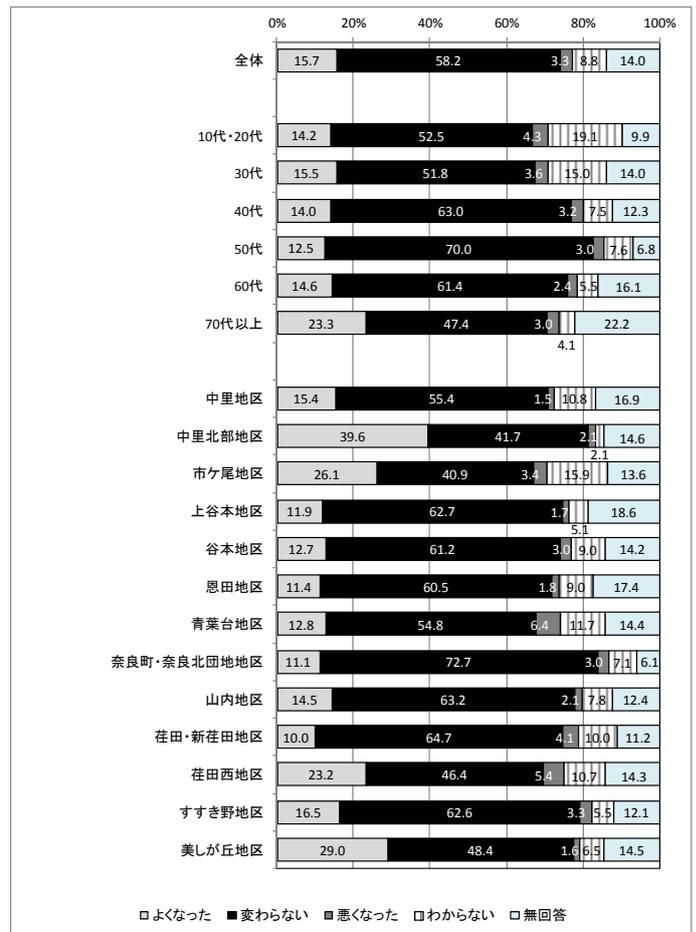
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、中里北部地区、市ヶ尾地区、美しが丘地区で「よくなった」、奈良町・奈良北団地地区で「変わらない」が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑦ 緑の保全と緑化の推進

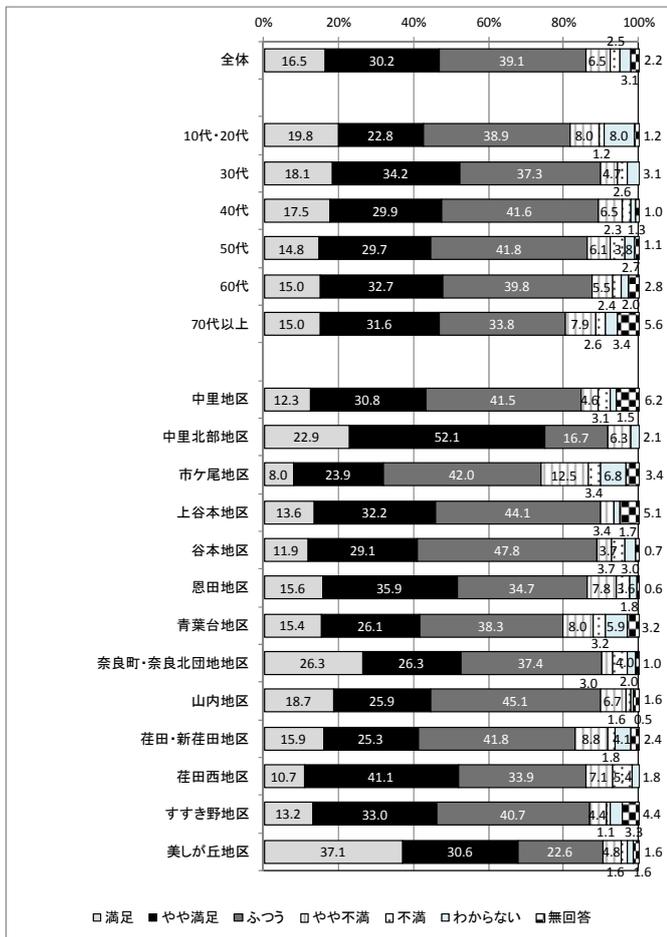
<満足度>

- ・年齢別ではいずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、美しが丘地区で「満足」、中里北部地区、恩田地区、荇田西地区で「やや満足」、その他の地区では「ふつう」が最も多い。「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里北部地区、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

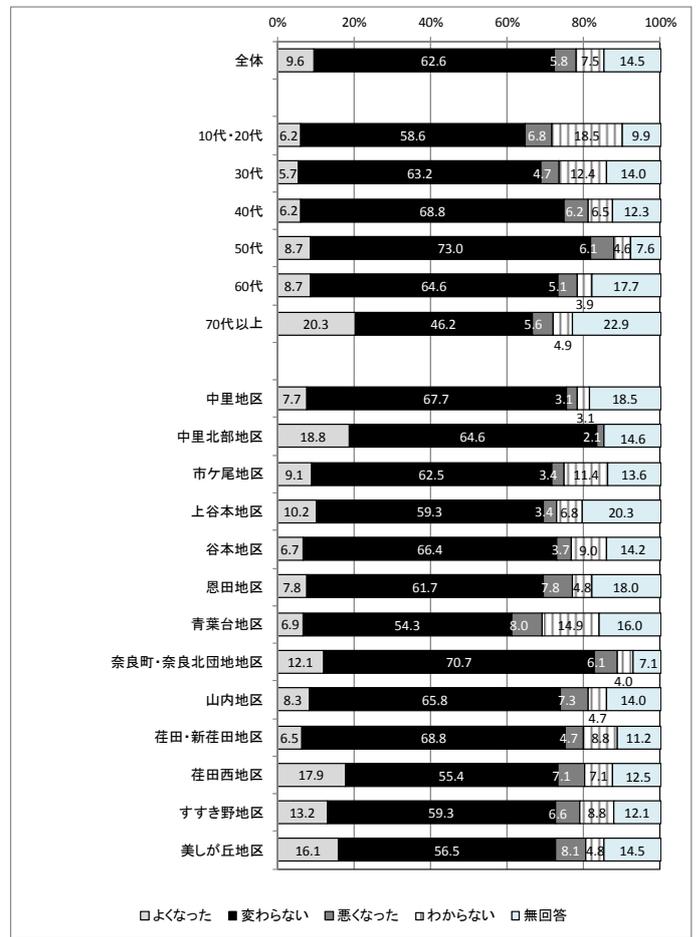
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、70代以上では「よくなった」、50代では「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化

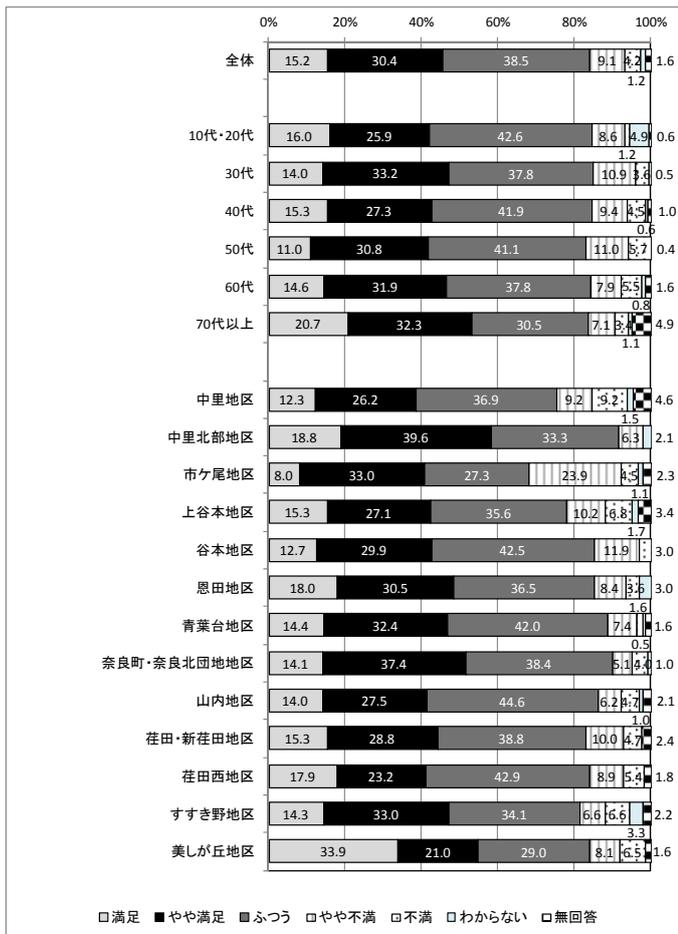
<満足度>

- ・年齢別では、70代以上では「やや満足」、それ以外は「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、美しが丘地区で「満足」、中里北部地区、市ヶ尾地区で「やや満足」、その他の地区では「ふつう」が最も多い。また「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里北部地区で、「やや不満」と「不満」を合わせた数値は市ヶ尾地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

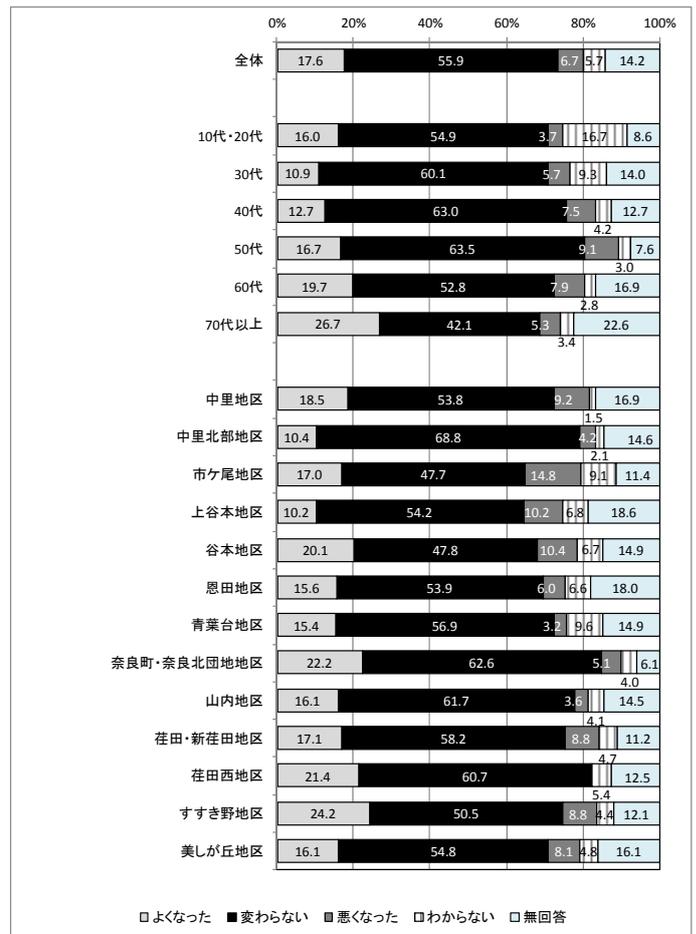
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代では「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、中里北部地区で「変わらない」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑨ 地域の防災体制の整備

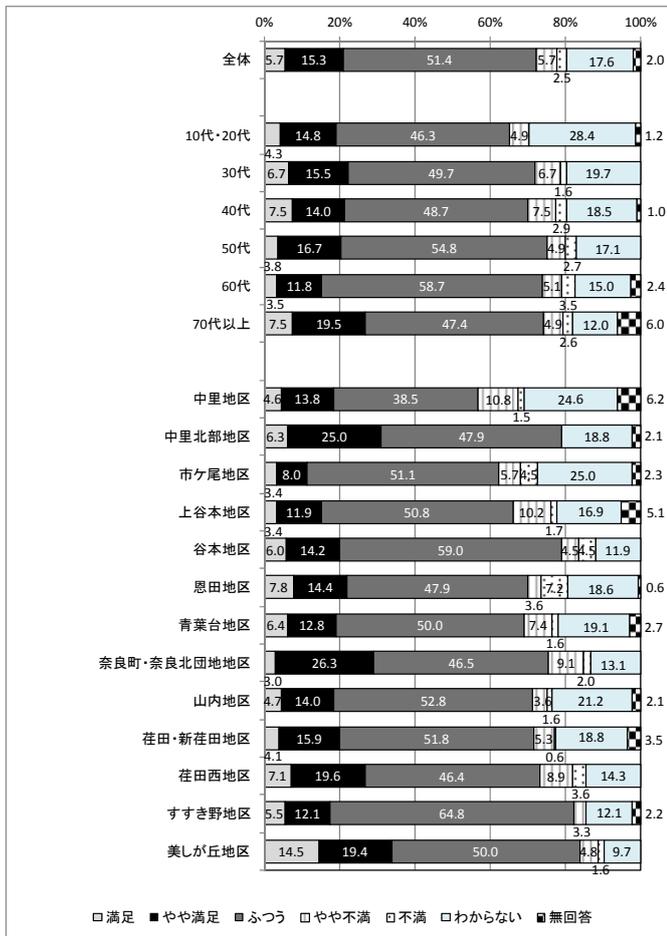
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里北部地区、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

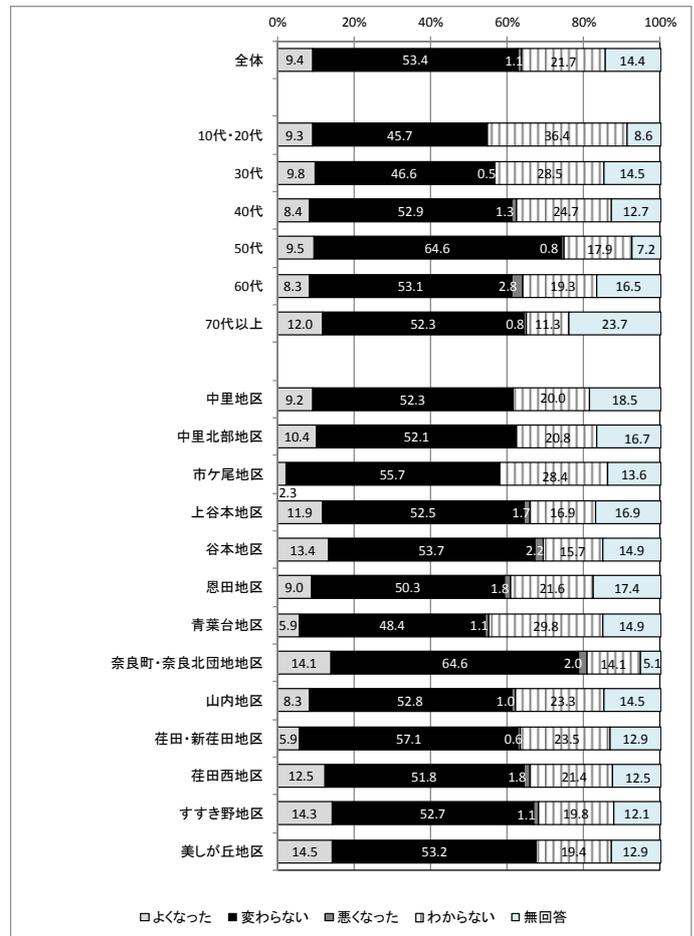
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、50代で「変わらない」の数値が、10代・20代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、奈良町・奈良北団地地区で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑩ 地域の防犯体制の整備

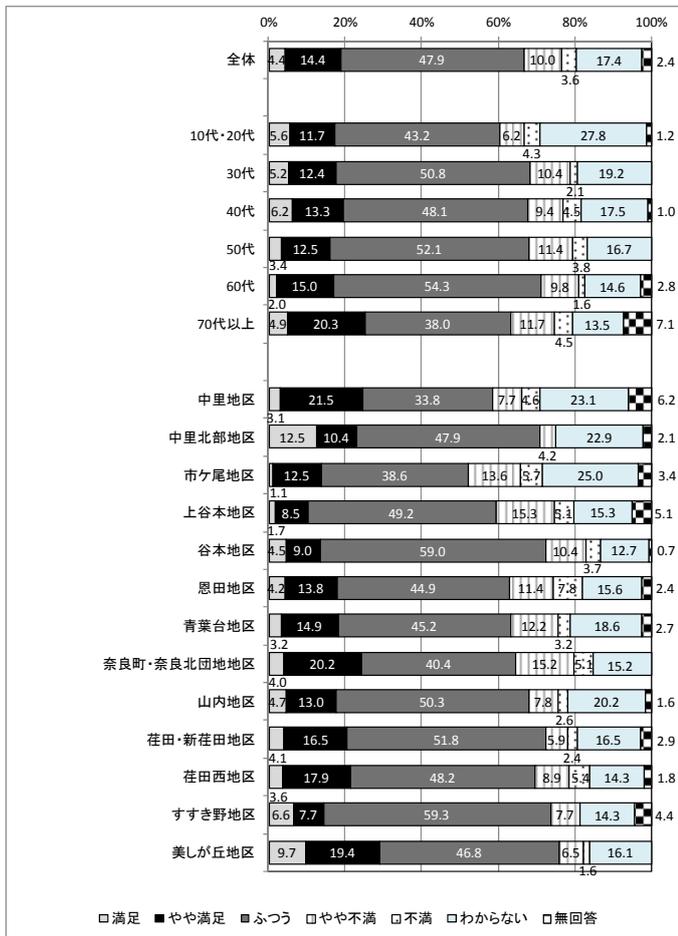
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」と「やや満足」を合わせた数値は美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

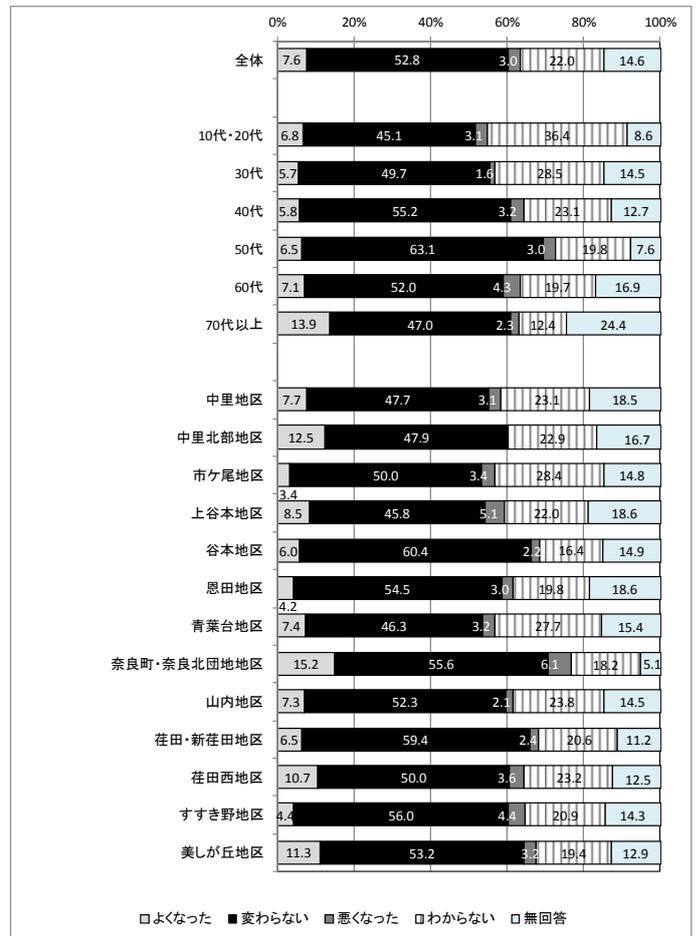
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代で「わからない」、50代で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導

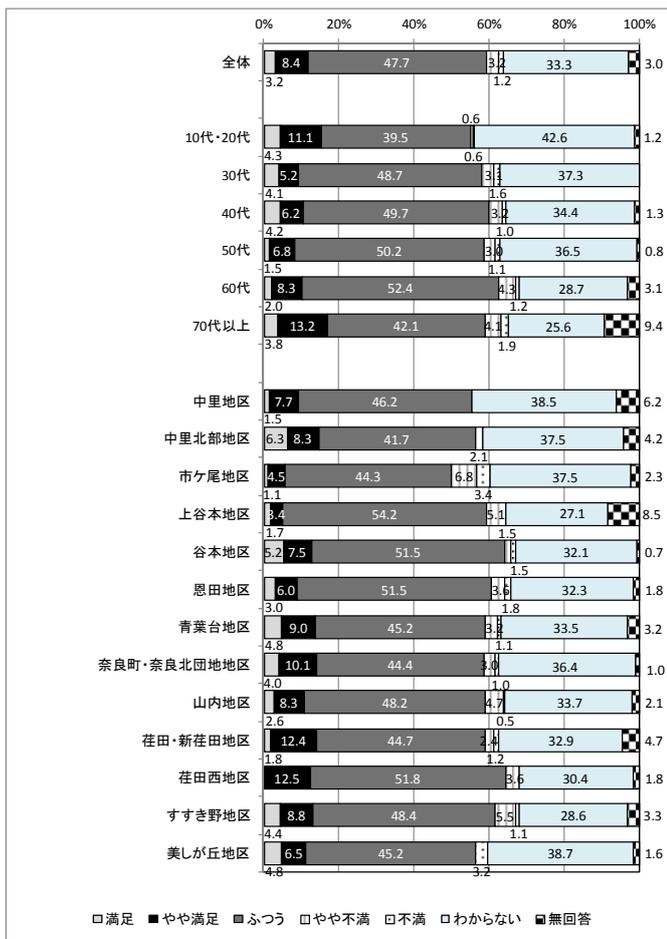
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代ではいずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

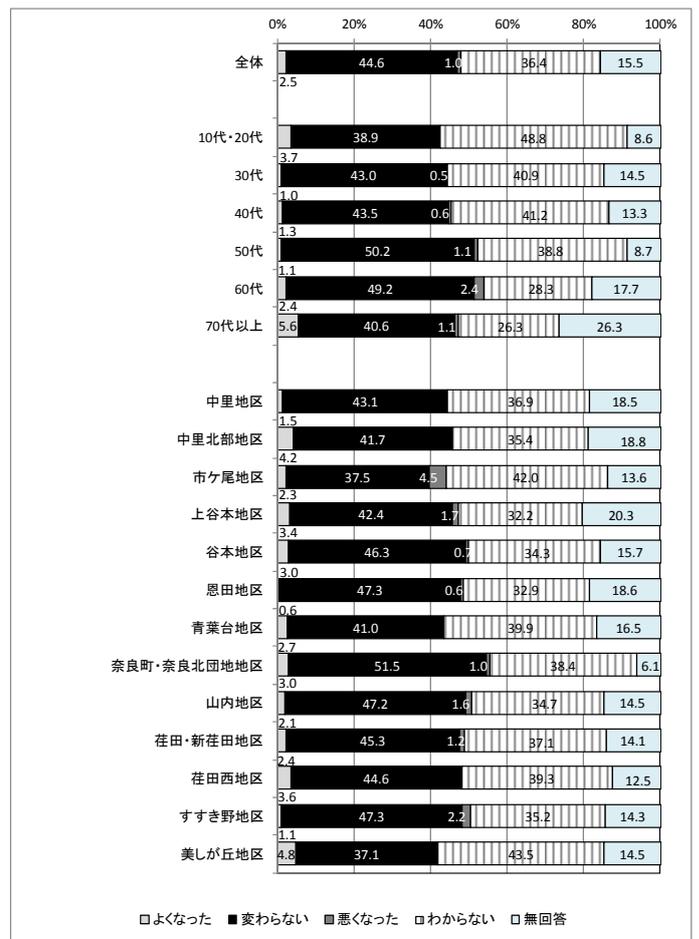
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代ではいずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、市ヶ尾地区、美しが丘地区で「わからない」が最も多く、その他の地区では「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑫ 子育て支援や青少年の健全育成

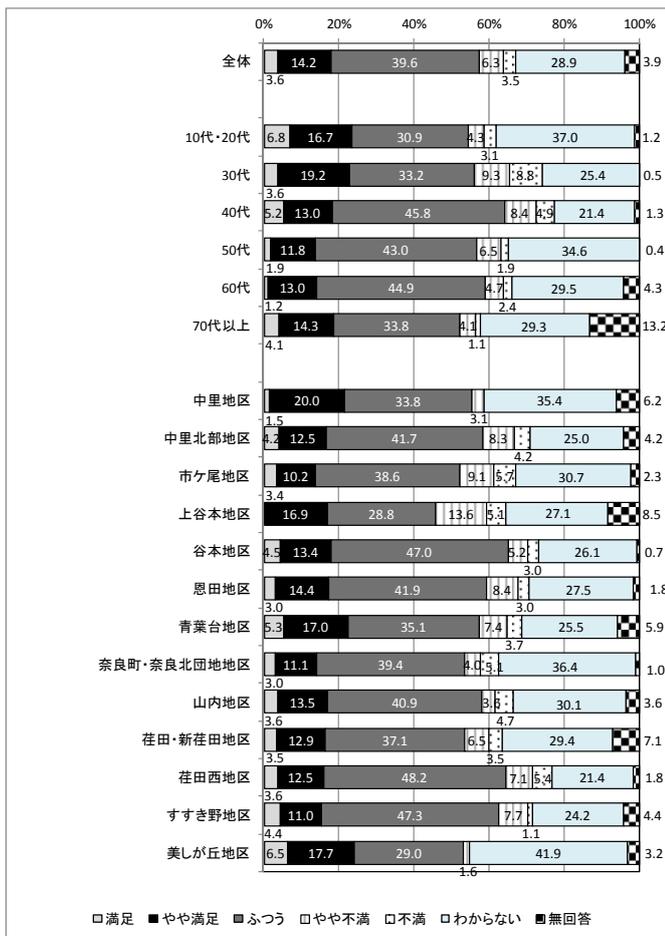
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里地区及び美しが丘地区で「わからない」が最も多い。その他の地区は「ふつう」が最も多い。

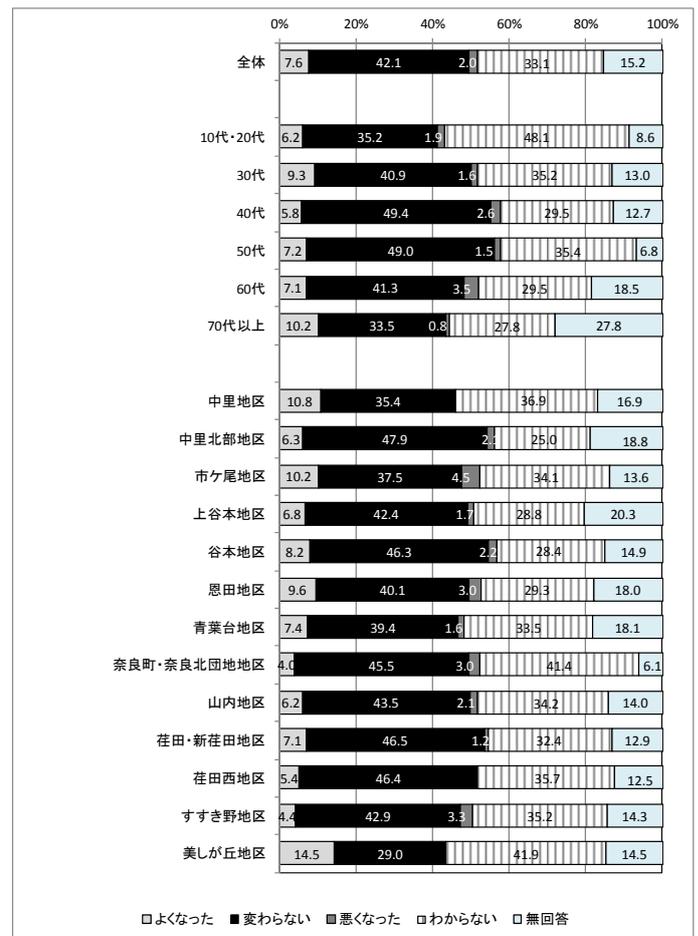
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「変わらない」が最も多い。また、10代・20代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、中里地区及び美しが丘地区で「わからない」が最も多い。その他の地区は「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑬ 感染症・生活習慣病などの保健推進

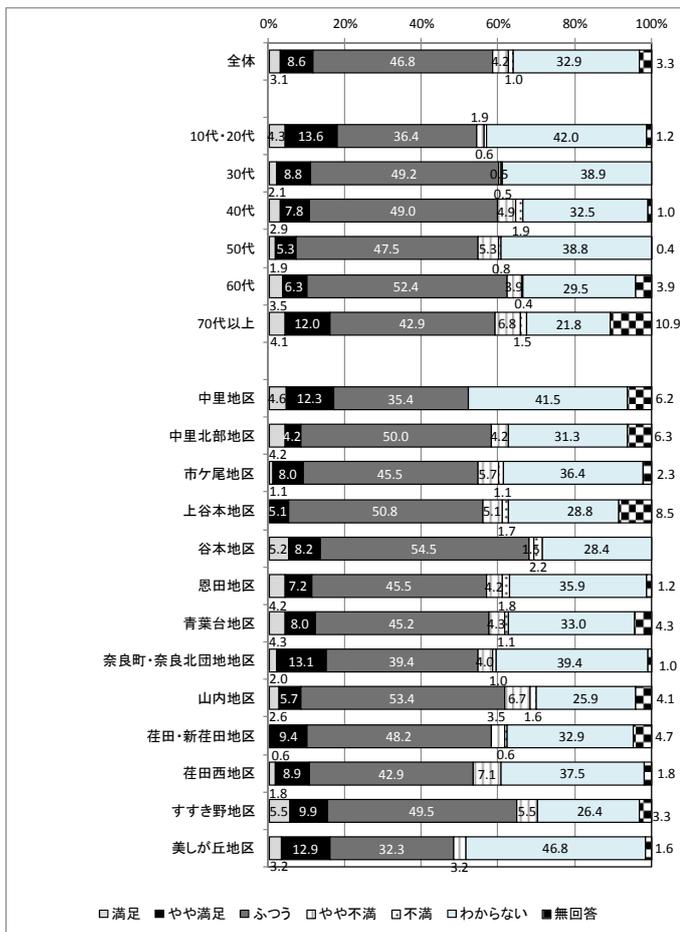
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里地区、及び美しが丘地区で「わからない」が最も多く、奈良町・奈良北団地地区では「ふつう」と「わからない」が同率、その他の地区は「ふつう」が最も多い。

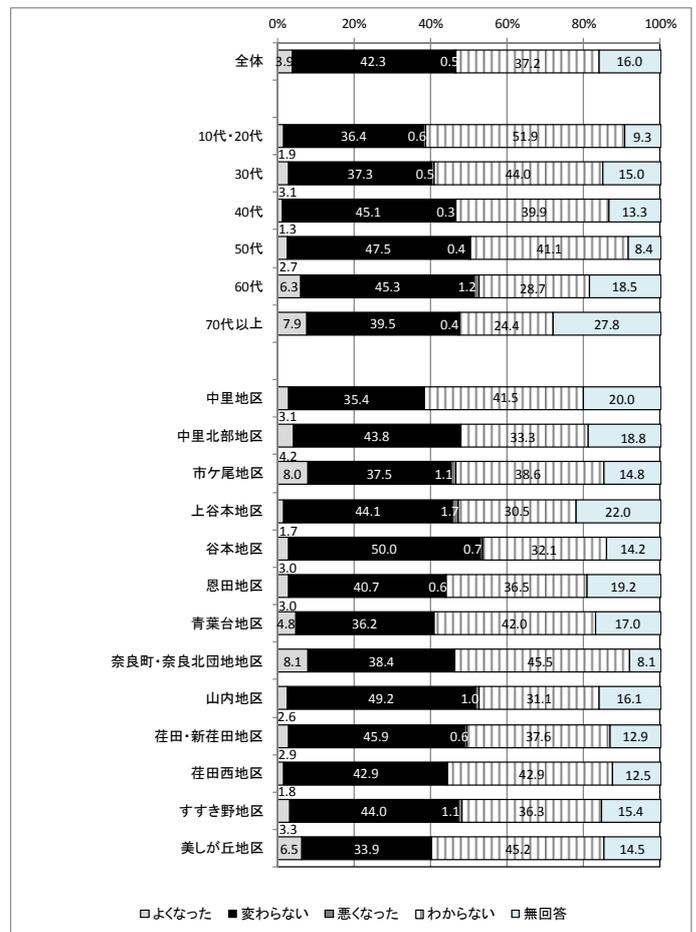
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代及び30代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「変わらない」が最も多い。また、10代・20代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、中里地区、市ヶ尾地区、青葉台地区、奈良町・奈良北団地地区、荇田西地区、美しが丘地区で「わからない」が最も多い。その他の地区は「ふつう」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑭ 高齢者福祉

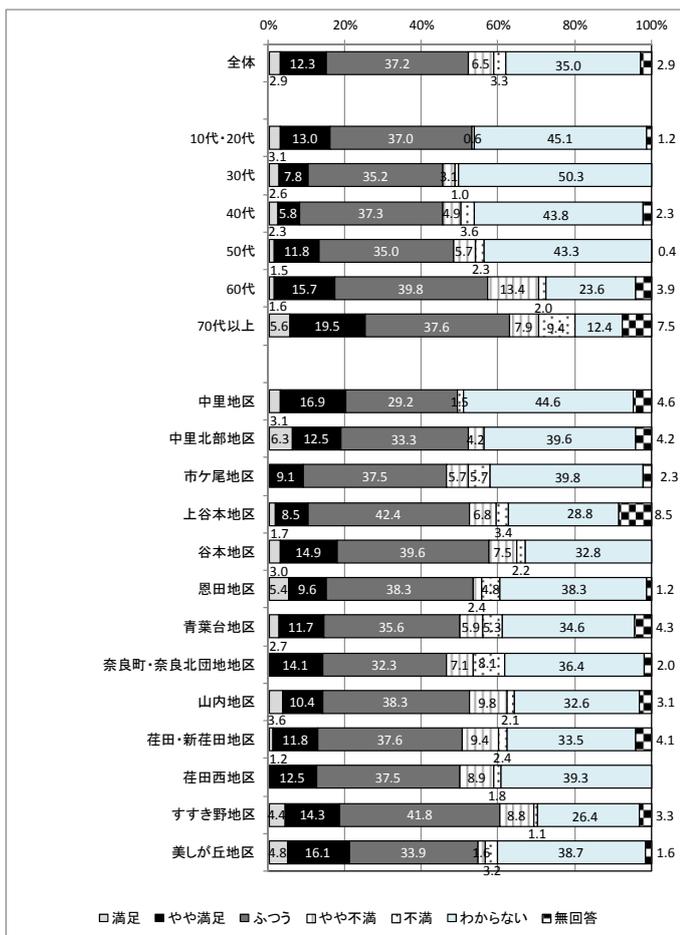
<満足度>

- ・年齢別では、60代及び70代以上で「ふつう」が最も多い。その他の年代では「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、上谷本地区、谷本地区、青葉台地区、山内地区、荇田・新荇田地区、すすき野地区で「ふつう」が最も多い。一方、中里地区、中里北部地区、市ヶ尾地区、奈良町・奈良北団地地区、荇田西地区、美しが丘地区で「わからない」が最も多い。なお、恩田地区では「ふつう」と「わからない」が同率である。

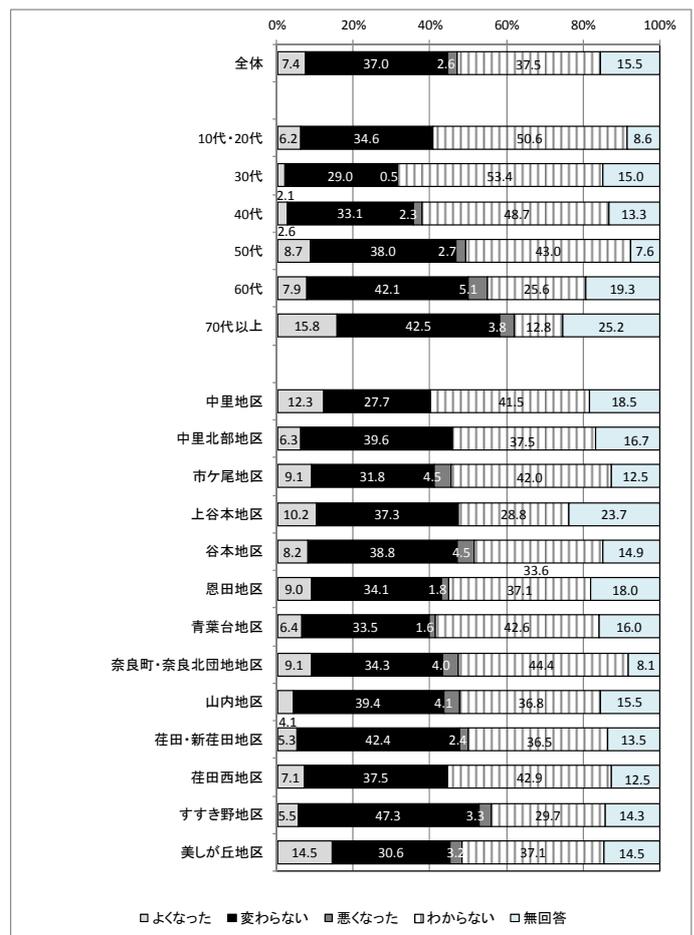
<以前との比較>

- ・年齢別では、60代及び70代以上で「変わらない」が最も多い。その他の年代では「わからない」が最も多い。また、10代・20代、30代、40代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、中里北部地区、上谷本地区、谷本地区、山内地区、荇田・新荇田地区、すすき野地区で「変わらない」が最も多い。その他の地区は「わからない」が最も多い。また、すすき野地区で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑮ 障害者福祉

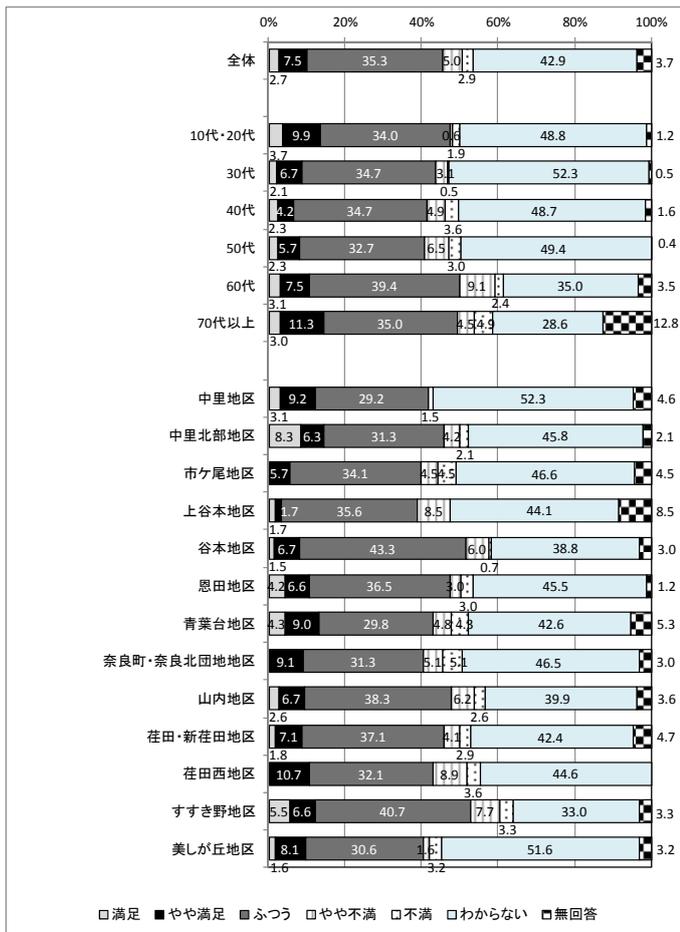
<満足度>

- ・年齢別では、60代、70代以上で「ふつう」が最も多い。それ以外の年代では「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、谷本地区、すすき野地区で「ふつう」が最も多い。その他の地区は「わからない」が最も多い。

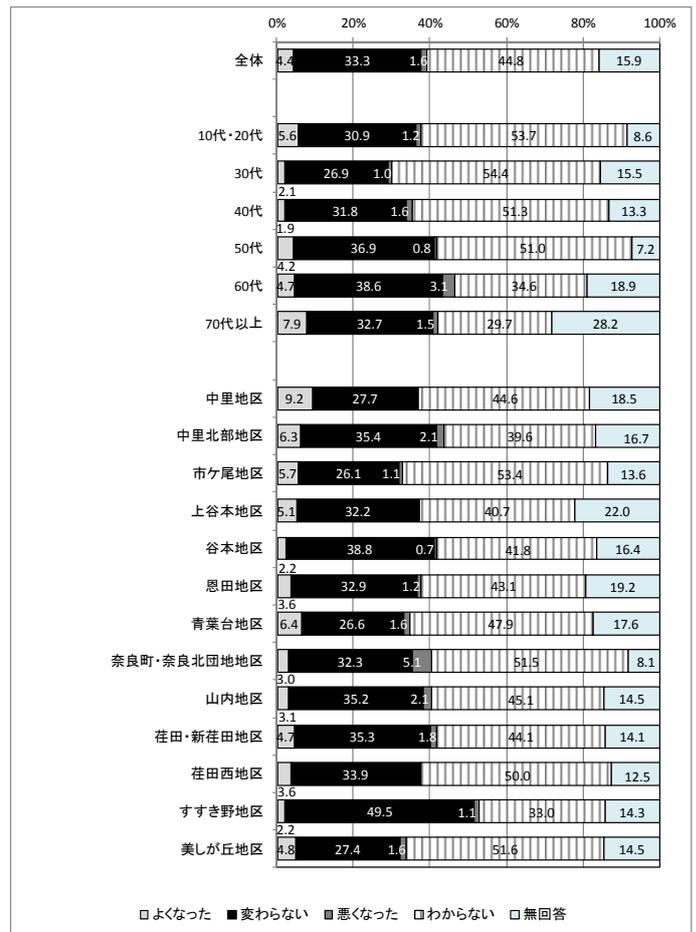
<以前との比較>

- ・年齢別では、60代、70代以上で「変わらない」が最も多い。それ以外の年代では「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、すすき野地区で「変わらない」が最も多い。その他の地区は「わからない」が最も多い。また、すすき野地区で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑯ 病院などの医療環境

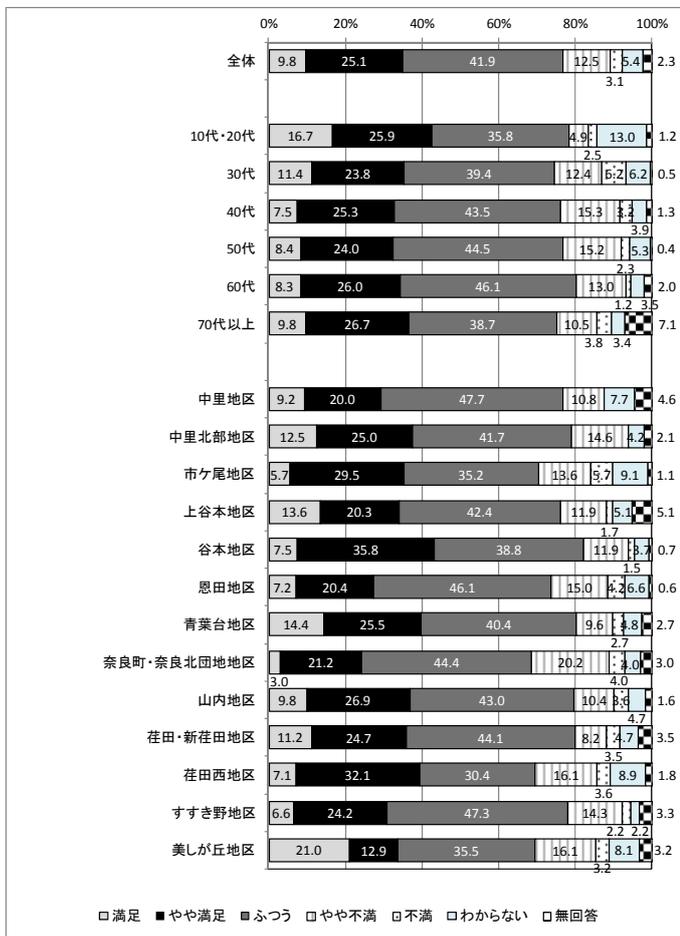
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

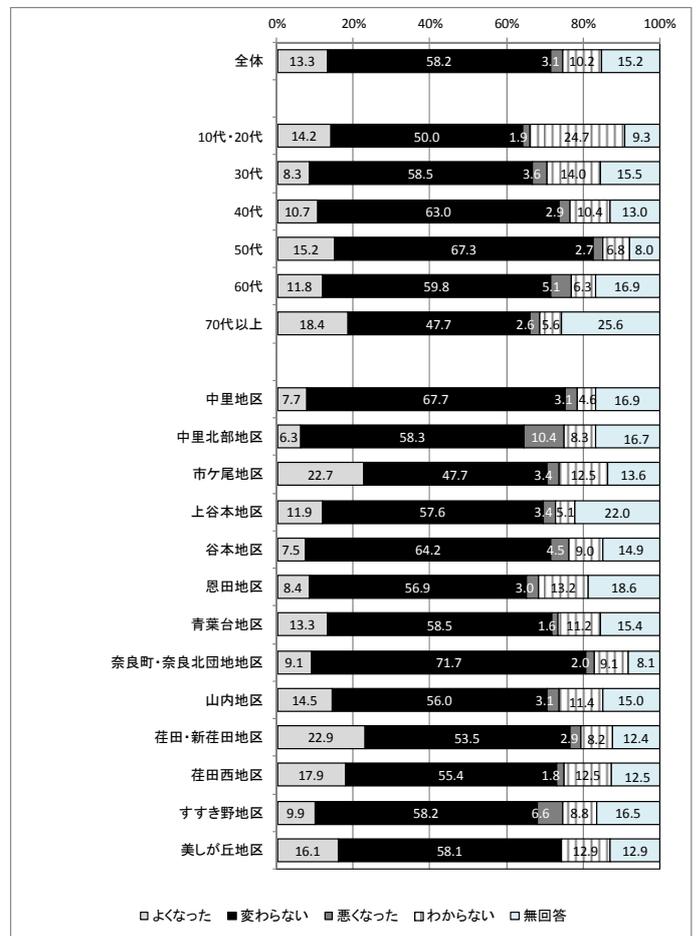
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、奈良町・奈良北団地地区で「変わらない」の数値区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑰ 経済的に困っている人の保護

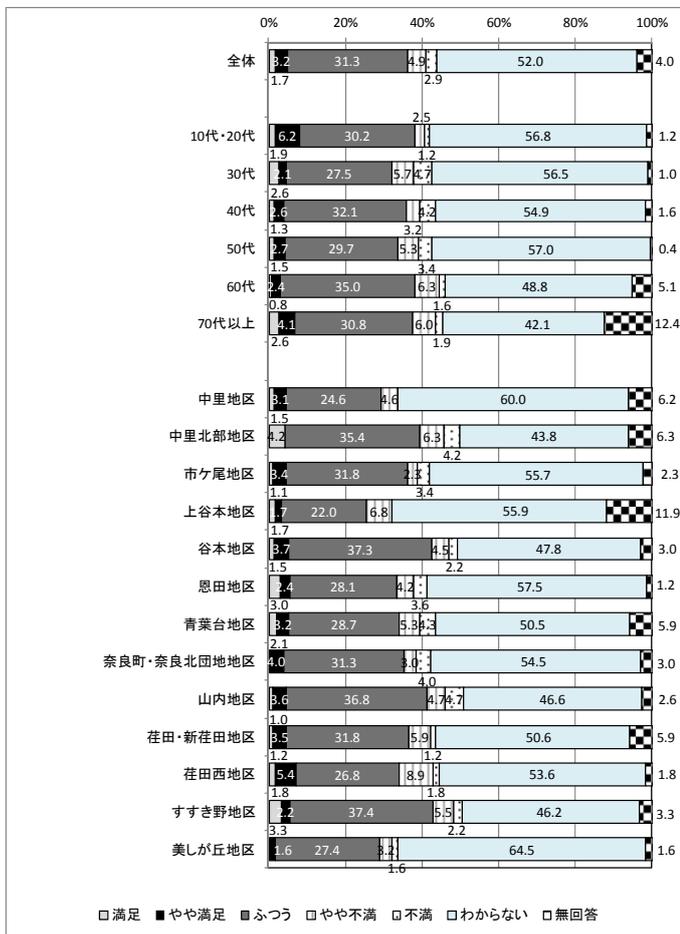
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「わからない」が最も多い。

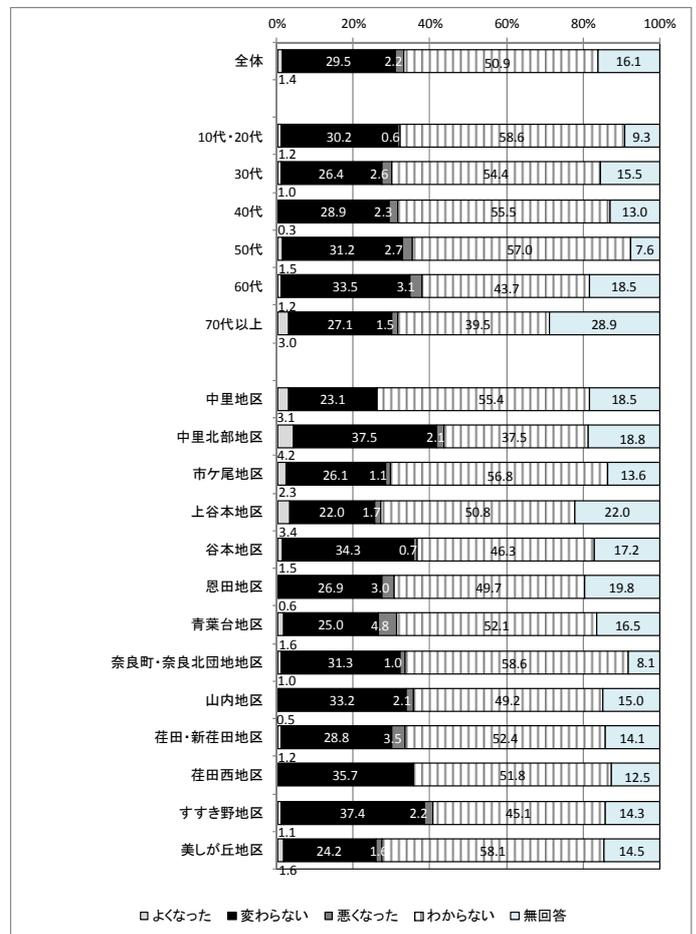
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、中里北部地区で「変わらない」と「わからない」が同率であるほかは、いずれも「わからない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑩ 地区センター・スポーツセンターなどの施設

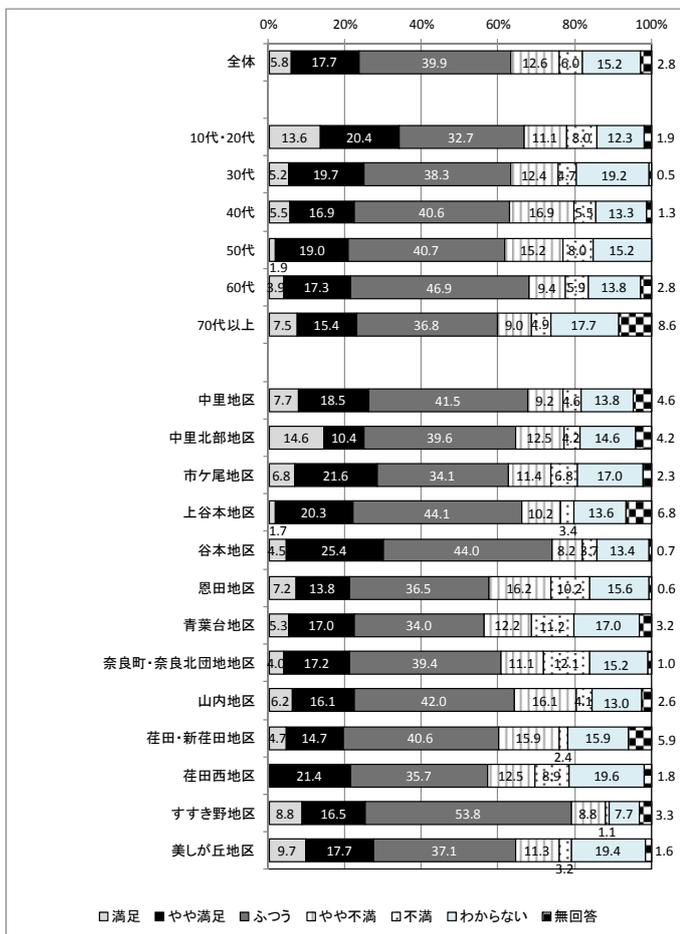
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は10代・20代で区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

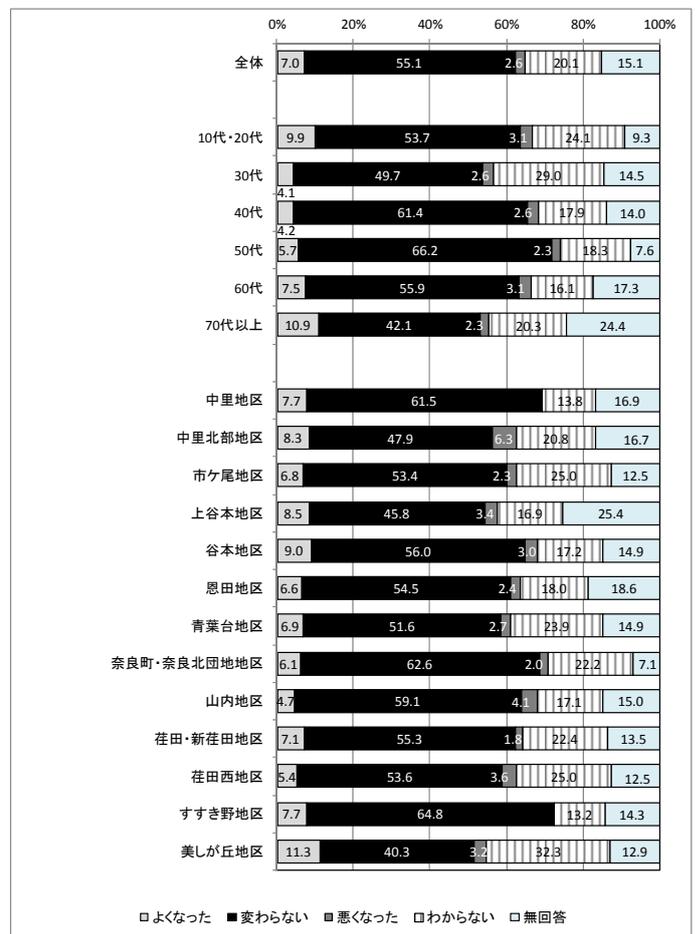
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、50代で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、美しが丘地区で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑱ 広報や広聴、市民相談など区民参加の推進

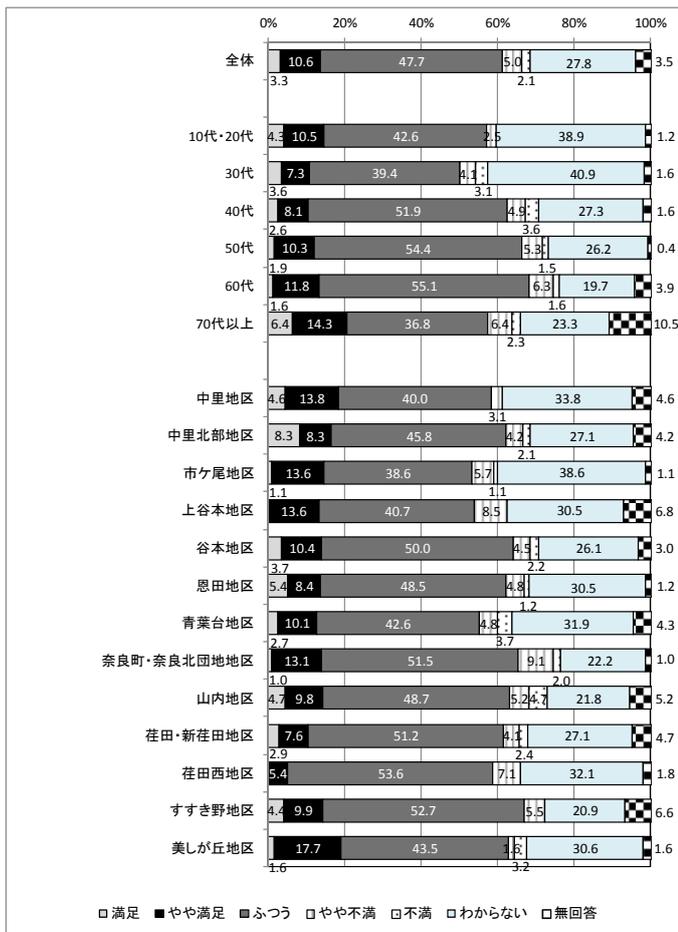
<満足度>

- ・年齢別では、30代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「ふつう」が最も多い。また、10代・20代、30代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、市ヶ尾地区で「ふつう」と「わからない」が同率、その他の地区は「ふつう」が最も多い。

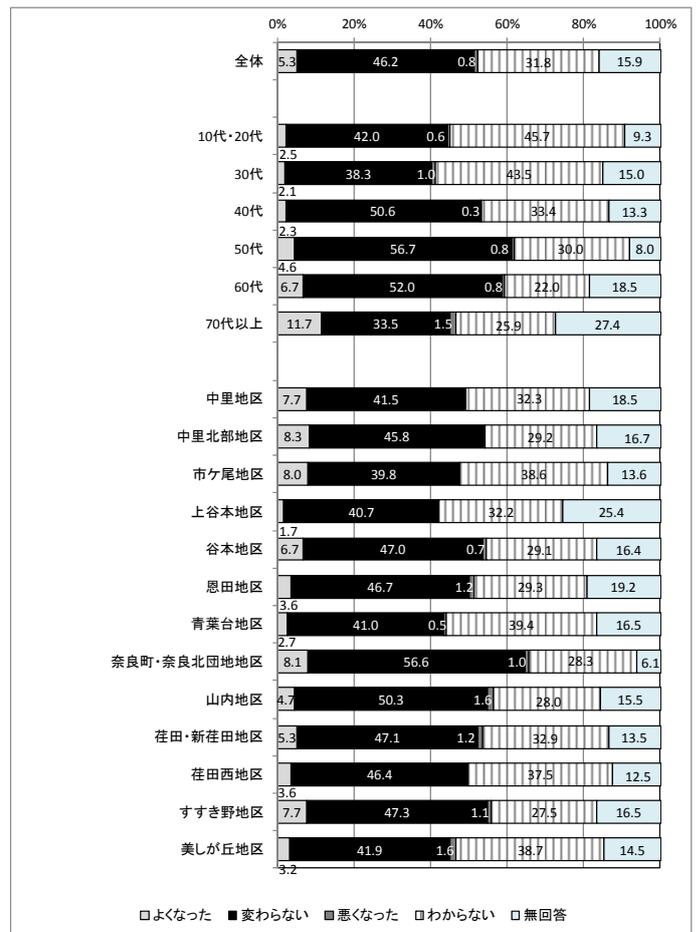
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代、30代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「変わらない」が最も多い。また、10代・20代、30代で「わからない」、50代で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、奈良町・奈良北団地地区で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑩ 身近な区役所窓口のサービス

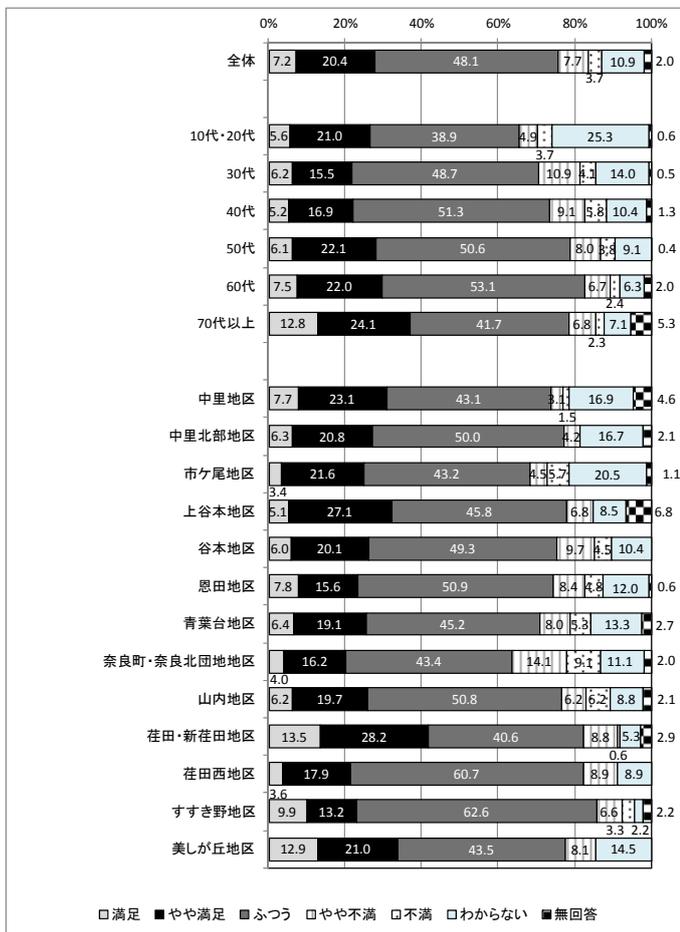
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「やや不満」と「不満」を合わせた数値が、奈良町・奈良北団地地区で区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

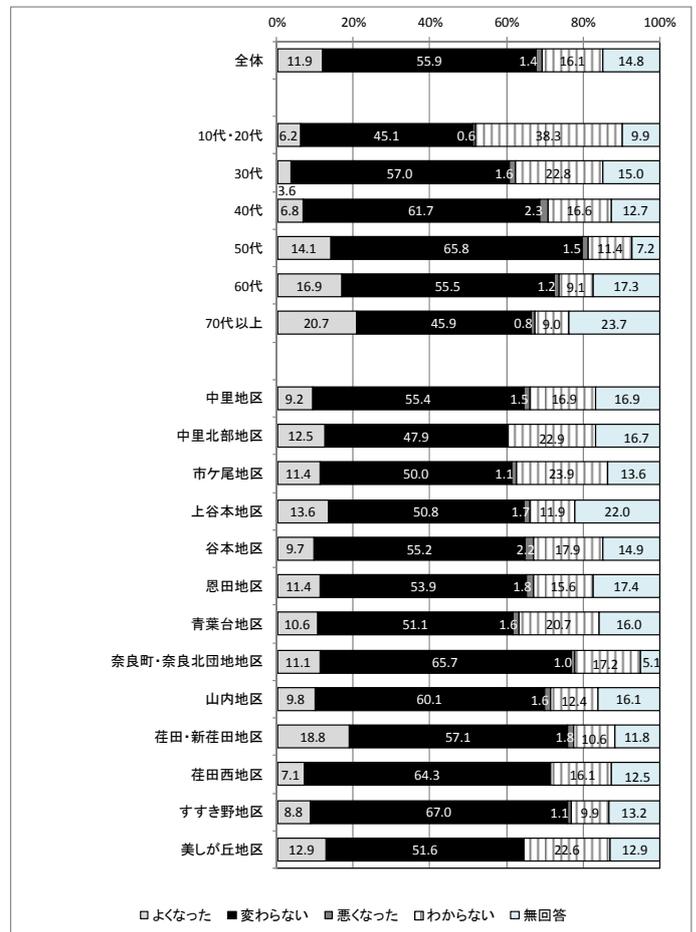
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代では「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、すすき野地区で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度

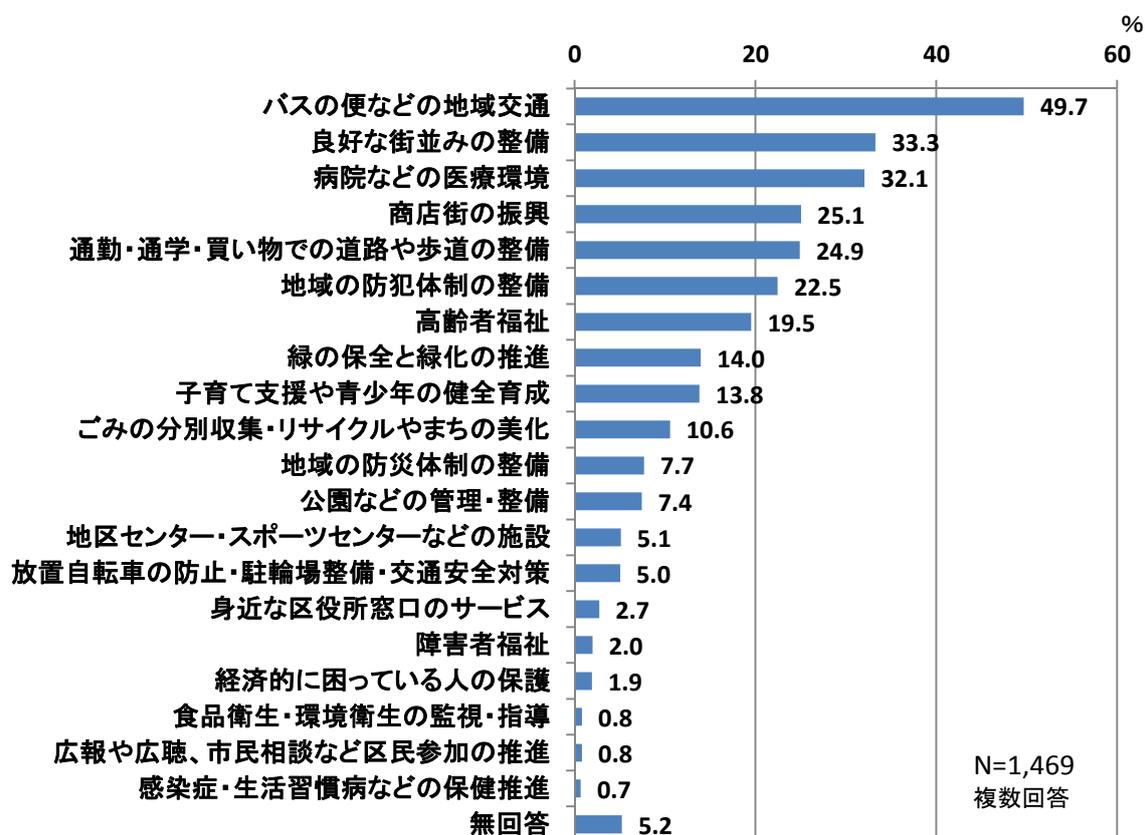


以前との比較



問4 仮に今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺環境で、特に重視するのはどのようなことですか。(該当する項目の番号を3つまで記入)

- ・「①バスの便などの地域交通」が49.7%で最も多く、半数近くの人が挙げている。「④良好な街並みの整備」(33.3%)、「⑩病院などの医療環境」(32.1%)も3割を超えている。次いで「⑤商店街の振興」(25.1%)、「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」(24.9%)、「⑩地域の防犯体制の整備」(22.5%)が2割台となっている。以下「⑭高齢者福祉」(19.5%)、「緑の保全と緑化の推進」(14.0%)、「⑫子育て支援や青少年の健全育成」(13.8%)の順である。



■ 年齢別 重視する生活環境項目：上位 5 位（問 4×F1）

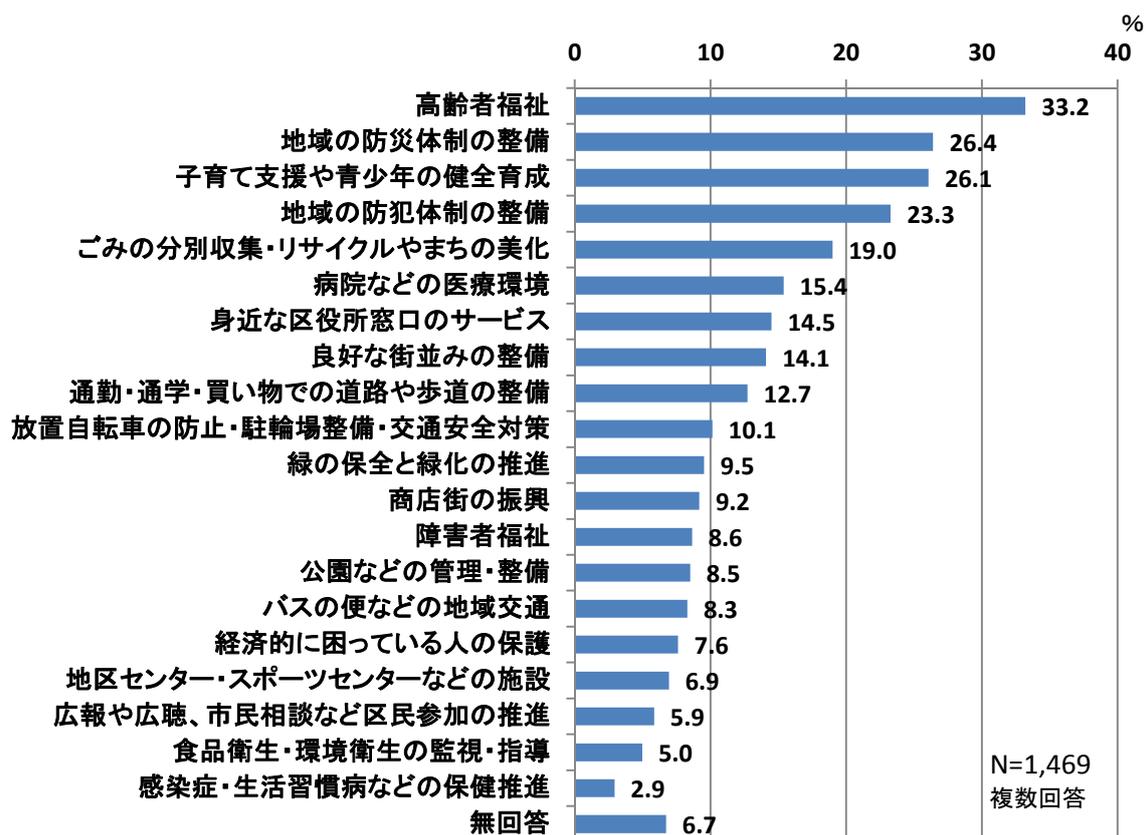
・いずれの年代でも「①バスの便などの地域交通」が最も多く、特に 10 代・20 代では概ね 6 割が挙げている。「④良好な街並みの整備」についても全ての年代で 5 位以内に入っているが、年齢が上がるにつれて順位、割合ともに下がる傾向がみられる。「⑩病院などの医療環境」については、年齢が上がるにつれて順位が上がる傾向がみられる。「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」については、10 代～40 代で重視する傾向がみられる。「⑫子育て支援や青少年の健全育成」については 30 代で第 2 位となっているが、他の年代では 5 位以内に入っていない。「⑭高齢者福祉」は 60 代以上で上位に挙げられている。

順位	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	バスの便などの地域交通 59.9	バスの便などの地域交通 49.2	バスの便などの地域交通 54.9	バスの便などの地域交通 51.0	バスの便などの地域交通 46.1	バスの便などの地域交通 41.7
2	良好な街並みの整備 40.7	子育て支援・青少年育成 43.5	良好な街並みの整備 38.3	良好な街並みの整備 39.9	高齢者福祉 39.0	病院などの医療環境 36.8
3	道路や歩道の整備 29.6	良好な街並みの整備 37.8	道路や歩道の整備 31.2	病院などの医療環境 37.6	病院などの医療環境 37.8	高齢者福祉 35.7
4	商店街の振興 27.8	道路や歩道の整備 34.7	病院などの医療環境 28.9	商店街の振興 30.8	良好な街並みの整備 26.8	商店街の振興 19.2
5	地域の防犯体制の整備 23.5	病院などの医療環境 26.9	地域の防犯体制の整備 26.3	地域の防犯体制の整備 24.0	商店街の振興 25.6	良好な街並みの整備 18.8

※下段は、各年代の回答者に占める割合、無回答を含む（%）

問5 区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思えますか。(該当する項目の番号を3つまで記入)

- ・「⑭高齢者福祉」が最も多く33.2%で、3割以上が挙げている。次いで「⑨地域の防災体制の整備」(26.4%)、「⑫子育て支援や青少年の健全育成」(26.1%)、「⑩地域の防犯体制の整備」(23.3%)が2割台である。以下「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」(19.0%)、「⑯病院などの医療環境」(15.4%)、「⑳身近な区役所窓口のサービス」(14.5%)と続く。



■ 年齢別 行政が取り組む課題:上位 5 位 (問5×F1)

- ・全ての年代において「⑨地域の防災体制の整備」と「⑩地域の防犯体制の整備」が 5 位以内に入っている。特に 40 代では「⑨地域の防災体制の整備」が 32.1%で 1 位となっている。また「⑭高齢者福祉」も全ての年代で 5 位以内に入っており、50 代以上の年代では 1 位となっている。
- ・70 代以上を除く全ての年代で「⑫子育て支援や青少年の健全育成」が 5 位以内に入っており、10 代・20 代と 30 代では 1 位となっている。

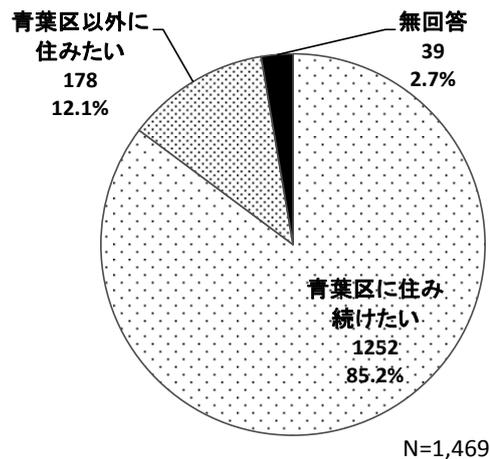
順位	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	子育て支援・青少年育成 30.9	子育て支援・青少年育成 50.8	地域の防災体制の整備 32.1	高齢者福祉 43.7	高齢者福祉 45.3	高齢者福祉 39.8
2	地域の防犯体制の整備 24.7	地域の防災体制の整備 22.3	地域の防犯体制の整備 30.8	地域の防災体制の整備 32.7	地域の防災体制の整備 28.0	地域の防犯体制の整備 21.1
3	地域の防災体制の整備 22.8	地域の防犯体制の整備 22.3	子育て支援・青少年育成 28.2	地域の防犯体制の整備 23.2	ごみの分別収集等 23.6	地域の防災体制の整備 19.2
4	道路や歩道の整備 19.1	ごみの分別収集等 19.2	高齢者福祉 26.9	区役所窓口のサービス 20.5	子育て支援・青少年育成 23.2	ごみの分別収集等 18.0
5	高齢者福祉 16.7	高齢者福祉 17.6	ごみの分別収集等 17.5	子育て支援・青少年育成 20.2	地域の防災体制の整備 17.7	病院などの医療環境 17.7

※下段は、各年代の回答者に占める割合、無回答を含む (%)

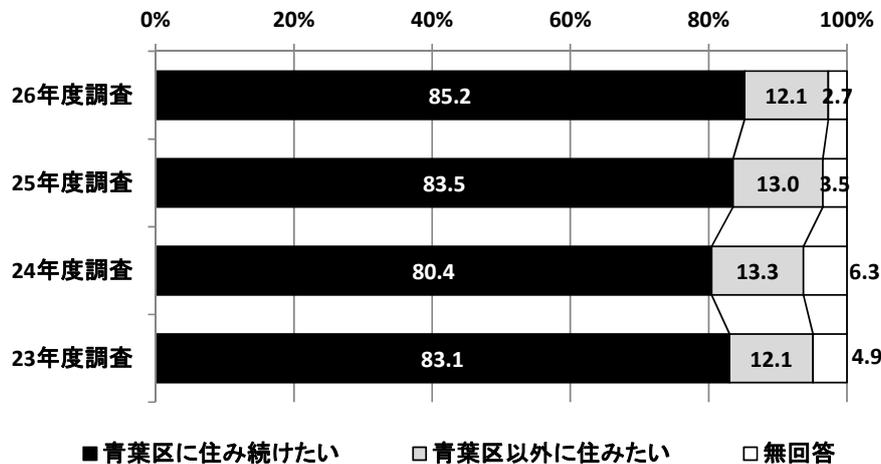
2. 定住意識について

問6 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- ・「青葉区に住み続けたい」が 85.2%である。一方「青葉区以外に住みたい」は 12.1%である。
- ・過去調査と比較すると、平成 23 年度から一貫して「青葉区に住み続けたい」が 8割を超えている。今年度調査では「青葉区に住み続けたい」の割合が過去4年間で最も高くなっている。



<参考 平成 23～25 年度調査結果との比較>



注) 平成 23 年度、24 年度調査では今年度調査と選択肢が異なるため、平成 23 年度調査については、「今住んでいるところに住み続けたい」「青葉区内のどこかに住み続けたい」を合わせて「青葉区に住み続けたい」、「青葉区以外の横浜市に住みたい」「横浜市外に住みたい」を合わせて「青葉区以外に住みたい」としている。

平成 24 年度調査については「今住んでいるところに住み続けたい」「青葉区内のどこかに住み続けたい」を合わせて「青葉区に住み続けたい」、「青葉区以外の横浜市に住みたい」「川崎市に住みたい」「横浜市、川崎市以外の神奈川県内に住みたい」「町田市に住みたい」「東京 23 区に住みたい」「その他の地域に住みたい」を合わせて「青葉区以外に住みたい」としている。

■ 年齢別 青葉区への定住意向(問6×F1)

- ・いずれの年代でも「青葉区に住みたい」の方が多く、特に50代以上では9割近くに達している。「青葉区以外に住みたい」の割合が比較的高いのは、40代までの若い年齢層である。

		合計	問6 青葉区に住みたいと思うか		
			青葉区に住みたい	青葉区以外に住みたい	無回答
全体		1469	85.2	12.1	2.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	80.2	18.5	1.2
	30代	193	84.5	14.0	1.6
	40代	308	80.8	17.2	1.9
	50代	263	89.4	9.5	1.1
	60代	254	87.4	10.2	2.4
	70代以上	266	88.0	6.0	6.0

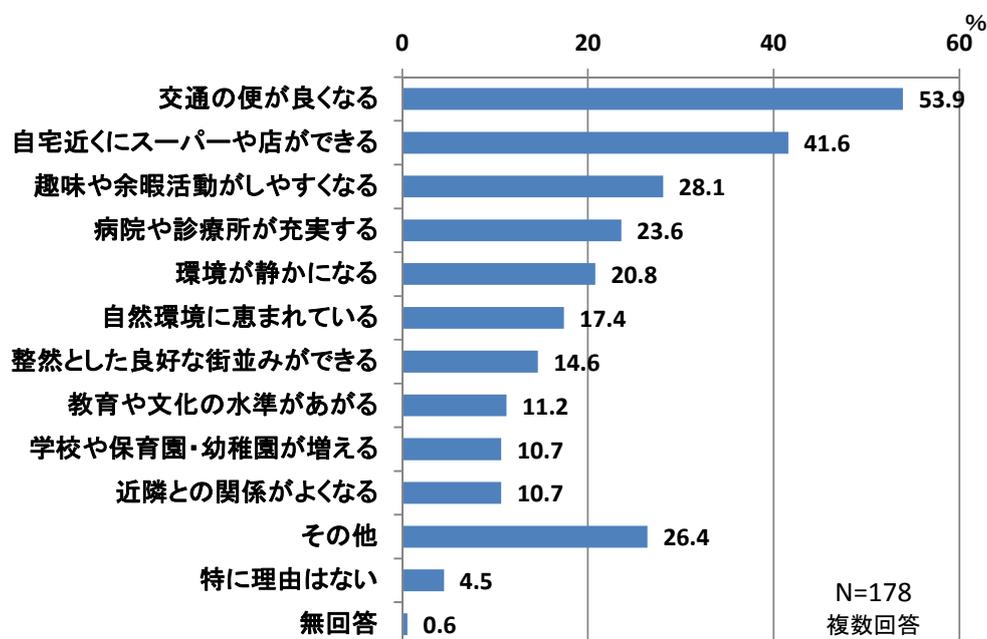
■ 居住地区別 青葉区への定住意向(問6×F8)

- ・いずれの地区でも「青葉区に住みたい」の方が多く、中里北部地区では9割を超えている。「青葉区以外に住みたい」の割合が比較的高いのは、奈良町・奈良北団地地区である。

		合計	問6 青葉区に住みたいと思うか		
			青葉区に住みたい	青葉区以外に住みたい	無回答
全体		1,469	85.2	12.1	2.7
F8 居住地区	中里地区	65	81.5	13.8	4.6
	中里北部地区	48	93.8	6.3	0.0
	市ヶ尾地区	88	79.5	15.9	4.5
	上谷本地区	59	89.8	8.5	1.7
	谷本地区	134	81.3	16.4	2.2
	恩田地区	167	86.8	12.0	1.2
	青葉台地区	188	80.9	14.4	4.8
	奈良町・奈良北団地地区	99	80.8	17.2	2.0
	山内地区	193	89.6	8.8	1.6
	荏田・新荏田地区	170	85.3	12.4	2.4
	荏田西地区	56	87.5	10.7	1.8
	すすき野地区	91	89.0	5.5	5.5
	美しが丘地区	62	88.7	11.3	0.0

問6-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるためには
何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「交通の便が良くなる」が53.9%で、半数を超えている。次いで「自宅近くにスーパーや店ができる」(41.6%)、「趣味や余暇活動がしやすくなる」(28.1%)、「病院や診療所が充実する」(23.6%)、「環境が静かになる」(20.8%)で、これら4項目は2割を超えている。



「その他」意見内容

大分類	件数	中分類	件数
住環境の改善	11	坂が多い	4
		風情がない、何もない	2
		不審者対策、犯罪のない街づくり	2
		近隣住民の迷惑行為	1
		パチンコ屋が多い	1
		子連れの暮らしやすさ	1
公共施設の充実	3	公園・図書館・スポーツ施設等の充実	3
商業施設等の充実	4	カフェ	1
		営業時間の遅いスーパー	1
		書店	1
		活気のある商店街	1
実家や職場からの距離	4	実家からの距離が遠い	2
		自宅の立地が悪い	1
		職場からの距離が遠い	1
近所づきあい	2	近所の目がないところ	1
		近所とのつながりがほしい	1
行政サービス	2	医療助成や中学校の給食等の子育て支援	2
税金・物価	9	税金が高い	3
		物価・家賃が高い	6
福祉	2	福祉の充実	1
		老人福祉の充実	1
道路・交通	7	通勤電車の混雑等の緩和	3
		車の運転マナーの改善	2
		自転車の運転マナーの改善	1
		月極駐車場の整備	1
その他	5	その他	5
	49		49

■ 年齢別 住み続けたくない気持ちが変わるために必要なこと(問6-1×F1)

- ・いずれも「交通の便が良くなる」が最も多く、いずれも半数を超えている。
- ・30代と70代以上では「病院や診療所が充実する」、30代では「学校や保育園・幼稚園が増える」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。また60代以上では「自宅近くにスーパーや店ができる」の数値が半数を超えている。

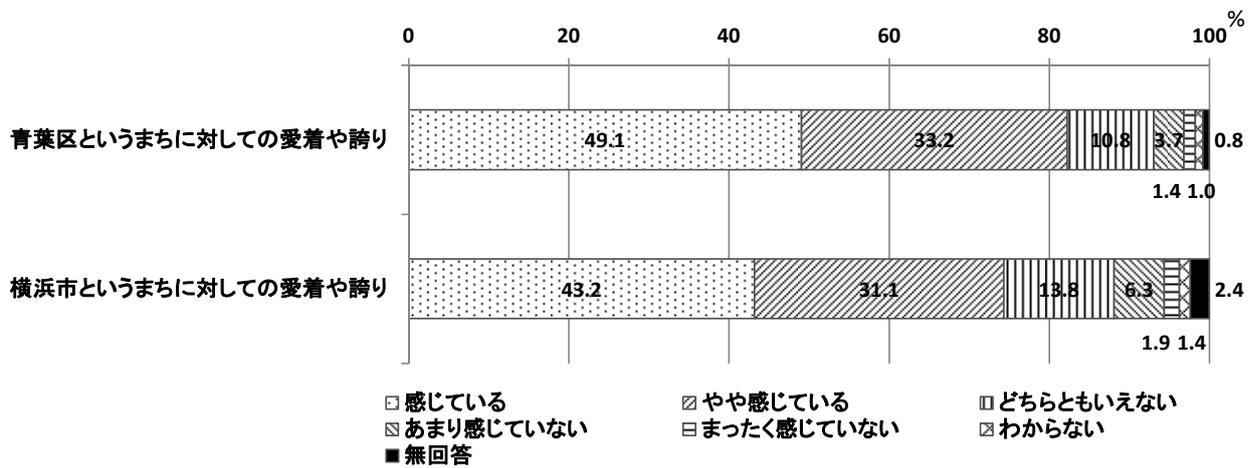
	合計	問6-1 「住み続けたい」気持ちに変わるために必要なこと													
		自宅近くにスーパーや店ができる	病院や診療所が充実する	交通の便が良くなる	自然環境に恵まれる	趣味や余暇活動がしやすい	学校や保育園・幼稚園が増える	教育や文化の水準があがる	街並みとした良質な環境が静かになる	近隣との関係がよくなる	その他	特に理由はない	無回答		
全体	178	41.6	23.6	53.9	17.4	28.1	10.7	11.2	14.6	20.8	10.7	26.4	4.5	0.6	
10代・20代	30	40.0	6.7	53.3	3.3	33.3	13.3	13.3	6.7	16.7	3.3	30.0	3.3	0.0	
30代	27	44.4	40.7	51.9	14.8	25.9	25.9	11.1	18.5	22.2	14.8	44.4	0.0	0.0	
40代	53	37.7	15.1	56.6	26.4	30.2	11.3	11.3	22.6	24.5	11.3	26.4	5.7	0.0	
50代	25	36.0	32.0	56.0	24.0	28.0	4.0	20.0	12.0	16.0	4.0	12.0	8.0	0.0	
60代	26	50.0	26.9	53.8	11.5	15.4	3.8	3.8	3.8	15.4	15.4	23.1	3.8	3.8	
70代以上	16	50.0	37.5	50.0	12.5	37.5	0.0	6.3	12.5	25.0	18.8	18.8	6.3	0.0	

3. 区・市への愛着について

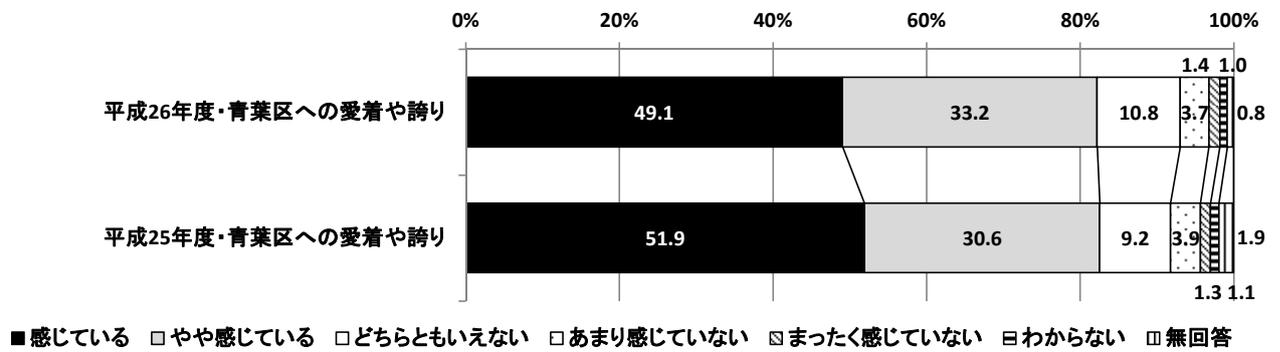
問7 あなたは、青葉区や横浜市というまちに対して、愛着や誇りを感じていますか。

青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。(それぞれに○は1つ)

- ・青葉区については、愛着や誇りを「感じている」が最も多く49.1%で、全体の約半数となっている。次いで「やや感じている」が33.2%で、これらを合わせると82.2%と、8割を超える人が青葉区に愛着を感じるとしている。以下「どちらともいえない」(10.8%)、「あまり感じていない」(3.7%)、「まったく感じていない」(1.4%)、「わからない」(1.0%)となっている。
- ・横浜市については、「感じている」が最も多く43.2%、次いで「やや感じている」が31.1%で、これらを合わせると74.3%と、横浜市に愛着を感じているのは全体の4分の3となっている。以下「どちらともいえない」(13.8%)、「あまり感じていない」(6.3%)、「まったく感じていない」(1.9%)、「わからない」(1.4%)となっている。
- ・青葉区への愛着や誇りについて、平成25年度調査結果と比較すると、「感じている」と「やや感じている」の割合はほぼ横ばいである。

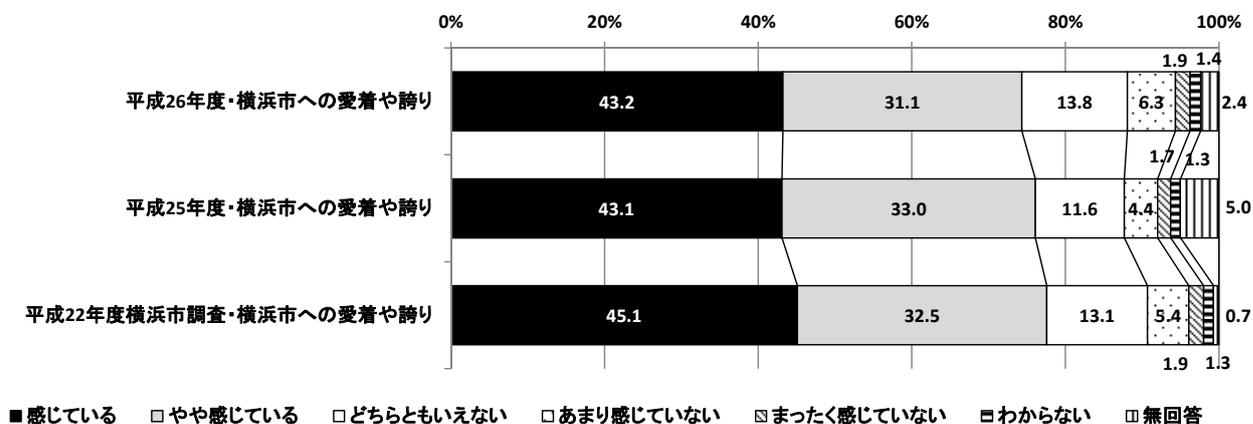


<参考 青葉区への愛着や誇り：平成25年度調査結果との比較>



- ・横浜市への愛着や誇りについて、過去の調査結果と比較すると、「感じている」と「やや感じている」を合わせた数値は、平成22年度77.6%、平成25年度76.1%で、今年度（74.3%）は僅かに低くなっている。

＜参考 横浜市への愛着や誇り：平成25年度調査結果との比較＞



■ 年齢別 青葉区への愛着や誇り(問7×F1)

- ・いずれの世代も「感じている」が最も多く、50代以上の世代では5割を超えている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見ると、全ての年代で75%を超えており、特に50代では88.6%と高くなっている。

	合計	問7-1 青葉区というまちに対する愛着や誇り							感じている+やや感じている	あまり感じていない+まったく感じていない	
		感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答			
全体	1469	49.1	33.2	10.8	3.7	1.4	1.0	0.8	82.2	5.2	
F1 年齢(統合)	10代・20代	162	40.1	35.8	15.4	4.9	1.9	1.9	0.0	75.9	6.8
	30代	193	39.4	37.8	13.5	4.1	3.6	1.0	0.5	77.2	7.8
	40代	308	46.4	33.1	11.7	3.6	2.9	0.6	1.6	79.5	6.5
	50代	263	52.9	35.7	8.0	3.0	0.0	0.4	0.0	88.6	3.0
	60代	254	55.5	29.5	9.4	4.3	0.0	0.8	0.4	85.0	4.3
	70代以上	266	54.5	28.9	9.4	3.4	0.8	1.5	1.5	83.5	4.1

■ 居住地区別 青葉区への愛着や誇り(問7×F8)

- ・中里地区を除く全ての地区で、「感じている」が最も多く、特に美しが丘地区では区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、中里北部地区では9割を超えている。

		合計	問7-1 青葉区というまちに対しての愛着や誇り							感じている+やや感じている		あまり感じていない+まったく感じていない	
			感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答				
全体		1469	49.1	33.2	10.8	3.7	1.4	1.0	0.8	82.2	5.2		
F 8 居住地区	中里地区	65	36.9	40.0	13.8	3.1	0.0	3.1	3.1	76.9	3.1		
	中里北部地区	48	54.2	37.5	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7	0.0		
	市ヶ尾地区	88	44.3	35.2	11.4	3.4	2.3	1.1	2.3	79.5	5.7		
	上谷本地区	59	57.6	27.1	13.6	1.7	0.0	0.0	0.0	84.7	1.7		
	谷本地区	134	49.3	32.1	9.7	5.2	3.0	0.0	0.7	81.3	8.2		
	恩田地区	167	46.7	34.1	13.8	3.6	1.2	0.6	0.0	80.8	4.8		
	青葉台地区	188	51.6	28.2	11.2	4.3	2.1	1.1	1.6	79.8	6.4		
	奈良町・奈良北団地地区	99	41.4	36.4	10.1	7.1	2.0	2.0	1.0	77.8	9.1		
	山内地区	193	46.6	36.8	10.9	4.1	0.5	0.5	0.5	83.4	4.7		
	荏田・新荏田地区	170	53.5	30.6	9.4	2.9	1.2	2.4	0.0	84.1	4.1		
	荏田西地区	56	48.2	32.1	10.7	7.1	1.8	0.0	0.0	80.4	8.9		
すずき野地区	91	47.3	40.7	6.6	1.1	1.1	1.1	2.2	87.9	2.2			
美しが丘地区	62	64.5	21.0	9.7	3.2	1.6	0.0	0.0	85.5	4.8			

■ 年齢別 横浜市への愛着や誇り(問7×F1)

- ・いずれの世代も「感じている」が最も多くなっている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、30代を除く全ての年代で7割を超えている。30代では「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせて数値が13.5%で他と比べてやや高くなっている。

		合計	問7-2 横浜市というまちに対しての愛着や誇り							感じている+やや感じている		あまり感じていない+まったく感じていない	
			感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答				
全体		1469	43.2	31.1	13.8	6.3	1.9	1.4	2.4	74.3	8.2		
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	45.1	27.8	18.5	4.3	1.2	1.9	1.2	72.8	5.6		
	30代	193	40.9	26.9	16.1	9.3	4.1	1.0	1.6	67.9	13.5		
	40代	308	43.2	32.5	12.0	7.1	2.6	0.3	2.3	75.6	9.7		
	50代	263	46.8	29.7	14.4	4.2	2.3	0.8	1.9	76.4	6.5		
	60代	254	38.6	35.0	13.0	8.3	0.4	2.8	2.0	73.6	8.7		
	70代以上	266	45.5	30.5	11.7	4.9	1.1	1.9	4.5	75.9	6.0		

■ 居住地区別 横浜市への愛着や誇り(問7×F8)

- ・ 中里地区を除く全ての地区で、「感じている」が最も多く、特に上谷本地区では5割を超えている。
- ・ 「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、すすき野地区では85.5%で区全体と比べて10ポイント以上高くなっている。

	合計	問7-2 横浜市というまちに対しての愛着や誇り							感じている+やや感じている	あまり感じない+まったく感じない	
		感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	わからない	無回答			
全体	1469	43.2	31.1	13.8	6.3	1.9	1.4	2.4	74.3	8.2	
F8 居住地区	中里地区	65	33.8	38.5	13.8	4.6	1.5	3.1	4.6	72.3	6.2
	中里北部地区	48	45.8	37.5	10.4	6.3	0.0	0.0	0.0	83.3	6.3
	市ヶ尾地区	88	47.7	26.1	12.5	6.8	2.3	1.1	3.4	73.9	9.1
	上谷本地区	59	52.5	27.1	10.2	5.1	0.0	3.4	1.7	79.7	5.1
	谷本地区	134	47.8	26.1	11.2	9.0	3.7	0.0	2.2	73.9	12.7
	恩田地区	167	39.5	31.7	20.4	4.2	2.4	1.2	0.6	71.3	6.6
	青葉台地区	188	43.1	29.3	14.4	7.4	1.6	1.6	2.7	72.3	9.0
	奈良町・奈良北団地地区	99	37.4	32.3	13.1	8.1	3.0	4.0	2.0	69.7	11.1
	山内地区	193	40.4	29.5	16.1	7.8	2.1	1.0	3.1	69.9	9.8
	荇田・新荇田地区	226	44.7	33.6	11.1	4.4	1.8	1.3	3.1	78.3	6.2
	荇田西地区	91	42.9	33.0	13.2	5.5	0.0	1.1	4.4	75.8	5.5
	すすき野地区	62	48.4	37.1	8.1	6.5	0.0	0.0	0.0	85.5	6.5
美しが丘地区	49	44.9	28.6	18.4	4.1	4.1	0.0	0.0	73.5	8.2	

■ 青葉区、横浜市への愛着度別 青葉区への定住意向(問6×問7-1)

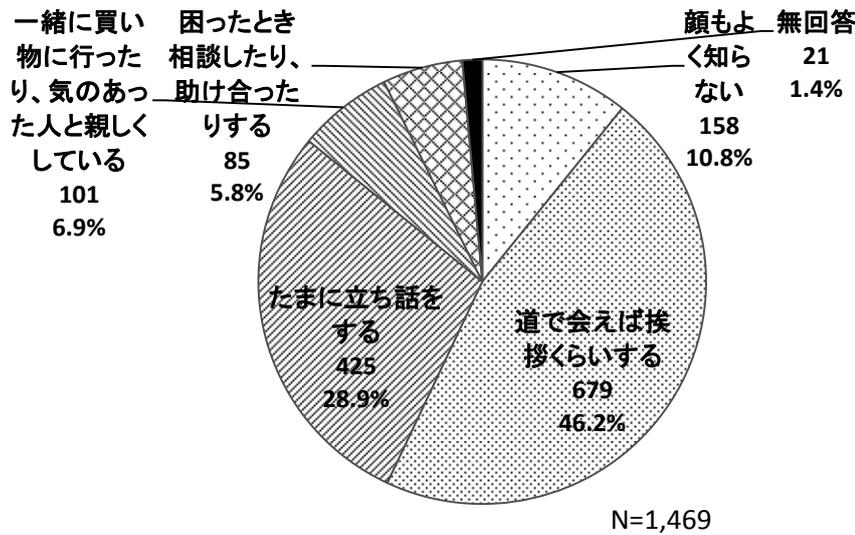
- ・ 青葉区への愛着を「感じている」「やや感じている」人の9割以上が青葉区への定住意向を示している。一方「あまり感じない」「まったく感じない」人の半数以上が「青葉区以外に住みたい」としている。
- ・ 横浜市への愛着度を「感じている」「やや感じている」人の8割以上が青葉区への定住意向を示している。「あまり感じない」人の3割強が「青葉区以外に住みたい」としている。

	合計	問6 青葉区に住み続けたいと思うか			
		青葉区に住み続けたい	青葉区以外に住み続けたい	無回答	
全体	1469	85.2	12.1	2.7	
問7-1 青葉区というまちに対しての愛着や誇り	感じている	721	93.6	5.0	1.4
	やや感じている	487	90.6	7.4	2.1
	どちらともいえない	159	64.8	32.1	3.1
	あまり感じない	55	38.2	56.4	5.5
	まったく感じない	21	14.3	85.7	0.0
	わからない	14	57.1	28.6	14.3
	無回答	12	8.3	16.7	75.0
問7-2 横浜市というまちに対しての愛着や誇り	感じている	635	91.7	6.8	1.6
	やや感じている	457	88.0	9.8	2.2
	どちらともいえない	202	83.7	14.9	1.5
	あまり感じない	92	60.9	34.8	4.3
	まったく感じない	28	32.1	67.9	0.0
	わからない	20	75.0	20.0	5.0
	無回答	35	54.3	14.3	31.4

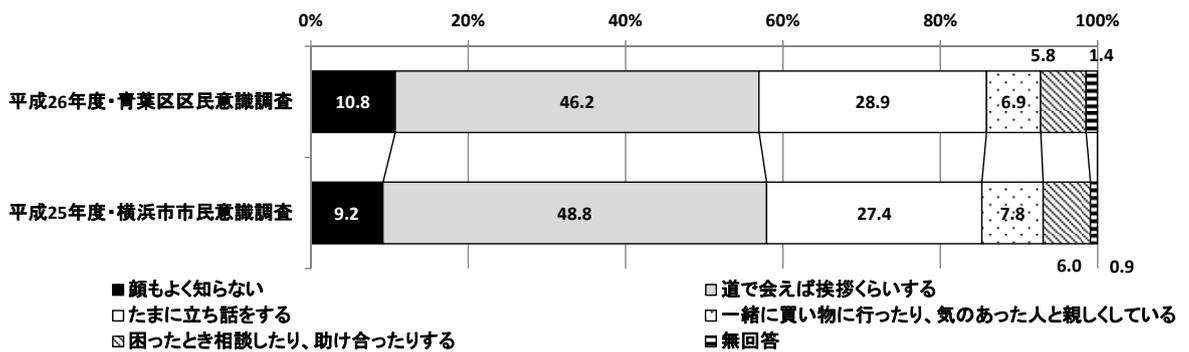
4. 地域と生活について

問8 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つだけ)

- ・「道で会えば挨拶くらいする」(46.2%)が5割弱、次いで「たまに立ち話をする」(28.9%)は3割弱である。次いで「顔もよく知らない」(10.8%)、「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」(6.9%)、「困ったとき相談したり、助け合ったりする」(5.8%)の順である。
- ・平成25年度横浜市市民意識調査との比較では、回答状況に大きな差異はみられない。



<参考 平成25年度横浜市市民意識調査結果との比較>



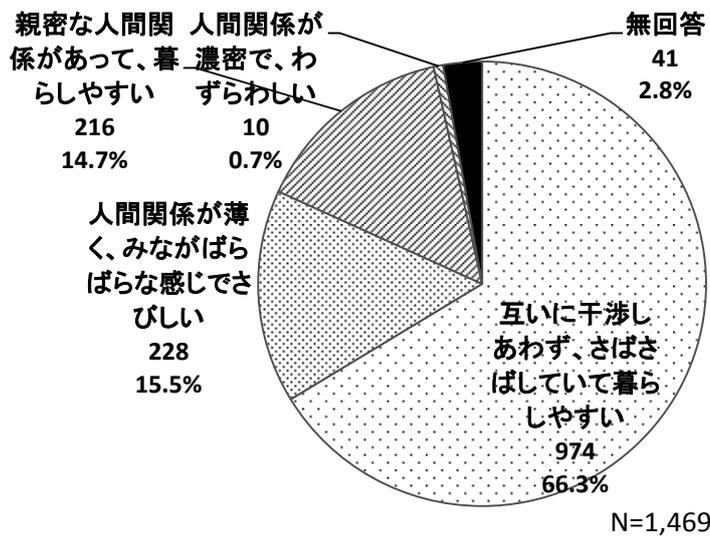
■ 年齢別 隣近所とつき合い方（問8×F1）

- ・いずれの世代も「道で会えば挨拶くらいする」が最も多くなっている。特に10代では64.8%で、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・30代までは「顔もよく知らない」の割合が50代以上と比べてやや高くなっている。60代以上では、「たまに立ち話をする」が50代以下と比べてやや高くなっている。

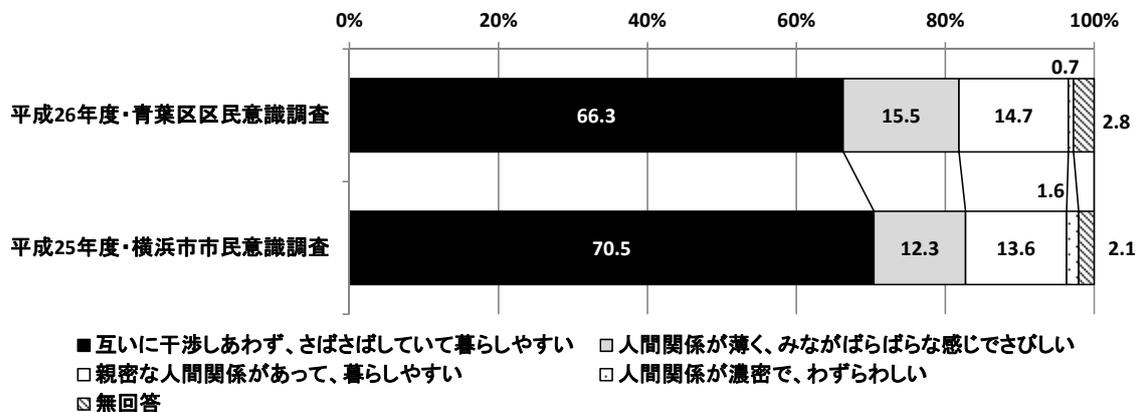
		合計	問8 隣近所とつき合い方					無回答
			顔もよく知らない	道で会えば挨拶くらいする	たまに立ち話をする	一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている	困ったとき相談したり、助け合ったりする	
全体		1469	10.8	46.2	28.9	6.9	5.8	1.4
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	19.1	64.8	13.6	0.6	1.2	0.6
	30代	193	19.7	50.3	15.5	6.2	6.7	1.6
	40代	308	13.0	39.9	30.2	8.1	7.5	1.3
	50代	263	7.2	49.8	29.7	8.4	4.6	0.4
	60代	254	5.1	44.9	38.2	5.1	6.3	0.4
	70代以上	266	5.3	37.6	36.8	10.2	6.8	3.4

問9 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

- ・「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が66.3%と、6割を超えている。次いで「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(15.5%)、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(14.7%)である。
- ・横浜市市民意識調査の結果を比較すると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」の割合がやや低くなっている。



<参考 平成25年度横浜市市民意識調査結果との比較>



■ 年齢別 隣近所とつき合い方をどう感じているか（問9×F1）

- ・いずれの世代も「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」が最も多くなっている。特に10代・20代と50代、60代では7割を超えている。

		合計	問9 隣近所とのつき合い方をどう感じているか				
			互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい	人間関係が薄く、みながばらばらな感じださびしい	親密な人間関係があって、暮らしやすい	人間関係が濃密で、わずらわしい	無回答
全体		1469	66.3	15.5	14.7	0.7	2.8
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	70.4	12.3	14.8	0.0	2.5
	30代	193	66.8	17.1	14.0	1.0	1.0
	40代	308	63.6	14.6	17.2	1.3	3.2
	50代	263	70.0	14.4	14.4	0.8	0.4
	60代	254	71.3	16.5	9.4	0.0	2.8
	70代以上	266	59.0	18.4	16.9	0.8	4.9

■ 居住地区別 隣近所とつき合い方をどう感じているか（問9×F8）

- ・全ての居住地区で「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」が最も多くなっている。中里地区、中里北部地区、谷本地区、荏田・新荏田地区、美しが丘地区では7割を超えている。
- ・奈良町・奈良北団地地区とすすき野地区では、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」が2割を超えている。また荏田西地区では「人間関係が薄く、みながばらばらな感じださびしい」が2割を超えている。

		合計	問9 隣近所とのつき合い方をどう感じているか				
			互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい	人間関係が薄く、みながばらばらな感じださびしい	親密な人間関係があって、暮らしやすい	人間関係が濃密で、わずらわしい	無回答
全体		1469	66.3	15.5	14.7	0.7	2.8
F 8 居住地区	中里地区	65	70.8	13.8	10.8	0.0	4.6
	中里北部地区	48	72.9	4.2	16.7	2.1	4.2
	市ヶ尾地区	88	62.5	17.0	15.9	2.3	2.3
	上谷本地区	59	69.5	11.9	16.9	0.0	1.7
	谷本地区	134	70.1	11.9	12.7	1.5	3.7
	恩田地区	167	64.1	17.4	15.0	0.0	3.6
	青葉台地区	188	65.4	16.0	14.9	0.0	3.7
	奈良町・奈良北団地地区	99	59.6	15.2	22.2	1.0	2.0
	山内地区	193	69.4	16.1	12.4	0.5	1.6
	荏田・新荏田地区	170	71.2	17.1	10.6	0.6	0.6
	荏田西地区	56	57.1	23.2	17.9	0.0	1.8
	すすき野地区	91	56.0	17.6	22.0	2.2	2.2
	美しが丘地区	62	74.2	14.5	9.7	0.0	1.6

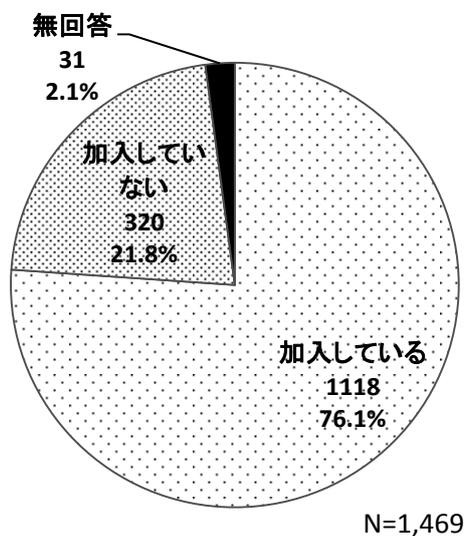
■ 隣近所とのつき合い方別 つき合いをどう感じているか（問8×問9）

- ・隣近所とのつき合い方が「顔もよく知らない」「道で会えば挨拶くらいする」「たまに立ち話をする」では「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」の割合が高くなっている。「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」「困ったとき相談したり、助け合ったりする」では半数以上が「親密な人間関係があって、暮らしやすい」としている。

		合計	問9 隣近所とのつき合いをどう感じているか				
			互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	人間関係が薄く、みながばらばらな感じだし	親密な人間関係があって、暮らしやすい	人間関係が濃密で、わずらわしい	無回答
	全体	1469	66.3	15.5	14.7	0.7	2.8
問8 隣近所とつき合い方	顔もよく知らない	158	70.3	25.9	0.6	1.3	1.9
	道で会えば挨拶くらいする	679	75.0	19.0	3.4	0.4	2.2
	たまに立ち話をする	425	68.5	11.5	18.6	0.2	1.2
	一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている	101	37.6	5.9	53.5	2.0	1.0
	困ったとき相談したり、助け合ったりする	85	28.2	2.4	68.2	1.2	0.0
	無回答	21	4.8	4.8	4.8	4.8	81.0

問 10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(○は1つだけ)

- ・「加入している」が76.1%、「加入していない」が21.8%である。



■ 居住地区別 自治会・町内会の加入状況 (問10×F8)

- ・全ての居住地区で「加入している」の割合が高く、特に中里地区と上谷本地区では9割近くとなっている。市ヶ尾地区では「加入していない」が33.0%で区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

	合計	問10 自治会・町内会の加入			
		加入している	加入していない	無回答	
全体	1469	76.1	21.8	2.1	
F 8 居住地区	中里地区	65	89.2	9.2	1.5
	中里北部地区	48	75.0	25.0	0.0
	市ヶ尾地区	88	64.8	33.0	2.3
	上谷本地区	59	88.1	10.2	1.7
	谷本地区	134	72.4	25.4	2.2
	恩田地区	167	80.2	18.6	1.2
	青葉台地区	188	70.7	25.0	4.3
	奈良町・奈良北団地地区	99	78.8	20.2	1.0
	山内地区	193	78.8	19.7	1.6
	荳田・新荳田地区	170	70.6	28.2	1.2
	荳田西地区	56	75.0	21.4	3.6
	すすき野地区	91	85.7	13.2	1.1
	美しが丘地区	62	71.0	27.4	1.6

■ 住居形態別 自治会・町内会の加入状況（問10×F3）

- ・借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）では、「加入していない」が59.6%で約6割を占めている。借家（一戸建て）は「加入している」が66.7%である。

		合計	問10 自治会・町内会の加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1469	76.1	21.8	2.1
F3 住居形態	持家（一戸建て）	681	93.5	5.4	1.0
	持家（共同住宅）	402	79.1	18.7	2.2
	借家（一戸建て）	30	66.7	30.0	3.3
	借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	324	37.0	59.6	3.4
	その他	3	100.0	0.0	0.0

■ 隣近所とのつき合い方別 自治会・町内会の加入状況（問10×問8）

- ・「顔もよく知らない」では半数以上が自治会・町内会に加入していない。隣近所と親密なつき合いをしている人では「加入している」の割合が高い傾向がみられる。

		合計	問10 自治会・町内会の加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1469	76.1	21.8	2.1
問8 隣近所とのつき合い方	顔もよく知らない	158	43.7	53.8	2.5
	道で会えば挨拶くらいする	679	73.6	25.0	1.3
	たまに立ち話をする	425	88.7	10.8	0.5
	一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている	101	86.1	13.9	0.0
	困ったとき相談したり、助け合ったりする	85	95.3	4.7	0.0
	無回答	21	19.0	4.8	76.2

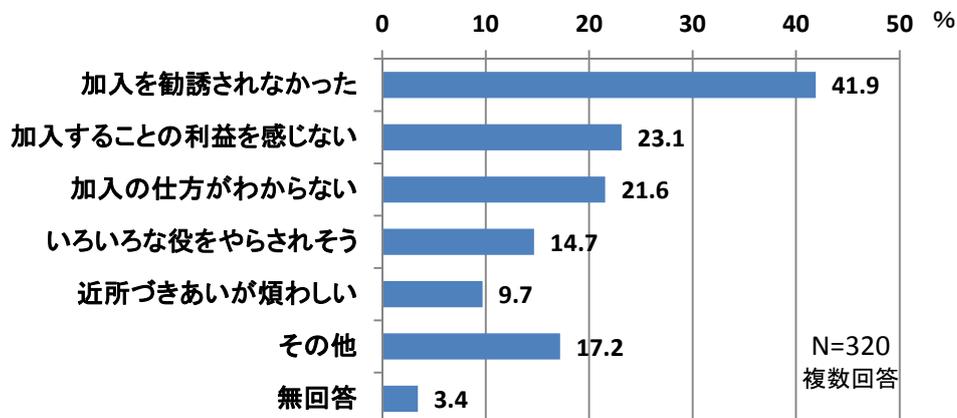
■ 隣近所とのつき合い方をどう感じているか別 自治会・町内会の加入状況（問10×問9）

- ・全ての層で「加入している」の割合が高く、特に「親密な人間関係があって、暮らしやすい」では9割近くが「加入している」と回答している。

		合計	問10 自治会・町内会の加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1469	76.1	21.8	2.1
問9 隣近所とのつき合いをどう感じているか	互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	974	75.9	23.3	0.8
	人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	228	70.6	27.2	2.2
	親密な人間関係があって、暮らしやすい	216	88.9	11.1	0.0
	人間関係が濃密で、わずらわしい	10	70.0	30.0	0.0
	無回答	41	46.3	9.8	43.9

問 10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。(〇は2つまで)

- ・「加入を勧誘されなかった」が41.9%で最も多く、約4割である。次いで「加入することの利益を感じない」(23.1%)、「加入の仕方がわからない」(21.6%)、「いろいろな役をやらされそう」(14.7%)、「近所づきあいが煩わしい」(9.7%)が続く。



「その他」意見内容

大分類	中分類	件数
賃貸住宅、集合住宅に居住しているため	賃貸住宅、寮のため	15
	マンション自体が加入していない	5
	マンション自治会がない	3
	マンションで加入している	3
	マンション管理組合の方針	2
	マンション全体で加入しようとしたら、断れたとのこと	1
	マンションの組織が一つの自治会と思っている	1
	その他の理由	16
その他の理由	加入しても参加できない	3
	引越が多いため	2
	検討中	1
	障害者で転居したばかり	1
	そもそも存在を知らなかった	1
	隣にいる娘が加入しているから	1
	興味がなかった	1
	調査していないため	1
	将来は親の面倒をみるため、青葉区から離れる	1
	町内会がありません	1
	10年以上加入していたのに、知らない間に外されていた	1
	仕事でほぼ家にいない	1
	活動がわからない	1
計	46	

■ 住居形態別 自治会・町内会に加入していない理由（問10-1×F3）

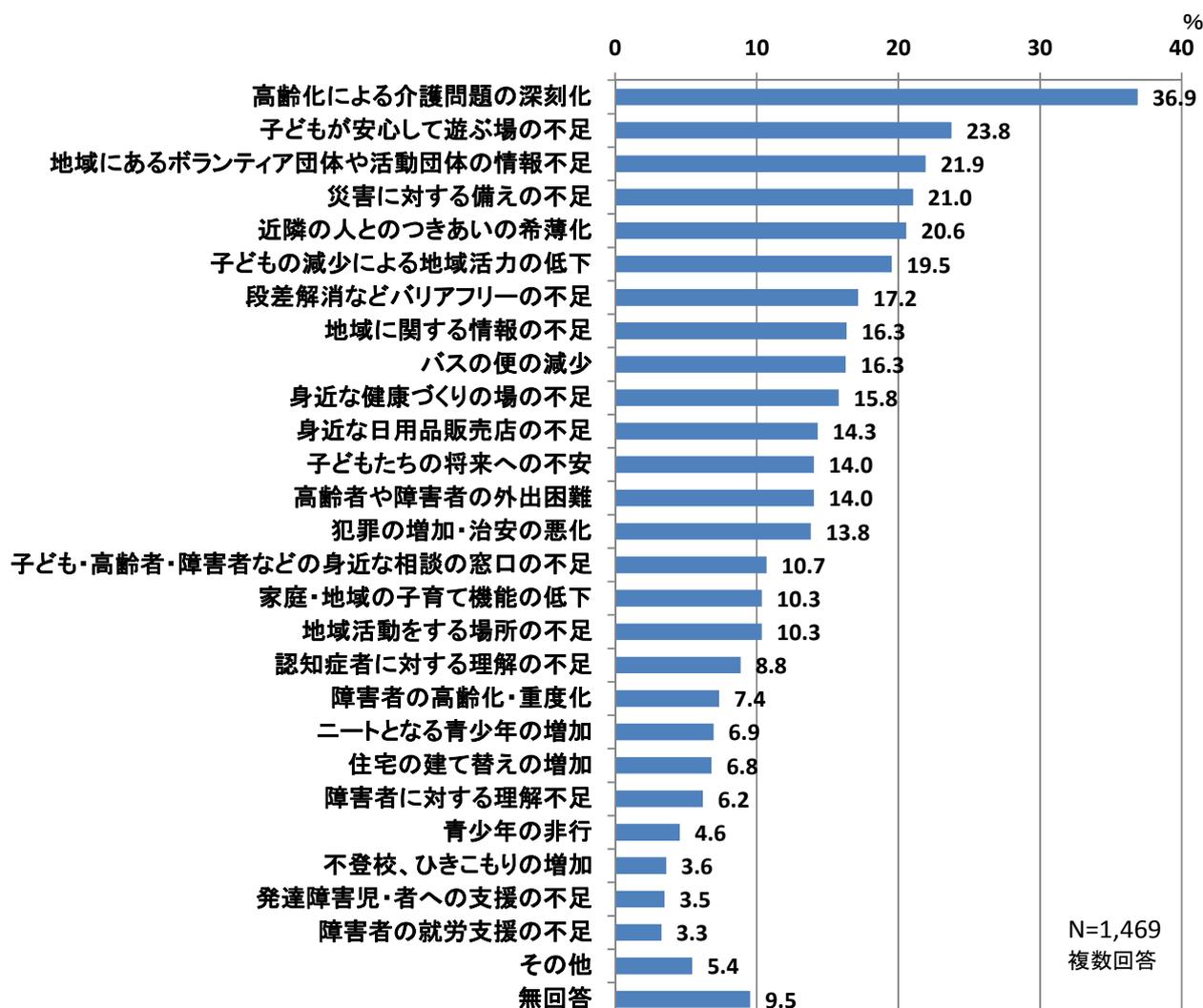
- ・持家（一戸建て）では「いろいろな役をやらされそう」が最も多く、持ち家（共同住宅）では「その他」、借家（一戸建て）では「加入の仕方がわからない」、借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）では、「加入を勧誘されなかった」の割合が高くなっている。

		合計	加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	その他	無回答
全体		320	23.1	14.7	9.7	41.9	21.6	17.2	3.4
F3 住居形態	持家（一戸建て）	37	21.6	29.7	13.5	27.0	18.9	10.8	10.8
	持家（共同住宅）	75	18.7	10.7	6.7	25.3	14.7	33.3	5.3
	借家（一戸建て）	9	22.2	0.0	11.1	33.3	55.6	22.2	0.0
	借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	193	25.9	14.5	9.8	51.3	23.3	12.4	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

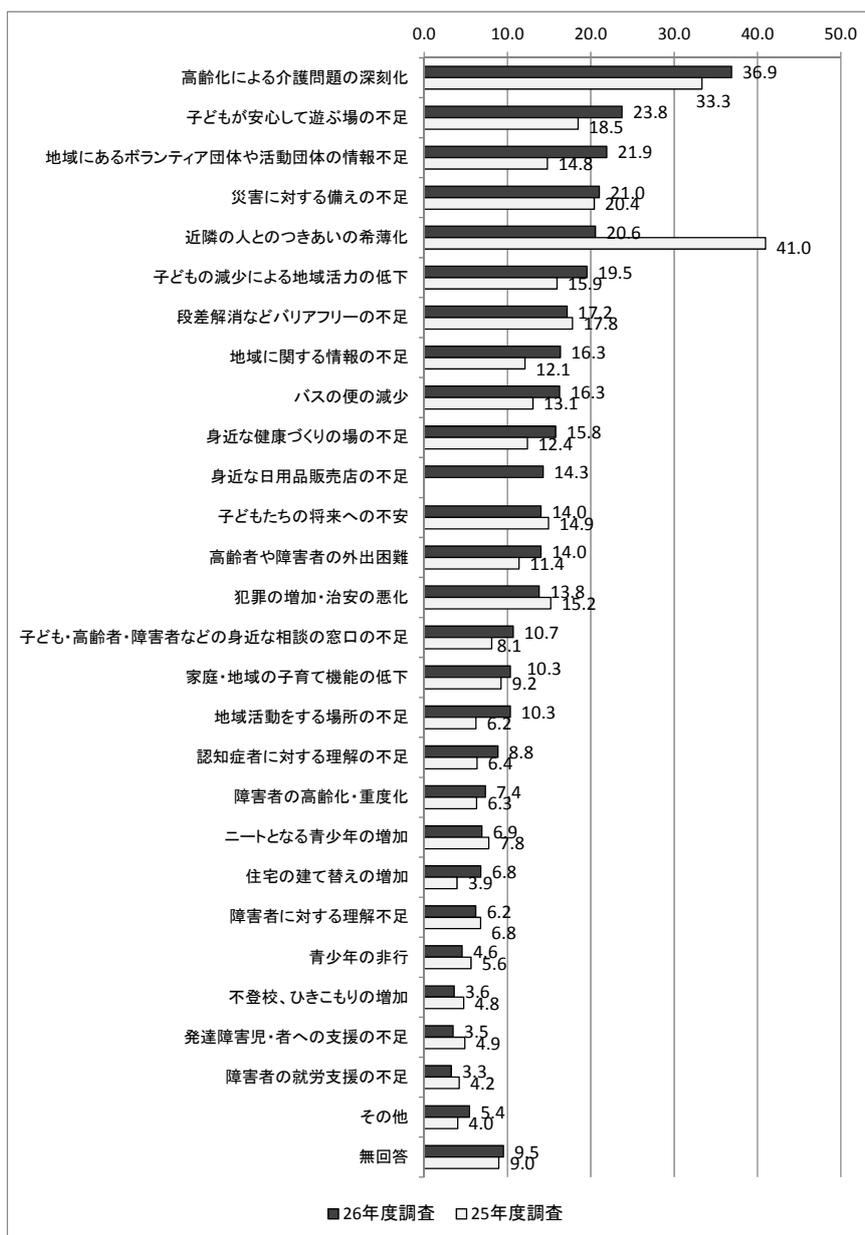
問 11 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

- ・ 最も多いのは「高齢化による介護問題の深刻化」の 36.9%で、4 割弱が挙げている。次いで「子どもが安心して遊ぶ場の不足」(23.8%)、「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」(21.9%)、「災害に対する備えの不足」(21.0%)、「近隣の人とのつきあいの希薄化」(20.6%)であり、これらの項目は 2 割を超えている。
- ・ 平成 25 年度調査と比較すると、平成 25 年度に最も高かった「近隣の人とのつきあいの希薄化」が 20.4 ポイント減少しており、「高齢化による介護問題の深刻化」が第 1 位となっている。その他「子どもが安心して遊ぶ場の不足」「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」「地域に関する情報の不足」が順位を上げている。



＜参考 平成 25 年度調査結果との比較＞



＜参考 平成 25 年度調査結果との比較 上位 16 位＞

25年度		26年度	
近隣の人とのつきあいの希薄化	41.0	高齢化による介護問題の深刻化	36.9
高齢化による介護問題の深刻化	33.3	子どもが安心して遊ぶ場の不足	23.8
災害に対する備えの不足	20.4	地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	21.9
子どもが安心して遊ぶ場の不足	18.5	災害に対する備えの不足	21.0
段差解消などバリアフリーの不足	17.8	近隣の人とのつきあいの希薄化	20.6
子どもの減少による地域活力の低下	15.9	子どもの減少による地域活力の低下	19.5
犯罪の増加・治安の悪化	15.2	段差解消などバリアフリーの不足	17.2
子どもたちの将来への不安	14.9	地域に関する情報の不足	16.3
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	14.8	バスの便の減少	16.3
バスの便の減少	13.1	身近な健康づくりの場の不足	15.8
身近な健康づくりの場の不足	12.4	身近な日用品販売店の不足	14.3
地域に関する情報の不足	12.1	子どもたちの将来への不安	14.0
高齢者や障害者の外出困難	11.4	高齢者や障害者の外出困難	14.0
家庭・地域の子育て機能の低下	9.2	犯罪の増加・治安の悪化	13.8
子ども・高齢者・障害者などの相談窓口の不足	8.1	子ども・高齢者・障害者などの相談窓口の不足	10.7
ニートとなる青少年の増加	7.8	家庭・地域の子育て機能の低下	10.3

注) 薄い網掛けは 2 つ以上順位を上げた項目、濃い網掛けは 2 つ以上順位を下げた項目

■ 住居地区別 地域の課題や問題(問11×F8)

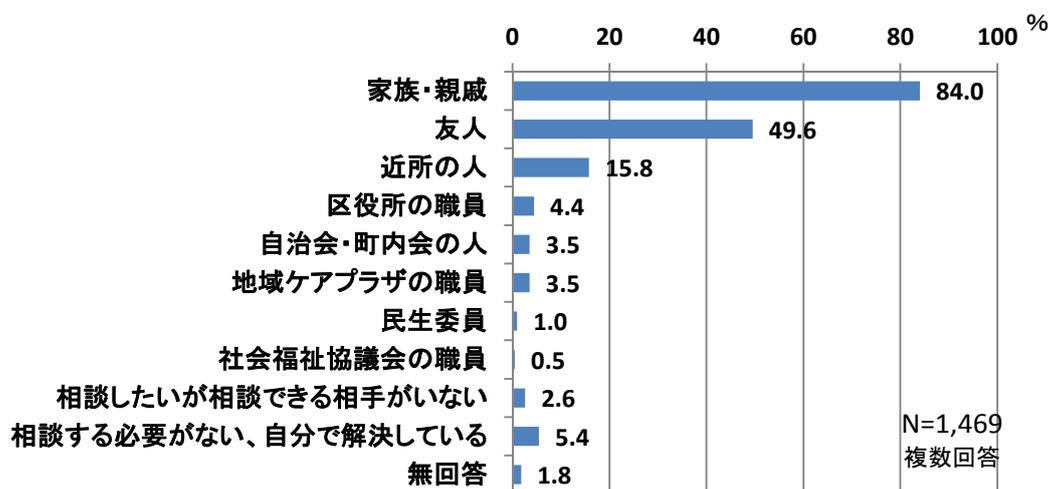
- ・市ヶ尾地区では「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」、奈良町・奈良北団地地区と荇田西地区では「バスの便の減少」が最も多い。美しが丘地区では「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」と「高齢化による介護問題の深刻化」が同率である。その他の地区では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も高い。
- ・中里地区と奈良町・奈良北団地地区では「身近な日用品販売店の不足」、中里北部地区とすすき野地区では「子どもの減少による地域活力の低下」、すすき野地区では「高齢化による介護問題の深刻化」が、奈良町・奈良北団地地区と荇田西地区では「バスの便の減少」が、それぞれ区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

	合計	問11 地域の課題や問題													
		近隣の希薄化	機能の低下	家庭・地域の子育て	子どもが安心して遊ぶ場の不足	子どもの減少による地域活力の低下	子どもたちの将来への不安	障害者に対する理解不足	障害者の高齢化・重度化	発達障害児・者への支援の不足	障害者の就労支援の不足	高齢者や障害者の外出困難	子ども・高齢者・障害者の身の安全	フリーの解消などバリア	悪化
全体	1469	20.6	10.3	23.8	19.5	14.0	6.2	7.4	3.5	3.3	14.0	10.7	17.2	13.8	4.6
F8 住居地区															
中里地区	65	15.4	9.2	27.7	18.5	15.4	6.2	3.1	1.5	0.0	12.3	6.2	13.8	21.5	4.6
中里北部地区	48	16.7	2.1	20.8	31.3	20.8	10.4	8.3	4.2	2.1	14.6	12.5	18.8	8.3	
市ヶ尾地区	88	20.5	13.6	30.7	15.9	17.0	8.0	10.2	5.7	4.5	6.8	13.6	19.3	17.0	4.5
上谷本地区	59	15.3	10.2	16.9	28.8	20.3	5.1	6.8	3.4	3.4	23.7	10.2	18.6	18.6	8.5
谷本地区	134	18.7	6.7	23.1	24.6	12.7	3.0	6.0	0.7	2.2	14.2	11.9	12.7	14.2	2.2
恩田地区	167	22.8	10.8	25.7	18.0	19.8	5.4	6.0	2.4	3.0	12.0	9.0	12.0	13.2	4.2
青葉台地区	188	21.3	12.8	30.3	18.1	10.1	6.4	6.9	1.6	1.6	11.7	14.9	18.1	13.3	4.8
奈良町・奈良北団地地区	99	25.3	10.1	10.1	19.2	8.1	7.1	9.1	4.0	4.0	18.2	14.1	17.2	15.2	6.1
山内地区	193	18.7	11.4	22.8	16.6	12.4	8.8	6.7	7.8	5.7	17.6	13.0	17.6	10.4	4.1
荇田・新荇田地区	226	16.5	10.6	29.4	16.5	13.5	4.7	10.0	2.9	1.8	12.4	5.3	19.4	11.8	1.8
荇田西地区	91	26.8	3.6	23.2	14.3	12.5	3.6	0.0	1.8	3.6	14.3	0.0	16.1	23.2	7.1
すすき野地区	62	26.4	16.5	18.7	34.1	15.4	5.5	14.3	3.3	2.2	13.2	11.0	26.4	7.7	5.5
美しが丘地区	49	25.8	9.7	14.5	14.5	8.1	4.8	1.6	1.6	3.2	8.1	6.5	21.0	9.7	3.2

	合計	問11 地域の課題や問題													
		の増加、ひきこもり	の増加となる青少年	高齢化による介護問題	認知症者に対する理解	地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	地域活動をする場所の不足	身近な健康づくりの場	災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増	バスの便の減少	身近な日用品販売店の不足	その他	無回答
全体	1469	3.6	6.9	36.9	8.8	21.9	10.3	15.8	21.0	16.3	6.8	16.3	14.3	5.4	9.5
F8 住居地区															
中里地区	65	1.5	3.1	30.8	10.8	13.8	9.2	13.8	13.8	13.8	9.2	18.5	26.2	7.7	6.2
中里北部地区	48	0.0	10.4	33.3	10.4	22.9	6.3	12.5	20.8	20.8	6.3	6.3	10.4	4.2	10.4
市ヶ尾地区	88	4.5	4.5	30.7	9.1	31.8	11.4	15.9	30.7	19.3	4.5	20.5	15.9	10.2	5.7
上谷本地区	59	5.1	5.1	42.4	10.2	23.7	8.5	11.9	18.6	18.6	10.2	6.8	10.2	5.1	15.3
谷本地区	134	4.5	9.0	38.8	8.2	21.6	6.0	14.9	17.9	12.7	3.0	14.2	14.2	2.2	12.7
恩田地区	167	2.4	5.4	32.9	6.6	21.6	12.0	20.4	21.6	19.2	6.0	22.8	13.2	3.6	10.8
青葉台地区	188	5.9	10.6	36.7	9.6	20.2	16.5	16.5	19.1	19.1	8.0	7.4	11.7	4.8	8.5
奈良町・奈良北団地地区	99	4.0	11.1	40.4	9.1	22.2	10.1	12.1	16.2	19.2	7.1	42.4	26.3	4.0	5.1
山内地区	193	2.6	4.7	37.8	9.3	24.9	9.8	19.7	22.8	18.1	6.2	10.4	10.9	6.7	8.8
荇田・新荇田地区	226	2.9	5.3	35.9	6.5	20.0	7.6	13.5	25.3	14.1	5.3	17.1	14.1	6.5	8.2
荇田西地区	91	3.6	5.4	32.1	5.4	16.1	12.5	17.9	19.6	8.9	12.5	33.9	17.9	7.1	10.7
すすき野地区	62	4.4	11.0	50.5	14.3	18.7	8.8	14.3	18.7	12.1	6.6	9.9	9.9	4.4	6.6
美しが丘地区	49	3.2	4.8	30.6	6.5	30.6	9.7	14.5	21.0	14.5	14.5	4.8	11.3	6.5	16.1

問 12 日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

- ・「家族・親戚」が 84.0% で突出して多く 8 割を超えている。次いで「友人」が 49.6% で半数近くとなっている。以下「近所の人」(15.8%)、「区役所の職員」(4.4%)、「自治会・町内会の人」(3.5%)、「地域ケアプラザの職員(同) などと続く。



■ 男女別、年齢別 日常生活上困ったときの相談先 (問12×F1、F2)

- ・女性では「友人」の割合が 57.7% で、男性と比べて非常に高くなっている。
- ・全ての世代で「家族・親戚」が最も高く、特に 30 代では 9 割を超えている。40 代までの若い世代では「友人」が 6 割以上となっており、区全体の数値と比べて 10 ポイント以上高くなっている。また 70 代以上では「地域ケアプラザの職員」が 9.4% で他と比べて高くなっている。

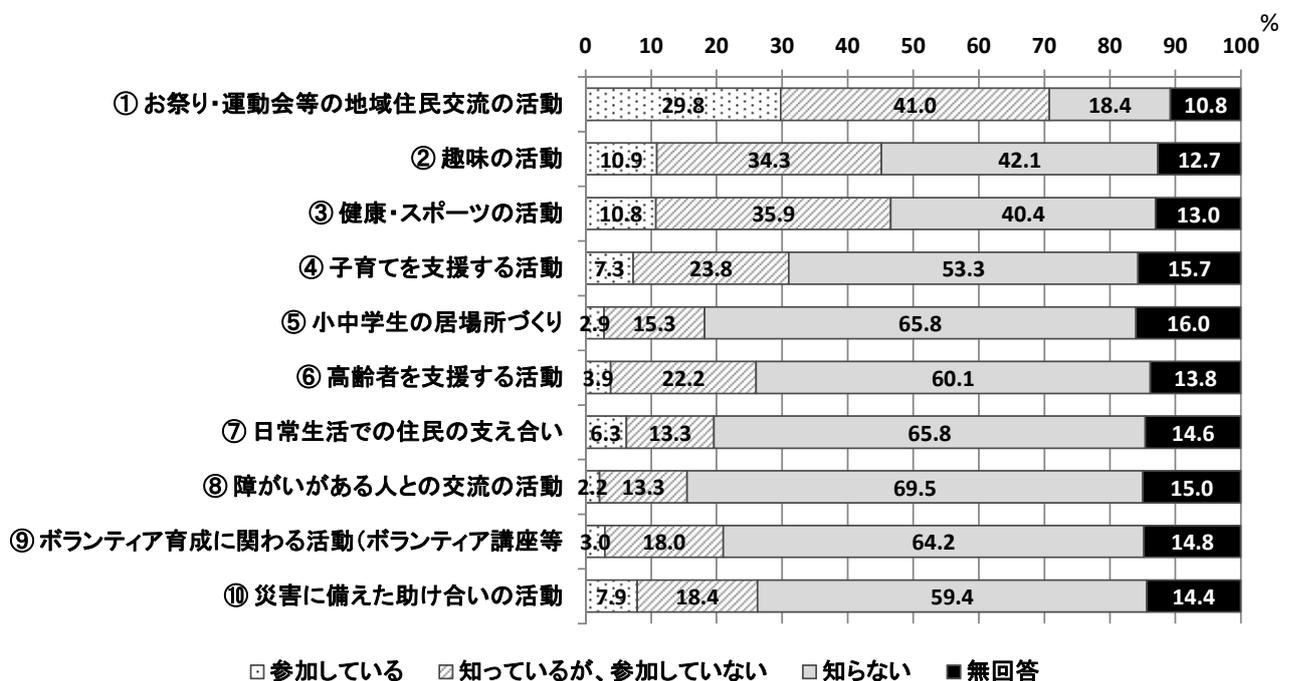
	合計	問12 日常生活上、困ったときの相談先										
		家族・親戚	友人	近所の人	自治会・町内会の人	民生委員	区役所の職員	地域ケアプラザの職員	社会福祉協議会の職員	相談したいが相談できる相手がない	相談する必要がない、自分で解決している	無回答
全体	1469	84.0	49.6	15.8	3.5	1.0	4.4	3.5	0.5	2.6	5.4	1.8
F2 性別												
男性	575	77.2	38.1	14.3	5.0	1.0	4.2	2.4	0.5	3.3	9.9	1.9
女性	859	88.8	57.7	16.8	2.3	0.8	4.5	4.1	0.3	1.9	2.6	1.5
F1 年齢(統合)												
10代・20代	162	88.9	66.0	3.7	0.6	0.0	1.9	0.6	0.0	0.0	4.3	0.0
30代	193	91.7	60.6	13.0	0.0	0.0	4.1	2.1	0.0	1.0	4.7	0.5
40代	308	83.8	62.3	20.8	1.6	0.0	2.6	0.6	0.0	3.6	3.9	1.9
50代	263	83.3	52.1	13.7	3.4	0.4	5.3	4.6	0.4	3.0	5.7	0.8
60代	254	82.3	36.2	20.1	5.9	0.8	3.5	3.1	0.8	3.5	5.9	1.6
70代以上	266	77.8	27.8	16.9	7.5	4.1	8.3	9.4	1.5	3.0	8.3	4.1

5. 地域の福祉保健活動について

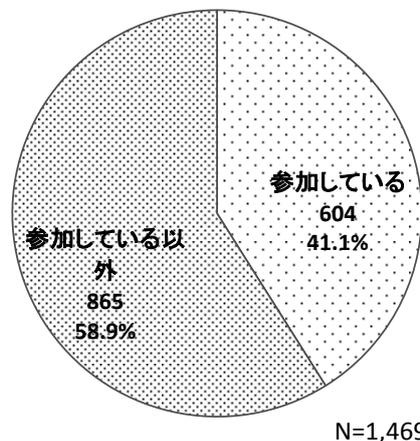
問 13 あなたはご近所で行われている活動に参加していますか。参加していない、知らないという場合、今後参加したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【参加実績】

- ・「参加している」の割合が高いのは「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」(29.8%)で約3割である。次いで「② 趣味の活動」(10.9%)、「③ 健康・スポーツの活動」(10.8%)である。この3項目以外の項目では、「知らない」の割合が半数以上となっている。
- ・「知らない」の割合が最も高いのは「⑧ 障がいがある人との交流の活動」(69.5%)で7割近くである。

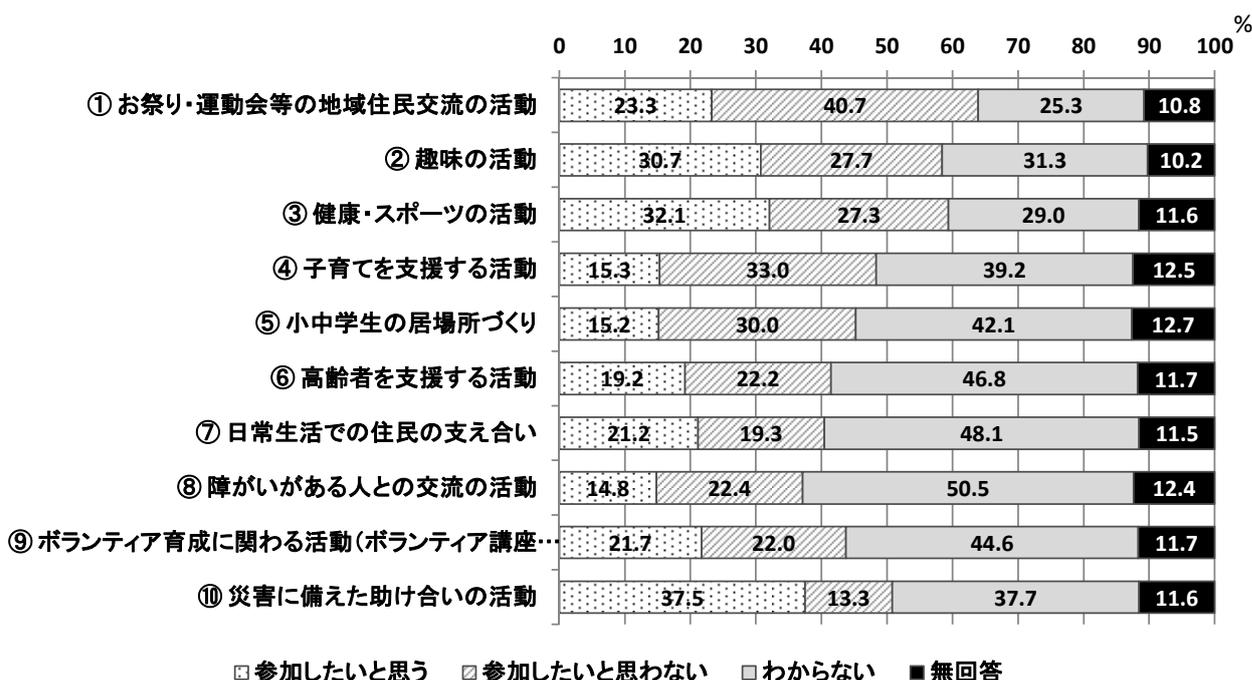


- ・①～⑩のいずれかの活動に「参加している」のは41.1%で4割をやや超えている。それ以外の方は58.9%である。



【参加希望】

- ・「参加したいと思う」の割合が最も高いのは「⑩ 災害に備えた助け合いの活動」（37.5%）で4割弱である。次いで「③ 健康・スポーツの活動」（32.1%）、「② 趣味の活動」（30.7%）で、いずれも3割を超えている。
- ・一方「参加したいと思わない」の割合が高いのは、「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」（40.7%）で約4割である。次いで「④ 子育てを支援する活動」（33.0%）、「⑤ 小中学生の居場所づくり」（30.0%）などと続く。
- ・「わからない」の割合が高い項目は「⑧ 障がいがある人との交流の活動」（50.5%）、「⑦ 日常生活での住民の支え合い」（48.1%）で約半数が挙げている。



■ 年齢別 地域活動への参加状況(問13×F1)

- ・①から⑩までのいずれかの活動に「参加している」と回答した人は全体の41.1%であった。年齢別にみると「参加している」人は30代、40代では他と比べてやや高くなっている。参加していない人は10代・20代で69.8%となっており、区全体の数値と比較して10ポイント以上高くなっている。

		合計	問13(1)で参加していると答えた人	
			参加している	参加している以外
	全体	1469	41.1	58.9
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	30.2	69.8
	30代	193	46.6	53.4
	40代	308	49.0	51.0
	50代	263	36.9	63.1
	60代	254	37.0	63.0
	70代以上	266	43.6	56.4

■ 年齢別 地域活動への参加状況(問13×F1)

- ・全ての年代で「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」への参加率が高く、特に40代、30代の参加率が高い。
- ・「④子育てを支援する活動」については30代の参加率が高い。
- ・② 趣味の活動、③ 健康・スポーツの活動、⑥ 高齢者を支援する活動については、70代以上の参加率が他と比べてやや高くなっている。

		問13(1)(参加実績)										
		① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動	② 趣味の活動	③ 健康・スポーツの活動	④ 子育てを支援する活動	⑤ 小中学生の居場所づくり	⑥ 高齢者を支援する活動	⑦ 日常生活での住民の支え合い	⑧ 障がいがある人との交流の活動	⑨ ボランティア育成に関わる活動	⑩ 災害に備えた助け合いの活動	
F1 年齢 (総合)	全体	1469	29.8	10.9	10.8	7.3	2.9	3.9	6.3	2.2	3.0	7.9
	10代・20代	162	24.1	4.9	6.2	7.4	1.9	0.6	2.5	0.6	1.9	1.9
	30代	193	37.3	5.7	7.3	19.2	6.7	1.6	5.7	1.6	0.5	6.7
	40代	308	41.2	8.4	9.7	11.0	5.5	1.0	6.5	1.0	1.3	8.4
	50代	263	27.8	7.2	8.0	3.4	1.9	3.0	5.7	2.7	2.3	9.1
	60代	254	22.0	15.0	12.2	3.1	0.8	5.9	8.3	3.1	4.3	9.1
	70代以上	266	24.4	20.7	19.2	2.6	0.8	9.8	7.1	3.4	7.1	9.4

※各項目の「参加している」と回答した人の割合

■ 年齢別 地域活動への参加希望(問13×F1)

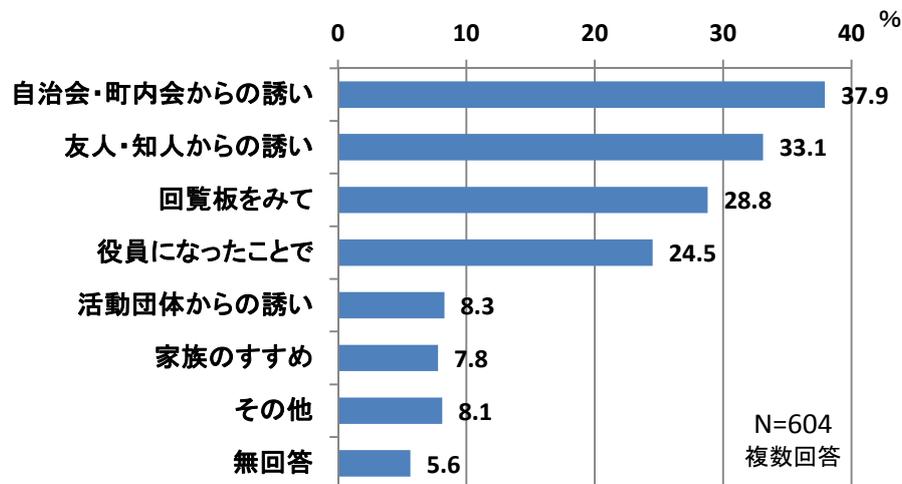
- ・10代・20代以外の全ての年代で、「⑩災害に備えた助け合いの活動」への参加希望が最も高くなっている。
- ・「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」については10代・20代及び30代の参加希望が高く、特に10代・20代では41.7%で区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。また「④子育てを支援する活動」については10代・20代及び30代の参加希望が高く、特に30代では31.7%で区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・「②趣味の活動」については60代、「⑤小中学生の居場所づくり」については30代と40代、「⑨ボランティア育成に関わる活動」については60代、「⑩災害に備えた助け合いの活動」については40代の参加希望が高い。

		問13(1)(参加希望)										
		① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動	② 趣味の活動	③ 健康・スポーツの活動	④ 子育てを支援する活動	⑤ 小中学生の居場所づくり	⑥ 高齢者を支援する活動	⑦ 日常生活での住民の支え合い	⑧ 障がいがある人との交流の活動	⑨ ボランティア育成に関わる活動	⑩ 災害に備えた助け合いの活動	
F1 年齢 (総合)	全体	873	23.3	30.7	32.1	15.3	15.2	19.2	21.2	14.8	21.7	37.5
	10代・20代	120	41.7	32.7	35.6	24.1	17.6	16.8	20.4	18.7	26.1	40.5
	30代	112	32.1	32.2	33.3	31.7	24.1	11.2	19.2	10.1	12.7	35.9
	40代	160	22.5	27.3	32.0	14.8	21.9	18.6	21.6	15.4	21.9	42.6
	50代	176	19.3	31.3	33.8	10.5	9.4	23.6	19.7	14.7	26.0	40.6
	60代	165	15.8	36.8	36.8	11.9	11.4	23.3	24.3	15.8	27.1	36.9
	70代以上	129	14.7	24.1	18.0	4.7	5.9	20.8	22.3	14.3	15.2	25.5

※各項目の「参加したいと思う」と回答した人の割合

問 13-1 活動に参加したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

・「自治会・町内会からの誘い」(37.9%)、「友人・知人からの誘い」(33.1%)が多く、3割以上が挙げている。また「回覧板をみて」は28.8%である。



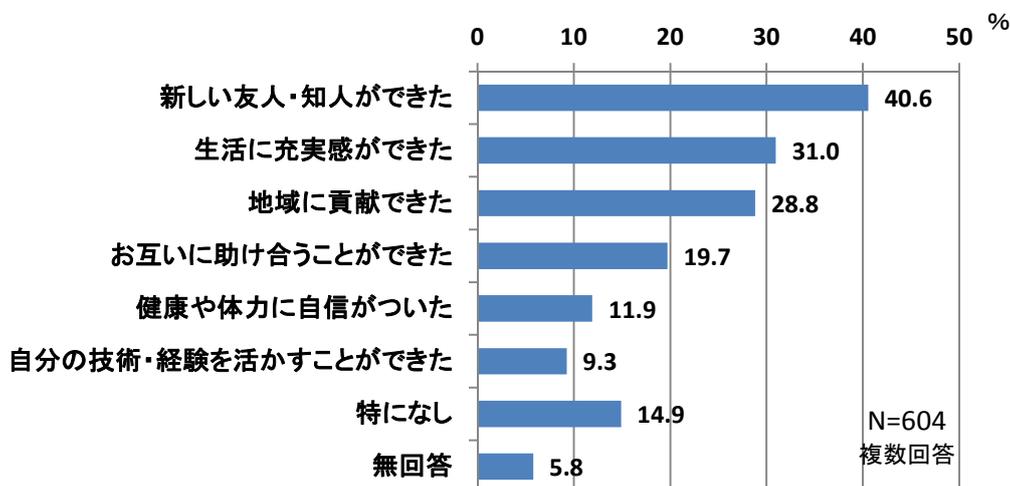
■ 年齢別 地域活動に参加したきっかけ(問13-1×F1)

・40代以上の世代では、「自治会・町内会からの誘い」が多く、いずれも4割以上が挙げている。30代では「回覧板をみて」が多く41.1%である。10代・20代では「知人・友人からの誘い」が46.9%で最も多い。また、10代・20代の20.4%が「家族のすすめ」を挙げている。

		合計	問13-1 活動に参加したきっかけ							
			友人・知人からの誘い	自治会・町内会からの誘い	活動団体からの誘い	家族のすすめ	役員になったことで	回覧板をみて	その他	無回答
全体		604	33.1	37.9	8.3	7.8	24.5	28.8	8.1	5.6
F1 年齢 (統合)	10代・20代	49	46.9	20.4	10.2	20.4	2.0	12.2	14.3	6.1
	30代	90	30.0	26.7	7.8	5.6	12.2	41.1	13.3	1.1
	40代	151	35.8	41.1	5.3	7.9	29.8	22.5	6.6	3.3
	50代	97	21.6	43.3	8.2	6.2	29.9	29.9	4.1	6.2
	60代	94	33.0	41.5	10.6	6.4	30.9	28.7	6.4	9.6
	70代以上	116	34.5	41.4	10.3	6.0	25.9	33.6	8.6	8.6

問 13-2 活動に参加して良かったと思うことは何ですか（〇はいくつでも）

- ・最も多いのは「新しい友人・知人ができた」（40.6%）で約4割が挙げている。次いで「生活に充実感ができた」（31.0%）が約3割、さらに「地域に貢献できた」（28.8%）、「お互いに助け合うことができた」（19.7%）など続く。



■ 年齢別 活動に参加して良かったと思うこと（問13-2×F1）

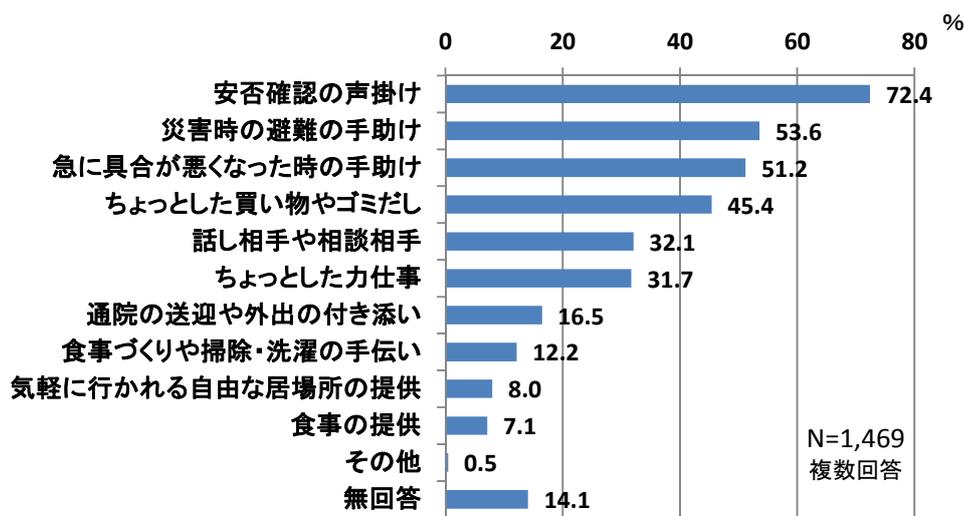
- ・40代と60代以上の世代では、「新しい友人・知人ができた」が最も多く、特に70代以上では半数以上が挙げている。50代では「地域に貢献できた」の割合が最も高い。30代までの世代では「生活に充実感ができた」の割合が最も高く、10代・20代では5割弱が挙げている。

	合計	問13-2 活動に参加して良かったこと								
		生活に充実感ができた	お互いに助け合うことができた	健康や体力に自信がついた	地域に貢献できた	新しい友人・知人ができた	自分の技術・経験を活かすことができた	特になし	無回答	
全体	604	31.0	19.7	11.9	28.8	40.6	9.3	14.9	5.8	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	49	46.9	14.3	8.2	12.2	28.6	6.1	24.5	4.1
	30代	90	36.7	11.1	5.6	22.2	33.3	4.4	22.2	2.2
	40代	151	27.2	17.9	8.6	31.8	37.7	6.6	15.2	4.0
	50代	97	24.7	28.9	7.2	38.1	36.1	4.1	16.5	4.1
	60代	94	24.5	21.3	13.8	31.9	47.9	16.0	7.4	7.4
	70代以上	116	35.3	22.4	24.1	28.4	52.6	15.5	9.5	12.1

問 14 あなたは近所の困っている人にどのような手助けができますか。

また、ちょっと困ったことがあった場合、ご近所から手助けしてもらいたいことはありますか。(〇はいくつでも)

- ・手助けできることとして最も多かったのは「安否確認の声掛け」(72.4%)で7割以上が挙げている。次いで「災害時の避難の手助け」(53.6%)、「急に具合が悪くなった時の手助け」(51.2%)で半数超の人が挙げている。以下「ちょっとした買い物やゴミだし」(45.4%)、「話し相手や相談相手」(32.1%)、「ちょっとした力仕事」(31.7%)などと続く。

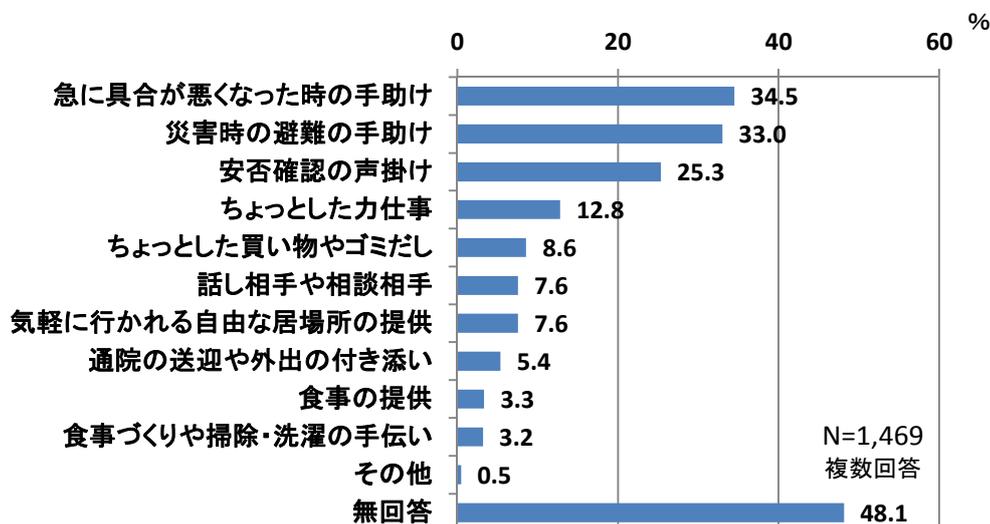


■ 男女別、年齢別 手助けができること (問14×F1、F2)

- ・男女ともに「安否確認の声掛け」を挙げる人が最も多い。男性では「ちょっとした力仕事」「災害時の避難の手助け」の割合が女性と比較して高くなっている。一方女性では「ちょっとした買い物やゴミだし」の割合が約半数で、男性と比べて高くなっている。
- ・全ての世代で「安否確認の声掛け」が最も高く、特に40代では8割を超えている。10代・20代では「ちょっとした力仕事」「話し相手や相談相手」「気軽に行かれる自由な居場所の提供」「急に具合が悪くなった時の手助け」を挙げる人の割合が区全体の数値と比較して10ポイント以上高くなっている。また40代までの世代では6割前後が「災害時の避難の手助け」を挙げている。

		合計	問14-1 手助けができること											
			安否確認の声掛け	ちょっとした買い物やゴミだし	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の付き添い	話し相手や相談相手	気軽に行かれる自由な居場所の提供	食事の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他	無回答
F2 性別	全体	1469	72.4	45.4	12.2	31.7	16.5	32.1	8.0	7.1	53.6	51.2	0.5	14.1
	男性	575	67.3	38.3	9.4	46.1	16.3	27.1	7.0	5.9	59.1	53.7	0.5	14.8
	女性	859	76.7	50.8	14.3	22.7	16.9	35.5	8.7	7.9	50.5	49.9	0.5	12.9
F1 年齢(統合)	10代・20代	162	75.9	50.6	16.7	48.8	15.4	42.6	18.5	11.1	59.3	61.7	0.6	6.2
	30代	193	77.7	38.9	10.9	33.2	13.0	28.0	6.7	7.3	60.6	55.4	1.0	9.3
	40代	308	81.5	48.7	14.6	36.7	18.2	30.5	10.4	8.1	63.3	55.8	0.3	7.1
	50代	263	74.9	50.2	9.9	31.6	16.3	28.9	4.6	5.7	57.4	49.4	0.0	11.0
	60代	254	69.7	48.8	12.6	29.9	20.1	33.9	4.7	6.3	52.0	50.0	0.8	13.8
	70代以上	266	57.1	36.1	10.5	17.7	15.8	32.3	6.8	6.4	32.3	39.5	0.4	32.7

- ・手助けしてほしいことについては、「無回答」が 48.1%で最も多かった。次いで「急に具合が悪くなった時の手助け」(34.5%)、「災害時の避難の手助け」(33.0%)について3割以上が挙げており、以下「安否確認の声掛け」(25.3%)、「ちょっとした力仕事」(12.8%)などと続く。



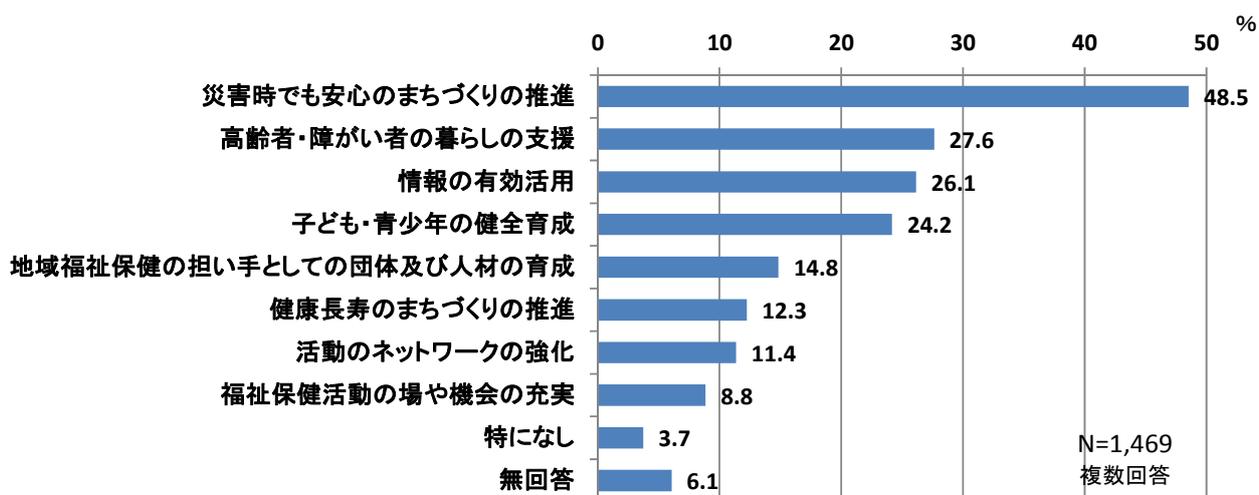
■ 年齢別、家族形態別 手助けしてもらいたいこと (問14-2×F1、F4)

- ・全体的に無回答の割合が高くなっており、60代以上では半数以上が無回答である。30代までの世代では「安否確認の声掛け」「災害時の避難の手助け」「急に具合が悪くなった時の手助け」の割合が高く、10代・20代の46.3%が「災害時の避難の手助け」を挙げており、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・「ひとり暮らし」では「安否確認の声掛け」「急に具合が悪くなった時の手助け」の割合が高く、いずれも区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。また「親と子と孫(3世代)」では、「災害時の避難の手助け」が4割弱となっている。

	合計	問14-2 手助けしてもらいたいこと											無回答	
		安否確認の声掛け	ちょっとした買い物やゴミだし	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の付き添い	話し相手や相談相手	気軽に行かれる自由な居場所の提供	食事の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他		
全体	1469	25.3	8.6	3.2	12.8	5.4	7.6	7.6	3.3	33.0	34.5	0.5	48.1	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	34.6	9.3	4.3	16.7	6.8	11.7	9.3	4.3	46.3	42.0	0.0	39.5
	30代	193	35.2	4.7	2.1	9.3	3.6	8.8	9.3	2.6	42.0	40.4	1.0	36.8
	40代	308	30.2	10.1	3.2	11.7	4.9	6.8	8.1	1.9	37.7	37.7	1.0	44.2
	50代	263	22.8	8.0	3.4	11.0	3.8	6.5	4.6	2.7	30.0	31.9	0.0	49.8
	60代	254	17.7	7.9	2.8	12.2	4.3	6.3	7.1	3.9	27.6	27.6	0.4	57.1
	70代以上	266	17.3	10.9	3.4	16.9	9.0	7.1	8.3	5.3	21.8	32.0	0.0	55.3
F4 家族形態	ひとり暮らし	110	38.2	6.4	2.7	15.5	4.5	6.4	8.2	2.7	33.6	49.1	0.0	36.4
	夫婦だけ	366	21.3	10.7	2.7	12.3	5.5	6.6	8.2	2.7	30.3	33.1	0.0	50.0
	親と子(2世代)	863	25.3	8.2	3.6	12.9	5.7	8.0	7.1	3.8	34.1	33.8	0.7	49.1
	親と子と孫(3世代)	84	28.6	8.3	2.4	15.5	2.4	9.5	10.7	2.4	38.1	35.7	0.0	38.1
	その他	17	29.4	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	29.4	17.6	0.0	64.7

問 15 青葉区では、「区民・事業者・行政の協働による福祉保健のまちづくり」をめざし、第2期青葉区地域福祉保健計画「青葉かがやく生き生きプラン」を策定しています。このプランでは、以下の1～8の課題解決に向けた取組を進めていますが、青葉区で今後もさらに必要だと感じる取組はどれですか。（〇は2つまで）

- ・「災害時でも安心のまちづくりの推進」が突出して多く 48.5%で5割弱が挙げている。次いで「高齢者・障がい者の暮らしの支援」（27.6%）、「情報の有効活用」（26.1%）、「子ども・青少年の健全育成」（24.2%）、「地域福祉保健の担い手としての団体及び人材の育成」（14.8%）などと続く。



■ 年齢別 青葉区で今後もさらに必要だと感じる取組（問15×F1）

- ・70代以上を除く全ての世代で「災害時でも安心のまちづくりの推進」を挙げる人の割合が最も高くなっている。
- ・70代以上では約4割が「高齢者・障がい者の暮らしの支援」を挙げている。

	合計	問15 青葉区で今後もさらに必要だと感じる取組										
		地域福祉 保健の担 い手とし ての団体 及び人材 の育成	情報の有 効活用	福祉保健 活動の場 や機会 の充実	活動の ネット ワークの 強化	高齢者・ 障がい者 の暮らし の支援	子ども・ 青少年の 健全育成	健康長寿 のまちづ くりの推 進	災害時で も安心の まちづく りの推進	特になし	無回答	
全体	1469	14.8	26.1	8.8	11.4	27.6	24.2	12.3	48.5	3.7	6.1	
F1 年齢 (総合)	10代・20代	162	7.4	21.6	3.1	14.8	25.9	29.0	8.6	53.1	3.7	4.3
	30代	193	10.4	21.2	5.7	11.4	13.5	51.8	6.7	55.4	3.1	4.7
	40代	308	13.0	27.9	6.5	12.3	25.3	31.5	7.5	55.8	2.6	2.9
	50代	263	19.0	32.3	8.4	12.9	25.9	14.1	10.6	51.7	2.3	4.9
	60代	254	14.6	28.0	10.6	10.2	31.1	14.2	16.1	42.5	4.7	7.5
	70代以上	266	20.7	23.3	15.0	7.1	39.8	12.4	20.7	35.3	6.0	10.2

■ 同居している家族別 青葉区で今後もさらに必要だと感じる取組（問15×F5）

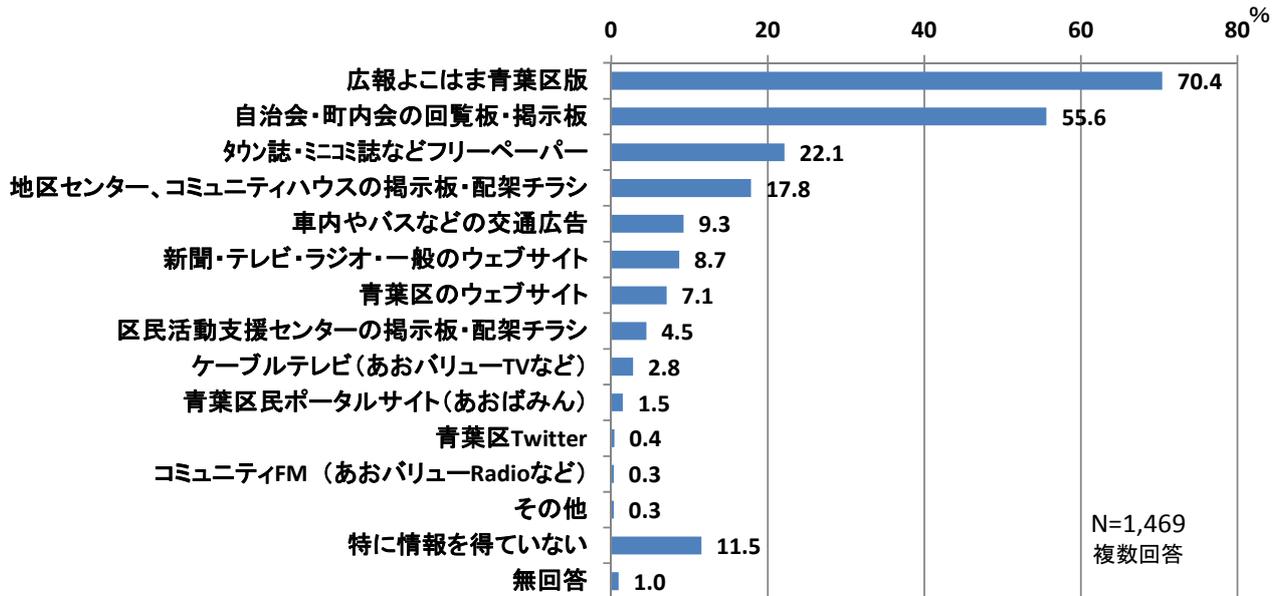
- ・「乳幼児・未就学児」「小学生、中学生」と同居している人では「子ども・青少年の健全育成」を挙げる人の割合が高く、いずれも区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・「65歳以上の高齢者」と同居している人では「高齢者・障がい者の暮らしの支援」を挙げる人の割合が高く、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・「小学生、中学生」「高校生、専門学校生、大学生」と同居している人では「災害時でも安心のまちづくりの推進」を挙げる人の割合が5割を超えている。

	合計	問15 青葉区で今後もさらに必要だと感じる取組										
		地域福祉 保健の担 い手とし ての団体 及び人材 の育成	情報の有 効活用	福祉保健 活動の場 や機会 の充実	活動の ネット ワークの 強化	高齢者・ 障がい者 の暮らし の支援	子ども・ 青少年の 健全育成	健康長寿 のまちづ くりの推 進	災害時で も安心の まちづく りの推進	特になし	無回答	
全体	1469	14.8	26.1	8.8	11.4	27.6	24.2	12.3	48.5	3.7	6.1	
F5 現在 同居して いる家族	乳幼児・未就学児	173	11.0	17.9	5.2	13.3	14.5	69.4	5.8	50.9	2.3	2.9
	小学生、中学生	254	11.8	21.3	5.5	9.8	19.7	44.5	7.1	55.9	2.0	5.1
	高校生、専門学校生、大学生	258	14.7	29.1	8.5	13.6	25.6	19.8	10.5	55.0	1.6	3.9
	65歳以上の高齢者	383	17.2	26.1	11.7	9.1	38.1	15.4	16.2	41.0	3.7	8.1
	あてはまる家族はいない	504	16.1	29.6	8.5	11.9	27.2	13.5	13.1	52.6	5.4	4.6

6. 広報について

問 16 普段、青葉区の情報（事業や行事、お知らせなど）をどのようなものから得ていますか。（〇はいくつでも）

- ・「広報よこはま青葉区版」が70.4%で7割に達し、突出している。「自治会・町内会の回覧板・掲示板」（55.6%）も半数以上の人が挙げている。以下「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」（22.1%）、「地区センター、コミュニティハウスの掲示板・配架チラシ」（17.8%）などとなっている。



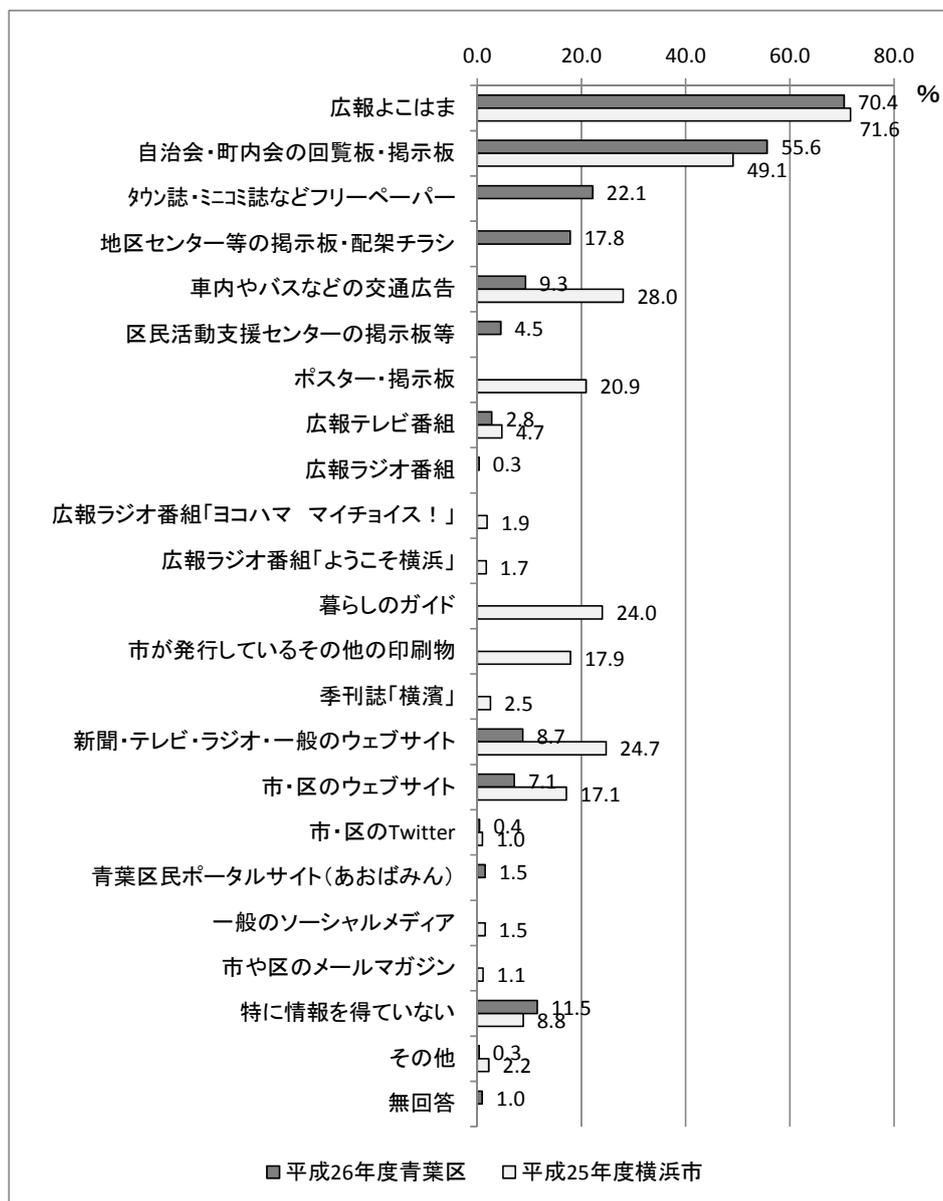
■ 年齢別 青葉区の情報の入手先（問16×F1）

- ・10代・20代を除く全ての年代で「広報よこはま青葉区版」の割合が最も高くなっている。特に60代以上では8割以上が挙げている。
- ・10代・20代では36.4%が「特に情報を得ていない」を挙げており、区全体の数値を大きく上回っている。また10代・20代では「車内やバスなどの交通広告」の割合が他と比べて高い。50代以上では6割以上が「自治会・町内会の回覧板・掲示板」を挙げている。70代以上では「地区センター等の掲示板・配架チラシ」「新聞・テレビ・ラジオ・一般のウェブサイト」の割合が他と比べて高い。

		問16 青葉区の情報の入手先															
合計		広報よこはま青葉区版	青葉区のウェブサイト	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	青葉区Twitter	ケーブルテレビ	コミュニティFM	区民活動支援センターの掲示板・配架チラシ	地区センター等の掲示板・配架チラシ	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	新聞・テレビ・ラジオ・一般のウェブサイト	車内やバスなどの交通広告	その他	特に情報を得ていない	無回答	
	全体	1469	70.4	7.1	1.5	0.4	2.8	0.3	4.5	17.8	55.6	22.1	8.7	9.3	0.3	11.5	1.0
F1 年齢(続合)	10代・20代	162	28.4	6.2	1.2	1.2	1.2	0.0	4.3	15.4	26.5	10.5	4.9	18.5	1.2	36.4	0.6
	30代	193	59.6	11.9	0.5	1.6	1.0	0.5	4.1	15.5	42.0	25.9	4.7	11.4	0.5	18.1	0.0
	40代	308	73.4	8.8	1.0	0.3	2.3	0.0	2.3	16.9	48.1	24.4	5.5	4.9	0.6	10.7	0.6
	50代	263	76.0	8.4	0.4	0.0	3.8	0.0	2.3	12.9	63.5	24.0	5.7	9.9	0.0	8.7	0.0
	60代	254	86.2	5.9	3.1	0.0	3.1	0.4	4.7	19.3	71.3	24.0	9.1	6.7	0.0	2.4	1.6
	70代以上	266	81.2	2.6	2.6	0.0	4.5	1.1	9.4	25.6	68.4	21.4	20.7	9.4	0.0	3.0	1.9

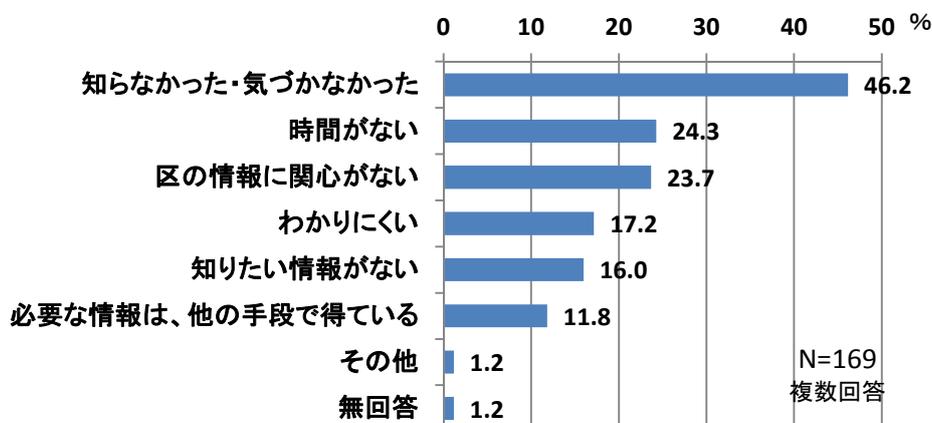
＜参考 平成 25 年度横浜市の広報に関するアンケート調査結果との比較＞

- ・平成 25 年度の横浜市の広報に関するアンケート調査との比較では、「広報よこはま」を挙げる人の割合は大きな差異はない。「自治会・町内会の回覧板・掲示板」については、区の割合が高い。また「車内やバスなどの交通広告」「新聞・テレビ・ラジオ・一般のウェブサイト」「市・区のウェブサイト」では市の割合が高い結果となっている。



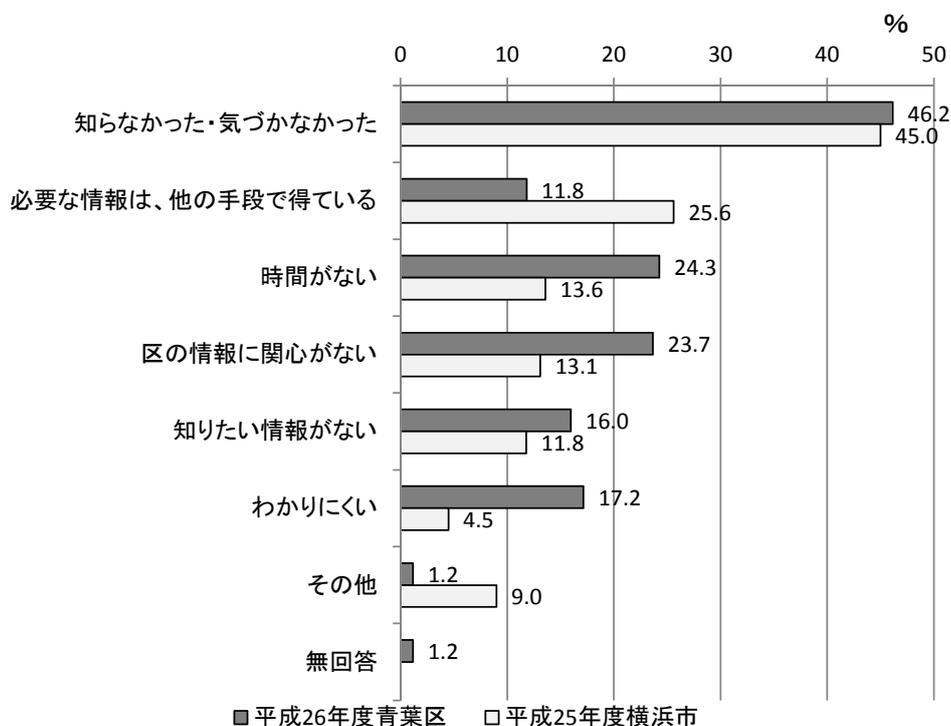
問 16-1 情報を得ていない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- ・「知らなかった・気づかなかった」が 46.2%で、突出している。次いで「時間がない」(24.3%)、「区の情報に関心がない」(23.7%)、「わかりにくい」(17.2%)、「知りたい情報がない」(16.0%)などとなっている。



<参考 平成 25 年度横浜市の広報に関するアンケート調査結果との比較>

- ・平成 25 年度の横浜市の広報に関するアンケート調査との比較では、「知らなかった・気づかなかった」を挙げる人の割合は大きな差異はない。「必要な情報は、他の手段で得ている」は市の割合が高い。「時間がない」「区の情報に関心がない」「わかりにくい」は区の方が 10 ポイント以上高くなっている

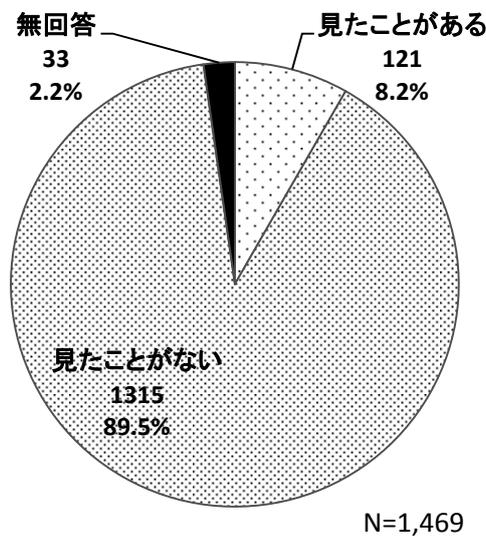


※横浜市調査は「広報よこはま」を読まない理由についての設問である。

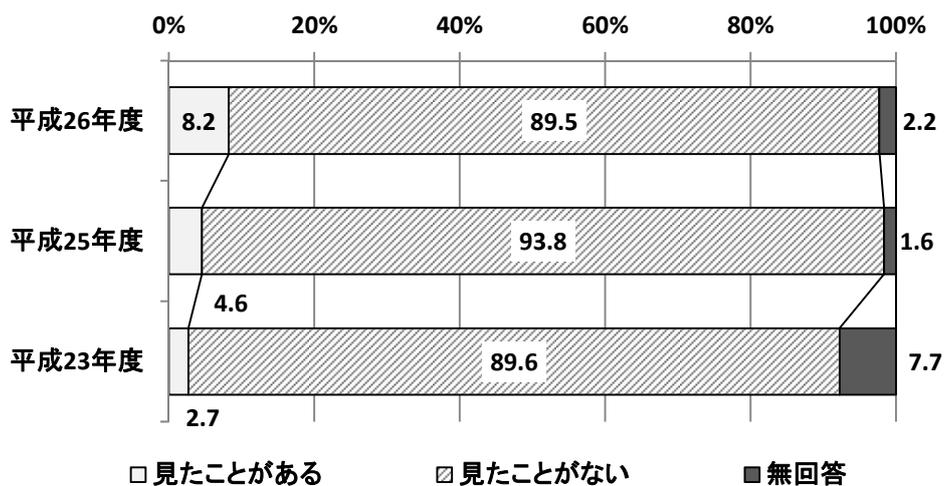
問 17 青葉区広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」を見たことがありますか。

(ケーブルテレビッツコム(水曜 17:55~、土・日曜 18:50~)及びジェイコム(月曜 12:05~、金曜 16:20~)、青葉区のウェブサイト、インターネット動画サイト、区庁舎のモニター等で見るができます。) (〇は1つだけ)

- ・「見たことがない」が 89.5%と 9 割弱を占め、圧倒的多数となっている。「見たことがある」は 8.2%である。
- ・平成 23 年度、平成 25 年度調査と比較すると、「見たことがある」の割合は増加傾向である。



<参考 平成 23、25 年度調査結果との比較>



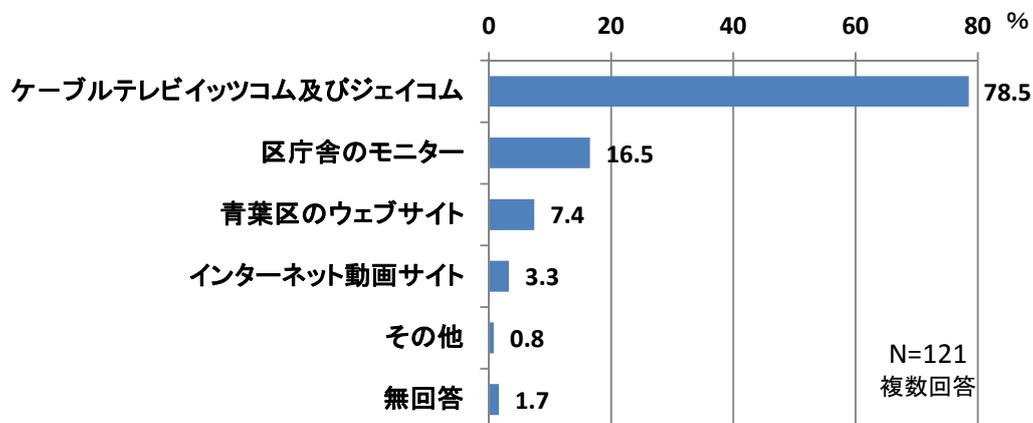
■ 年齢別 青葉区広報テレビ番組 視聴経験の有無（問17×F1）

- ・全ての年齢で「見たことがない」が多く、特に30代までの年代では95%を超えている。70代以上では「見たことがある」が10.2%である。

		合計	問17 青葉区広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」		
			見たことがある	見たことがない	無回答
全体		1469	8.2	89.5	2.2
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	4.3	95.7	0.0
	30代	193	4.1	95.9	0.0
	40代	308	8.8	90.3	1.0
	50代	263	9.5	90.1	0.4
	60代	254	9.4	87.4	3.1
	70代以上	266	10.2	83.1	6.8

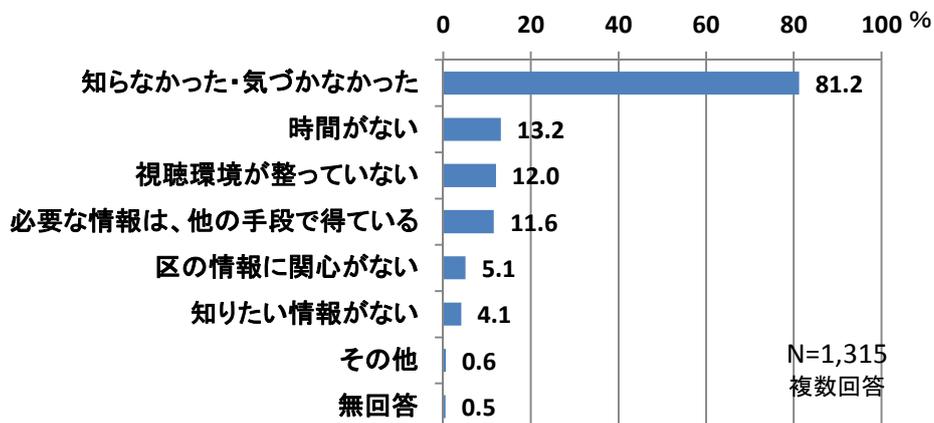
問 17-1 どのような手段でご覧になりますか。（〇はいくつでも）

- ・「ケーブルテレビイツコム及びジェイコム」が78.5%と8割弱を占め、圧倒的多数となっている。次いで「区庁舎のモニター」（16.5%）、「青葉区のウェブサイト」（7.4%）などと続く。

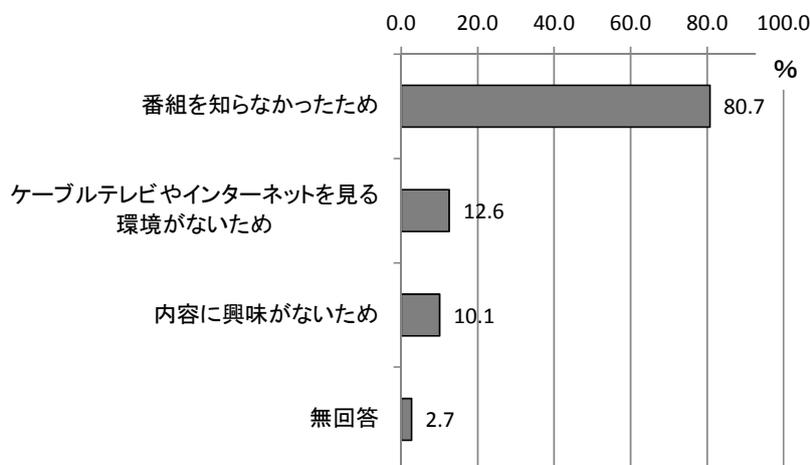


問 17-2 見たことがない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- ・「知らなかった・気づかなかった」が 81.2%と突出している。次いで「時間がない」(13.2%)、「視聴環境が整っていない」(12.0%)、「必要な情報は、他の手段で得ている」(11.6%)などと続く。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、「知らなかった」と視聴環境に関する項目の割合については大きな変化はない。



< 参考 平成 23 年度調査結果 >



■ 年齢別 青葉区広報テレビ番組を見たことがない理由（問17-2×F1）

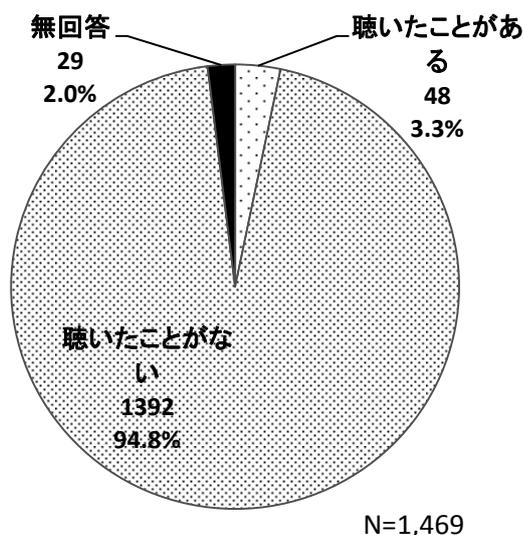
・全ての年代で「知らなかった・気づかなかった」が多く、特に30代、40代では9割近くに達している。60代以上では「必要な情報は、他の手段で得ている」が多く、70代以上では21.7%である。また70代以上では「視聴環境が整っていない」が19.0%である。10代・20代では「区の情報に関心がない」の割合が他の年齢と比較して高い。

		合計	問17-2 見たことがない理由							
			知らなかった・気づかなかった	必要な情報は、他の手段で得ている	時間が無い	区の情報に関心がない	知りたい情報がない	視聴環境が整っていない	その他	無回答
全体		1315	81.2	11.6	13.2	5.1	4.1	12.0	0.6	0.5
F1 年齢 (統合)	10代・20代	155	83.9	5.2	10.3	11.0	7.7	11.6	0.6	0.6
	30代	185	88.6	8.1	15.1	3.8	3.8	11.9	0.5	0.5
	40代	278	86.7	8.3	15.8	3.6	2.9	10.4	0.7	0.0
	50代	237	80.6	8.4	17.7	5.9	3.8	8.4	0.8	0.4
	60代	222	75.2	16.7	12.6	3.2	3.2	11.3	0.0	0.5
	70代以上	221	72.9	21.7	6.3	5.4	4.5	19.0	0.9	1.4

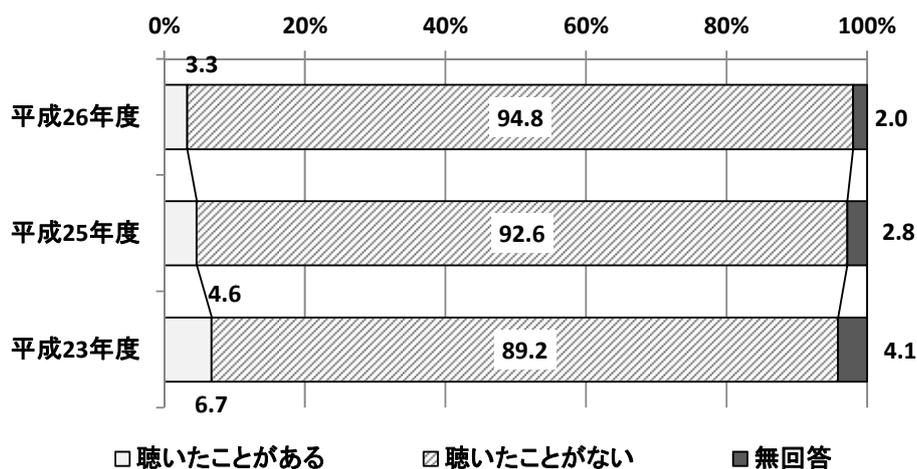
問 18 青葉区広報ラジオ番組「あおバリューRadio」を聞いたことがありますか。

(コミュニティFMラジオ「FMサルス (84.1MHz)」(月～金曜 11:00～、18:30～、土・日曜 9:00～)、インターネットラジオ又は青葉区のウェブサイトで、聴くことができます。)(○は1つだけ)

- ・「聞いたことがない」が 94.8%と 9 割以上を占め、圧倒的多数となっている。「聞いたことがある」は 3.3%にとどまっている。
- ・平成 23 年度、25 年度調査との比較では、「聞いたことがある」の割合は微減傾向である。



<参考 平成 23 年度、25 年度調査結果との比較>



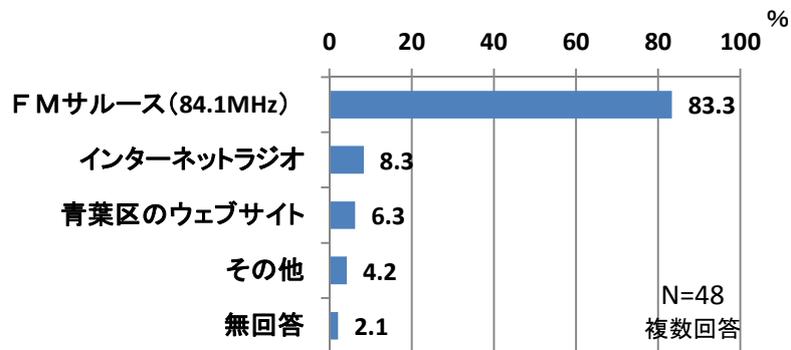
■ 年齢別 青葉区広報ラジオ番組 視聴経験の有無（問18×F1）

- ・全ての年齢で「聴いたことがない」が多く、特に40代までの年代では95%を超えている。

		合計	問18 青葉区広報ラジオ番組「あおバリューRadio」		
			聴いたことがある	聴いたことがない	無回答
全体		1469	3.3	94.8	2.0
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	3.1	96.9	0.0
	30代	193	1.0	99.0	0.0
	40代	308	3.6	95.5	1.0
	50代	263	4.9	94.7	0.4
	60代	254	3.5	93.7	2.8
	70代以上	266	3.0	91.7	5.3

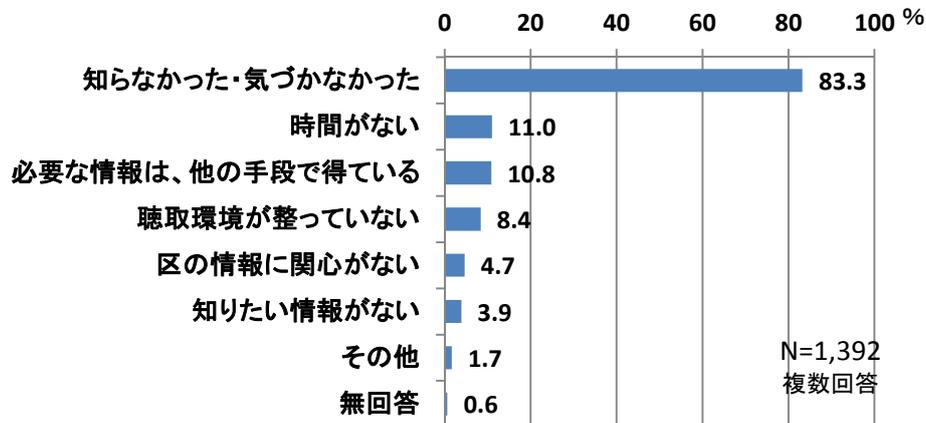
問 18-1 どのような手段でお聴きになりますか。（〇はいくつでも）

- ・「FM サルース」が 83.3% で突出している。

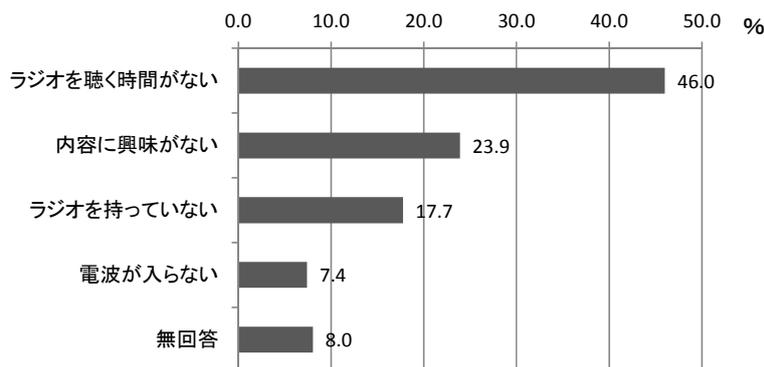


問 18-2 聴いたことがない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- ・「知らなかった・気づかなかった」が 83.3% で突出しており、次いで「時間がない」(11.0%)、「必要な情報は、他の手段で得ている」(10.8%) などと続いている。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、「時間がない」の割合は大きく減少している。また興味・関心に関する割合、視聴環境に関する項目の割合も減少している。



< 参考 平成 23 年度調査結果 >



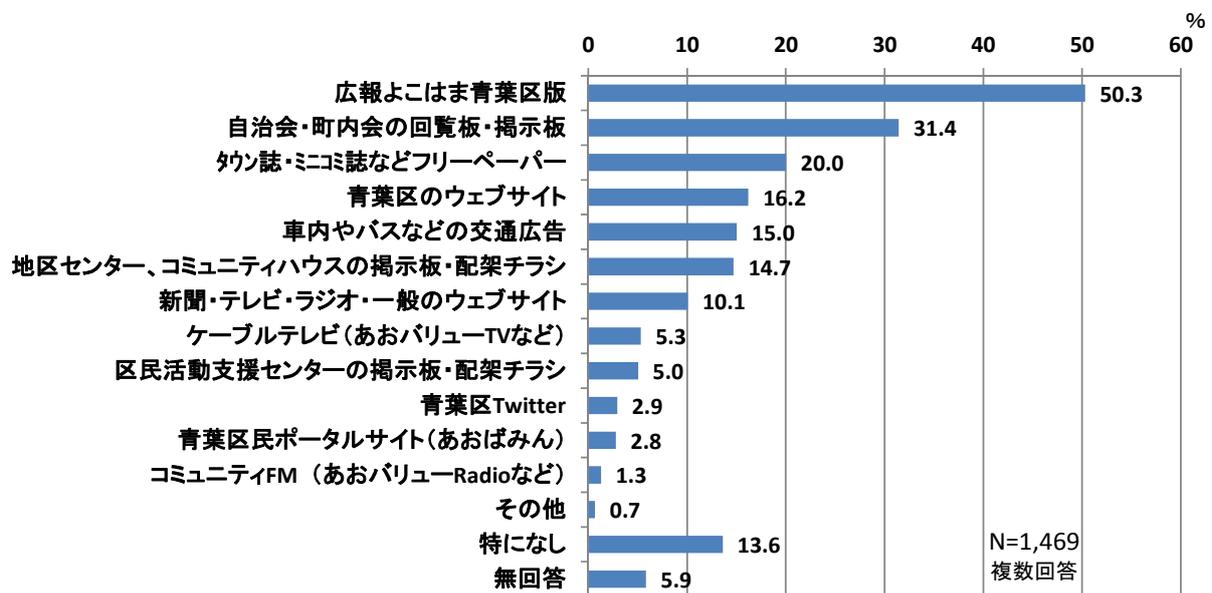
■ 年齢別 青葉区広報ラジオ番組を聴いたことがない理由 (問18-2×F1)

- ・全ての年代で「知らなかった・気づかなかった」が多く、特に 50 代までの年代では 8 割以上である。70 代以上では「必要な情報は、他の手段で得ている」「視聴環境が整っていない」の割合が他の年齢と比較して高い。

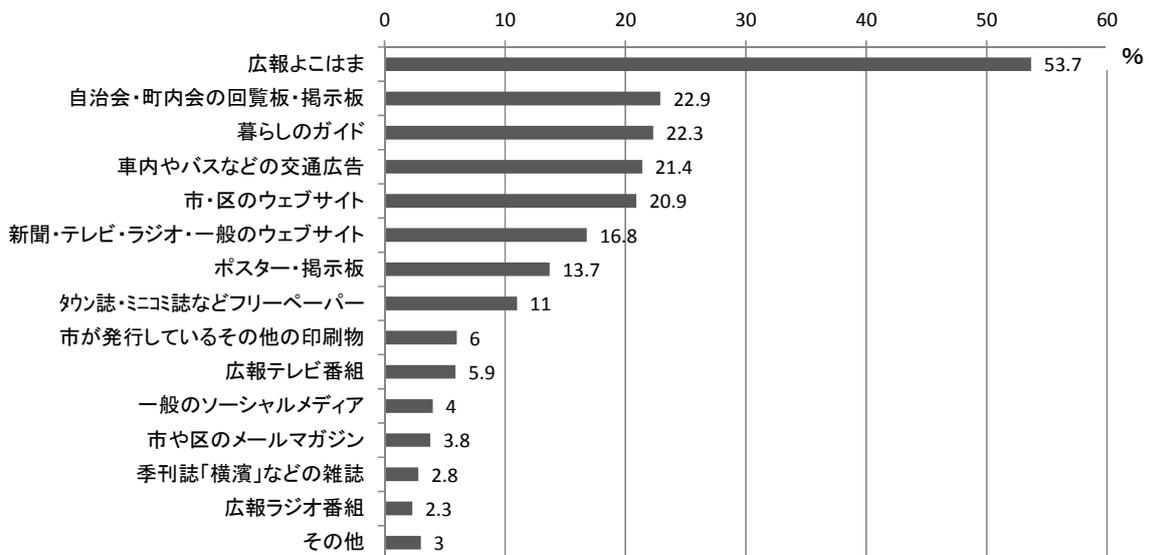
	合計	問18-2 聴いたことがない理由								
		知らな かった・ 気づかなか った	必要な情 報は、他 の手段で 得ている	時間がない	区の情報 に関心がない	知りたい 情報がない	聴取環境 が整って いない	その他	無回答	
全体	1392	83.3	10.8	11.0	4.7	3.9	8.4	1.7	0.6	
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	157	86.0	5.7	12.1	8.9	7.0	5.1	1.3	0.6
	30代	191	86.9	8.4	14.1	3.7	4.2	7.3	1.0	0.0
	40代	294	87.1	6.1	11.2	2.4	2.7	6.1	2.7	0.0
	50代	249	83.9	10.4	14.9	6.8	4.4	2.8	2.4	0.4
	60代	238	78.6	14.7	10.5	4.2	2.1	9.2	0.4	0.8
	70代以上	244	77.0	18.4	4.9	4.1	4.5	18.9	1.2	2.0

問 19 青葉区において、今後、力を入れてほしい広報媒体はどれですか。(〇はいくつでも)

- ・「広報よこはま青葉区版」が 50.3% で約半数が挙げている。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」(31.4%)、「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」(20.0%)、「青葉区のウェブサイト」(16.2%)、「車内やバスなどの交通広告」(15.0%)、「地区センター、コミュニティハウスの掲示板・配架チラシ」(14.7%)、「新聞・テレビ・ラジオ・一般のウェブサイト」(10.1%) などと続いている。
- ・平成 25 年度横浜市調査との比較では、広報よこはまの割合については大きな差異はない。自治会・町内会の回覧板・掲示板については区の割合が高く、ウェブサイトや交通広告では市の割合が高い傾向がみられる。



<参考 平成 25 年度横浜市の広報に関するアンケート調査結果>



■ 年齢別 力を入れてほしい広報媒体（問19×F1）

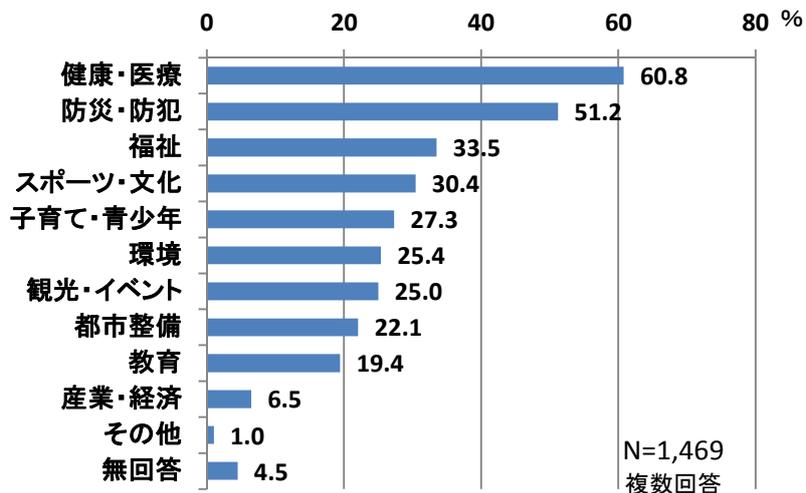
・10代・20代以外の全ての年代で「広報よこはま青葉区版」の割合が最も高い。特に60代以上では6割以上が挙げている。10代・20代では「特になし」が28.4%で区全体の数値の10ポイント以上高くなっている。60代以上では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」の割合も高く、特に70代以上では半数以上が挙げている。

	合計	問19 力を入れてほしい広報媒体							
		業広 区報 版よ こは ま青	サ青 イ葉 ト区 のウ ェブ	ル青 サ葉 イ区 ト民 ポ ー タ	T青 w葉 i区 t t e r	ケ ー ブ ル テ レ ビ	Fコ Mミ ユニ テ イ	板ン区 ・タ民 配活 架の チ掲 ラ示 シセ	
全体	1469	50.3	16.2	2.8	2.9	5.3	1.3	5.0	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	22.2	16.0	1.9	10.5	2.5	0.6	3.1
	30代	193	39.9	22.8	2.6	6.2	2.6	1.0	3.6
	40代	308	50.0	16.9	2.9	1.9	5.5	1.0	1.3
	50代	263	49.8	24.3	3.4	2.7	6.1	1.9	3.8
	60代	254	65.0	15.0	3.5	0.4	7.9	2.0	7.5
	70代以上	266	63.5	4.5	2.3	0.0	5.6	1.1	10.5

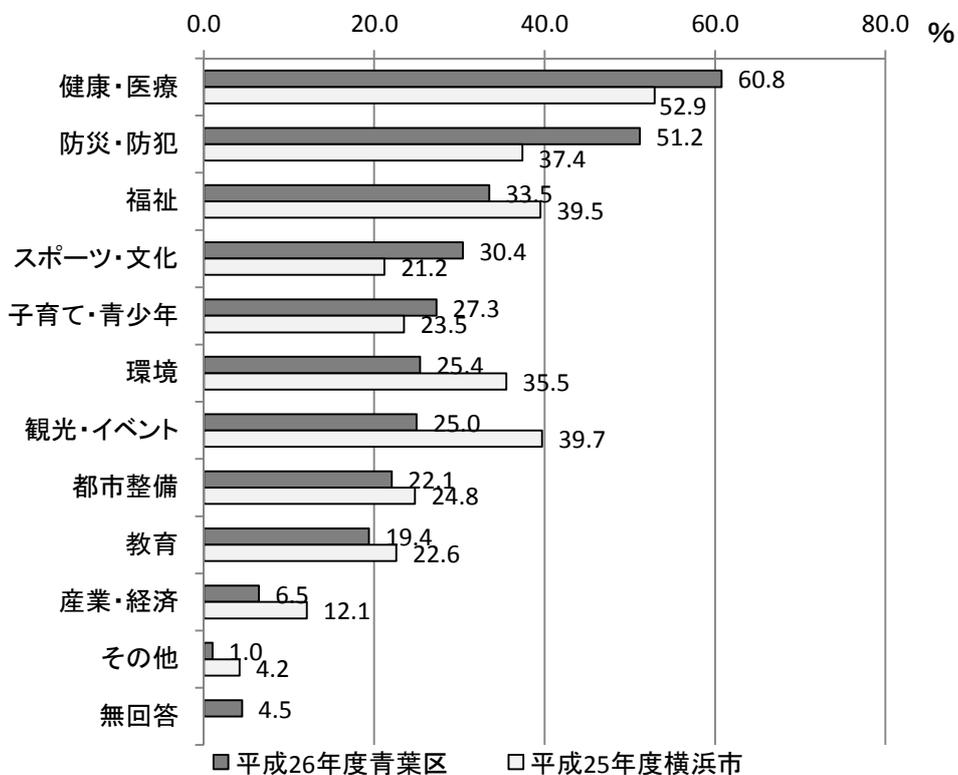
	合計	問19 力を入れてほしい広報媒体								
		掲ミ地 示ユ区 板ニセ ・テン 配イタ 架ハ、 チウ ラスコ シの	覧自 板治 ・会 掲 示 板 町内 会 の 回	パ誌タ ルなウ ン どフ誌 リ ー ミ ペ ー コ ミ	イオ新 ト・聞 一 般 の レ ウ ビ エ ・ ブ ラ サ ジ	通車 広内 告や バ ス な ど の 交	そ の 他	特 に な し	無 回 答	
全体	1469	14.7	31.4	20.0	10.1	15.0	0.7	13.6	5.9	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	11.1	13.6	18.5	8.0	23.5	0.0	28.4	2.5
	30代	193	11.4	22.3	23.8	4.1	15.5	1.0	18.1	1.6
	40代	308	12.0	22.1	19.2	9.7	16.2	0.3	14.6	4.9
	50代	263	12.2	28.5	25.5	8.0	16.0	1.1	14.1	4.6
	60代	254	16.1	40.9	18.1	13.4	11.0	0.8	8.3	6.7
	70代以上	266	24.1	54.1	16.2	15.0	11.7	0.8	5.6	10.2

問 20 青葉区で関心のあるテーマや、広報を充実してほしいテーマはどれですか。(〇はいくつでも)

- ・「健康・医療」が 60.8%で約 6 割が挙げている。また「防災・防犯」(51.2%)について半数が挙げている。次いで「福祉」(33.5%)、「スポーツ・文化」(30.4%)などが続いている。
- ・横浜市調査との比較では、「健康・医療」「防災・防犯」「スポーツ・文化」「子育て・青少年」の項目で、区の割合が高くなっている。



<参考 平成 25 年度横浜市の広報に関するアンケート調査結果との比較>



■ 年齢別 関心のあるテーマや、広報を充実してほしいテーマ（問20×F1）

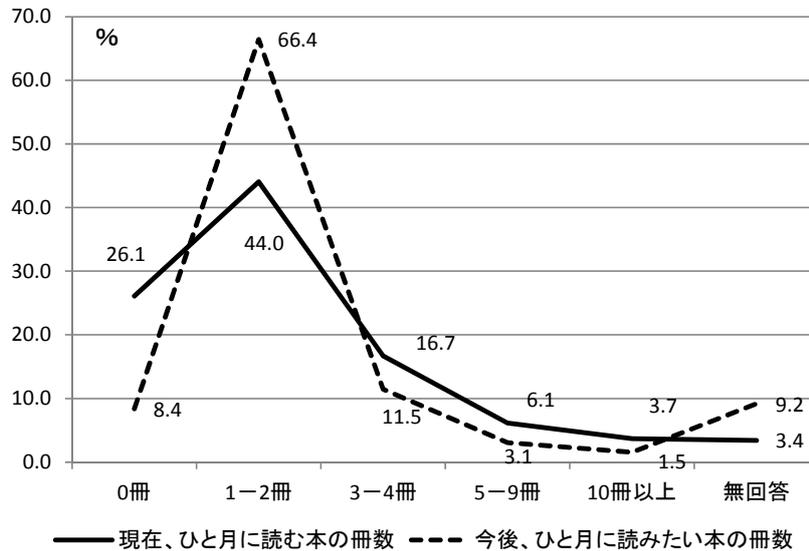
・10代・20代では「スポーツ・文化」、30代では「子育て・青少年」の割合が最も高い。40代以上では「健康・医療」が最も高く、年齢が上がるほど「健康・医療」の割合が高くなっている。

	合計	問20 関心のあるテーマや、広報を充実してほしいテーマ												
		健康・医療	観光・イベント	防災・防犯	環境	福祉	都市整備	スポーツ・文化	子育て・青少年	教育	産業・経済	その他	無回答	
全体	1469	60.8	25.0	51.2	25.4	33.5	22.1	30.4	27.3	19.4	6.5	1.0	4.5	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	37.7	39.5	36.4	17.3	17.3	25.9	42.0	30.2	26.5	8.0	0.6	3.7
	30代	193	50.8	32.1	45.1	17.6	16.1	20.2	24.9	64.2	42.0	4.1	1.0	1.0
	40代	308	54.2	27.6	52.9	30.2	29.5	25.3	35.4	39.6	27.9	7.8	1.0	2.9
	50代	263	64.3	22.8	59.3	25.5	37.3	27.0	35.4	15.6	9.5	5.7	1.9	3.4
	60代	254	69.3	20.5	52.4	31.5	44.9	18.9	29.1	14.6	8.7	7.1	1.2	5.1
	70代以上	266	79.7	15.4	55.3	24.4	46.2	15.8	18.8	9.0	9.4	5.6	0.4	7.1

7. 読書活動について

問 21 あなたは月に何冊本を読んでいますか。(電子書籍含む)(それぞれに○は1つ)

- ・現在、ひと月に読む本の冊数は「1－2冊」が最も多く44.0%で、全体の4割強となっている。次いで「0冊」が26.1%で、本を一冊も読まない人が全体の4分の1存在している。以下「3－4冊」(16.7%)、「5－9冊」(6.1%)、「10冊以上」(3.7%)と続く。
- ・今後、ひと月に読みたい本の冊数は「1－2冊」が最も多く66.4%で、7割弱となっている。次いで「3－4冊」が11.5%である。以下「0冊」(8.4%)「5－9冊」(3.1%)、「10冊以上」(1.5%)と続く。
- ・「現在」と「今後」を比較すると、「1－2冊」では今後の数値の方が高く、それ以外では現在の数値が今後の数値を上回っている。



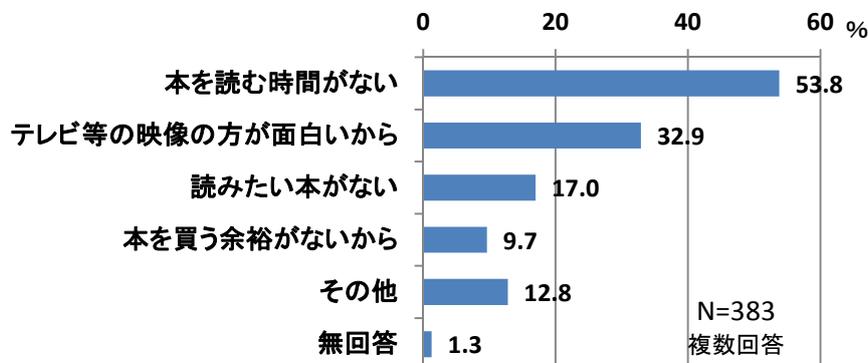
■ 年齢別 ひと月に読む本の冊数（問21①×F1）

- ・30代以外の全ての年代で「1－2冊」が最も多く、60代では半数近くが挙げている。
30代のみ「0冊」が38.3%で最も多くなっている。

		合計	問21-① 1月に読む本の冊数					無回答
			0冊（全く読まない）	1－2冊	3－4冊	5－9冊	10冊以上	
全体		1469	26.1	44.0	16.7	6.1	3.7	3.4
F1 年齢 （統合）	10代・20代	162	30.2	45.7	13.6	4.9	3.7	1.9
	30代	193	38.3	37.3	14.0	5.2	4.1	1.0
	40代	308	26.3	47.4	17.5	5.8	1.6	1.3
	50代	263	22.4	43.3	20.5	7.2	4.9	1.5
	60代	254	19.3	49.2	14.6	6.7	5.1	5.1
	70代以上	266	24.1	41.7	18.4	6.0	3.0	6.8

問 21-1 本を読まない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「本を読む時間がない」が 53.8% で最も多く、5 割を超える人が挙げている。次いで「テレビ等の映像の方が面白いから」が 32.9% で、3 割強が挙げている。さらに「読みたい本がない」(17.0%)、「本を買う余裕がないから」(9.7%) などと続く。



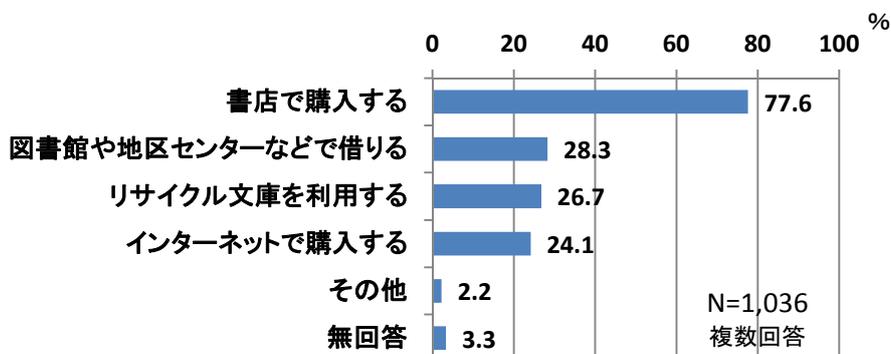
■ 年齢別 本を読まない理由 (問21-1×F1)

- ・50 代までの年代では「本を読む時間がない」が最も高く、60 代以上では「テレビ等の映像の方が面白いから」が高くなっている。また 60 代以上では「その他」の割合が高くなっている。その他の内容として、加齢による視力の低下や目の不調に関する記述が主であった。

	合計	問21-1 本を読まない理由						
		読みたい本がない	本を読む時間がない	テレビ等の映像の方が面白いから	本を買う余裕がないから	その他	無回答	
全体	383	17.0	53.8	32.9	9.7	12.8	1.3	
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	49	26.5	59.2	34.7	18.4	4.1	0.0
	30代	74	20.3	74.3	27.0	9.5	4.1	0.0
	40代	81	16.0	69.1	22.2	12.3	4.9	1.2
	50代	59	10.2	62.7	25.4	10.2	16.9	0.0
	60代	49	8.2	28.6	53.1	6.1	22.4	4.1
	70代以上	64	20.3	17.2	45.3	1.6	28.1	3.1

問 21-2 あなたは読む本をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

- ・「書店で購入する」が 77.6% で最も多く、8 割近くが挙げている。次いで「図書館や地区センターなどで借りる」(28.3%)、「リサイクル文庫を利用する」(26.7%)、「インターネットで購入する」(24.1%) などと続く。



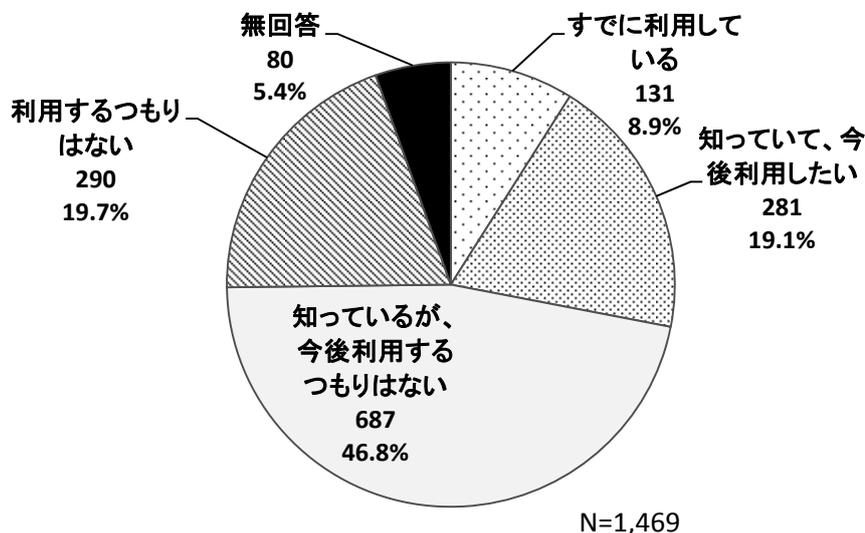
■ 年齢別 本の入手方法(問21-2×F1)

- ・全ての年代で「書店で購入する」の割合が最も高くなっている。「インターネットで購入する」については 30 代、40 代で、「図書館や地区センターなどで借りる」「リサイクル文庫を利用する」は 40 代で、それぞれ他と比べて高くなっている。

	合計	問21-2 本の入手方法						
		書店で購入する (大型書店や町の本屋など)	インターネットで購入する	図書館や地区センターなどで借りる	リサイクル文庫(古本屋など)を利用する	その他	無回答	
全体	1036	77.6	24.1	28.3	26.7	2.2	3.3	
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	110	79.1	24.5	30.0	25.5	0.0	3.6
	30代	117	68.4	30.8	30.8	25.6	0.9	6.0
	40代	223	75.3	31.8	35.0	38.6	2.2	1.8
	50代	200	81.0	28.5	17.5	28.5	2.0	3.5
	60代	192	80.7	17.7	31.3	24.0	4.2	3.6
	70代以上	184	79.3	12.5	25.0	14.7	2.2	2.2

問 22 電子書籍を利用していますか。(○は1つだけ)

・「知っているが、今後利用するつもりはない」が46.8%で半数弱を占めている。「利用するつもりはない」(19.7%)と「知っていて、今後利用したい」(19.1%)が拮抗しており、「すでに利用している」(8.9%)と続く。



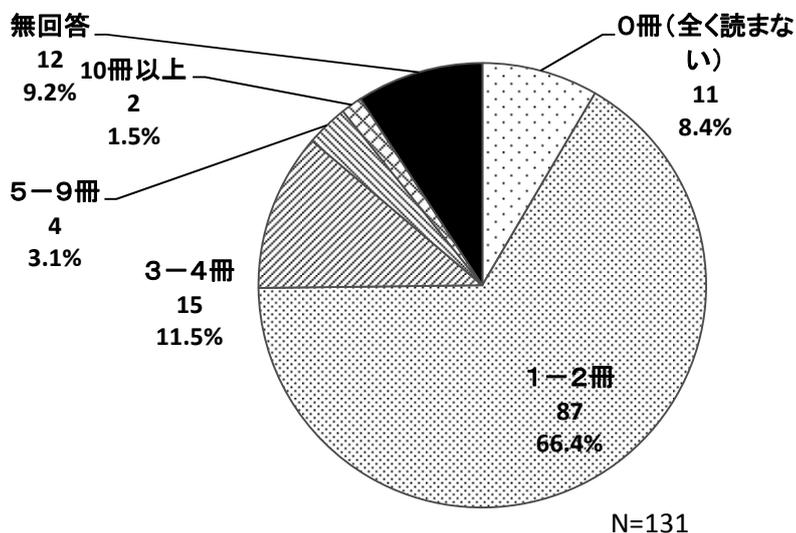
■ 年齢別 電子書籍の利用(問22×F1)

・全ての年代で「知っているが、今後利用するつもりはない」の割合が最も高くなっている。70代以上では「利用するつもりはない」が3割を超えている。50代では「知っていて、今後利用したい」が3割弱で他と比べて高くなっている。

		合計	問22 電子書籍の利用				
			すでに利用している	知っていて、今後利用したい	知っているが、今後利用するつもりはない	利用するつもりはない	無回答
全体		1469	8.9	19.1	46.8	19.7	5.4
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	14.2	22.2	45.7	16.7	1.2
	30代	193	14.0	19.2	47.7	17.1	2.1
	40代	308	8.8	23.1	50.0	16.9	1.3
	50代	263	10.6	27.8	46.4	13.7	1.5
	60代	254	6.7	14.2	52.4	19.7	7.1
	70代以上	266	3.0	10.2	39.1	31.6	16.2

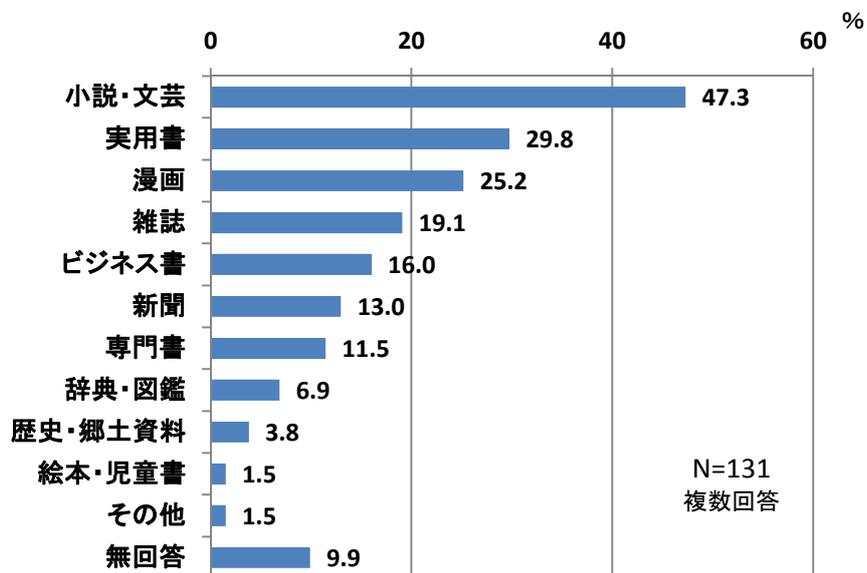
問 22-1 現在、月にどれくらい電子書籍を読んでいますか。(無料のものを含む)(○は1つだけ)

- ・現在、ひと月に読む電子書籍の冊数は「1-2冊」が最も多く66.4%で、全体の7割弱となっている。次いで「3-4冊」(11.5%)、「0冊」(8.4%)、「5-9冊」(3.1%)、「10冊以上」(1.5%)と続く。



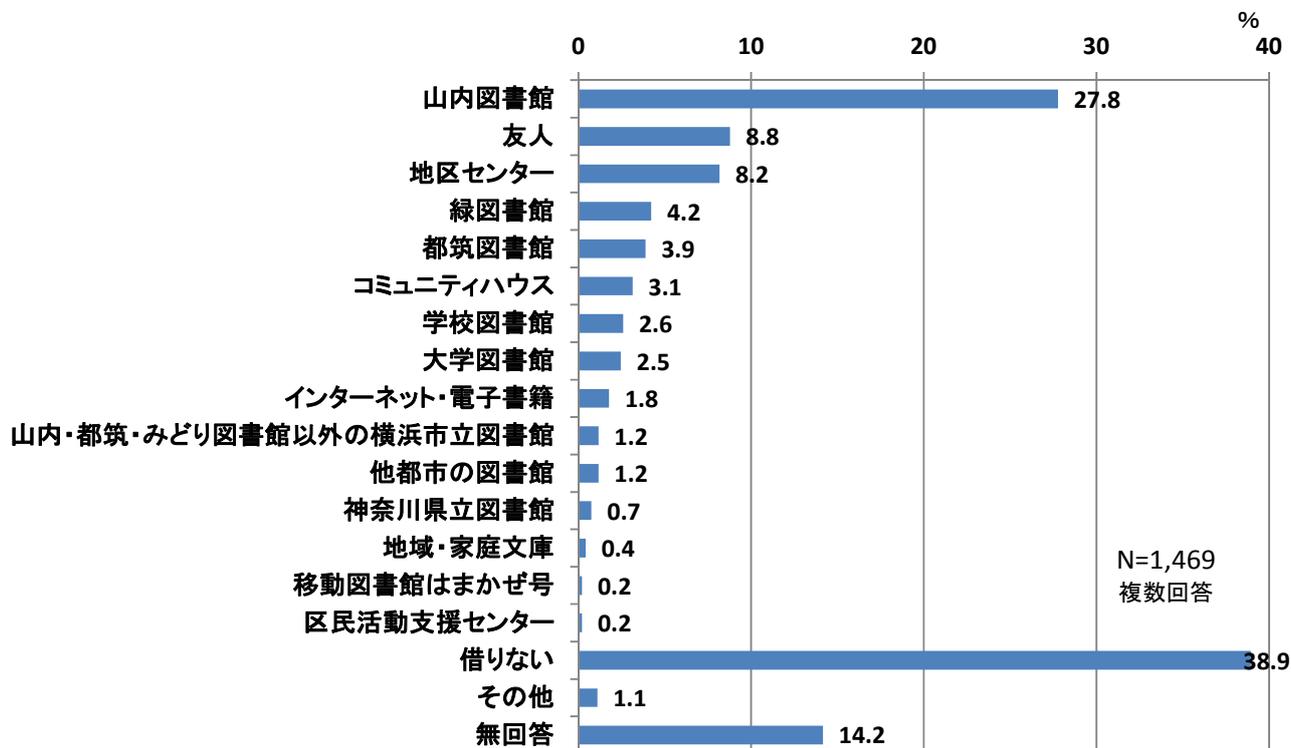
問 22-2 どのような種類の電子書籍を利用していますか。(○はいくつでも)

- ・「小説・文芸」が47.3%で最も多く、次いで「実用書」(29.8%)、「漫画」(25.2%)、「雑誌」(19.1%)、「ビジネス書」(16.0%)などと続く。



問 23 どこから本を借りていますか。(〇はいくつでも)

- ・「山内図書館」が 27.8%で全体の 3 割近くが挙げており、特に高くなっている。次いで「友人」(8.8%)、「地区センター」(8.2%) などと続く。



■ 居住地区別 本の借り先(問23×F8)

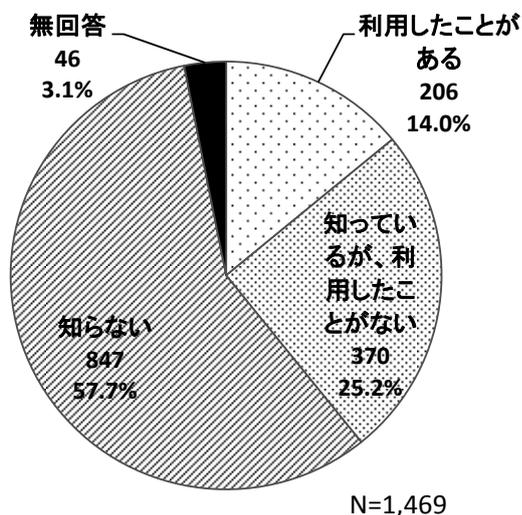
- ・中里地区、山内地区、荏田・新荏田地区、すすき野地区の4地区では「山内図書館」が最も多い。この4地区以外の地区では、「借りない」が最も高い。特に荏田西地区と恩田地区では「借りない」が約半数に達している。
- ・奈良町・奈良北団地地区では19.2%が「地区センター」を挙げており、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問23 本の借り先								
			山内図書館	都筑図書館	緑図書館	山内・都筑・みどり図書館以外の横浜市立図書館	他都市の図書館	移動図書館はまかぜ号	神奈川県立図書館	学校図書館	大学図書館
全体		1469	27.8	3.9	4.2	1.2	1.2	0.2	0.7	2.6	2.5
F8 居住地区	中里地区	65	44.6	1.5	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	6.2	4.6
	中里北部地区	48	18.8	4.2	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	2.1
	市ヶ尾地区	88	19.3	13.6	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	3.4	0.0
	上谷本地区	59	18.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	谷本地区	134	23.1	3.7	10.4	1.5	0.7	0.7	0.7	1.5	1.5
	恩田地区	167	14.4	1.2	9.0	1.8	0.6	0.0	0.0	3.6	1.8
	青葉台地区	188	18.1	0.5	12.2	2.7	1.1	1.1	1.6	2.1	4.3
	奈良町・奈良北団地地区	99	10.1	2.0	6.1	1.0	3.0	0.0	3.0	4.0	5.1
	山内地区	193	45.6	2.1	0.0	0.0	2.6	0.0	0.5	3.1	2.1
	荏田・新荏田地区	170	42.9	7.6	0.0	1.2	0.6	0.0	0.6	0.6	1.8
	荏田西地区	56	32.1	12.5	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	1.8	5.4
	すすき野地区	91	37.4	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2
	美しが丘地区	62	30.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6

		合計	問23 本の借り先								
			区民活動支援センター	地区センター	コミュニティハウス	地域・家庭文庫	インターネット・電子書籍	友人	借りない	その他	無回答
全体		1469	0.2	8.2	3.1	0.4	1.8	8.8	38.9	1.1	14.2
F8 居住地区	中里地区	65	0.0	16.9	1.5	0.0	0.0	3.1	33.8	0.0	6.2
	中里北部地区	48	0.0	6.3	6.3	0.0	2.1	12.5	41.7	0.0	18.8
	市ヶ尾地区	88	0.0	1.1	0.0	1.1	1.1	10.2	40.9	0.0	18.2
	上谷本地区	59	0.0	8.5	6.8	0.0	0.0	10.2	47.5	1.7	20.3
	谷本地区	134	0.7	9.7	0.0	0.0	2.2	3.0	40.3	2.2	17.9
	恩田地区	167	0.0	10.2	6.6	0.0	1.8	10.2	49.1	0.6	13.2
	青葉台地区	188	1.1	5.9	11.7	0.0	2.1	8.5	36.7	2.7	14.4
	奈良町・奈良北団地地区	99	0.0	19.2	1.0	0.0	1.0	5.1	46.5	0.0	18.2
	山内地区	193	0.0	10.9	0.0	1.0	0.5	9.3	30.6	0.5	11.4
	荏田・新荏田地区	170	0.0	2.9	0.0	0.0	3.5	8.8	36.5	1.2	9.4
	荏田西地区	56	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	8.9	50.0	1.8	5.4
	すすき野地区	91	0.0	9.9	2.2	3.3	2.2	12.1	27.5	1.1	17.6
	美しが丘地区	62	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	9.7	41.9	0.0	17.7

問 24 青葉区では、予約した横浜市立図書館の本を近くの地区センター等で受け取ることができる「図書取次サービス」を行っています。このサービスを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知らない」が 57.7%で最も多く 6 割近くを占める。次いで「知っているが、利用したことがない」(25.2%)、「利用したことがある」(14.0%)である。



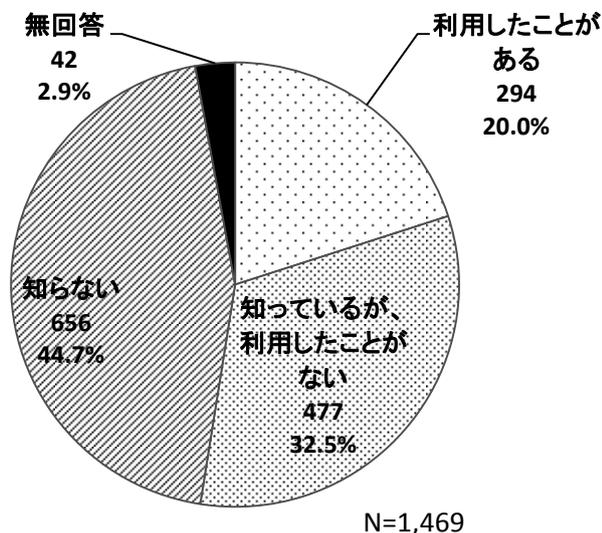
■ 居住地区別 「図書取次サービス」の認知度(問24×F8)

- ・全ての地区において「知らない」が最も多い。中里地区では、「知っているが、利用したことがない」が 38.5%、「利用したことがある」が 20.0%で、他の地区に比べて高くなっている。

	合計	問24 「図書取次サービス」の認知度			
		利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らない	無回答
全体	1469	14.0	25.2	57.7	3.1
F 8 居住地区					
中里地区	65	20.0	38.5	41.5	0.0
中里北部地区	48	8.3	27.1	62.5	2.1
市ヶ尾地区	88	10.2	19.3	65.9	4.5
上谷本地区	59	10.2	20.3	64.4	5.1
谷本地区	134	11.9	29.1	56.7	2.2
恩田地区	167	15.0	17.4	64.1	3.6
青葉台地区	188	16.0	25.5	55.3	3.2
奈良町・奈良北団地地区	99	17.2	24.2	57.6	1.0
山内地区	193	17.1	25.4	55.4	2.1
荏田・新荏田地区	170	14.1	28.8	52.9	4.1
荏田西地区	56	8.9	19.6	69.6	1.8
すすき野地区	91	13.2	26.4	54.9	5.5
美しが丘地区	62	12.9	19.4	64.5	3.2

問 25 青葉区では、借りた横浜市立図書館の本を「たまプラーザ駅」「市が尾駅」「青葉台駅」に設置している返却ポストに返すことができます。返却ポストを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知らない」が 44.7%で最も多く 4 割強を占める。次いで「知っているが、利用したことがない」(32.5%)、「利用したことがある」(20.0%)である。



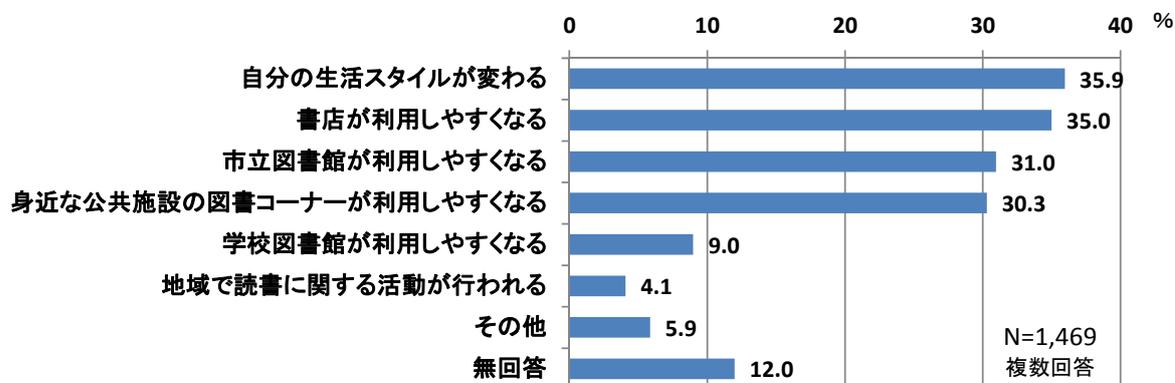
■ 居住地区別 返却ポストの認知度(問25×F8)

- ・市ヶ尾地区、美しが丘地区、荏田・新荏田地区では「知っているが、利用したことがない」の割合が最も高い。その他の地区においては「知らない」の割合が最も高い。荏田西地区、美しが丘地区、青葉台地区では4分の1以上が「利用したことがある」と答えている。

	合計	問25 「返却ポスト」の認知			
		利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らない	無回答
全体	1469	20.0	32.5	44.7	2.9
F 8 居住地区					
中里地区	65	24.6	36.9	38.5	0.0
中里北部地区	48	12.5	27.1	58.3	2.1
市ヶ尾地区	88	22.7	42.0	31.8	3.4
上谷本地区	59	18.6	18.6	59.3	3.4
谷本地区	134	23.1	29.1	45.5	2.2
恩田地区	167	18.0	27.5	50.9	3.6
青葉台地区	188	25.5	29.3	42.6	2.7
奈良町・奈良北団地地区	99	10.1	25.3	62.6	2.0
山内地区	193	17.1	36.8	43.5	2.6
荏田・新荏田地区	170	22.4	37.1	36.5	4.1
荏田西地区	56	26.8	26.8	44.6	1.8
すすき野地区	91	14.3	33.0	49.5	3.3
美しが丘地区	62	25.8	46.8	25.8	1.6

問 26 どのようにすればもっと読書ができると思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「自分の生活スタイルが変わる」が 35.9%で最も多く、次いで「書店が利用しやすくなる」(35.0%)、「市立図書館が利用しやすくなる」(31.0%)、「身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる」(30.3%)で、いずれも3割以上である。



「その他」の記述内容

大分類	件数	中分類	件数
図書館の設置	35	図書館の整備	21
		駅周辺への図書館整備	12
		自宅から図書館へのアクセスに課題	2
図書館の充実	40	借りやすいしくみ(周辺自治体との提携、返却ポストの増設等)	13
		書籍の充実(電子書籍、CD等貸し出し等)	9
		設備の充実(駐車場整備、読書スペース拡大、カフェの併設等)	18
その他	18		18
	93	合計	93

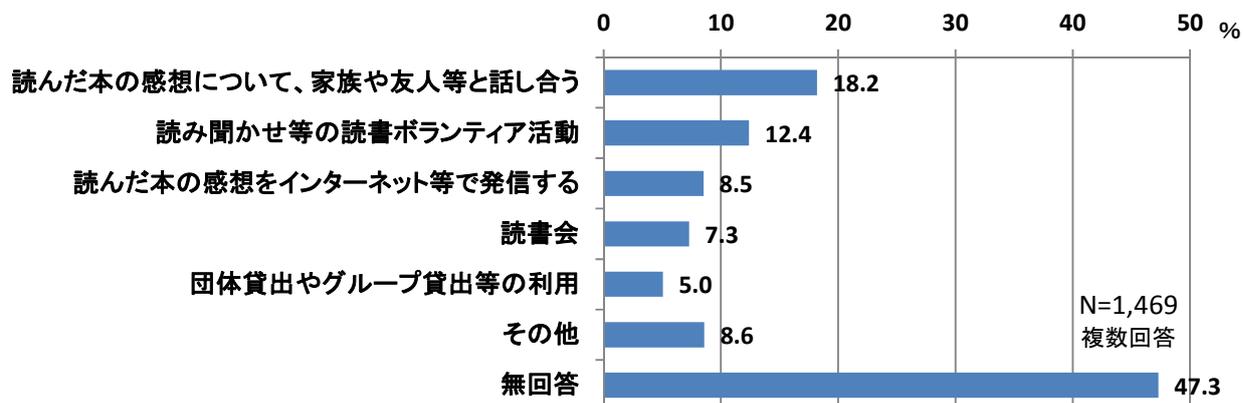
■ 年齢別 もっと読書ができるようになる方法 (問26×F1)

- ・10代・20代では、「書店が利用しやすくなる」が最も多く半数が挙げている。30代から50代では「自分の生活スタイルが変わる」が最も多くいずれも4割を超えている。60代以上では、「身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる」が最も多くなっている。

		合計	問26 もっと読書ができるようになる方法							無回答
			市立図書館が利用しやすくなる	学校図書館が利用しやすくなる	身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる	地域で読書に関する活動が行われる	書店が利用しやすくなる	自分の生活スタイルが変わる	その他	
	全体	1469	31.0	9.0	30.3	4.1	35.0	35.9	5.9	12.0
F1 年齢(統合)	10代・20代	162	48.1	9.9	22.8	3.7	50.0	39.5	6.8	5.6
	30代	193	34.7	9.8	29.5	4.7	35.8	47.7	4.1	4.7
	40代	308	36.7	13.6	28.6	2.3	40.6	42.9	7.8	2.6
	50代	263	30.0	8.4	32.3	2.3	42.2	44.9	5.7	4.6
	60代	254	25.2	6.3	34.6	5.5	29.5	32.7	3.9	15.4
	70代以上	266	18.8	5.6	31.6	6.8	18.0	12.4	6.4	34.2

問 27 読書に関する活動で、あなたが現在関わっている、または今後関わってみたいものはなんですか。(〇はいくつでも)

- ・「読んだ本の感想について、家族や友人等と話し合う」が 18.2% で最も多く、次いで「読み聞かせ等の読書ボランティア活動」(12.4%)、「読んだ本の感想をインターネット等で発信する」(8.5%)、「読書会」(7.3%)である。



■ 年齢別 現在関わっている、または今後関わってみたい読書に関する活動 (問 27 × F1)

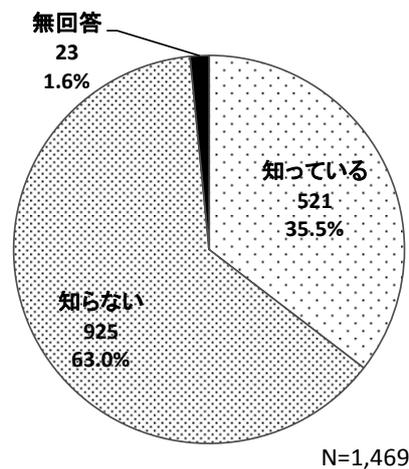
- ・全ての年代で無回答の割合が最も高くなっている。10代・20代では、「読んだ本の感想をインターネット等で発信する」が2割を超えており他の年代に比べて高くなっている。また30代では「読み聞かせ等の読書ボランティア活動」が高い。

		合計	問27 現在関わっている、または今後関わってみたい読書に関する活動						
			読書会	読んだ本の感想について、家族や友人等と話し合う	読んだ本の感想をインターネット等で発信する	読み聞かせ等の読書ボランティア活動	団体貸出やグループ貸出等の利用	その他	無回答
全体		1469	7.3	18.2	8.5	12.4	5.0	8.6	47.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	9.3	19.1	21.6	11.7	5.6	5.6	37.0
	30代	193	3.6	19.7	9.8	18.1	5.7	8.8	39.4
	40代	308	5.8	20.1	9.7	15.9	5.2	6.2	43.8
	50代	263	8.0	18.3	9.1	14.1	5.7	12.9	41.4
	60代	254	7.9	18.9	3.1	11.0	4.3	9.4	53.9
	70代以上	266	9.8	14.3	3.0	4.9	4.1	8.6	60.2

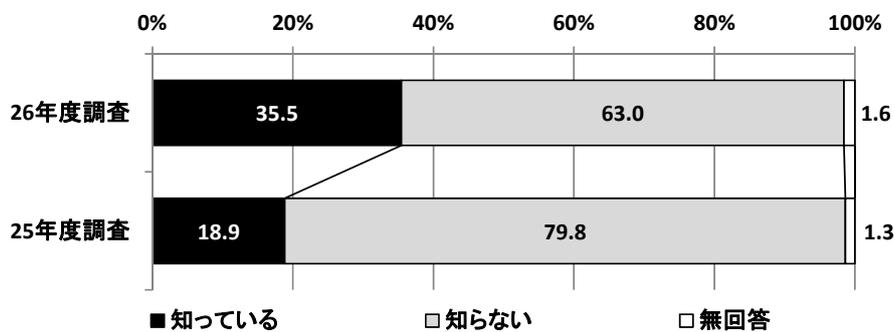
8. 区制20周年について

問28 今年、平成26年11月に青葉区が誕生20周年を迎えることを知っていますか。
(○は1つだけ)

- ・「知らない」は63.0%で全体の6割強を占めている。「知っている」は35.5%である。平成25年度調査と比較すると、認知度が上がっていることがわかる。



<参考 平成25年度調査結果との比較>



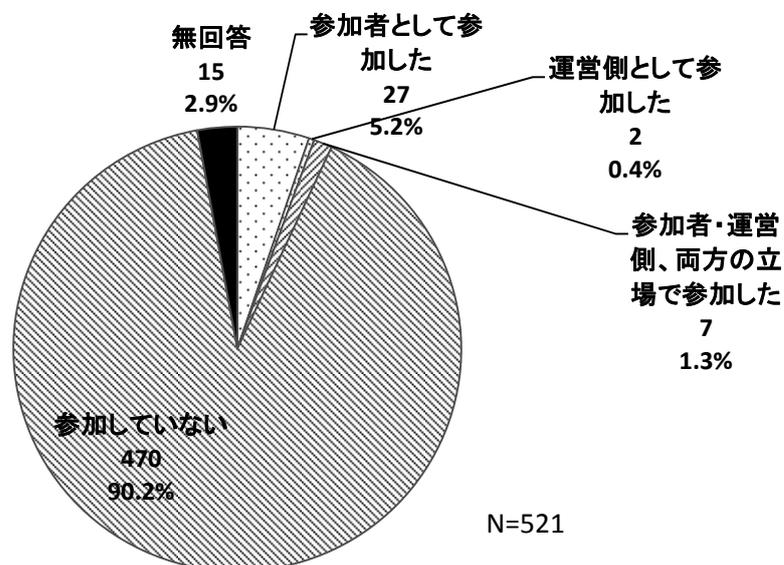
■ 年齢別 区制20周年の認知度 (問28×F1)

- ・全ての年代で「知らない」の割合が高いが、特に10代・20代では8割を超えており、他の年代に比べて高くなっている。最も認知度が高いのは70代以上である。

	合計	問28 今年、青葉区が誕生20周年を迎えることについての認知		
		知っている	知らない	無回答
全体	1469	35.5	63.0	1.6
F1 年齢 (統合)	10代・20代	17.9	81.5	0.6
	30代	34.2	65.8	0.0
	40代	39.3	60.1	0.6
	50代	31.9	68.1	0.0
	60代	38.2	59.8	2.0
	70代以上	266	44.4	51.1

問 28-1 区制 20 周年の記念事業（イベント等）に参加しましたか。（○は 1 つだけ）

- ・「参加していない」は 90.2% で全体の約 9 割を占め、大半が参加していない。「参加者として参加した」は 5.2% である。



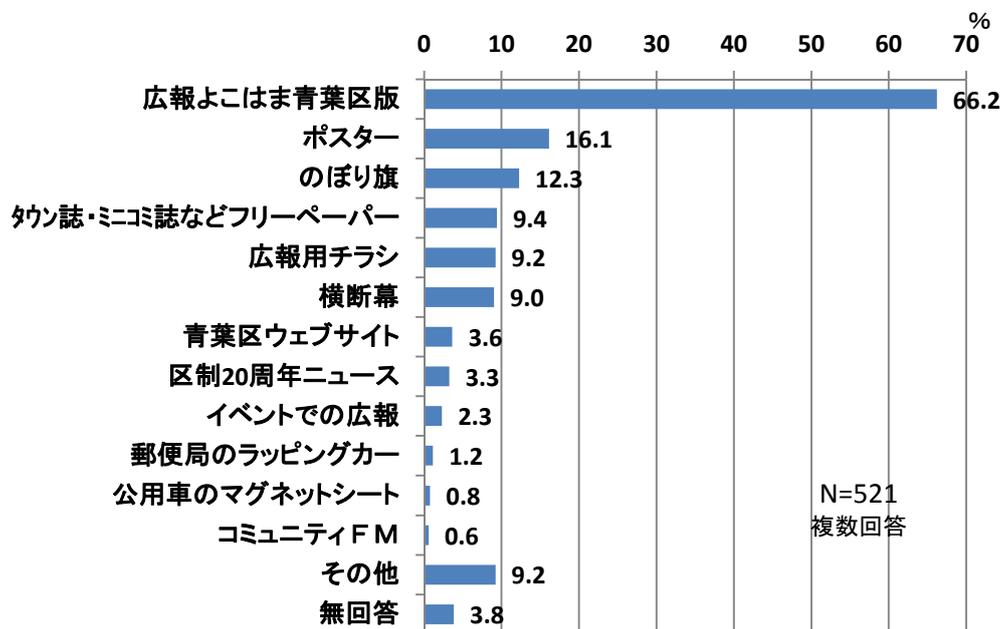
■ 年齢別 区制 20 周年の記念事業への参加（問 28-1 × F1）

- ・全ての年代で「参加していない」の割合が最も高いが、特に 10 代から 30 代では 95% を超えている。70 代以上では 7.6% が「参加者として参加」している。「運営側として参加」したのは全員 70 代以上である。「参加者・運営側両方の立場で参加」したのは全員 60 代以上である。

		合計	問28-1 区制20周年の記念事業（イベント等）への参加				
			参加者として参加した	運営側として参加した	参加者・運営側、両方の立場で参加した	参加していない	無回答
全体		521	5.2	0.4	1.3	90.2	2.9
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	29	3.4	0.0	0.0	96.6	0.0
	30代	66	4.5	0.0	0.0	95.5	0.0
	40代	121	4.1	0.0	0.0	93.4	2.5
	50代	84	6.0	0.0	0.0	91.7	2.4
	60代	97	4.1	0.0	5.2	89.7	1.0
	70代以上	118	7.6	1.7	1.7	81.4	7.6

問 28-2 区制 20 周年をどのようにお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

・「広報よこはま青葉区版」が 66.2% で最も多く、6 割以上が挙げている。次いで「ポスター」が 16.1%、「のぼり旗」(12.3%) などと続く。



■ 年齢別 区制20周年を知った先 (問28-2×F1)

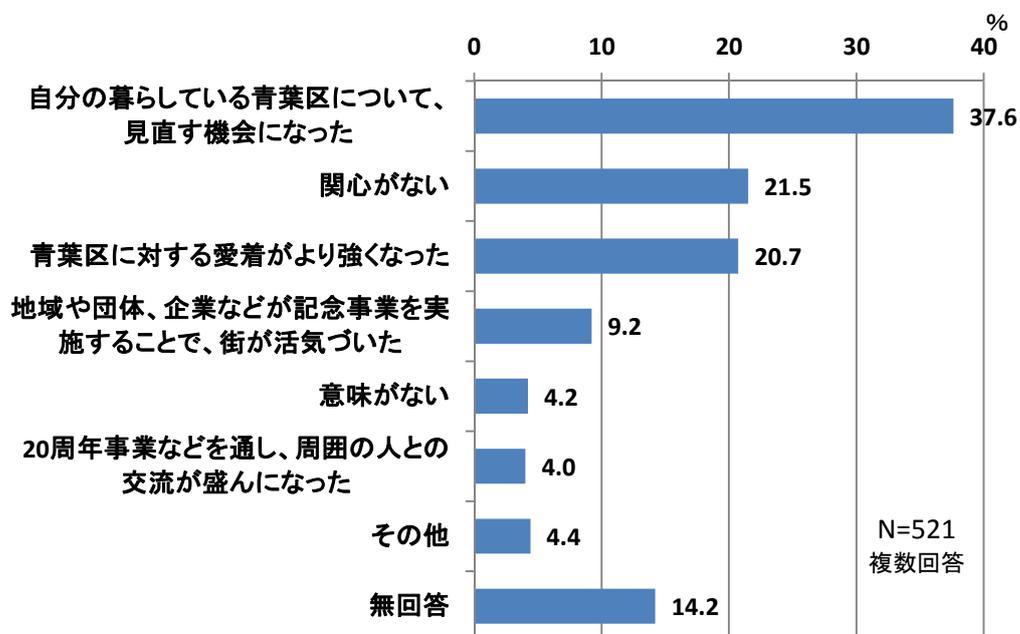
・全ての年代で「広報よこはま青葉区版」の割合が最も高く、特に60代以上では8割を超えている。10代・20代では「青葉区ウェブサイト」「ポスター」「横断幕」「のぼり旗」等、様々なツールを挙げている。「のぼり旗」は区全体の値よりも10ポイント以上高い。30代では「その他」が多いが、「その他」の内容として、学校の行事等を通じて知ったという意見が多い。

		合計	問28-2 区制20周年を知った先						
			広報よこはま青葉区版	青葉区ウェブサイト	コミュニティFM	区制20周年ニュース	ポスター	広報用チラシ	月刊誌・ミニコミ誌などフリーペーパー
	全体	521	66.2	3.6	0.6	3.3	16.1	9.2	9.4
F1 年齢 (統合)	10代・20代	29	34.5	10.3	0.0	0.0	24.1	6.9	0.0
	30代	66	43.9	6.1	1.5	1.5	19.7	12.1	7.6
	40代	121	52.9	4.1	0.0	0.8	14.9	5.8	8.3
	50代	84	69.0	1.2	0.0	0.0	16.7	9.5	13.1
	60代	97	83.5	4.1	1.0	5.2	8.2	12.4	8.2
	70代以上	118	83.1	1.7	0.8	8.5	20.3	9.3	12.7

		合計	問28-2 区制20周年を知った先						
			横断幕	のぼり旗	郵便局のラッピングカー	公用車のマグネットシート	イベントでの広報	その他	無回答
	全体	521	9.0	12.3	1.2	0.8	2.3	9.2	3.8
F1 年齢 (統合)	10代・20代	29	17.2	24.1	0.0	0.0	0.0	6.9	3.4
	30代	66	10.6	13.6	4.5	1.5	6.1	18.2	3.0
	40代	121	8.3	12.4	0.0	1.7	1.7	12.4	5.0
	50代	84	10.7	13.1	0.0	1.2	0.0	8.3	6.0
	60代	97	6.2	9.3	0.0	0.0	4.1	8.2	3.1
	70代以上	118	8.5	11.0	2.5	0.0	1.7	3.4	1.7

問 28-3 青葉区役所では、区制 20 周年を記念して、地域や団体、企業と一緒に
て様々な記念事業に取り組んでいます。こうした取組について、どのように
感じますか。(〇は 2 つまで)

- ・「自分の暮らしている青葉区について、見直す機会になった」が 37.6% で最も多く、
4 割弱が挙げている。次いで「関心がない」が 21.5%、「青葉区に対する愛着がよ
り強くなった」(20.7%) が約 2 割となっている。



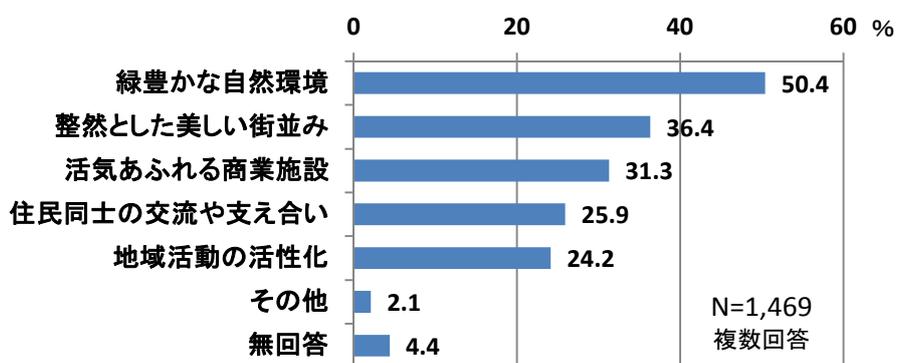
■ 年齢別 区制 20 周年の取組について (問 28-3 × F1)

- ・ 10 代・20 代以外では「自分の暮らしている青葉区について、見直す機会になった」
が最も多く、60 代以上では 4 割を超えている。また 70 代以上では、「青葉区に対
する愛着がより強くなった」が 3 割を超えている。
- ・ 10 代・20 代では「関心がない」が最も高く 4 割弱が挙げており、区全体の数値に比
べて 10 ポイント以上高くなっている。

	合計	問28-3 区制20周年で地域や団体、企業と一緒に取り組んだ取組について								
		青葉区に 対する愛 着がより 強くなっ た	20周年事 業など を通し、 周囲の 人との 交流が 盛ん になっ た	自分の暮 らしてい る青葉 区につ いて、 見直 す機 会に なっ た	地域や団 体、企 業な どが記 念事 業を 実施 する こと で、 街が 活気 づい た	意味が ない	関心 が な い	その他	無 回 答	
全体	521	20.7	4.0	37.6	9.2	4.2	21.5	4.4	14.2	
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	29	13.8	3.4	27.6	6.9	37.9	3.4	20.7	
	30代	66	18.2	4.5	36.4	10.6	27.3	4.5	7.6	
	40代	121	17.4	3.3	31.4	12.4	4.1	18.2	14.9	
	50代	84	22.6	2.4	34.5	8.3	6.0	21.4	10.7	
	60代	97	15.5	5.2	46.4	6.2	3.1	24.7	10.3	
	70代以上	118	30.5	5.1	41.5	9.3	5.1	16.1	20.3	

問 29 20周年を契機に、これからの青葉区が目指す姿を区民の皆様と一緒に描いていきたいと考えています。これからの青葉区を考えたときに、何が大切だと思いますか。(〇は2つまで)

- ・「緑豊かな自然環境」が50.4%で最も多く、約半数が挙げている。次いで「整然とした美しい街並み」が36.4%、「活気あふれる商業施設」(31.3%)が3割を超えている。以下「住民同士の交流や支え合い」(25.9%)、「地域活動の活性化」(24.2%)となっている。



■ 居住地区別 これからの青葉区に大切なこと (問29×F8)

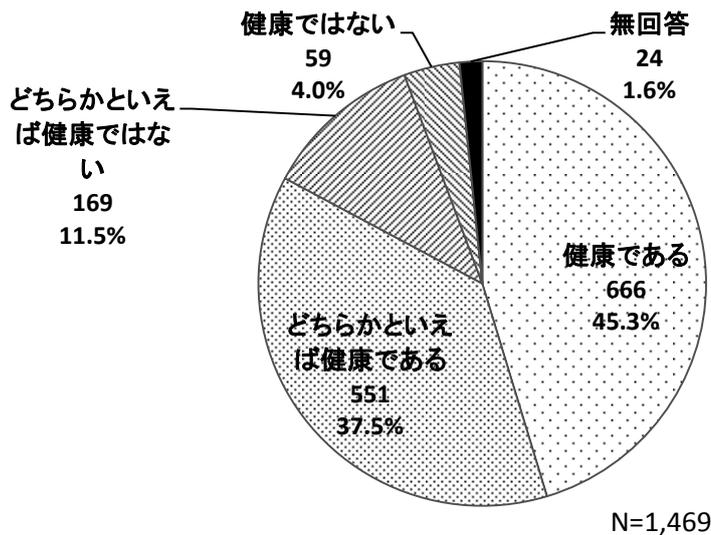
- ・中里地区、市ヶ尾地区、荏田西地区以外の地区では、「緑豊かな自然環境」が最も高く、特に中里北部地区では6割を超えている。中里地区、荏田西地区では「整然とした美しい街並み」、市ヶ尾地区では「活気あふれる商業施設」が最も多い。

	合計	問29 これからの青葉区に大切なこと							
		緑豊かな自然環境	整然とした美しい街並み	活気あふれる商業施設	住民同士の交流や支え合い	地域活動の活性化	その他	無回答	
全体	1469	50.4	36.4	31.3	25.9	24.2	2.1	4.4	
F8 居住地区	中里地区	65	46.2	52.3	27.7	26.2	15.4	1.5	6.2
	中里北部地区	48	60.4	27.1	33.3	33.3	18.8	4.2	2.1
	市ヶ尾地区	88	40.9	36.4	44.3	22.7	21.6	1.1	3.4
	上谷本地区	59	50.8	32.2	39.0	28.8	22.0	3.4	3.4
	谷本地区	134	53.7	32.1	31.3	21.6	24.6	3.7	4.5
	恩田地区	167	47.3	41.3	26.9	29.3	24.6	1.2	4.2
	青葉台地区	188	52.1	33.0	31.9	24.5	26.6	2.1	4.3
	奈良町・奈良北団地地区	99	53.5	24.2	33.3	27.3	23.2	3.0	6.1
	山内地区	193	54.4	38.9	25.9	29.0	25.4	2.1	4.1
	荏田・新荏田地区	170	49.4	33.5	38.2	20.6	24.7	0.6	3.5
	荏田西地区	56	44.6	46.4	28.6	26.8	32.1	0.0	3.6
	すすき野地区	91	47.3	26.4	33.0	25.3	28.6	3.3	6.6
	美しが丘地区	62	59.7	48.4	24.2	30.6	19.4	3.2	1.6

9. 健康について

問 30 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。(○は1つだけ)

- ・「健康である」が 45.3%、「どちらかという健康である」が 37.5%で、これらを合わせると 82.8%が自分の健康状態は良いと考えている。「どちらかという健康ではない」は 11.5%、「健康ではない」は 4.0%である。



■ 年齢別 健康状態 (問30×F1)

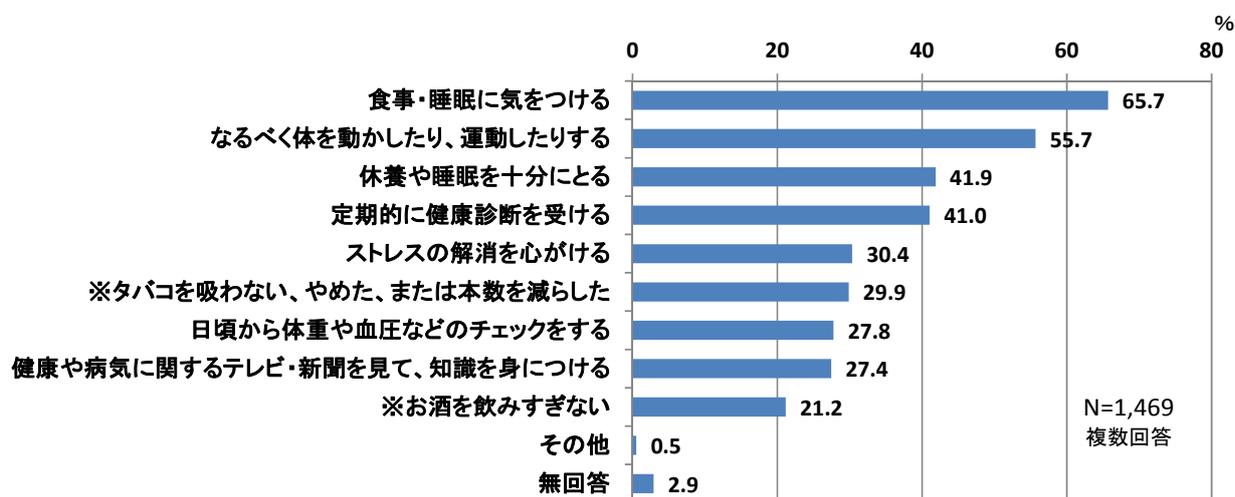
- ・50代までは「健康である」が最も多く、10代から40代までは半数以上が挙げている。60代以上では「どちらかという健康である」が最も多くなっており、4割を超えている。

		合計	問30 健康状態				
			健康である	どちらかといえば健康である	どちらかといえば健康ではない	健康ではない	無回答
全体		1469	45.3	37.5	11.5	4.0	1.6
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	71.0	20.4	6.2	1.9	0.6
	30代	193	57.0	32.6	6.2	4.1	0.0
	40代	308	50.0	35.7	9.7	3.2	1.3
	50代	263	43.3	41.1	10.6	3.4	1.5
	60代	254	37.8	44.1	15.0	2.4	0.8
	70代以上	266	25.2	45.5	18.4	7.9	3.0

問 31 あなたはご自身の健康のためにどのようなことに気をつけていますか。

※印の質問は、20歳以上の方のみお答えください。(〇はいくつでも)

- ・「食事・睡眠に気をつける」が65.7%で最も多く、7割弱の人が挙げている。次いで「なるべく体を動かしたり、運動したりする」(55.7%)、「休養や睡眠を十分にとる」(41.9%)、「定期的に健康診断を受ける」(41.0%)が約4割で続く。以下「ストレス解消を心がける」(30.4%)、「タバコを吸わない、やめた、または本数を減らしている」(29.9%)などの順である。



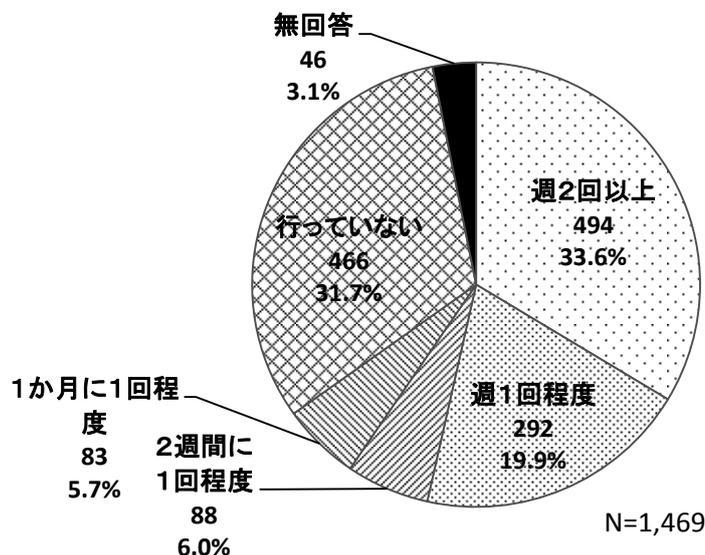
■ 性別、年齢別 健康のために気をつけていること (問31×F1、F2)

- ・男性では「なるべく体を動かしたり、運動したりする」、女性では「食事・睡眠に気をつける」が最も多い。男性の4割が「タバコを吸わない、やめた、または本数を減らしている」を挙げており、女性の数値を大きく上回っている。
- ・60代では「なるべく体を動かしたり、運動したりする」が最も多く、その他の年代では「食事・睡眠に気をつける」が最も多い。年齢が上がるほど、様々な場面で健康に気をつけていることが伺える。

		合計	問31 健康のために気をつけていること										
			なるべく体を動かしたり、運動したりする	食事・睡眠に気をつける	休養や睡眠を十分にとる	日頃から体重や血圧などのチェックをする	定期的に健康診断を受ける	ストレスの解消を心がける	健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける	※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした	※お酒を飲みすぎない	その他	無回答
	全体	1469	55.7	65.7	41.9	27.8	41.0	30.4	27.4	29.9	21.2	0.5	2.9
F 2 性別	男性	575	62.1	58.4	40.2	30.4	45.6	26.4	21.2	40.2	24.5	0.5	2.3
	女性	859	52.3	70.7	43.8	26.1	38.6	33.5	31.5	23.6	19.6	0.6	2.7
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	46.9	62.3	48.1	8.6	9.3	34.6	9.9	22.8	21.6	0.6	6.8
	30代	193	35.8	61.7	47.7	11.9	23.8	32.6	16.1	34.2	22.8	1.0	1.0
	40代	308	47.7	66.9	44.8	15.6	42.5	34.7	22.4	28.6	23.1	0.3	1.6
	50代	263	62.7	65.0	44.1	23.2	47.5	32.3	27.4	33.8	21.7	0.4	1.5
	60代	254	66.5	65.7	33.1	40.2	55.9	30.3	37.8	31.5	20.9	0.8	1.6
	70代以上	266	69.5	71.1	38.7	59.0	53.0	19.9	42.5	29.3	18.8	0.4	3.8

問 32 あなたは 1 回 30 分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。(〇は 1 つだけ)

- ・「週 2 日以上」が最も多く 33.6%で、「週 1 回程度」(19.9%)と合わせると 53.5%で全体の 5 割強が週 1 回以上の運動をしていることがわかる。一方「行っていない」が 31.7%である。



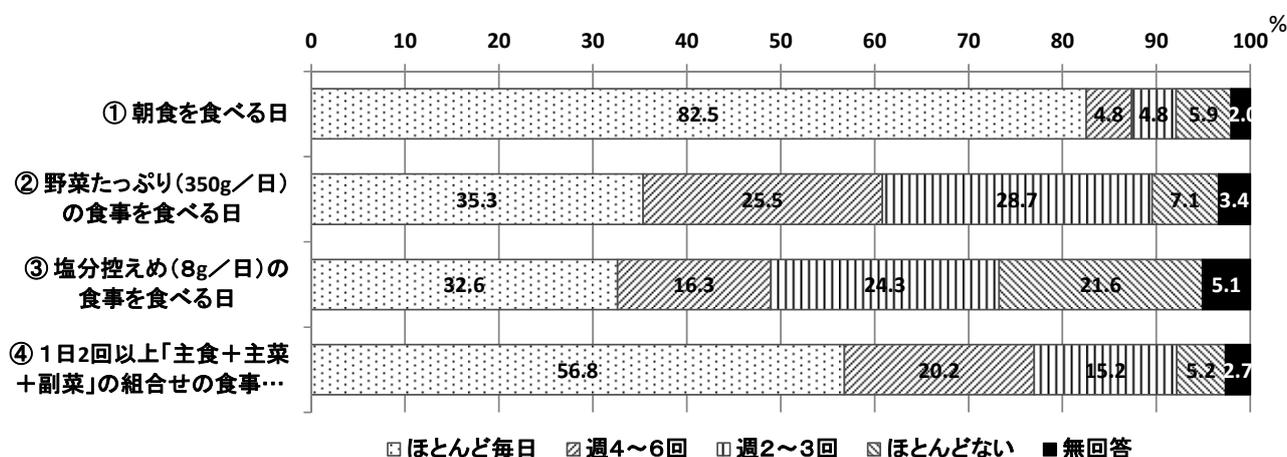
■ 性別、年齢別 運動の頻度 (問32×F1、F2)

- ・男性では「週 2 回以上」が最も多く 4 割弱となっているが、女性では「週 2 回以上」(31.1%)の人がいる一方で「行っていない」(36.3%)人もおり、二極化の傾向がみられる。
- ・60 代以上では「週 2 回以上」の割合が高く、70 代以上では半数を超えている。30 代、40 代では「行っていない」の割合が最も高く 30 代では半数近くを占めている。

		合計	問32 1回30分以上の運動をする頻度					無回答
			週2回以上	週1回程度	2週間に1回程度	1か月に1回程度	行っていない	
全体		1469	33.6	19.9	6.0	5.7	31.7	3.1
F 2 性別	男性	575	38.1	20.9	7.3	6.6	25.0	2.1
	女性	859	31.1	19.3	5.1	5.2	36.3	2.9
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	34.0	16.7	9.3	7.4	32.1	0.6
	30代	193	17.1	19.2	7.3	7.3	48.7	0.5
	40代	308	22.4	20.8	4.9	10.4	40.9	0.6
	50代	263	33.1	24.3	6.1	6.1	30.0	0.4
	60代	254	41.3	20.9	7.1	3.1	24.8	2.8
	70代以上	266	53.0	16.2	3.4	0.4	16.5	10.5

問 33 こどもは成長のため、おとなは健康を保つために、栄養バランスのよい食事をとることが大切です。あなたの食事について伺います。(〇は項目ごとにそれぞれ1つ)

- ・①朝食を食べる日については、82.5%が「ほとんど毎日」で8割以上を占めている一方で、5.9%が「ほとんどない」としている。
- ・② 野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる日については、35.3%が「ほとんど毎日」で3割以上を占めている一方で、7.1%が「ほとんどない」としている。
- ・③ 塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる日については、32.6%が「ほとんど毎日」で3割以上を占めている一方で、21.6%が「ほとんどない」としている。
- ・④ 1日2回以上「主食+主菜+副菜」の組合せの食事を食べる日については、56.8%が「ほとんど毎日」で6割弱を占めている一方で、「週2~3日」が15.2%、「ほとんどない」が5.2%で、合わせて20.4%となっている。



■ 年齢別 家族形態別 朝食を食べる日 (問33①×F1、F4)

- ・全ての年代で「ほとんど毎日」が最も多く、年齢が上がるほどその割合も高くなっている。70代以上では9割を超えている。10代・20代では「週4～6回」が9.9%、「ほとんどない」も9.3%となっている。
- ・全ての家族形態で「ほとんど毎日」が最も多く、特に「親と子と孫(3世代)」の割合が高い。

		合計	問33① 朝食を食べる日				
			ほとんど毎日	週4～6回	週2～3回	ほとんどない	無回答
全体		1469	82.5	4.8	4.8	5.9	2.0
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	72.2	9.9	7.4	9.3	1.2
	30代	193	75.6	7.3	7.8	8.8	0.5
	40代	308	82.1	3.9	5.2	8.4	0.3
	50代	263	82.9	4.9	4.6	7.2	0.4
	60代	254	86.6	4.3	4.3	2.4	2.4
	70代以上	266	91.4	1.5	1.1	0.8	5.3
F4 家族 形態	ひとり暮らし	110	79.1	4.5	5.5	8.2	2.7
	夫婦だけ	366	84.4	3.6	5.2	4.9	1.9
	親と子(2世代)	863	82.4	5.1	4.8	6.4	1.4
	親と子と孫(3世代)	84	86.9	8.3	2.4	2.4	0.0
	その他	17	70.6	0.0	5.9	5.9	17.6

■ 年齢別、家族形態別 野菜たっぷりの食事を食べる日 (問33②×F1、F4)

- ・40代以上では「ほとんど毎日」の割合が高くなっており、年齢が上がるほど食事の頻度が高くなる傾向が見られる。10代・20代、30代では「週2～3回」が最も多く、30代では約4割となっている。
- ・家族形態別にみると、ひとり暮らしでは「週2～3回」が最も多く、「ほとんどない」をあわせると、半数以上が「週3回以下」であることがわかる。

		合計	問33② 野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる日				
			ほとんど毎日	週4～6回	週2～3回	ほとんどない	無回答
全体		1469	35.3	25.5	28.7	7.1	3.4
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	31.5	21.6	35.8	9.3	1.9
	30代	193	19.7	30.6	39.9	9.3	0.5
	40代	308	31.8	30.5	28.6	8.1	1.0
	50代	263	35.0	25.1	30.4	8.7	0.8
	60代	254	42.5	23.6	26.4	4.7	2.8
	70代以上	266	47.0	21.1	17.7	3.8	10.5
F4 家族 形態	ひとり暮らし	110	21.8	20.9	40.0	13.6	3.6
	夫婦だけ	366	43.4	23.0	25.4	5.2	3.0
	親と子(2世代)	863	33.4	27.7	29.1	7.4	2.4
	親と子と孫(3世代)	84	47.6	23.8	23.8	4.8	0.0
	その他	17	5.9	23.5	41.2	5.9	23.5

■ 男女別、年齢別 家族形態別 塩分控えめの食事を食べる日 (問33③×F1、F2、F4)

- ・男女別にみると、女性では「ほとんど毎日」が最も多いのに対して、男性では「ほとんどない」が3割弱で最も多くなっている。
- ・60代以上では「ほとんど毎日」の割合が高くなっており、年齢が上がるほど頻度が高くなる傾向が見られる。10代・20代、30代では「週2～3回」が最も多く、30代では約4割となっている。
- ・家族形態別では、「その他」は「週2～3回」が最も多く、「ひとり暮らし」は「ほとんど毎日」と「週2～3回」が同率である。「夫婦だけ」と「親と子と孫(3世代)」では「ほとんど毎日」の割合が4割弱である。

		合計	問33③ 塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる日				
			ほとんど毎日	週4～6回	週2～3回	ほとんどない	無回答
	全体	1469	32.6	16.3	24.3	21.6	5.1
F2 性別	男性	575	26.6	14.1	26.3	28.7	4.3
	女性	859	36.2	18.2	23.2	17.5	5.0
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	25.9	19.1	27.2	24.7	3.1
	30代	193	15.5	19.2	38.9	25.9	0.5
	40代	308	29.5	17.9	22.4	28.6	1.6
	50代	263	28.5	14.1	31.6	22.1	3.8
	60代	254	43.7	12.6	18.5	18.9	6.3
	70代以上	266	46.6	17.3	12.8	11.7	11.7
F4 家族 形態	ひとり暮らし	110	31.8	7.3	31.8	20.0	9.1
	夫婦だけ	366	38.5	16.1	21.3	18.3	5.7
	親と子(2世代)	863	30.0	17.8	24.8	23.8	3.6
	親と子と孫(3世代)	84	38.1	15.5	20.2	23.8	2.4
	その他	17	17.6	17.6	35.3	11.8	17.6

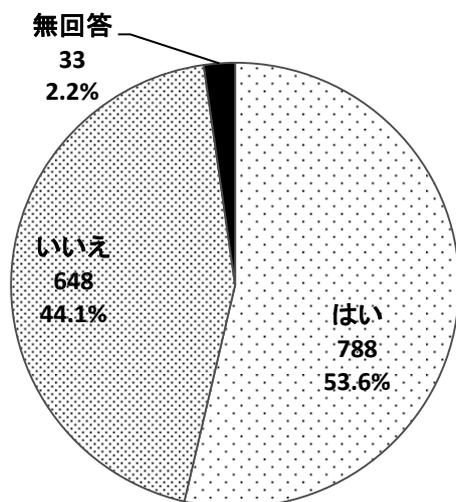
■ 年齢別 家族形態別 1日2回以上「主食+主菜+副菜」の組合せの食事を食べる日
(問33④×F1、F4)

- ・60代以上では「ほとんど毎日」の割合が高くなっており、6割以上となっている。30代では「ほとんど毎日」の割合は4割強で低くなっており、「週4～6回」の割合が他の年代と比べて高くなっている。
- ・家族形態別では、「親と子と孫（3世代）」では「ほとんど毎日」が約7割となっている。「ひとり暮らし」では「ほとんど毎日」は半数弱にとどまっており、「週4～6回」が2割強、「週2～3回」が2割弱となっている。

		合計	問33④ 1日2回以上「主食+主菜+副菜」の組合せの食事を食べる日				
			ほとんど毎日	週4～6回	週2～3回	ほとんどない	無回答
	全体	1469	56.8	20.2	15.2	5.2	2.7
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	52.5	17.9	17.3	9.9	2.5
	30代	193	44.6	27.5	19.7	7.8	0.5
	40代	308	55.8	21.1	17.5	4.9	0.6
	50代	263	53.2	21.7	18.3	6.5	0.4
	60代	254	64.2	18.9	11.8	3.1	2.0
	70代以上	266	67.3	16.2	8.3	1.5	6.8
F 4 家族 形態	ひとり暮らし	110	46.4	23.6	19.1	9.1	1.8
	夫婦だけ	366	58.5	21.6	14.5	3.3	2.2
	親と子（2世代）	863	56.8	20.2	15.8	5.3	2.0
	親と子と孫（3世代）	84	70.2	16.7	6.0	7.1	0.0
	その他	17	35.3	11.8	23.5	5.9	23.5

**問 34 お口の健康について伺います。あなたは定期的に歯科医を受診するなどにより、
歯や歯肉のケアや、検診を行っていますか。(○は1つだけ)**

- ・「はい」が 53.6%で半数を超えており、「いいえ」(44.1%)を上回っている。



N=1,469

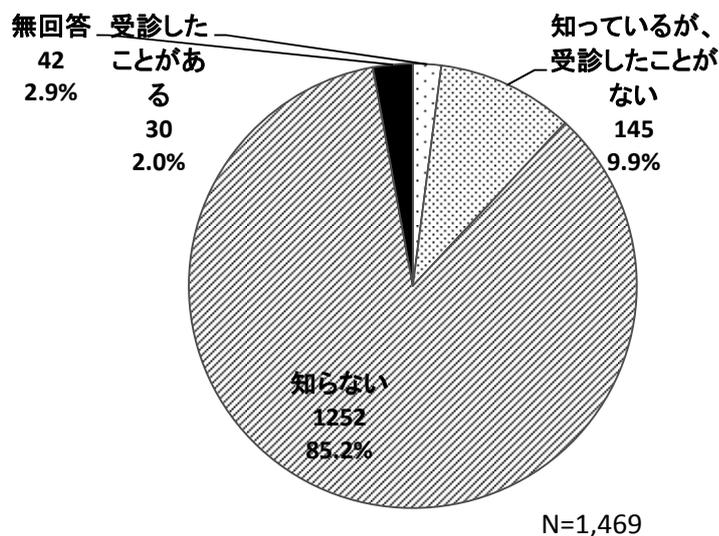
■ 男女別、年齢別 定期的な検診の有無 (問34×F1、F2)

- ・女性では「はい」が6割弱であるが、男性では「はい」と「いいえ」が拮抗している。
- ・40代までは「いいえ」が過半数を占めているが、50代以上では「はい」の割合が高くなり、年齢が上がるほど「はい」の割合が増えている。

		合計	問34 定期的な歯や歯肉のケアや、検診の有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		1469	53.6	44.1	2.2
F 2 性別	男性	575	49.0	49.9	1.0
	女性	859	57.7	41.3	0.9
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	46.3	53.7	0.0
	30代	193	47.7	52.3	0.0
	40代	308	47.7	51.3	1.0
	50代	263	53.6	45.2	1.1
	60代	254	61.8	37.4	0.8
	70代以上	266	65.4	31.6	3.0

問 35 横浜市では満 40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の人を対象に対象医療機関で歯周疾患検診を行っています。あなたは横浜市の歯周疾患検診を知っていますか。(○は 1 つだけ)

- ・「知らない」が 85.2%で 8 割を超えており、大半を占めている。「知っているが受診したことがない」(9.9%)、「受診したことがある」(2.0%)である。



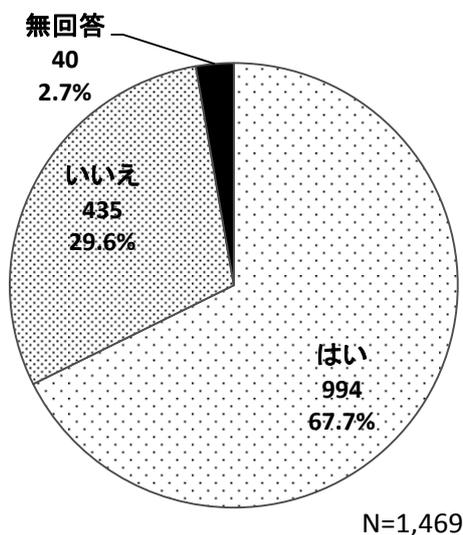
■ 年齢別 横浜市の歯周疾患検診の受診の有無 (問35×F1)

- ・どの年代でも「知らない」が最も多く、10代から30代では9割を占めている。60代以上では「知っているが、受診したことがない」が1割強いる。

		合計	問35 横浜市の歯周疾患検診の受診			
			受診したことがある	知っているが、受診したことがない	知らない	無回答
全体		1469	2.0	9.9	85.2	2.9
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	162	0.0	7.4	91.4	1.2
	30代	193	0.5	6.7	90.7	2.1
	40代	308	1.0	9.4	88.6	1.0
	50代	263	1.1	8.4	89.7	0.8
	60代	254	3.5	12.2	83.5	0.8
	70代以上	266	5.3	13.9	76.3	4.5

問 36 歯周病は「歯」だけの問題ではなく、全身の様々な病気に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「はい」が67.7%で7割弱となっており、「いいえ」は29.6%で約3割である。



■ 年齢別 歯周病が全身疾患と関連があることの認知の有無 (問36×F1)

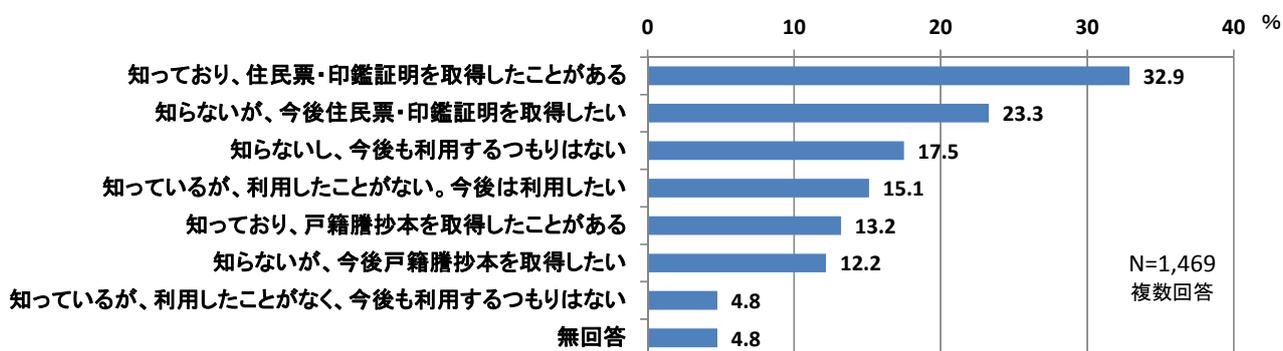
- ・どの年代でも「はい」が最も多く、60代以上では7割以上が認知している。10代・20代では認知していない人が4割いる。

		合計	問36 歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることの認知		
			はい	いいえ	無回答
全体		1469	67.7	29.6	2.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	162	58.0	41.4	0.6
	30代	193	60.1	39.4	0.5
	40代	308	65.9	33.1	1.0
	50代	263	71.9	26.6	1.5
	60代	254	73.2	25.6	1.2
	70代以上	266	75.2	20.7	4.1

10. 郵便局での証明発行サービスについて

問 37 青葉区では、区役所・あざみ野駅行政サービスコーナーの他、区内2か所の郵便局（青葉台郵便局・横浜奈良郵便局）で証明発行サービスを行っています。この郵便局での証明発行サービスについて知っていますか。（〇は2つまで）

- ・「知っており、住民票・印鑑証明を取得したことがある」が最も多く 32.9%、次いで「知らないが、今後住民票・印鑑証明を取得したい」が 23.3%である。以下「知らないし、今後も利用するつもりはない」（17.5%）、「知っているが、利用したことがない。今後は利用したい」（15.1%）、「知っており、戸籍謄抄本を取得したことがある」（13.2%）、「知らないが、今後戸籍謄抄本を取得したい」（12.2%）などと続く。



■ 居住地区別 郵便局での証明発行サービスについて (問37×F8)

- ・中里地区、市ヶ尾地区、青葉台地区、奈良町・奈良北団地地区、山内地区、荏田・新荏田地区、すすき野地区の7地区では「知っており、住民票・印鑑証明を取得したことがある」、中里北部地区では「知っているが、利用したことがない。今後は利用したい」が最も多い。上谷本地区、谷本地区、恩田地区では「知らないが、今後住民票・印鑑証明を取得したい」、荏田西地区と美しが丘地区では「知らないし、今後も利用するつもりはない」が最も多い。
- ・中里北部地区では「知らないし、今後も利用するつもりはない」、すすき野地区では「知っており、戸籍謄抄本を取得したことがある」の割合も高くなっている。

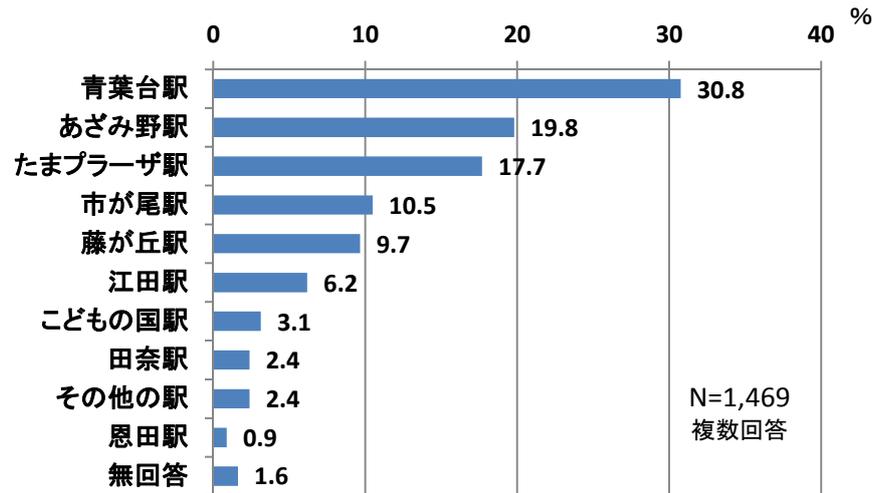
		合計	問37 郵便局での証明発行サービスの認知							無回答
			知っており、住民票・印鑑証明を取得したことがある	知っており、戸籍謄抄本を取得したことがある	知っているが、利用したことがない。今後は利用したい	知っているが、利用したことがなく、今後も利用するつもりはない	知らないが、今後住民票・印鑑証明を取得したい	知らないが、今後戸籍謄抄本を取得したい	知らないし、今後も利用するつもりはない	
全体		1469	32.9	13.2	15.1	4.8	23.3	12.2	17.5	4.8
F8 居住地区	中里地区	65	30.8	15.4	10.8	4.6	23.1	10.8	29.2	1.5
	中里北部地区	48	25.0	8.3	31.3	4.2	27.1	10.4	10.4	2.1
	市ヶ尾地区	88	25.0	9.1	18.2	11.4	15.9	5.7	22.7	5.7
	上谷本地区	59	25.4	6.8	23.7	6.8	28.8	13.6	10.2	5.1
	谷本地区	134	27.6	9.0	20.1	7.5	29.1	15.7	11.2	3.7
	恩田地区	167	30.5	7.8	18.0	3.0	35.3	22.2	6.0	4.2
	青葉台地区	188	33.0	8.5	18.6	2.7	32.4	14.4	6.4	5.3
	奈良町・奈良北団地地区	99	35.4	15.2	24.2	6.1	18.2	10.1	10.1	5.1
	山内地区	193	40.9	20.2	6.2	2.6	18.1	13.0	26.9	3.1
	荏田・新荏田地区	170	35.9	16.5	10.0	5.3	15.9	7.6	25.3	5.9
	荏田西地区	56	25.0	12.5	12.5	7.1	23.2	14.3	26.8	1.8
	すすき野地区	91	49.5	28.6	6.6	3.3	11.0	3.3	19.8	7.7
美しが丘地区	62	32.3	11.3	8.1	4.8	16.1	8.1	33.9	3.2	

11. 駅周辺のまちづくりについて

問 38 あなたが日常的に最もよく利用する駅はどれですか。(〇は1つだけ)

(注) 設問は「〇はひとつだけ」だったが、複数に回答される人が多かったので複数回答扱いとした

- ・「青葉台駅」が30.8%と3割に達し、特に高い。次いで「あざみ野駅」(19.8%)、「たまプラーザ駅」(17.7%)、「市が尾駅」(10.5%)などと続く。



「その他の駅」の内容

駅名	件数
長津田駅	21
玉川学園前駅	6
十日市場駅	3
鶴川駅	2
成瀬駅	2
新百合ヶ丘駅	1
鷺沼駅	1
町田駅	1
本厚木駅	1
合計	38

※複数回答あり

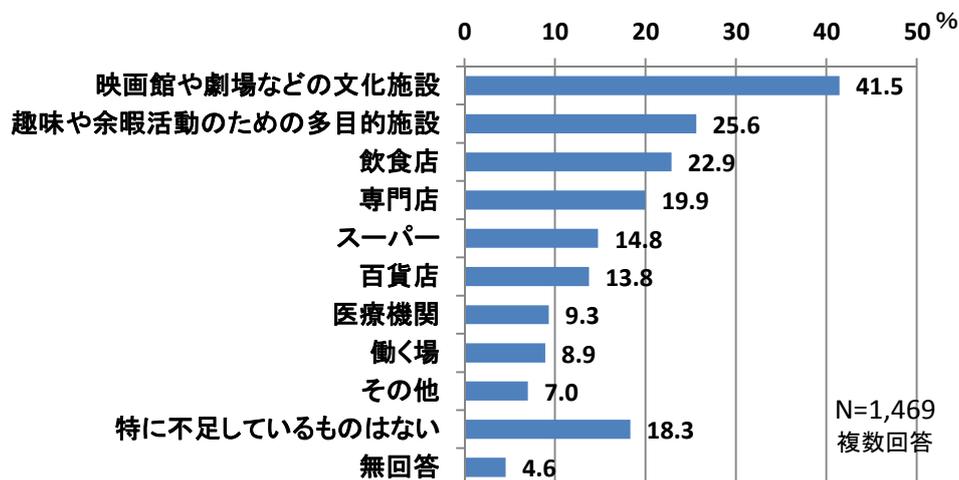
■ 居住地区別 日常的に最もよく利用する駅 (問38×F8)

・美しが丘地区では「たまプラーザ駅」が最も多く、中里地区、山内地区、荏田・新荏田地区、すすき野地区では「あざみ野駅」、市ヶ尾地区、荏田西地区では「市が尾駅」、上谷本地区、谷本地区では「藤が丘駅」、中里北部地区、恩田地区、青葉台地区では「青葉台駅」、奈良町・奈良北団地地区では「こどもの国駅」が最も多くなっている。

	合計	問38 日常的に最もよく利用する駅										
		たまプラーザ駅	あざみ野駅	江田駅	市が尾駅	藤が丘駅	青葉台駅	田奈駅	恩田駅	こどもの国駅	その他の駅	無回答
全体	1469	17.7	19.8	6.2	10.5	9.7	30.8	2.4	0.9	3.1	2.4	1.6
F8 居住地区	中里地区	65	1.5	66.2	3.1	29.2	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	中里北部地区	48	0.0	2.1	0.0	0.0	4.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市ヶ尾地区	88	2.3	2.3	0.0	94.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1
	上谷本地区	59	0.0	1.7	0.0	0.0	54.2	42.4	0.0	0.0	0.0	3.4
	谷本地区	134	3.0	0.7	0.0	4.5	76.1	23.1	0.7	0.0	0.0	0.7
	恩田地区	167	1.8	1.8	0.6	0.0	0.0	67.7	15.0	6.6	0.0	10.2
	青葉台地区	188	1.1	1.6	0.0	0.0	1.1	93.1	3.2	0.0	0.5	1.6
	奈良町・奈良北団地	99	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.4	2.0	1.0	43.4	12.1
	山内地区	193	48.7	56.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0
	荏田・新荏田地区	170	24.7	37.1	35.9	3.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	荏田西地区	56	1.8	3.6	44.6	57.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	すすき野地区	91	41.8	54.9	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	美しが丘地区	62	96.8	3.2	0.0	6.5	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0

問 39 問 38 で回答された駅周辺に不足していると思う機能や施設はどのようなもので
すか。(〇はいくつでも)

- ・「映画館や劇場などの文化施設」が 41.5% で最も多く、4 割以上の人々が挙げている。次いで「趣味や余暇活動のための多目的施設」(25.6%)、「飲食店」(22.9%) が 2 割を超えており、以下「専門店」(19.9%)、「スーパー」(14.8%)、「百貨店」(13.8%) などと続く。



「その他」の内容

項目	件数	内容	件数
公共施設・公的機関	44	図書館・本の家	19
		郵便局・ポスト	16
		子育て支援施設・多目的スペース	4
		スポーツ施設	2
		その他公共施設	2
		医療機関	1
オープンスペース・憩いの場	7	駅前広場・ほっとできる場所	5
		緑化・樹木	2
駅付帯施設	6	トイレ	3
		バリアフリー関連施設 (エレベーター等)	3
商業施設・金融機関	26	銀行・ATM	13
		商業施設	13
交通関係	31	駐輪場	12
		駐車場	11
		駅前道路の整備・車が待機できる場所	5
		バス交通の利便性向上	3
その他	4		4
	118		118

■ 利用駅別 駅周辺に不足していると思う機能や施設 (問39×問38)

- ・最もよく利用する駅別に不足していると思う機能・施設をみたところ、下記の機能・施設の割合が最も高かった。

駅名	最も回答が多かった機能・施設	割合 (%)
たまプラーザ駅	映画館や劇場などの文化施設	60.8
あざみ野駅	映画館や劇場などの文化施設	38.5
江田駅	飲食店	40.7
市が尾駅	専門店	40.3
藤が丘駅	専門店	29.6
	映画館や劇場などの文化施設	29.6
青葉台駅	映画館や劇場などの文化施設	43.8
田奈駅	飲食店	57.1
恩田駅	スーパー	61.5
こどもの国駅	飲食店	45.7

- ・たまプラーザ駅では「映画館や劇場などの文化施設」の割合が最も高く、あざみ野駅でも「映画館や劇場などの文化施設」が最も高い。江田駅では「飲食店」「専門店」「趣味や余暇活動のための多目的施設」が高く、市が尾駅では「専門店」「飲食店」が高い。藤が丘駅では「専門店」「映画館や劇場などの文化施設」の割合が高い一方で、「特に不足しているものはない」も3割弱となっている。青葉台駅は「映画館や劇場などの文化施設」が高い。田奈駅では「飲食店」「医療機関」「働く場」が高くなっている。恩田駅では「スーパー」「医療機関」の割合が高い。こどもの国駅では「飲食店」「働く場」「その他」が高い。その他の駅では「飲食店」「専門店」「医療機関」が高い。

	合計	問39 駅周辺に不足していると思う機能や施設											
		働く場	スーパー	百貨店	専門店	飲食店	の趣味や余暇活動のための	映画館や劇場などの文化施設	医療機関	その他	は特に不足しているもの	無回答	
全体	1469	8.9	14.8	13.8	19.9	22.9	25.6	41.5	9.3	7.0	18.3	4.6	
問38 日常的に最もよく利用する駅	たまプラーザ駅	260	6.2	6.9	2.3	6.2	12.3	21.9	60.8	10.8	8.8	17.7	4.2
	あざみ野駅	291	10.7	24.1	21.6	23.7	30.6	24.7	38.5	6.9	4.8	18.9	4.8
	江田駅	91	13.2	18.7	16.5	37.4	40.7	37.4	34.1	16.5	2.2	14.3	1.1
	市が尾駅	154	11.7	13.6	20.1	40.3	37.7	28.6	31.2	9.7	7.1	13.0	3.2
	藤が丘駅	142	4.2	16.2	17.6	29.6	18.3	24.6	29.6	2.8	4.9	27.5	3.5
	青葉台駅	452	7.3	12.4	13.3	10.8	10.4	24.3	43.8	8.2	7.3	19.5	4.0
	田奈駅	35	22.9	22.9	17.1	25.7	57.1	31.4	28.6	28.6	8.6	11.4	2.9
	恩田駅	13	0.0	61.5	0.0	0.0	23.1	7.7	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7
	こどもの国駅	46	26.1	6.5	4.3	17.4	45.7	7.7	43.5	10.9	26.1	8.7	4.3
	その他の駅	35	17.1	17.1	14.3	34.3	40.0	31.4	31.4	20.0	8.6	25.7	5.7
	無回答	24	4.2	8.3	4.2	12.5	4.2	12.5	4.2	0.0	4.2	4.2	75.0

12. 区政について

青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

- ・青葉区政についての意見として、338件の記述があり、計525件の意見が挙げられた。
- ・意見が多かったのは、分野ごとに「行政」139件、「道路・交通」108件、「環境」98件、「健康・福祉」54件、「教育・文化」48件、「地域」39件、「防犯・防災・安全」34件、「医療」5件の順である。
- ・各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「自然環境」についての34件である。以下、目立ったものとしては「公共交通」（32件）、「住環境」（26件）、「防犯」（26件）、「高齢者福祉」（21件）、「子ども・若者支援／子ども・子育て支援」（21件）、「公共施設」（20件）などとなっている。

大分類	中分類	件数	大分類	中分類	件数
行政		139	健康・福祉		54
	公共施設	20		高齢者福祉	21
	行政サービス	13		障害者福祉	2
	区政一般	17		福祉一般	8
	広報・広聴	18		子ども・若者支援／子ども・子育て支援	21
	税の有効活用	15		健康診断	1
	職員の資質	10		健康づくり	1
	青葉区の将来像、活性化	8	医療		5
	アンケート	15		医療体制	2
	イベント	1		病院・医院	3
	感謝している	10	教育・文化		48
	都市基盤整備	7		図書館	16
	特性を生かしたまちづくり	1		学校・教育	17
	協働	4		スポーツ	9
環境		98		文化活動	6
	ゴミ分別・ゴミ収集	16	地域		39
	自然環境	34		地域商業振興	18
	住環境	26		地域活動	5
	公園	15		地域コミュニティ	12
	ペット・動物	3		自治会	4
	路上喫煙	4	防犯・防災・安全		34
道路・交通		108		防犯	26
	公共交通	32		防災	8
	歩道	20			
	駐車場・駐輪場	7			
	道路	17			
	違法駐車・放置自転車	6			
	交通マナー	9			
	自転車専用道路	4			
	駅前再開発	13			

自由記述内容一覧

行政について

公共施設

施設・グラウンド等自由に利用できる場所がほしい。
区役所内の植え込みの草が目立って、青葉区の顔として残念に思います。
道路標識がムダに多すぎる。
子育てに適した環境でありながら、子ども達が使えらるグラウンドの数が少なく、規制も多く、自由に楽しく利用できません。
自宅から徒歩圏内に児童館がありません。毎日通えると子ども同士のつながり、親同士のつながりができるのではないかと思います。残念です。
野球チームに毎週朝から晩まで解放し、騒音となっています。逆に地域の夏休みのラジオ体操の係の方が遠慮されています。これはおかしいと思います。市の持ち物にしても、近くの人にも貢献できる資産であってほしいです。
田奈町在住です。駅に隣接して区民センターがありますが、狭く、いつもいっぱいです。地区センターのようなみんなで利用できる建物があるといいなと思います。
恩田川沿いの市街化調整区域をもっと活用して、高齢者も利用できる図書館や公園、広場などにしてほしい。
公園のすべり台の下に人工芝かマットを敷いてほしい（安全のため）。
青葉区は、以前住んでいた地方と比べ、文化施設・公共施設がかなり劣っているようです。
地域ケアプラザでも自治会でも、高齢者にお茶会・昼食会を年に1・2回開いてほしい。
できてから25年になる市の公園の周囲道路を、いまだ駐車禁止の指定のないまま放置しているため、公園利用者や業務用車輛の路上駐車が絶えず、住民が困っています。緑政局の問題とせず、区内の市施設は区役所が責任を持つようにしてもらいたいものです。
市・区所管施設（公園等）の改良に関する住民希望の把握。
公園には1ヶ所以上便所を。公園には大人向けの遊具機（軽運動向け）の設置をお願いします。
たまプラザ駅周辺は青葉区の中でも1、2を争う人口の多い駅・地域です。そのわりに図書館、スポーツセンターなどの行政施設が少なく、もっと増やしてほしいと思います。
子ども達が安心して外遊びができる場がなくなってしまった。
高齢の母を3年前に送りました。ケアプラザなどでの介護サービスはほとんど行かず、家庭で私の世話だけで足りました。ショートステイを2回利用し、助かりました。が、その施設による欠点がありました。実際の利用者の声を行政はくみ上げて、前へ進めてくださると助かります。具体例が大切です。問15の設問は無意味です。担当者の頭が曖昧模糊としている表れです。区民の手足となろうという心の覚悟があって給料を受け取っているのなら、反省して改めてください。勉強するべきですよ。
地区センター施設も利用者が多く、利用しにくい。山内地区センターも子ども達がゲーム等でロビーはいっぱい、高齢者が休むところがない時が多い。都筑区はゲームを禁止している。子どもは元気に運動してほしい。
公園でサッカー禁止という看板がありますが、子ども達がのびのびとサッカーやボール遊びができる場を提供してほしいです。子ども達に外遊びの重要性を伝えてほしいです。
小・中学校跡地、湧水池の効率よい活用について考えていただきたい（少年少女、地域住民の健康増進のため）。

行政サービス

朝市やイベント（地域）があれば、もっと活性化するのではないかと思います。
区役所に手話通訳をつけてほしいです。今まで筆談したので、時間が間に合わない。
以前、弁護士さんへの相談会を利用しました。今もやっているのかは把握していませんが、税理士や司法書士などの相談会（30分くらいで無料）があると便利です。
苦情承り窓口を設置してほしい。
行政サービスコーナーの設置（各駅）。
市民相談がしやすい場所。
行政について言及すれば、国、県、市、町村区というピラミッドの構図になっており、区に要望をお願いして何になろう。キチッと公僕としての窓口業務を行ってほしい。
奈良町は区のはずれのため、交通、環境整備、医療機関など行政サービスが何かと置き去りにされています。同じ税金を払っているのだから、区のはずれに平等な行政サービスやってもらいたい。
活動している情報が少ない。
2～3年前までは各地域等で認知症関係のセミナー等行われていたと思うが、参加した時に区職員の方に窓口でも相談を受けていると言われ、後日、区役所に行ったことがある。相談に行ったら後悔した。相談窓口や高齢者が多い窓口には、経験豊富な方や行政の変更（今までは〇〇だったとか）を経験したわかりやすい説明のできる方、こちらの質問の意図を理解していただける方を配置してほしい。特に認知症相談窓口では一般的な「ご案内」と「相談」窓口を分けたいと思ったことがある。
街路樹の剪定や草刈りを大通りだけでなく、住宅街の市道のところも、こちらが毎回お願いしてからするのではなく、きちんとやってほしいです。

定期検診などのお知らせを個人宛にくださるとありがたい。都内の区に比べて、検診がないように思います。知らないだけでしょうか？

区役所は夜間、土日をもっと開けてほしい。働く女性も多いので。

区政一般

もう少し生活保護の審査を厳しくしてほしい。

場所柄、川崎市宮前区・麻生区・青葉区の3つが接近しているが、行政的には川崎市宮前区が一步上に行く。病院、警察、郵便局、スーパー、ジム等ほとんど川崎市を利用している。ゴミ処理場の汚染問題にしても、横浜市や青葉区はほとんど無関心だったので、補償問題は本当に手こずった。

この地に30年以上住んでいる者の実感として、あまりにも急激な人口増加、治安、風紀の乱れ、などをひしひしと感じている。30年ほど前の青葉区を取り戻す施策を実行すべし。

実現可能な施策を一つ一つ確実に行ってください（大変でしょうが）。

環境汚染、食品の安全性などの情報をオープンにしてほしい。

区政も行き届いて、住民の意識も高く、環境の良い住みやすい町だと思います。

行政は市民・区民全般にわたり、大変なことだと思います。私のような老人もさることながら、特に学童や保育の子ども達に十分に手をつくしてください。小さな子を変死させることのないようにお願いします。

奈良町は町田市を生活の中心にしている家庭が多く、町としても人口密度が高いにもかかわらず、青葉区の端っこということで行政区政が行き届いていません。

町田市と相模原市のように隣の行政と連携して、町田市または玉川学園地域ともっと便利に生活できるようにしてもらいたい。

青葉区には長く住んでいますが、県・市単位での関心は高いのですが、区単位では区長の名前すら知らないほどです。はっきり言って、区単位の行政には期待していません。

区役所に行くことがないので、区政が遠く感じられる。

区政の人はいじわるで冷たい。自分達は苦勞していないからだ。

区役所等で待ち時間を減らす工夫が必要だと思います。

正直なところ、高校生に対して区政がどのようなことを行っているか、あまり伝わっていないのではないかな。

区長は区民投票によって選出されるのが良いと思います。それが開かれた区政ではないでしょうか。

経済的に厳しくならないよう、若い世代、出産の増加に力を入れてほしい！ どうでもいいイベントや工事等にお金を使わず、上記課題へ予算を使用してほしい！

こういったことを、どこの誰に言えばよいのでしょうか？ 知りたいです。

広報・広聴

広報についてはやっていると言うが、一般の人にはなかなか届いていないことをわかってほしいと思う。

震災などの際に、放射能から子どもを守るために給食の食材産地に気をつけてほしいと要望を送ったが、全く無視された。青葉区も横浜市も子どもを守る気はないのが見え見え。広報であれこれ宣伝しても、うわべだけの話。給食が不安なら、横浜市から出て行けと職員に言われた。区の体質が絶望的。

PR方法+B34を再考してほしい。広報あおば区版は良いが、暇な人しか読まないでは？

福祉サービスの内容がわかりづらく、困った時に何が受けられるのか、具体的に表現してほしいです（社会福祉協会ニュースはあるが、自分達の町内活動がほとんど出てこないし、活動の豊かなところしか取り上げてない気がします…）。

地方自治に関して、県・市・区の役割をほとんど知らない。区に関しては、証明書をもらうところとの意識しかない。私のような人がたぶん多いでしょう。困っていないからでしょうが、基本となることです。PRが必要なのではないでしょうか。

広報の編集はお役所的でマンネリ化している。新聞等の編集を参考にして、見やすいものにしてほしい。

目に見えて良くなっていることを広報やチラシ、ネットで得る情報から感じています。

中長期のビジョンの提示。

区役所から離れているためか、区の催し事が少ない気がします。

もっと青葉区の良さを区内外にアピールしてもよいのでは？

どんなサービスをやっているとか、どこで使えとかを冊子にしてくれたり、それが使える月ごとに何かを発行してくれると、目にとまると思う。

青葉区ホームページが見づらく、改善していただきたい。

情報が区民一人一人に届いていない。

町内会に入っていないからか、市や区などからの情報が少ないので、そのような人にも情報が目に付くようになると良いと思います。

青葉区政がどのようなことを行っているのか、行ってきたのか、すぐに思い浮かびません。自らが情報を得ようとしなければ、知ることが難しいのが現状のように思います。各家庭へ広報紙を送ってみては。楽しい情報や開発・改善予定等の情報を見たいです。

区役所で行っているサービスや規則を住民に知らせてほしいと思います。

区がどういったことに取り組んでいるか全く知らなかった。せつかく情報発信しても、受信側が動かないとサービスが知られることがないという悲しい。Webサイトなど手軽に見られる媒体があったことも初めて知った。働いていた時は面白い個人サイトを見ることはあっても、区や市の情報を知ろうとすることは全くなかった。スーパーやドラッグストアのレジ待ち中に、区のイベント告知のビラを貼らせてもらい、「詳しくはWebで！→青葉区ウェブ」とかやってくれたら、興味を持つ人が増えるかも。

今回の調査を通して、いろいろな媒体で広報がされていることを知りました。

税金・税の有効活用

税金が高い。

公園の整備を必要以上に実施しないこと。税金の無駄遣いと思われるケースが多い（例えば、桂台公園では工事を必要以上に実施している）。

子ども手当の現状確認の書類送付に、いちいち切手を貼らせないでほしい。この調査は切手不要ですよ？しっかりしてくれ！

税金のむだ遣いを止めてください。税金を安くしてください。

区役所の方達、最高に親切です。ただし、高齢者福祉・身障者福祉・子育てママ、の3つに税金と勢力を使いすぎています。そのせいで本人の自立心が失われていきます。もっと本人の責任部分を明確化し、本当にやる気のある人、頑張っている人を助けてほしいです。→税収が高まります。やる気のある高齢者をもっともっと活用し、無駄な税金遣いを減らし、市も市民も潤うようにしなければ。70歳になろうと元気なのに、仕事がない。仕事を作ることも大きな市の仕事では。やる気のない人ばかりにばらまかないでほしいです。

住宅供給で住んでいる人達の掃除を、住んでいる人達で交代すべき。税金のむだ遣いである！

青葉区住民は税金を多く払っているのに、区政のために利用できる金が少なすぎる。特区などでもっと使える金を用意できることを希望する。

世田谷区から越して来て、福祉が充実していないなど感じるが多々ありました。税金を納めている側としては、しっかりと有効に使ってほしいところです。

介護を受けていないが、介護保険料および後期高齢者医療保険料が年金受給額からしてみると、料金が低い。

市民税が高すぎる。主婦だから困る。

生活保護者があまりにも多すぎる。審査が甘すぎる。

公園等に費用のかけすぎでは？もっと自然に、住民が除草等をする程度で可。子どもの遊具は良しとするが、レンガ造りの花壇や道路までは不要。もったいないと考えます。もっと質素に！

区民が元気なら、医療や福祉費は節約できるはず。

年金暮らしのため、区民税を安くしてほしい。

横浜市の予算をもっと青葉区に振り向けてほしい。道路整備、街路樹を充実させ、住みやすい青葉区にすること。ただし、箱物の予算は必要ない。

職員の資質

近年、青葉区役所での窓口対応が大変良くなったと感じています。

父の介護保険の手続きで青葉区役所へ行きましたか、待ち時間がとっても長かった。戸籍課、年金課はあつという間に手続きができました。

地区センター職員の礼儀作法の教育をしっかりしてほしい。サービス業をしている心構えがない主婦、男性職員が多い。

役所の窓口で横柄な方が多い。特に保護課。

区役所の各セクションが、縦割りのせいか繋がりがなく、利用者としてとても不便を感じる。自治会について地域振興課窓口に聞きに行ったとき、男性職員2名の方が対応してくれました。しかし、回答は役所の書類文書を読んでいるようで、全く核心をつかもうとしてくれず、利用者としてがっかりした。福祉系は親切なのに、差がありすぎる。

高齢者支援窓口の介護判定のスピードアップ。遅すぎる。対応者が少ないのでは？本当に不満。とても事務的な対応で不愉快。

訪問予約の日に職員より連絡なし。

高齢者が多くなるにつれ、介護者が必要になる。介護職員を増やして、賃金を上げるようにする。

青葉区の役所はとっても親切だと聞きます。これからも頑張ってください。

役所の方にはそれぞれの分野のプロとして、お仕事をしてほしい。

青葉区の将来像、活性化

これからも良い街作りに期待しています。
青葉区が数十年後に極端な人口減にならないよう、活気ある区のままにいられるように願っています。がんばってください。
青葉区は日本で長寿区、そして一番住みたい区（町）とマスコミでももてはやされたが、今はコンクリートの町になってしまった。
あざみ野駅前をもっと発展させてほしいです。せっかく多くの人乗り換える駅なので、「横浜へ行く時はあざみ野に寄ってほしい」と思われるような駅になったら嬉しいです。
区内にもいくつか団地がありますが、高齢化が進んでいます。団地の再生、活性化する施策を考えてください。町田市では進んでいます。
地域復興への努力をしてほしい。
青葉区は緑の豊かな町なので、その良さをもっと生かし、地域農業との関わり合いや地産農作物の活用による地域活性化、自然環境の保護と活用に力を入れてほしいと思います。

アンケート

この調査の設問の選択肢は、迎合的・一般受けするような項目が多すぎる。これらの選択肢とは逆行する項目も盛り込むべきではないか？
アンケートが長い！！ネットできるようにしては？
区民意識調査でどんなメリットがあるのでしょうか？
アンケートの量が多すぎる。
田園都市線一番の乗降客数の青葉台駅だが、何一つその利点を生かす使い方をされていない。役所仕事のような視点の合わないアンケートで統計がとれますか？何がしたいのか？同じような問の繰り返しで、視点が定まらないアンケートを、どう今後活用できるか楽しみです。
無作為に選出とはいえ、区政についていろいろ意見、感想を伝える機会をいただけて、とても嬉しく思います。
アンケート返信の督促はがきが届いたが、そのようなはがきを送付することはいかがなものか。その郵便費用を税金で賄っていることだし、無作為抽出の調査で、強制のものではないのだから。
青葉台郵便局で証明発行サービスをしていることを、このアンケートで初めて知った。
以前、近隣トラブルで警察に相談したところ、すぐに区役所のご担当の方から連絡をいただき、その後も数回、状況伺いのお電話をいただきました。7～8年どう対処してよいかわからなくて不安な毎日でしたが、何かあったら差し伸べてもらえる手があることを知り、大変心強かったです。その節はありがとうございました。今は両親ともに元気で、子どもも地域でお世話になる年齢を超えたため、地域活動から離れてしまいましたが、このアンケートを機に何ができるか考えてみたいと思う機会を与えていただきました。
質問事項が多すぎると思う。
アンケートに答えながら、知らないでいたこと、関心を持たなかったこと等反省することばかりでした。これからはもっと周囲をながめながら生活をしていきたいと思いました。
青葉区に居住して1年1ヶ月になります。この度は突然の依頼で驚きました。アンケートとはいえ結構な量があり、それも期間が短く、大変失礼な依頼と考えます。返信用封筒も小さい。
このような意見聴取の機会を設けてくださり、ありがとうございました。
このアンケートはどうするのか？税金使って無駄なことはしないように。
中・高の公立学校の給食制度導入←アンケートを中3に実施して、不要であるとの集計を聞きました。アンケート対象がそもそも間違い！小6、中1にアンケートするべきでしょう！

イベント

都筑区の方が利用者のことを考えてくれているようで、時々利用している。20周年も都筑区の方が参加行事がいろいろある。

感謝している

申し分なく、よく頑張っていたいただいていると思っています。
先月、久しぶりに区役所に行きました。対応がかなり良くなっていました。良いことです。
以前住んでいた緑区より、皆さん対応が親切で、役所もきれいで良いと思う。
いつも丁寧な窓口対応ありがとうございます。青葉区役所の対応は一流企業に負けません。
青葉区役所の方々はいつ行っても親切で、プロ意識が強く、頼れる存在だと思います。他都市から転入された方も感心されていました。これからもますます品格ある青葉区になるように、よろしく願います。

その件で行政書類を記入することが多々ありますが、書類の文言や書式がわかりづらく、いつも手間取ってしまいます。難しい部分もあると思いますが、もう少しわかりやすくして下さったら幸いです。なお、その点に関し、区役所の方にはいつも丁寧にご説明いただき、大変助かっています。親身に相談にのってください、ありがとうございます。

区役所職員の方々の対応がとても親切で、丁寧になったと感じます（20年前と比べて）。青葉区に住んで、大変満足しています。

青葉区が大変気に入っております。

今まで転勤でいろいろな街で暮らしましたが、青葉区は住みやすく、安全で良いところだと感じています。できれば、ずっとここで暮らしたいと思っています。これからもこれを維持してほしい。

これからも良い街づくりを目指して頑張ってください。応援します。

都市基盤整備

バスロータリー横の橋の老朽化の改築を望みます。明るい、きれいな街並みになることを祈っています。ずっと住み続けたいので。

下水が古いのか、町が常に臭いように思います。町全体が汚い。越してきたことを後悔しています。イメージと全然違っていました。残念です。

電線を地下に埋めていただければと思います。

近所の6世帯が未だ浄化槽となっています。環境衛生の向上のため、青葉区の下水道100%に向けて推進（強制）していただきたい。

長寿もいいが、インフラ整備と、自殺者が増えていることはどうするの？

メインの駅（たまプラーザ、あざみ野、青葉台）周辺に力を入れすぎている感じがします。民間の開発に任せて、それについていっているような状態かも（東急の力が強い）。

例えば市ヶ尾は、総合庁舎、警察、消防、税務署など行政の中心的なものがあるにもかかわらず、町としては全く発展していかない。インターチェンジはあるのにバスターミナルは小さい。拠点になっていない。

特性を生かしたまちづくり

青葉区まちづくり指針の改定が始まったのは朗報。しっかりした内容とし、かつ、その実現にまじめに取り組むことが重要。

協働

災害・地域防災などで協働できたらと思います。

街路樹の根元が乾く時期の水やりや、草花を植える世話人を募るのはいかがでしょうか。

青葉区は人気の高い住宅地であるので、住居費が高い。区の活力を維持するためにも、若い世代の流入は不可欠。是非、県や市と協力して安価で優良な住宅を供給していただきたい。

ボランティアにもいろいろな種類があると思うが、ボランティアを教育するシステムができればいいのになと思う。子どもをもっていないと学校教育に携わる機会がないが、いろいろな大人が（いろいろな仕事や経験をした）、子ども・親と一緒に生活する、生きていくことを学ぶ場とかあればいいのと思う。

環境について

ゴミ分別・ゴミ収集

ごみの集積場は一場所20軒くらいずつにしてほしいです。

夏期のもえるゴミ収集の回数を増やしてほしい。衛生上良くないと思う。もえないゴミに関しても週1回では、4人家族の家庭では置き場に困っている。東京では分別がなくなっているゴミもあるのに、横浜はできないのでしょうか？

最近新しく転入された方のゴミ廃棄のマナーが非常に悪くて困ります。良い方法はないでしょうか。

青葉台に44年住んでいます。周辺にはマンションが建ち並び、近所づきあいも以前とは変わり、寂しさを感じています。自治会の方々には一生懸命やっただけですが、ゴミの問題などトラブルがたまにあります（分別・収集日に出さない）。

ゴミの分別収集だけは時間通りで完璧。

分別ゴミ収集後の処分の実態をわかりやすく、かつ正しく区民に開示すること。それら全作業の費用対効果の分析結果を正しく区民に開示すること。有識者会議を設営し、合理的な効率向上改革案をまとめること。

燃えるゴミの日の回収日を1日増やしてほしい。

ゴミの収集→生ゴミをもう少し多くしてほしい。

ゴミの収集日を増やしてほしい（特にプラスチック）。

<p>中長期外出や、高齢になった時、曜日指定ではなく、いつでもゴミを出せるようになればいいと思います。家族が訪ねて来たときにゴミ出しできたらいいです（マンションのように）。ゴミ出し日の早朝に間に合うように家族が来るのは難しいです。</p>
<p>街中や住宅街のゴミネット等の扱いが、何かだらしなく見えます。カゴタイプにすればカラスの害を防げるのでは。区の方でもっと美化を進めてほしいと思います。</p>
<p>同様に、平行して流れる川の状態が悪い。ゴミが散乱していたり、自転車が捨てられている。こちらも迅速な対応をしていただきたい。住民が区外へ移ってしまいかねない。</p>
<p>6月～9月の間だけでも、生ゴミは週3回収してほしい。住民税が他都市と比較して高いので、区政をスリム化して安くしてほしい。プラスチックゴミは週2回収してほしい。</p>
<p>ビン、缶を捨てられる日が土曜日なので、せっかくの休日もそのために早起きしなければいけないので、回収日を変更してほしい。</p>
<p>100年先を見てほしい。ゴミや食などの先進国というか、一步先に行く町にしてほしい。</p>
<p>夏期のゴミ収集の回数を増やしてほしい。</p>

自然環境

<p>自然に囲まれた、とても良いところです。</p>
<p>区名のように緑あふれる（青葉）街を大切にしてほしい。自然と共存できる街は、人にも優しいと思うから。</p>
<p>街路樹の下の草刈りが1年に1回ほどしかなく、子どもの背くらい伸びていて、車に乗っていて子どもがいることに気づかず、横断歩道でぶつかりそうになったこともあるし、見通しも悪く犯罪につながるかもしれない。緑を植えているのは良いが、その後の管理をきちんとやってほしいです。できる範囲では草むしりをしてはいますが、他にやってくくださる方もいませんし、病気もあり、思うように動けないので…。</p>
<p>緑豊かな青葉区、夏に向かって植物がどんどん伸びる時期（5～7月）に見通しが悪くなり、車など危険です。街路樹、植え込みの手入れを速やかにお願いしたい。また、一般家庭への呼びかけも、より積極的に働きかけていただきたいと思います。</p>
<p>とても美しい街だと思っています。清濁併せ持つてこそその人の生活だとも思いましたが、「濁」の部分の削ることが区政の努めでもあるわけです。美しい街というのが、日本に一つくらいあっても良いかと思っています。いつも姿勢が正しいことは大変くたびれることでもあるので、緑の風景を大切に…。</p>
<p>いろいろと不便ですが、こちらに来て1年経ちました。緑が多く、良い街のようです。これからよろしく。</p>
<p>緑も多く、あまり都会化していない所が良いところだと思う。</p>
<p>街も整備され、緑もあり、キレイな街だと思います。</p>
<p>イチョウの木をどうにかしてほしい。実がなる頃は臭ったり、滑ったり、汚らしい。他の木にしてほしい。ダメなら市や区で掃除してほしい。</p>
<p>街路樹落ち葉の清掃は、バス通りに面した荏子田地区ではやっていない。風の向きで落ち葉がこちら側に来る。行政でやるようにならないか？（11月から2ヶ月間）。</p>
<p>街路樹の油虫の駆除（今年はまだ発生していないが）。</p>
<p>これからも素敵で皆があこがれる街づくりを。緑（季節ごとの花など）もある街並みをずっと続けてほしい。</p>
<p>マンションがどんどん建って、たまプラが栄え、あざみ野が変わらない景色を持っているように感じています。</p>
<p>緑、自然が多く、とても住みやすいと思っております。このまま緑（田んぼや畑）を残してもらいたいです。</p>
<p>また、街路樹近くの雑草等も気になります。伸びすぎていると車の運転に支障がありますので。</p>
<p>緑化をお願いしたい。</p>
<p>いつも緑豊かで住みやすい環境づくりをしていただき、ありがとうございます。</p>
<p>都内に通学している娘が、「私は横浜青葉台に誇りを持っている。大好きなところ」と言ってくれました。なぜかと問うと、中学生までの友人がいるからだそうです。いつも帰りたと思う街、会いたい人がいる街であってほしいと思います。商店も活性し、集う場所があり、緑や自然を大切にする美しい街にこれからもなってほしいです。</p>
<p>里山を残し、美しく保ってほしい。</p>
<p>緑が多い。</p>
<p>また、周辺の農地や緑地が残り、水辺に親しめるような施策が進むと、住環境としてもより良くなると思います。</p>
<p>高齢者用の大きな施設ばかりが建ち、どんどん緑がなくなっているのはよくないことと思う。緑をなくさない努力がみられない。</p>
<p>たまプラザ駅前の桜並木が伐採されたままの状態になっている。植え替え対応をしてほしい。</p>
<p>遊歩道の緑が枯れて、なくなってしまったところの植え替えをお願いします。</p>

美しが丘4丁目の歩道に木を植えてほしい。
新石川の通りにも、もっと桜並木があつたらいいと思う。
緑が多く、駅前とは全く違う空気の良い地域です。この環境をずっと守っていただきたいです。
街路樹が台風などで倒れて危険なため切り倒してくれましたが、新しい街路樹は植えられず、景観が悪いところが多くあります。町の景観を美しく保つために、住民の声を聞いてほしいと思います。
けやき並木、あまり木を伐りすぎないでください。緑が寂しい。
青葉区は個人的に大好きです。緑が多い環境がもっと増えてほしい。
あざみ野に引っ越して一年になります。マンションそばの川に階段ができました。自由に小さい子が川の中に入り、遊んでいる様子が窓から見えます。川は自転車やゴミ、洗剤の白い泡で汚れています。梅雨の時期、急に増水するので、進入禁止のひもとランプが点灯しているようですが、ひもを乗り越え、子どもが進んで危険です。水難事故が起きる前に対策を望みます。川の掃除というものはしないのですか？
鉄町、寺家町の緑を今後も保全してください。
森林を崩して住宅地にするのは良くないと思います。年々、生き物がわが家の周辺で減っているのは、すごく悲しいです。
家の前にけやきがあります。先日切っていただけましたが、鳩、虫、虫の卵などが多く、洗濯物に卵を産み付けられ、網戸も卵だらけです。できれば産み付ける前、4～5月くらいに枝を切っていただけると嬉しいですよ（桜台）。

住環境

マンションがたくさん建てられ、車の出入りが多くなりました。階段も多く、足の悪い方は不便だろうと思います。
青葉区に住み始めた頃はガソリンスタンドが複数あってよかったのですが、段々少なくなり、現在は一件もありません。冬、灯油を使用するので困っています。
出身地は能都、主人の転勤で住んだのが大阪周辺、その後港北区と品川に住みましたが、青葉区は理想の街だと思います。こんなに美しく、買い物もしやすく、都市と田園との風景を併せ持つ理想の街が、いつまでも発展していきまうように祈っています。
毎月1/3は出張していまので、地元との関係は薄いですが、美しい環境でいいところです。家内は喜んでます。
とても住みやすい街で気に入っています。今後ともよろしくお願いします。
約10年前から、昔からの住宅が次々撤去され、庭のほとんどない複数の住宅が新築され、今なお進行しているが、20数年前移り住んだ時の好ましい環境とは激変し（改悪）、残念である。建ぺい率など規制を強化し、緑の庭のある住宅街を期待するのは無理難題なのか？
街並みの美化、緑化の推進策として、各家庭に草花の種子等を配布する等いかがでしょうか。
パチンコ屋をなくしてほしい。
駅の周辺などに木陰にベンチがあって、ゆっくり休める小空間があるといい。できれば車の通らないゾーンも少しでも多くしたい。
歩いて行ける距離に郵便局がないことに、とても不便を感じております。
青葉区は自然に恵まれている町です。いつもきれいにしてほしいですが、スズメバチも多く飛んでいます。危ないです。どうにかしてほしいです。
青葉区は都心への通勤圏内にあり、半都会的な緑豊かな町で気に入っている。街並みも整備され、駅までの道が平坦、これからも環境と町の活性化、医療が間近にあり、老人が長生きできる町であっていただきたい。
わが家ではあと4～5年で年金生活が始まります。下の娘が6か月の頃から住んでいる青葉区には愛着があります。しかし、坂が多く、近所の高齢者の方も買い物など日常生活は、意外と大変そうです。戸建てで子ども達がのびのび遊べる住環境でしたが、今後は便が良く、安全で買い物が楽な所への引越も考えているところです。
青葉区は素晴らしい街だと思っています。自慢できる街だと思います。この土地に家を買うことは大変なことでしたし、今でもローンは大変ですが、この街の素晴らしさに納得しています。
転入するまでは犯罪が少ない地域だと思っていました。また、マナーある方々が多いイメージもありました。環境美化を休むことなく進めていけば、人も合わせていくのかと。期待しております。
公衆衛生の質を高めてほしい。
関西からこちらに来て25年、ほどよい田舎で、医療や商業施設もあり、とても暮らしやすい街です。今以上に住みよい街になるようによろしくお願いします。
近くに郵便ポストがないため、非常に不便。
住みやすいと思います。だから30年以上もいます（借家でも）。
高層マンションの建設制限。
県外からの移住者が区によってばらつきがあり、ある程度移住者を制限する必要があるのではないかと元々住んでいる人間には段々住みにくい環境になってきた。

とにかく移住者をある程度制限しないと一極集中型で、今後、良くはならない。
24年間ずっと住んできた、とても思い出のある場所。今年の8月に諸事情で相模原に引っ越すが、絶対にいつかまた戻ってくると心に誓っています。横浜市の青葉区が一番好き、荇田に帰りたい。
集合住宅や狭小住宅が増えてくるにつれて、これまで住んでいた人達と違う感覚を持っている人が多くなったように感じます。ゆとりある街並みを崩さないように、行政にはしっかり取り組んでほしい（建築基準を厳しくするなど）。青葉区には落ち着いた家並みぐらしか取り柄がないと思うので。
安全で美しい生活環境を保ってほしいです。
座って休めるベンチのようなものを歩道内に設置してほしい。

公園

公園の木々の定期的手入れをお願いしたいと思います。
藤ヶ丘公園の池の南側にある名札「犬シデ」は「熊シデ」の間違いだと思います。また、同公園のニセアカシアが切られました。花が最も美しい時期なのにもったいないし、残念です。谷本小学校北斜面のニセアカシアも同じ（早めに切るのは？業者のためなら×。事故がありましたからね）。
近所の公園がきれいに整備されていますが、あまり人工的ではない自然が残るような整備をしていただけたらと思います。
公園があっても手入れが悪く、荒れ放題。雑草の中に花を植えている。
街路樹が植えられていても、枝を切りすぎて夏場の木陰もなく、空気の浄化にも役立ちません。公園の緑化より、歩く時に心地よく、美しい道がほしいです。
公園の安全性。球技ができる公園と、してはいけない公園を明確にしてほしい。小さな公園で野球をされると、球が飛んできて危ない。何度も子どもがケガをしそうになった。大きな公園に限定してほしい。子どもの数が増えているのに、安全に遊ばせられる公園がない。
駅前、公園の整備、街の緑化に関して、大変な努力を感じます。
奈良川沿いの公園化整備は、お金のむだ遣い（不要）。河川への魚類の放流は、絶対にやってはいけない（生態系の破壊そのものである）。その場所に住む種以外を自然界に放すことは、絶対にしてはいけない。
公園内整備が不足です。樹木等の手入れ（選定）が少なく感じます。
最近、危ないのか何なのか、公園の遊具が寂しくなっているように感じます。昔みたいに少くらしい危なっかしい遊具で遊ばせないと、子どもはいざという時に痛い目に遭います。本当に悩んでいるので検討してください（例えば、荇子田公園、保松園、すすき野公園など）。
公園や並木の木を伐った後、若木を植えてほしい。何本も欠けた並木は美観を損ねる。
全体的にとっても暮らしやすい街ですが、緑を多くという趣旨からか木々が多すぎるように感じる場合があります。歩道まで伸びたままの植木等、自動車でも左・右折時に見えにくい時もあります。公園等の木々も適度が良いです。
もっと公園が増えたらうれしいです。
公園の落葉樹は常緑樹に植え替えてもらいたい。以前、青葉区土木事務所へ申し出るも、却下されました。公園の木がほとんどケヤキですが、何とかありませんか？回答を求む。
近所の保木公園で自転車に乗るのが1～2年前から禁止になり、小学生の子どもが自転車で遊ぶ場所がほとんどなくなりました。保木公園で隣接するグラウンドで自転車に乗れるように開放してほしい。

ペット・動物

犬の飼い主のマナーが悪い。男でも糞尿の始末に責任を持ってほしい。
近隣での猫の放し飼いなどに迷惑をしております。
駅周辺の歩道に犬のフンが落ちていることが多く、ペットの散歩マナーが気になる。

路上喫煙

タバコを吸っている中高生がよくバイト先にくる。取り締まりや指導をしてほしい。
歩きたばこを廃除できるよう徹底してほしい。禁煙を強要するばかりだと、歩きたばこは増える一方。喫煙スペースをある程度作らないと、歩きたばこはなくなる。特に駅前がひどい。行政と鉄道会社が協力して取り組んでほしい。
禁煙パトロールで指定場所以外の取り締まり強化。
子どもを連れて歩いていると、歩道で歩きたばこをしている大人を多く見かける。条例で管理する方向で動いてもらいたい。公園でも喫煙者が目立つ。

道路・交通について

公共交通

一番困ることは、区役所に行く用がある時の交通手段のないことです。電車やバスを利用しても、結局歩くのと同じくらい時間がかかり、30分以上歩いて往復します。東急電鉄駅前から区役所行きのバスを走らせてください。駅前→区役所→駅前へと。自分の車で行けない人はみんな困っていると思います。是非検討をお願いします。

交通の便を何とかしてほしい。特に四丁目はバスが20分に1本しかなく、東急バスと小田急バスが一気に来たり、全く来なかったりで客のことを全然考えていない。
現在は自家用車でスーパー、スポーツクラブ等行っていますが、年をとった時、交通の便が悪いので心配です。
田園都市線の混雑緩和のための方策（例えば、複々線化等）を東急電鉄に要望する等、できることから対応していただきたい。今のままだと移転したいと思える。
藤ヶ丘と市ヶ尾を結ぶバス路線があれば、区役所へ行くのがとても楽になるので、是非、将来新路線を開拓してほしいです。
バス便が不便すぎます。何とかしてください。
東急バスの運行時間を延ばしてほしい。
藤ヶ丘～青葉台のバスが1時間に2本（1本の時間帯）しかありません。4月からの改正でさらに便が少なくなりました。高齢者は車に乗らないほうがいいと言っていますが、車がないと不便です。80歳以上の人が大勢います。個人では話にもものってもらえません（東急バス）。公の機関からは是非一考をお願いします。
区役所に行くための無料バスがあるといい。
一方で、その反動の人口増加に伴う駅前の渋滞、特に電車の混雑は、早急に対応していただきたいと感じます。
地下鉄の改善（時間テーブル）。
あざみ野～新百合ヶ丘までの地下鉄の開通（さらに進学先の視野が増えると思います）。
青葉台駅からしらとり台・田奈地域へ路線、またはデマンドバスを配車してほしい。
青葉台～あかね台間のバスの本数を増やし、終バスの時刻を遅らせてほしい。
地下鉄を新百合ヶ丘まで延ばしてほしい。バスの本数（あざみ野～田園調布大）を増やしてほしい。
コミュニティバスを安く出してほしい（都内にあるような100円バス）。
江田駅から、仲町行（市営）・センター南行（市営）・市ヶ尾行（東急）、3本バスが出ているが、これが3本とも片寄って発車するので、利用者はバスが出た後、長時間待つことになる。何とかしてほしいと思います。
バスが利用しやすくなること。
市営地下鉄の新駅の場所が知りたい。
バスの便等地域交通の良い場所。
夜のバス便が少ない。皆、遅くまで仕事しているので、増やしてほしい。バス運転手の給与が高すぎる。下げるべきだ。
たまプラーザ駅を利用していますが、田園都市線が運転を見合わせると、身動きがとれなくなります。田園都市線以外の駅に移動するバスを拡充してほしい。特に、新百合ヶ丘駅へ行くバスの本数を増やしてほしい。
バス便が少なく、大雪の時など運休がしばらく続き、通勤・通学が大変だった。坂道も多く危険。コミュニティバスなどもっと増やしてほしい。高齢者デイサービスのバスが送迎時間以外はずっとその施設に停まっているのを見ると、もったいない。運転手さん（ボランティア）さえいば、運行してもらえるものなのだろうか？
バスなどの交通の便も良い。
青葉区役所、スポーツセンター、公会堂は、車がないので駅から少し遠く、利用しづらい。
駅によっては駅から離れると寂しいので、改善されると良いです。郵便局本局に行くバスがほしいです。
新石川4丁目に実家がありますが、近所の方々は地域で生活されて30年近くになっていますので高齢になっています。が、その地域はたまプラーザの駅まで徒歩で15～20分ほどかかり、坂もありますが、駅までバスなどの交通機関がなく、不自由な状態です。公共交通機関を是非考慮していただきたいと思えます。
バス停は雨、風、寒さを防ぐボックス型にしてほしい。
こどもの国線の本数をもっと増やしていただけるとありがたいです。
美しが丘西地区は人口が増え、小学校もできてすすき野地区よりも働き盛り世代が多くなってきつつあるのに、バス便が圧倒的に足りない。終バスの時刻も早くて、とても不便だ。東急が大々的に開発に関わってきたといえる青葉区なので、企業と連携してもっと住みやすい、行動しやすい地域にしてほしい。
今は車で移動していますが、バスが1時間1便でもあると、ずっと住み続けられると思います。
バスの本数を増やしてほしいです。

歩道

江田駅周辺は車椅子の歩行に適していません。段差が多く危険です。車椅子は少ないが、ベビーカーは多いので早急に整備していただきたい（3cm以上は段差になります）。昨年脳出血で倒れ、左半身が不自由となりました。階段のある住居から江田駅前のマンション（エレベーター、パイラフリー）に転居したが、道路が悪く困っている。
お隣の都筑区と比べると歩道の整備が遅れていると感じます。

歩道での自転車走行の法改正の徹底。
よく道路は整備しているが、歩道は狭かったり、ガタガタな所が多い。ベビーカーを押して歩くと至る所で歩きづらさを感じる。車椅子の方はさらに通行しづらいのではないかと思う。R246の歩道の整備をしてほしい（江田駅～新都市脳外）。病院へ行くのにたくさんの歩行者や自転車が通るのに道が悪い。
こどもの国線の歩道整備。
つるみ川など遊歩道整備。
最寄りのバス停「保木」をいつも利用しますが、駅から利用する際のバス停がとても危ないので、改善していただければと思います。せめて歩道だけでも作っていただくと助かります。
たまプラーザ駅前の歩道タイルの整備をしっかりと行ってほしい。水道管・ガス工事の後、タイルをはがしたところをコンクリートで埋めている。
歩道が暗い、でこぼこしている。
歩道が狭い。不法駐車が多いため、自転車も歩道を走らざるを得ないので、とても危険。
舗装が悪く、道路がでこぼこしていて歩きにくい。
住宅街の道路整備、一方通行化、カラーアスファルトによる車のスピード低下、植え込みなどを増やす、電柱の地中化など。安心して歩行者が歩道を進めるように。
歩道がガタガタしていて歩きにくいので、修理してほしい。
高齢者のために歩道を整備してほしい。地下鉄を通してほしい。
あざみ野駅に下りる歩道がデコボコ。もう少し歩きやすく整備してほしい。
石川町からあざみ野駅への川に沿った歩道ですが、途中、橋の切れ目で段差が大きくあつたりするため、整備をお願いしたい。自転車専用の道も、今後、推進していただきたい。
藤が丘小へのスクールゾーンは歩道が狭く危険なので、見直しと早急な整備をお願いしたい。
15年住んでいるので、住み始めた頃は、青葉区はまだ設立5年だったのだとびっくりしました。山内小学校から荏田町までの細い歩道を登下校に使っていたのが、まだ改善されていないのが残念です。スタジオマリオ（写真館）から東名トンネル下までの歩道の整備を是非お願いします。
自転車が我が物顔に歩道を走っている。危ない目に何度も遭った。
道路に鉄の棒（歩行者と自転車を分けたりする）がありますが、家族がぶつかって大けがをしました。ないほうがいいのかと思います。

駐車場・駐輪場

駐車場が時間制の有料化となり、駐車しやすくなりました（以前は並んで待つことも多くありましたので）。
区のスポーツセンターで様々な講座があるのは魅力的だが、駐車場の利用に補助が全くないため、受講をためらう。小さい子どもを連れて毎週公共交通機関で通うわけにはいかないし、受講料に加えて月に4回も駐車場代がかかるのも利用しにくい。小学生の子を迎えに行った時は、迎えのためだけの5分で料金が発生し、最初の15分は無料とかだとよいのと思った。うちは子どもの安全を第一に考え、150円かかっても駐車場に入ってお迎えしているが、それを避けるため路上で停車をしている車も多く、子どもにも他の車にも危険だと思いました。受講者へのサービスを見直してください。
奈良郵便局の証明発行サービスはありがたいですが、4時までは何のメリットも感じません。駐車場も1台のみで不便です。
バイクを止めて買い物できるスペースを増やしてほしい。
駐輪場をもっと増やしてほしい。
青葉区スポーツセンター利用の際の駐車場代が高く思う。
自転車置き場が他のところより高い気がします。東京都はもっと安かったです。

道路

田奈小学校から青葉台に抜ける道路の交通量が大幅増えた。交通事故が2件発生している。建設会社の工事車が乱暴な運転をしている。道路に地響きが立って、周りの土地が揺れやすくなった。坂の道路に凹みができ、音がやかましい（道路の修繕）。特に夜の車のスピード規制を検討ください。便利になった反面、やかましい。子どもの事故が心配である。冬場、雪が降った後はアイスバーンで、大変危険である。
公共・民間の工事による道路封鎖や障害が多い。特に民間業者の障害は目に余る。工事許可、道路使用許可のフォローアップと違反者取締りの実態を開示してもらいたい。
近所に新築の戸建てが増えてきたが、その度にガス・水道などの工事で道路を掘って、埋めてを繰り返すため、アスファルトが凸凹し、ベビーカーを押すのが大変だし危険です。道路の整備をお願いできませんでしょうか。高齢の方も歩行に対しては同様かと思えます。
雪が降るとチェーンで道が傷む。大型車が通る度に家が振動し、食器がカチカチ音を立てる。道路の舗装を願いたい。
交通安全対策として、学校周辺ゾーン30の設定だけでなく、つながっている道路のもう少し広範囲での（住宅街）通学路の登下校時間帯の車進入規制。
地区全体的に横断歩道や停止の白色ラインの表示が薄くなっていて、夜間や雨天時見づらく、運転しにくい。

新石川一丁目のクリエイトから交差点のファミリーマートまでの道路の舗装状況が極めて悪い。近くに小学校もあり、通学路であるにもかかわらず、放置されていることが問題であると感じる。交通事故が起きてからでは遅いので、今すぐにでも予算を割いて手当てしていただきたい。周辺に住む住民も同様に思っており、区に対応を待っている。
マンション前のカーブに当たる三叉路が横断歩道すらなく、非常に危険。欲を言えば信号がほしいが、せめて横断歩道がほしい。
青葉台駅裏のアトリエと青葉台団地の間に横断歩道を作ってほしい。通行人が多いのに、横断歩道がないので危ない。
川に橋を造って、恩田駅への道を作ってほしい。駅に行くのに遠回りしないで行けるようにしてほしい。踏切を通ったのでは時間がかかりすぎです。
新しく学校ができたが、通学路に横断歩道ができていない。
フィットケアの目の前に信号を設置してほしい。渡る人がいっぱいいるし、車もなかなか止まってくれない。
道路の舗装をしてください。
交通網の充実。
青葉台駅周辺の道路の整備。
道路が広くて車も運転しやすいし、住みやすい。
マンホール周辺のアスファルトが陥没し、蓋が外れるのではと心配する場所があります（スタジオマリオ近く）。

違法駐車・放置自転車

道幅が狭い。路上駐車を取り締まりがゆるい。
駅周辺の路上駐車が増えていて、とても危険に感じる（特にツタヤとファミリーマート前、ミニストップ前）。
あざみ野駅周辺の自転車の不法駐輪がひどくなっています。取締りをしたほうが良いと思う。
放置自転車の撤去と同時に、立て看板や旗も撤去していただかないと、歩道整備には意味がない。店に自転車置き場の確保を義務付け、歩道への立て看板等のはみ出し設置を禁止して放置自転車を取り締まれば、どんな人にも通りやすい歩道になり、安心できる。
路上駐車多し。
西友のところに信号を設置してほしい。路駐している車が多くて見通し悪く、なかなか渡れない。

交通マナー

環状4号の歩道を多くの自転車がスピードを出して走っており、歩行時に接触しそうになったことが何度もある。歩道、自転車道の塗り分けや左側通行などのルール作りの整備をしなければ、事故につながると思います。早急な対策をお願いします。小さな子どもから学生、子どもを乗せた主婦に至るまで、自転車利用者のマナーがとても悪くて怖いです。よろしくお願いします。
また、駅前の信号（フランフランのところ）の新石川小学校方面右折の矢印は、矢印の設置か時間差式にするべき。歩行者が増える一方で、信号を守らない歩行者が多いので危ない。
青葉台駅付近に自転車があふれている。歩道の自転車運転禁止、自転車の車道左側通行徹底。
藤が丘駅前の歩行者、一般車、バス、タクシーの動きがごちゃまぜで、とても危険に感じています。歩行者が横断歩道以外を歩行するのがとてもマナーが悪いように見えるものの、藤が丘駅前の整備にも何か問題があるようにも思います。近くに交番もありますが、なんとか早急な改善が必要に思います。
嶮山公園前の歩行者専用道路に車を入れさせるのをやめさせてほしい。
移住者が多く、交通量も増え、マナーも悪くなり、非常に住みにくい環境になってきた。
通学路の安全について考えてほしい。
自転車のマナーが悪く、小学生をひき逃げしたりしているので、改善してほしい。違法駐輪は即時回収するぐらいの強さで良いです。
松風台に住んでいるが、ここ10年私の家の前の道路をショートカット（信号を回避するため）する車が、かなりなスピードで通過していきます。周辺には小さなお子さんが住んでいるので、危険で仕方ありません。ショートカットする車を進入禁止するには、どうすればいいのでしょうか？連絡求む。

自転車専用道路

自転車との接触が数回ありました。自転車と歩行者と別々の道ができればと思います（特に駅周辺）。
こどもの国から恩田駅までの自転車道の整備を望みます。
鶴見川サイクリングロードの路面をもっと整備してください。子どもが砂利で転んでいます！結局、両側を整備していないので、片側が混んでいますし、危ないです！
自転車専用道路の整備等、やることはありませんか？

駅前再開発

青葉台駅周辺は非常に美しく、住みやすい地域です。駅前再開発による活性化、余暇・文化施設の充実を図ることは、青葉台の一層のプレミアム化に資すると思います。
ただ、あまりにもおいしいパン屋、ケーキ屋、食事処、生活雑貨屋などが少ないため、毎日の駅←→家の歩きが楽しくない。せめてあざみ野くらいあれば…。駅ビルを作っているいろんな店に入ってほしい。何もないため、市が尾駅で下車しようという人がいないと思う。
市ヶ尾の駅と東急ストアの老朽化の改善。
区内の駅によって、駅周辺の開発にばらつきがある。
地域の景観を損ねかねない大型店舗の誘致をもっと慎重にほしい。南口のケーズデンキとくら寿司！造るなどとは言わないが、京都みたいに街にあった店舗の色や看板にするなど。
市が尾駅の駅ビルができることを楽しみにしています。洒落たお店が入るといいですね。
長津田駅前の開発状況も時間がかかりすぎているように思います。
住宅街として有名なので、駅前や地域の充実、発展を求めます。
あざみ野駅周辺の商店街に活気がない。専門の店舗が少なく、美容院、歯科医が多く、小児科が少ないなど片寄っている。
あざみ野駅東口側の整備をしてほしいです。
乗り換え駅なので、あざみ野駅や周辺を活性化してほしい。
また、駅前ロータリーの噴水らしきものが廃れているので、美しく整備してほしい。
駅周辺を整備して、便利にしてほしい（例えば、駅ビルを建てて、その中に保育所、学童保育、高齢者の娯楽施設やカルチャーセンターなどを作り、もっと駅を活用してほしい）。

健康・福祉について

高齢者福祉

その実現のためには、我々高齢者が我慢せざるを得ないのかとも…。
高齢者が今後ますます多くなるため、助け合いのネットワーク作りをしてほしいと思います。
急激に進む高齢化、離れて住む親も安心して呼べるような環境を整えてほしい。
近くにケアプラザがなく、もっと年齢がいった時に利用できないことが不満です。
子どもばかり優遇しないで、老人にも力を入れてほしい。介護は大変なんだよ。
高齢者対策を特に強化してもらいたい。
健康に気をつけて生活しているが、老人社会になり老々介護になると思う。個人が自立できる老人になれるよう、意識をする老人の教育が必要かと思えます。自分でできることは自分です。他人を頼りに何でもしてもらおうという人が多いのでは？毎朝ラジオ体操をすることをお勧めします（公園等で）。
地区センターの利用で、例えばシニア体操があり応募したのですが外れてしまった。それは1年間という長い期間だったので、次の機会がしばらくこない。人気のあるのは増やしてほしい。
75歳以上でひとり暮らしですが、何か手続きをしておいたほうがいいかわかりません。区の方からは何も連絡はありません。
これからの高齢化社会にふさわしい新しい街作りに早く着手してください。
高齢者の住みやすい場所。
老人のための行政の施策はもう十分だと思います。これ以上老人向けのみの事業をする必要はない。
後見人を個人ではなく、社会福祉協議会に依頼できるとありがたい。高齢者の在宅介護は良心的な往診医を中心に、看護、介護、デイケア施設等のフットワークを組めたらいい。介護者がまだ働いて一人の場合、介護者の支援が必要。介護士の手当を増やして定着してもらわないと、トラブルが発生する。何か工夫できないか。駅にも近い便利な商店街の中に、デイケア施設、保育園、カフェが一体化してあるといい。高齢化が進み、運転できない人が増えたため、医院や商店等どこでも乗降できるマイクロバスを運行できると良い。交差点も信号が変わる前に渡りきれなくなる。
高齢者介護施設の充実。老々介護家庭へのサポートの充実。
介護者の支援もお願いしたいと思います（老々介護など）。仕事を辞めないでやっていけると良いかと（子どもが介護など）。子育て、高齢者支援がある中、気になりました。
高齢者対策をお願いします。
高齢化社会の問題。
老人活性化促進→事業を想定しても可。
日本国内でも有数の高齢者の住みやすい（多い）区と聞いています。いつまでも住みやすい区であるよう、今後ともよろしくお願いたします。
高齢者対策。
高齢化の急速な進み具合に不安を感じます。自分の世代、こどもの世代に大きな負担がかかりすぎ。

障害者福祉

障がい者が孤立しないで、地域で安心して暮らしていけるまちづくりの推進を、今まで以上によりよくお願いいたします。

これからも青葉区に住み続けたいという思いから、今回いただいた意識調査の機会を生かし、要望として提案したいと思います。わが家には養護学校に通う子どもがおります。卒業後、青葉区に福祉施設・作業所の数がとても少ない状況に危機感を感じております（どこの施設も定員いっぱいの状況です）。また、その中で青葉区の福祉の中核を担う唯一の活動ホームを運営している法人が、聴覚過敏を緩和するイヤーマフ（支援グッズ）をつけた生徒は受け入れを断る、もしくはイヤーマフを外すなら受け入れるという、障がい特性を全く無視した条件を出す対応は、全く理解できません（特性による配慮については、発達障害者支援法にあります）。学校側もおかしいと思っても、生徒を受け入れてもらう事業所に対しては強く言えないのが現状だと思います。どうか、全ての子ども達が障がいの特性を理由に廃除されることのないよう、区政として強く対応していただきたいと、ここから願っております。このような意識調査を実施していただき、ありがとうございます。

福祉一般

障害者、高齢者が多い。

福祉に力を入れてください。

福祉相談の窓口（各駅に出張所がほしい）。高齢になり、公的機関へ出向くのが不自由なので。

団地の高齢化。

家に子どもがいないので、地域活動の情報が入ってこない。このアンケートを記入しながら、高齢者や障がい者への福祉がどのように行われているのか、全く知らないことに気づいた。

くらしや福祉に対する対策の充実。

年配の人や若者の両方に暮らしやすい生活。

リハビリパンツも含めてオムツと呼んでいるのだが、横浜発で新しい呼び名にしたら良いと思う。民生委員という名称も、いつの間にか高齢者担当になった。横浜発で新しい呼び名にしたら良いと思う。

子ども・若者支援／子ども・子育て支援

わが家の近くも高齢化・少子化の波が打ち寄せてきています。将来を支えるのは若い夫婦であり、彼らが安心して仕事をし、子育てできる環境作りが第一優先の課題と思います。

子どもの予防接種や検診のお知らせはがき等を実施していただきたい（以前、川崎市に住んでいた時には、はがきで知らせてもらったので、受診漏れがなくてよかった）。もっと子育てしやすい支援がほしい。

公立中学校の給食導入を是非検討していただきたいです。子育て支援、働く女性の支援、住みやすい環境づくりに大きく貢献すると思います。成長期の子ども達に必要なだと思います（お弁当では栄養バランス的にも不安、難しい）。

子どもが生活しやすいように、公的サービスを拡充してください。

現在0歳児を抱える育休中の母親です。青葉区、特にあざみ野駅周辺の保育施設の少なさに大変困っています。ぜひ増やしてほしいです。

青葉区は広くて住み心地は良いが、土地が高く、子どもの医療費が小学1年までしか無料にならない。私立幼稚園は高いし、子どもの図書サービスの移動車がない等、子育て世代には住みにくく感じることもある。すぐ隣の東京都のほうが子育てに対して充実している。もっと考えてほしいです。

娘が0歳児、1歳児と年子です。0歳児と1歳児を連れては何をするにも大変。結局、私達が預かったり、手伝うことに…。もうちょっと色々な場面できめ細かな行政の見直しを考えていただきたいと思う。

高齢化が進む中、子ども達は貴重な存在ですから支援していきたいと思います。

保育料が高く、働いてもプラスにあまりならない。

土曜日の保育をもっと夕方までやってほしい。

自立支援を受け、治療中です。いろいろとお世話になっています。

区民の1～3歳の子どもを持つ母親に、無料バスカードを配布してほしい。

乳幼児医療証の期限が小学1年までと、学年になっているのがおかしい。年齢にすべき。

もっと子育てに支援をしてほしい。

労働している世代を中心に行政サービスをしてほしい。

子育て支援のサービス向上。

幼児、児童、中学生までの医療費の無償化。

2人以上子どもがいる家庭への援助。

青葉区は子育て世帯が多く居住する地域だと思います。これからの地域発展のためにも若い世代の力は大きいと思いますので、より一層子育て世帯の住みやすいまちづくりを期待しております。

子育て支援の保健師の方々に、大変お世話になっています。いつもありがとうございます。

若い人達の就職先がなかなかないようで、若い人達が希望を持って生きられる町にしてほしい。

子育て支援では、転勤などで引っ越してきた方も多いので、孤立しないように子育てひろば、仲間作りに力を入れてほしいです。

健康診断

年に1回、健康診断の受診票が送られてきますが、自己負担金が無料にすることはできないのですか？場所によっては、項目が増えていても無料とのこと。健康保険料も高いですね。

健康づくり

山に行くハイキングがありますが、歩くだけの（歩け歩けと言う）10kmくらいのハイキングが、月に1回くらいあってほしいです。

医療について

医療体制

私は病気であつらをかぶっています。かつらはとても高額で、一部でもいいので支援などしてくれると、とてもありがたいです。ガンの人はそういう支援などがあるようですが、ガンの人は治れば髪が生えてきます。でも私のような円形脱毛から全身の毛がなくなってしまう異常脱毛のタイプの方は治療法も確立されていないので、いつ生えて治るか、どんな薬がよいのかは手探りです。一つしかないメンテナンスにも出せないし…、でも高額で買えない。恥ずかしいので相談にも行けないし、困っています。

医療に頼らないで生きていける体づくりが重要なので、無意味な検診をなくしてほしい。

病院・医院

たまプラーザ周辺に信頼・安心してかかれる小児科がないこと。評判の良い病院（あざがみさん、太田さん）には人が集まり、とても混雑していて、子どもが病気の時には辛くて連れて行けない。子どもの数が増えているのに、小児科は不足している。

里帰り出産希望ですが、ほとんどの病院が受け入れてくれなかったのが、ひどい区だと思った。

以前、区役所で自殺についての情報が貼ってあり、自殺防止を訴えていましたが、あれはどうなったんでしょう？メンタルケアについての書籍は多くあるけど、医療機関や理解の場はとても少ないと思う。青葉区も。

どんなに時間が経っても、傷は簡単には消えません。心に負った傷はより深く、麻痺して何も感じなくなる。私の腕の傷もまだ跡が残っている。

教育・文化

図書館

青葉台駅周辺に図書館のように本を借りる施設がほしい。

今後、より良い町づくりに期待しております。

財政の問題と直結し色々難しいとは思いますが、以前住んでいた板橋区と比べ、図書館の数、スポーツ施設の数が少ない感じがします。あざみ野まで行かないと本が借りられない。青葉台駅周辺の住民って？と思うと悲しいです。横浜市青葉区というと高級感があるみたいですが、東京23区と比較すると、実生活の充実感はいまいちと思います。

図書館が欲しい

図書館の数が少なく、本も貧弱です。逆に地区センターが多すぎます。

山内地区センター、図書館の拡大、充実。

読書の大切さを理解されているようですが、それなら何故市役所に図書館がないのか、理解に苦しみません。車で隣の区まで借りに行かなければならず、不便でなりません。

長津田駅近くに図書館を作ってほしい。

図書館とカフェが併設していれば、是非利用したいと思います。

たまプラーザ駅前に図書館を建設していただきたい。

藤が丘周辺に図書館の増設を！

読書活動を推進？効果あるのでしょうか？（その割には駅の本屋はなくなる一方ですね）。

図書館が狭い。

青葉区の図書館が充実しておらず、残念です。せめて都筑区図書館並みの施設を要望します。山内図書館は中途半端な規模で、利用しにくいと思います。図書館に対する要望は、私の周辺では多くの方が話しています。ぜひ、ご検討を！

一方で、青葉台に転入してきた際、近くに利用できる図書館や図書室がほとんど見つからなかったことに衝撃を受けました。読書活動の推進に関する条例が施行されるのであれば、図書館の増設にもぜひ力を入れてほしいと思います。

ヨーカドーのような大きなスーパーもないし、図書館もないし、坂道だらけだから、時々嫌な時もあります。
青葉区には図書館が不足していると思います。

学校・教育

住宅には最適ですが、子ども達の校外学習の場が不足しているように思います。
幼稚園の充実。
教育の格差が生じている。
小学校が近くに数校あり、クラス数が少ない。一緒にすることはできないのか？
中学校の学校給食がないのは親の負担が大きすぎる。栄養のバランスや好き嫌いなどの面からも、ぜひ給食を実施してほしい。
学校の土曜授業。
中学校の学校給食。
小学校、中学校の学区の区切り方が不満。自分のうちから近い学校があっても、学区は遠い学校であったりしている。
中学校の給食化を進めてほしい（市に要望してほしい）。
小学校の数に比べて中学校の数が少なすぎる。小学校で各学年1～2クラスのところは統合して、その分中学校を増やしてもらいたい。中学校が遠いから、中学受験させるという声も時々聞きます。悪くはないことですが、受験の拍車止めをして、もうちょっとのんびりとした小学校生活を送らせたい。
教育システム、内容について改革をしてほしい。
市立・県立中学校、高等学校の給食化を推進してほしい。仕出しの弁当もしくは食堂でもいいので、弁当を廃止してほしい。作る余裕がないだけでなく、衛生面も心配。育ち盛り子ども達には、できたての温かい食事をしてほしいという理由です。
また、中学校給食の実現をしていただきたい。賃貸に住んでいる知り合いが、給食がないことで横浜に住みたくないと言っていたのを覚えています。
通勤族のため、いろいろな県、市で生活してきました。青葉区は自然も公園も多く、子ども達の遊ぶ場所が整っていると思います。小学校の放課後のグラウンド開放やキッズクラブなども本当にありがたいです。
中学校が少ないと思います。
公立中学校で給食を実施してほしい。せめて週の半分でもお願いします。
子どもの健康などと言うのであれば、成長期の中学生を給食にしてほしい。

スポーツ

スポーツ施設が少ない。市ヶ尾にある横浜あおばスポーツ広場が秋になくなります。今後、新たなスポーツ施設を早急に検討してほしい。
地区センターや体育館など利用できて良いと思う。
市立山内中学校の体育館で、10年前は可能であったフットサルの利用が、現在は不可になったことに時代の逆行を感じます。
私自身ボランティアで小学生にサッカーを教えています。小学生と中学生の交流の場としても、地元中学校の体育館でフットサルの利用を可能にしていきたいです。
近くに公営のプールを作ってほしい。
青葉区スポーツセンターのトレーニング機器を増やしてください。
スポーツができる場を詳しく知りたいです（知る手段がありません）。
区民プールを充実させてほしい。あかね台中学校のプールを市民に開放するという話が以前ありましたが、実現しておりません。
スポーツセンター（トレーニングルーム）を利用しています。市ヶ尾は狭くて古いのですが、安いのが魅力です。でも、もう少しきれいにしてほしい。
青葉スポーツセンター体育室を卓球で利用するが、バドミントン等が窓を開けさせず、熱中症になりそう。

文化活動

区民芸術祭は活気もあり、充実してきているようです。
劇場やホール等文化施設がほしい。
公会堂等で文化講演会やコンサートを無料もしくは低料金でやってほしい。青葉区はそのような催し物が少ないと思う。
あざみ野フォーラムは心地良い空間。よく利用する。
青葉区は文化的活動も盛んな地域。もっと身近なところに公的な貸しスペースやギャラリーを設けてほしい。高齢者や子育て世代が利用しやすいのは大きくて立派なホールではなく、小さくてもよいから駅やバス停に近い活動・発表の場です。
青葉公会堂でのコンサートや講演会などを増やしてほしい。

地域について

地域商業振興

就労や自営業者の経営指導等の講習会を開催してほしい。また、個別の相談窓口を設けてほしい。
最近すすき野あたりの店がどんどん閉店していっています。どんどん寂れていき淋しいです。
マルシェなど駅前広場などで大きくやったらいいと思う。軽トラ市（たまプラ）は場所を駅前にして、もっと出店者も増やせば、他区の人でも来やすいし、盛り上がるのでは。
あかね台付近にスーパーを作ってほしい。歩いて行かれる近くに。
商業施設のバリエーションを広げてほしい。
すすき野商店街の再生を進めてほしい。
商業施設が港北ニュータウン地区に集中する傾向があります。そのためか、地元の商店街も徐々に閉店している傾向にあります。今は車やバイクなどで容易に買い物に行くことができますが、高齢になった場合に不安が残ります。宅配、移動販売を含め、買い物しやすい環境の検討をお願いします。
奈良町、こどもの国の周辺は飲食店が少なく活気がない。奈良北団地の商店もほとんどなくなり、寂れている。
お店もひとつとおりに揃っている。
江田駅は急行も停まらないし、店も少なく寂しいです。たまプラ並みに賑やかにしてほしいです。店が閉まるのも全体的に早いです。もう少し遅くまで開いていると良い。薬局が少ないので心配です。
市ヶ尾に本屋がほしいです。
子育てはしやすいと感じています。
店舗陳列のはみ出し。駅前の安売り店、不動産屋の大きな電飾広告等駅前の品格低下が残念。街全体のコンセプトの統一等は困難？
駅前にパチンコ屋が2つあるが、2つもいらぬし、どっちかを本屋（ブックオフ）にするべき。
街のレベルが下がるので、キャバクラ等を作らないでほしい。
映画館とかホームセンターとか、何かに特化した施設がもっと増えると良いのと思います。
スーパーが近くになく困っています。藤が丘駅前商店街が陳腐化しており、大規模にリニューアルしてほしい。
引っ越してからスーパーが2店も閉店しました。この町の未来が不安です。
読書活動の推進が進められていることを初めて知りました。子どもはもちろん、大人にとっても非常に良い政策だと思います。最近、藤が丘駅近くの唯一の書店が閉店してしまいました。ネットでも買える時代ですが、書店で手にとって選ぶことは、大切な体験だと思います。ぜひ各駅に書店1軒の助成をお願いします。

地域活動

美しい街並みで満足しています。今は契約社員で働いていて時間がありませんが、60歳を越えたらいろいろな催しに参加したいと思います。たまプララザテラスや青葉台の商業施設はきれいで、他の住民から羨ましく思われています。
お互いあまり干渉せず気楽でしたが、今では大変そうな高齢者の方を少しでも支えてあげたい気持ちです。主人も退職して時間がとれるようになれば、地域の取り組みにも参加できるのではと思いますが、小さな取り組みの情報などがわかりません。もう少し規模の小さい、少しずつでもお手伝いできることがあればと思います。
地域活動が活性化する場所
区の施設や学校等で子ども達が高齢者とふれ合う場を作り、そこで日本古来の遊びや文化を学ぶ機会があったらいいと思う。
高齢者のボランティアを活用してほしい（子ども達の宿題をみてあげたり、一緒にお菓子を作ったり、料理教室を開くなど）。

地域コミュニティ

田園都市線沿線の住宅地は東急電鉄が開発して以来40年以上経過して、住民の高齢化が進んでいる。マンションも多く、若い世代も見受けられるが、世代間の交流がありません。交流の機会があれば良いと思います。
青葉区老連の活動日をもっと増やしてほしい。
少子高齢化が進む中で、お互いが助け合える地域になればと思いますが、他人とは関わりたくないと思う人が多く、将来的にとっても不安を感じております。
國學院大學で地域向けの講座や子ども向け講座があると良い。地域ともっと密着できるよう。図書館も利用できると嬉しい（時間を決めて、学生に迷惑にならないよう）。
現在住んでいるところは環境的に非常に恵まれている住宅地であるが、古くからの住民は続々とリタイアして、高齢化してきている。今年の大雪の時はまだ対応できたが、これからはどうなるのか不安になっている。住民相互の助け合いといっても限度があると思う。大災害とも言えないが、地域で暮らしていけるような手立てを考えていく必要があると思います。健康であれば協力を惜しまないが…。

新しく転入してきた家族の孤立や、高齢者の空き家が気になります。
福利厚生として絵画教室など月1回くらい開催していただければうれしい。
違う世代の人と交流できる場があると良いと思う。
残念なことは地域のつながりが薄く、近所づきあいが乏しいことです。仕事をしている方も多く、週末は休みたい方もいらっしゃるかと思いますが、季節に合わせた祭りやイベントなど、地域の人々が参加する機会が多いほどつながりも増えるのではと思います。また、子育て世代、家族をターゲットにしたイベントを行うことで参加率も上がり、活性化してくるのではないのでしょうか。にぎやかで元気のある町になってほしいと思います。
地域の横の繋がりが希薄で、夏祭り等も年々寂しくなっている感がある。
すべてにおいて気楽な近所づきあいができていれば、かまえて助け合わなくても、負担なくお互い様で行動できるものと思います。そんな昔のおつきあいを復活するのにどうすればいいのか、今のところいい案がありません。
難しいと思われませんが、地域住民の交流活動の促進。老人と子ども達との交流の促進。老々介護を想定しての老人同士の交流の促進。

自治会

区職員の自治会活動参画（指導・支援）。
子育てがほぼ終わってしまったので、地域のお祭り、運動会、子育て支援等の情報はすっかり離れてしまいました。自治会、子供会の加入について、大規模マンションが後から参入することができなかったのは、非常に残念でした。広報紙等も自ら依頼し、マンションへ届けてもらうことにしました。加入できない転居者の受け皿がなく、コミュニティに参加する手段が自治会に加入しないとわからない仕組みが、当時はもどかしかったです。
住んでいる地域は高齢化が進んでいて、今後の自治会運営、防災活動等心配になります。動ける世代は子育て・仕事に忙しく、自分の生活を維持するのに手一杯です。地域の運営を自治会任せではなく、もっと区にサポートしていただきたいです。自治会長さんもなり手が出ず、何期もされていて気の毒です。
自治会を通じて配布する資料が多すぎる。

防犯・防災・安全について

防犯

外灯を明るいものに替えてほしい（LED）。住宅街に入ると暗い。
街灯をもっと増やしてほしい。夜道が暗いです。防犯カメラをつけてください。
防犯対策を特に強化してほしい。
駅付近だけでなく、住宅街も街灯を増やしてほしい。冬場だと夕方でも暗くて犬の糞を踏んでしまうので。
夜の住宅街の街灯を増やすか、明るくしてほしい。
住宅街の街灯をもっと増やすか、明るいものにしてほしい。
人口増加に伴い、防犯面での強化を望みます。
防犯対策をしっかりしてほしい。
最近、公園で素行不良の中学生がいたので、110番に電話してパトロールをお願いしたら数人ですぐ来てくれましたが、「僕たちも暇じゃないんです。人手が足りない。税金で動いている…」等々の愚痴を言われました。警察の人手を気にして、パトロールも呼べない地域は嫌です！
中里学園入口バス停周辺が、夜間あまりにも暗く、交番の灯り以外頼りにならず、とても危険に思います。街灯を設置していただきたく存じ上げます。
また、全体に樹が茂っており、不安を感じます。防犯等にも問題が発生しない公園が必要です。
近くに大六天公園がある。この近辺、痴漢が出没する。私の孫も誘拐されそうになった。警察官も来てくれたりしているが、監視カメラ等、常設でなくても設置してほしい。
高齢者のみの世帯が増え、今後ゴーストタウン化してしまうエリアがあり、区民数と治安が心配です。しかしながら、自転車に傷をつけるイタズラというより犯罪。
犯罪対策の強化を特にお願いしたいです。
防犯体制の整備が整った地域にしてほしいです。こういう地域になったら良いですね。
さらに防犯に力を入れてほしいと思います。
以前、防犯のパトカーが近所を巡回していたが、最近見ない。青葉区（あざみ野、たまプラあたり）は泥棒に入られることがとても多いので、安心安全な街になるためにも、パトカーの巡回をしてほしい。防犯対策をお願いしたい。
街路灯を多くしてほしい。
警察官の巡回、地域住民とのつながりがほしい。
また、街灯が少なく暗いので、もっと明るくするか、街灯を増やしてほしい。

子どもの登下校時の安全のため、下校時は各学校から近隣町内に向け、下校開始であることをアナウンスすると良いと思います。さいたま市の方ではすでに実行していると聞いています。在宅の人々が少しの時間外に出たり、窓からのぞいたりして、通る子ども達に関心を寄せるだけでも良いと考えます。

また、不審者の目撃情報があるので、子ども達を守るために下校時間～帰宅時間の地域の防犯パトロールなど強化してほしい。

青葉台駅前に交番があるが、いつ行っても担当者がいない。

住宅街の外灯が薄暗くて怖い。

青葉警察裏の川沿いの道に外灯を増やしてほしい。

防災

成瀬街道沿いで大きな爆発火事があった時、上空には何機もヘリコプターがホバリングして、異様な雰囲気でした。全く状況が不明で、区役所に問い合わせても5時以降で誰も対応なし。町田市役所に電話したら、防災放送も流しているし、5時以降でも丁寧に対応してくれました。緊急事態の情報が隣町から得ることができたのは、区民として不安材料の最大課題です。

人口が多いだけに、防災の準備が追いついていないように感じます。最寄りの小・中学校の備蓄だけでは不十分ではないかと思います。大規模災害がいつくるのかわかりません。1日も早く災害時対策をしていただきたいです。

防災体制の整備が整った地域。

地震に備えて、具体的な自治体の活動を促進してほしいです。地元の自治会では名簿の整理などはしたもの、実際に地震が発生した後の避難場所の使い方や連絡の仕方、配給の仕方、班ごとの安否確認の仕方など、具体的なことは何も決まっていないと思います。

区と自治会との連携が薄く、防災について不安です。

防災無線の設置を。

町中に消火栓というマンホールは多数あるが、通常、住民は使用できない。災害時には初期消火のためにも、住民が扱う必要があると思うが。

防災対策。

調 査 票

平成 26 年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力のお願い】

区民の皆様におかれましては、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

青葉区では、平成 26 年度区政運営方針として「住みつづけたいまち『青葉』」を基本目標に定め、様々な事業を行っています。より良い区政の運営に向け、今後の参考とするために、区民の皆様には青葉区の生活について行動や意識を伺う「青葉区区民意識調査」を実施いたします。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の中から、16 歳以上の男女 3,000 人の方を無作為に抽出し、お願いしています。調査票は無記名でご提出いただき、ご回答いただいた内容は統計的に処理されますので、皆様の個人情報や直接外部に公表されることは絶対にありません。また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。お答えになりたくない質問は、無理にお答えいただき、無回答としていただければ結構です。

調査結果につきましては、今後、「青葉区ホームページ」や「広報よこはま青葉区版」で公表いたします。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



平成 26 年 6 月

青葉区長 徳江 雅彦

<ご記入にあたって>

- ① 封筒のあて名のご本人様にご回答ください。ご本人様が回答できない場合は、恐れ入りますが、調査票を破棄してください。
- ② お答えは、各設問の中であてはまる回答（選択肢）の番号を○で囲んでください。
○の数は、（○は1つだけ）、（○はいくつでも）のように指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。
別途指示がある設問については、その指示に従ってお答えください。
- ③ 質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- ④ 鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。

※ ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼る必要はありません。）、**6月23日（月）まで**にご投函ください。

※ この調査に関するご質問などは、下記までお問合せください。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係

電話: 045-978-2216

FAX: 045-978-2410

E-mail: ao-kikaku@city.yokohama.jp

お住まいの周辺の生活環境について

問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。 (○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------|
| 1 暮らしやすい | 3 どちらともいえない | 5 暮らしにくい |
| 2 どちらかという暮らしやすい | 4 どちらかという暮らしにくい | |

問2 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境が以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|---------|---------|
| 1 よくなった | 3 悪くなった |
| 2 変わらない | 4 わからない |

問3 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。

(項目ごとに“満足度”、“以前と比べて”からそれぞれに○は1つ)

	満足度						以前と比べて			
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	よくなった	変わらな	悪くなった	わからない
(記入例) バスの便などの地域交通	1	②	3	4	5	6	①	2	3	4
① バスの便などの地域交通	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
② 通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
④ 良好な街並みの整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑤ 商店街の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑥ 公園などの管理・整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑦ 緑の保全と緑化の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑨ 地域の防災体制の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑩ 地域の防犯体制の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑫ 子育て支援や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑬ 感染症・生活習慣病などの保健推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑭ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑮ 障害者福祉	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑯ 病院などの医療環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑰ 経済的に困っている人の保護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑱ 地区センター・スポーツセンターなどの施設	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑲ 広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑳ 身近な区役所窓口のサービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

問4 仮に今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺環境で、特に重視するのはどのようなことですか。(上記①～⑳の質問項目のうち、該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

問5 区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。

(該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

定住意識について

問6 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1 青葉区に住み続けたい	2 青葉区以外に住みたい
--------------	--------------

問6で「2 青葉区以外に住みたい」と回答された方におたずねします。

問6-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 自宅近くにスーパーや店ができる 2 病院や診療所が充実する 3 交通の便が良くなる 4 自然環境に恵まれている 5 趣味や余暇活動がしやすくなる 6 学校や保育園・幼稚園が増える 7 教育や文化の水準があがる	8 整然とした良好な街並みができる 9 環境が静かになる 10 近隣との関係がよくなる 11 その他 () 12 特に理由はない
--	---

区・市への愛着について

問7 あなたは、青葉区や横浜市というまちに対して、愛着や誇りを感じていますか。

青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。

(それぞれに○は1つ)

青葉区	横浜市
1 感じている	1 感じている
2 やや感じている	2 やや感じている
3 どちらともいえない	3 どちらともいえない
4 あまり感じていない	4 あまり感じていない
5 まったく感じていない	5 まったく感じていない
6 わからない	6 わからない

地域と生活について

問8 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。 (○は1つだけ)

- 1 顔もよく知らない
- 2 道で会えば挨拶くらいする
- 3 たまに立ち話をする
- 4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている
- 5 困ったとき相談したり、助け合ったりする

問9 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。 (○は1つだけ)

- 1 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい
- 2 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい
- 3 親密な人間関係があって、暮らしやすい
- 4 人間関係が濃密で、わずらわしい

問10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。 (○は1つだけ)

- 1 加入している
- 2 加入していない

問10で「2 加入していない」と回答された方に伺います。

→ 問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。 (○は2つまで)

- 1 加入することの利益を感じない
- 2 いろいろな役をやらされそう
- 3 近所づきあいが煩わしい
- 4 加入を勧誘されなかった
- 5 加入の仕方がわからない
- 6 その他 ()

問11 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 近隣の人とのつきあいの希薄化 | 15 不登校、ひきこもりの増加 |
| 2 家庭・地域の子育て機能の低下 | 16 ニート（就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者）となる青少年の増加 |
| 3 子どもが安心して遊ぶ場の不足 | 17 高齢化による介護問題の深刻化 |
| 4 子どもの減少による地域活力の低下 | 18 認知症者に対する理解の不足 |
| 5 子どもたちの将来への不安（進学、就職、友だちづきあい、結婚など） | 19 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足 |
| 6 障害者に対する理解不足 | 20 地域活動をする場所の不足 |
| 7 障害者の高齢化・重度化 | 21 身近な健康づくりの場の不足 |
| 8 発達障害児・者への支援の不足 | 22 災害に対する備えの不足 |
| 9 障害者の就労支援の不足 | 23 地域に関する情報の不足 |
| 10 高齢者や障害者の外出困難 | 24 住宅の建て替えの増加 |
| 11 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足 | 25 バスの便の減少 |
| 12 段差解消などバリアフリーの不足 | 26 身近な日用品販売店（コンビニやスーパー等）の不足 |
| 13 犯罪の増加・治安の悪化 | 27 その他（ ） |
| 14 青少年の非行 | |

問12 日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1 家族・親戚 | 6 区役所の職員 |
| 2 友人 | 7 地域ケアプラザの職員 |
| 3 近所の人 | 8 社会福祉協議会の職員 |
| 4 自治会・町内会の人 | 9 相談したいが相談できる相手がない |
| 5 民生委員 | 10 相談する必要がない、自分で解決している |

地域の福祉保健活動について

問 13 あなたはご近所で行われている活動に参加していますか。参加していない、知らないという場合、今後参加したいと思いますか。 (項目ごとに○は1つ)

※“参加希望”は、“参加実績”で「知っているが、参加していない」「知らない」を回答された場合、お答えください。

	参加実績			参加希望 (※参加実績で「参加している」以外を選んだ場合) ↓		
	参加している	知っているが、参加していない	知らない	参加したいと思う	参加したくない	わからない
(記入例) お祭り・運動会等の地域住民交流の活動	1	②	3	④	5	6
① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動	1	2	3	4	5	6
② 趣味の活動	1	2	3	4	5	6
③ 健康・スポーツの活動	1	2	3	4	5	6
④ 子育てを支援する活動	1	2	3	4	5	6
⑤ 小中学生の居場所づくり	1	2	3	4	5	6
⑥ 高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6
⑦ 日常生活での住民の支え合い	1	2	3	4	5	6
⑧ 障がいがある人との交流の活動	1	2	3	4	5	6
⑨ ボランティア育成に関わる活動(ボランティア講座等)	1	2	3	4	5	6
⑩ 災害に備えた助け合いの活動	1	2	3	4	5	6

活動に参加していると回答された方に伺います。

→ 問13-1 活動に参加したきっかけは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 友人・知人からの誘い | 5 役員になったことで |
| 2 自治会・町内会からの誘い | 6 回覧板をみて |
| 3 活動団体からの誘い | 7 その他 () |
| 4 家族のすすめ | |

問13-2 また、活動に参加して良かったと思うことは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 生活に充実感ができた | 5 新しい友人・知人ができた |
| 2 お互いに助け合うことができた | 6 自分の技術・経験を活かすことができた |
| 3 健康や体力に自信がついた | 7 特になし |
| 4 地域に貢献できた | |

問 14 あなたは近所の困っている人にどのような手助けができると思いますか。

また、ちょっと困ったことがあった場合、ご近所から手助けしてもらいたいことはありますか。

(○はいくつでも)

	手助けできること	手助けしてほしいこと
(記入例) 安否確認の声掛け	①	②
① 安否確認の声掛け	1	2
② ちょっとした買い物やゴミだし	1	2
③ 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	1	2
④ ちょっとした力仕事	1	2
⑤ 通院の送迎や外出の付き添い	1	2
⑥ 話し相手や相談相手	1	2
⑦ 気軽に行かれる自由な居場所の提供	1	2
⑧ 食事の提供	1	2
⑨ 災害時の避難の手助け	1	2
⑩ 急に具合が悪くなった時の手助け	1	2
⑪ その他 ()	1	2

問15 青葉区では、「区民・事業者・行政の協働による福祉保健のまちづくり」をめざし、第2期青葉区地域福祉保健計画「青葉かがやく生き生きプラン」を策定しています。このプランでは、以下の1～8の課題解決に向けた取組を進めていますが、青葉区で今後もさらに必要だと感じる取組はどれですか。

(○は2つまで)

- | |
|---|
| 1 地域福祉保健の担い手としての団体及び人材の育成 |
| 2 情報の有効活用 (必要な地域情報や福祉保健情報が必要な人に伝わる取組) |
| 3 福祉保健活動の場や機会の充実 |
| 4 活動のネットワークの強化 (地域の活動団体の交流を活発にし、つながりをつくる取組) |
| 5 高齢者・障がい者の暮らしの支援 |
| 6 子ども・青少年の健全育成 |
| 7 健康長寿のまちづくりの推進 |
| 8 災害時でも安心のまちづくりの推進 |
| 9 特になし |

問 18 青葉区広報ラジオ番組「あおバリューRadio」を聞いたことがありますか。

(コミュニティFMラジオ「FMサルス (84.1MHz)」(月～金曜 11:00～、18:30～、土・日曜 9:00～)、インターネットラジオ又は青葉区のウェブサイトで、聴くことができます。)

(○は1つだけ)

1 聞いたことがある

2 聞いたことがない

問18で「1 聞いたことがある」と回答された方に伺います。

→ 問18-1 どのような手段でお聴きになりますか。

(○はいくつでも)

1 FMサルス (84.1MHz)

3 青葉区のウェブサイト

2 インターネットラジオ

4 その他 ()

問18で「2 聞いたことがない」と回答された方に伺います。

→ 問18-2 聞いたことがない理由はなんですか。

(○はいくつでも)

1 知らなかった・気づかなかった

5 知りたい情報がない

2 必要な情報は、他の手段で得ている

6 聴取環境 (ラジオやインターネット) が整っていない

3 時間がない

4 区の情報 (事業や行事、お知らせなど) に
関心がない

7 その他 ()

※青葉区とケーブルテレビ「イツコム」、コミュニティFM「FMサルス」は、平常時における防災意識の普及啓発、災害等発生時における迅速な情報発信など防災に関する協定を締結しています。

問 19 青葉区において、今後、力を入れてほしい広報媒体はどれですか。

(○はいくつでも)

1 広報よこはま青葉区版

8 地区センター、コミュニティハウスの

2 青葉区のウェブサイト

掲示板・配架チラシ

3 青葉区民ポータルサイト (あおばみん)

9 自治会・町内会の回覧板・掲示板

4 青葉区Twitter

10 夕刊誌・ミニ誌などフリーペーパー

5 ケーブルテレビ (あおバリューTV など)

11 新聞・テレビ・ラジオ・一般のウェブサイト

6 コミュニティFM (あおバリューRadio など)

12 車内やバスなどの交通広告

7 区民活動支援センターの掲示板・配架チラシ

13 その他 ()

14 特になし

問 20 青葉区で関心のあるテーマや、広報を充実してほしいテーマはどれですか。 (○はいくつでも)

1 健康・医療

7 スポーツ・文化

2 観光・イベント

8 子育て・青少年

3 防災・防犯

9 教育

4 環境

10 産業・経済

5 福祉

11 その他 ()

6 都市整備

読書について

横浜市では、市民一人ひとりの心豊かな生活及び活力ある社会の実現に資することを目的に、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が平成26年4月1日から施行されています。今後、区役所・図書館・学校が連携し、区の地域性に応じた読書活動の目標を策定していくうえで、参考とさせていただきます。

問21 あなたは月に何冊本を読んでいますか。(電子書籍含む) (それぞれに○はひとつ)

現在どれくらい読んでいますか	今後どれくらい読みたいですか
1 0冊(全く読まない)	1 0冊(全く読まない)
2 1-2冊	2 1-2冊
3 3-4冊	3 3-4冊
4 5-9冊	4 5-9冊
5 10冊以上	5 10冊以上

問21で「1 0冊」現在本を全く読まないと回答された方に伺います。

→ 問21-1 本を読まない理由は何ですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 読みたい本がない | 4 本を買う余裕がないから |
| 2 本を読む時間がない | 5 その他() |
| 3 テレビ等の映像の方が面白いから | |

問21で「2 1-2冊」など現在月に本を1冊以上読むと回答された方に伺います。

→ 問21-2 あなたは読む本をどのように入手していますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 書店で購入する(大型書店や町の本屋など) | 4 リサイクル文庫(古本屋など)を利用する |
| 2 インターネットで購入する | 5 その他() |
| 3 図書館や地区センターなどで借りる | |

問22 電子書籍を利用していますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 すでに利用している | 3 知っているが、今後利用するつもりはない |
| 2 知っていて、今後利用したい | 4 利用するつもりはない |

問22で「1 すでに利用している」と回答された方に伺います。

→ 問22-1 現在、月にどれくらい電子書籍を読んでいますか。(無料のものを含む) (○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------|
| 1 0冊(全く読まない) | 4 5-9冊 |
| 2 1-2冊 | 5 10冊以上 |
| 3 3-4冊 | |

→ 問22-2 どのような種類の電子書籍を利用していますか。 (○はいくつでも)

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1 実用書 | 5 雑誌 | 9 歴史・郷土資料 |
| 2 小説・文芸 | 6 専門書 | 10 漫画 |
| 3 絵本・児童書 | 7 辞典・図鑑 | 11 その他 |
| 4 新聞 | 8 ビジネス書 | () |

問 23 どこから本を借りていますか。

(○はいくつでも)

1 山内図書館	9 大学図書館
2 都筑図書館	10 区民活動支援センター
3 緑図書館	11 地区センター()
4 1～3以外の横浜市立図書館 ()	12 コミュニティハウス()
5 他都市の図書館 ()	13 地域・家庭文庫()
6 移動図書館はまかぜ号	14 インターネット・電子書籍
7 神奈川県立図書館	15 友人
8 学校図書館	16 借りない
	17 その他()

問 24 青葉区では、予約した横浜市立図書館の本を近くの地区センター等で受け取ることができる「図書取次サービス」を行っています。このサービスを知っていますか。(○は1つだけ)

1 利用したことがある	3 知らない
2 知っているが、利用したことがない	

問 25 青葉区では、借りた横浜市立図書館の本を「たまプラーザ駅」「市が尾駅」「青葉台駅」に設置している返却ポストに返すことができます。返却ポストを知っていますか。(○は1つだけ)

1 利用したことがある	3 知らない
2 知っているが、利用したことがない	

問 26 どのようにすればもっと読書ができると思いますか。

(○はいくつでも)

1 市立図書館が利用しやすくなる(蔵書増・開館時間)
2 学校図書館が利用しやすくなる
3 地区センター、コミュニティハウス、市立図書館など身近な公共施設の図書コーナーが利用しやすくなる(蔵書増・開館時間)
4 地域で読書に関する活動が行われる(読書会・読み聞かせ・講演会等の催し)
5 書店が利用しやすくなる(近くにできる・開店時間・カフェ併設)
6 自分の生活スタイルが変わる(本を読む時間ができる)
7 その他()

問 27 読書に関する活動で、あなたが現在関わっている、または今後関わってみたいものはなんですか。(○はいくつでも)

1 読書会	4 読み聞かせ等の読書ボランティア活動
2 読んだ本の感想について、家族や友人等と話し合う	5 団体貸出やグループ貸出等の利用
3 読んだ本の感想をインターネット等で発信する	6 その他()

区制 20 周年について

問 28 今年、平成 26 年 11 月に青葉区が誕生 20 周年を迎えることを知っていますか。(○は 1 つだけ)

1 知っている

2 知らない

問 28 で知っているとは回答された方に伺います。

→ 問 28-1 区制 20 周年の記念事業（イベント等）に参加しましたか。(○は 1 つだけ)

1 参加者として参加した

3 参加者・運営側、両方の立場で参加した

2 運営側として参加した

4 参加していない

→ 問 28-2 区制 20 周年をどのようにお知りになりましたか。(○はいくつでも)

1 広報よこはま青葉区版

8 横断幕

2 青葉区ウェブサイト

9 のぼり旗

3 コミュニティ FM

10 郵便局のラッピングカー

4 区制 20 周年ニュース

11 公用車のマグネットシート

5 ポスター

12 イベントでの広報

6 広報用チラシ

13 その他 ()

7 タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー

→ 問 28-3 青葉区役所では、区制 20 周年を記念して、地域や団体、企業と一緒に様々な記念事業に取り組んでいます。こうした取組について、どのように感じますか。

(○は 2 つまで)

1 青葉区に対する愛着がより強くなった

2 20 周年事業などを通し、周囲の人との交流が盛んになった

3 自分の暮らしている青葉区について、見直す機会になった

4 地域や団体、企業などが記念事業を実施することで、街が活気づいた

5 意味がない

6 関心がない

7 その他 ()

問 29 20 周年を契機に、これからの青葉区が目指す姿を区民の皆様と一緒に描いていきたいと考えています。これからの青葉区を考えたときに、何が大切だと思いますか。(○は 2 つまで)

1 緑豊かな自然環境

4 住民同士の交流や支え合い

2 整然とした美しい街並み

5 地域活動の活性化

3 活気あふれる商業施設

6 その他 ()

健康について

問 30 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 健康である | 3 どちらかといえば健康ではない |
| 2 どちらかといえば健康である | 4 健康ではない |

問 31 あなたはご自身の健康のためにどのようなことに気をつけていますか。

※印の質問は、20歳以上の方のみお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 なるべく体を動かしたり、運動したりする | 7 健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける |
| 2 食事・睡眠に気をつける | 8 ※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした |
| 3 休養や睡眠を十分にとる | 9 ※お酒を飲みすぎない |
| 4 日頃から体重や血圧などのチェックをする | 10 その他 () |
| 5 定期的に健康診断を受ける | |
| 6 ストレスの解消を心がける | |

問 32 あなたは1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 週2回以上 | 4 1か月に1回程度 |
| 2 週1回程度 | 5 行っていない |
| 3 2週間に1回程度 | |

問 33 こどもは成長のため、おとなは健康を保つために、栄養バランスのよい食事をとることが大切です。

主な栄養素の種類 ①炭水化物 ②脂質 ③たんぱく質 ④ミネラル ⑤ビタミン

①は主に主食、③は主に主菜、④・⑤は主に副菜に含まれます。

あなたの食事について伺います。

(項目ごとにそれぞれ○は1つ)

	ほとんど毎日	週4〜6回	週2〜3回	ほとんどない
(記入例) 朝食を食べる日	1	②	3	4
① 朝食を食べる日	1	2	3	4
② 野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる日	1	2	3	4
③ 塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる日	1	2	3	4
④ 1日2回以上「主食+主菜+副菜」の組合せの食事を食べる日 ・主食例：ごはん・パン・めんなど ・主菜例：肉・魚・卵・大豆製品などメインのおかず ・副菜例：野菜、きのこ、いも、海藻、などを中心としたサラダ、小鉢、汁物など	1	2	3	4

問 34 お口の健康について伺います。あなたは定期的に歯科医を受診するなどにより、歯や歯肉のケアや、検診を行っていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 35 横浜市では満 40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の人を対象に対象医療機関で歯周疾患検診を行っています。あなたは横浜市の歯周疾患検診を知っていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 受診したことがある | 3 知らない |
| 2 知っているが、受診したことがない | |

問 36 歯周病は「歯」だけの問題ではなく、全身の様々な病気に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることを知っていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

郵便局での証明発行サービスについて

問 37 青葉区では、区役所・あざみ野駅行政サービスコーナーの他、区内 2 か所の郵便局（青葉台郵便局・横浜奈良郵便局）で証明発行サービスを行っています。この郵便局での証明発行サービスについて知っていますか。 (○は2つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 知っており、住民票・印鑑証明を取得したことがある。 |
| 2 知っており、戸籍謄抄本を取得したことがある。 |
| 3 知っているが、利用したことがない。今後は利用したい。 |
| 4 知っているが、利用したことがなく、今後も利用するつもりはない。 |
| 5 知らないが、今後住民票・印鑑証明を取得したい。 |
| 6 知らないが、今後戸籍謄抄本を取得したい。 |
| 7 知らないし、今後も利用するつもりはない。 |

駅周辺のまちづくりについて

問 38 あなたが日常的に最もよく利用する駅はどれですか。 (○はひとつ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 たまプラーザ駅 | 6 青葉台駅 |
| 2 あざみ野駅 | 7 田奈駅 |
| 3 江田駅 | 8 恩田駅 |
| 4 市が尾駅 | 9 こどもの国駅 |
| 5 藤が丘駅 | 10 その他の駅() |

問 39 問 38 で回答された駅周辺に不足していると思う機能や施設はどのようなものですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 働く場 | 6 趣味や余暇活動のための多目的施設 |
| 2 スーパー | 7 映画館や劇場などの文化施設 |
| 3 百貨店 | 8 医療機関 |
| 4 専門店 | 9 その他() |
| 5 飲食店 | 10 特に不足しているものはない |

【あ】	1 青葉台一丁目～二丁目	7 美しが丘四丁目～五丁目	13 荇田北一丁目～三丁目
	2 あかね台一丁目～二丁目	8 美しが丘西一丁目～二丁目	14 荇田西一丁目～五丁目
	3 あざみ野一丁目～四丁目	9 美しが丘西三丁目	15 榎が丘
	4 あざみ野南一丁目～四丁目	10 梅が丘	16 大場町
	5 市ケ尾町	11 荇子田一丁目～三丁目	17 恩田町
	6 美しが丘一丁目～三丁目	12 荇田町	
【か】	18 柿の木台	20 上谷本町	22 鉄町
	19 桂台一丁目～二丁目	21 鴨志田町	23 黒須田
【さ】	24 桜台	27 下谷本町	30 すずき野一丁目～三丁目
	25 さつきが丘	28 しらとり台	31 すみよし台
	26 寺家町	29 新石川一丁目～四丁目	
【た】	32 たちばな台一丁目～二丁目	34 千草台	
	33 田奈町	35 つつじが丘	
【な】	36 奈良町	37 奈良一丁目～五丁目	38 成合町
【は】	39 藤が丘一丁目～二丁目		
【ま】	40 松風台	43 緑山	46 もみの木台
	41 みすすが丘	44 もえぎ野	
	42 みたけ台	45 元石川町	
【わ】	47 若草台		

区政について

青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、6月23日(月)までにご投函ください。



青葉区ホームページ

平成 26 年度区政運営方針 <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/20140509163034.html>

青葉区区民意識調査 <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/research.html>

平成 26 年度 青葉区区民意識調査 調査結果 報告書 詳細版

発行日 平成 26 年 8 月

発行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町 31 番地 4

TEL 045 (978) 2217

FAX 045 (978) 2410

<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/research.html>